



平成 30（2018）年度

# 栃木県の教育

令和元年（2019）年 9 月

栃木県教育委員会

平成 30（2018）年度

# 栃木県の教育

## まえがき

このたび「平成30（2018）年度 栃木県の教育」がまとまりましたので刊行いたします。

本書は、平成30（2018）年度の本県の教育にかかわる組織、施策、施設、機関等の実績をとりまとめたものです。本書により、本県教育の概要を御理解いただき、本県教育力の向上のために御活用いただければ幸いです。

令和元（2019）年9月

栃木県教育委員会教育長

荒川 政利

# もくじ

<b>〔Ⅰ〕 教育委員会</b>		<b>〔Ⅵ〕 生涯学習</b>	
1 県教育委員会	1	1 生涯学習振興	75
2 附属機関	4	2 社会教育施設	76
3 表彰	7	<b>〔Ⅶ〕 社会教育</b>	
<b>〔Ⅱ〕 教育行政</b>		1 社会教育指導者	79
1 栃木県教育振興基本計画2020		2 社会教育関係団体	80
－教育ビジョンとちぎ－	13	3 視聴覚教育	81
2 栃木県教育大綱	14	4 人権教育	82
3 教育行政重要施策	15	5 成人教育	83
4 企画	17	6 家庭教育	84
5 広聴・広報	18	7 ふれあい学習	86
6 調査統計	19	8 青少年教育	87
7 人権教育の企画・調整	21	<b>〔Ⅷ〕 スポーツ</b>	
<b>〔Ⅲ〕 教育財政</b>		1 スポーツ施設	89
1 教育財政	23	2 スポーツ活動	90
<b>〔Ⅳ〕 学校管理</b>		3 競技力の向上	93
1 学校施設	25	<b>〔Ⅸ〕 文化</b>	
2 県立学校の授業料・入学金	29	1 文化施設	97
3 学校数・学級数・児童数・生徒数	30	2 文化活動	98
4 教員数と構成	35	3 文化財	102
5 人事	36	<b>〔Ⅹ〕 教育機関等事業</b>	
6 免許	37	1 総合教育センター	105
7 現職教育	38	2 文書館	115
8 福利厚生	40	3 図書館	118
<b>〔Ⅴ〕 学校教育</b>		4 青年の家	122
1 教育課程	41	5 少年自然の家	123
2 学力向上	41	6 とちぎ海浜自然の家	125
3 児童・生徒指導	42	7 なす高原自然の家	127
4 進路指導	43	8 体育館	128
5 研究学校	46	9 日光霧降アイスアリーナ	129
6 県立中学校入学者選考	48	10 グリーンスタジアム	129
7 高等学校入学者選抜	48	11 県南体育館	130
8 幼児教育	54	12 県北体育館	131
9 へき地・複式・分校教育	58	13 温水プール館	132
10 定時制・通信制教育	59	14 ライフル射撃場	132
11 産業教育	60	15 県体育館分館	133
12 特別支援教育	61	16 美術館	134
13 人権教育	62	17 博物館	140
14 国際理解教育	63	18 埋蔵文化財センター	153
15 情報教育	64	19 その他の機関・団体	154
16 学校体育	65		
17 学校保健安全	69		
18 食育・学校給食	73		

# 〔I〕教育委員会

# 1 県教育委員会

## (1) 教育長及び教育委員

教育長 宇田 貞夫  
教育長職務代行者 陣内 雄次  
委員 吉澤慎太郎  
委員 鈴木純美子  
委員 工藤 敬子  
委員 金子 達也

- ・平成31(2019)年2月25日付けで教育長職務代行者に陣内雄次氏が就任しました。
- ・岡直樹氏が平成31(2019)年1月4日死亡により退任、同年3月12日付けで金子達也氏が委員に任命されました。

## (2) 会議の運営及び内容

教育委員会の会議は、次の法令により運営されます。

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
- 栃木県教育委員会会議規則（昭和31年栃木県教育委員会規則第4号）
- 栃木県教育委員会傍聴人規則（昭和31年栃木県教育委員会規則第5号）

会議は原則公開ですが、人事に関する議案を審議する場合等では、出席委員の3分の2以上の多数で決して、非公開の会議とする場合があります。

会議は、定例会及び臨時会があり、定例会は毎月1回開催されます。

平成30(2018)年度における会議の開催回数は、定例会12回、臨時会2回の計14回であり、審議内容別の件数は次のとおりです。

また、教育委員協議会を13回開催しています。

## 審議等内容

総件数	176件
○議案	70件
・基本方針に関する事	(10件)
・人事、服務に関する事	(33件)
・条例、規則等の制定、改廃に関する事	(13件)
・学校教育に関する事	(8件)
・文化財保護に関する事	(3件)
・表彰に関する事	(3件)
・その他	(0件)

○報告	45件
○協議等	61件

## 〔教育委員会に付議した事項〕

### 平成30(2018)年4月3日(火) 定例会

- 1 日光明峰高等学校及び馬頭高等学校における学校運営協議会委員の任命について
- 2 平成30年度栃木県教科用図書選定審議会委員の任命について
- 3 平成31年度栃木県立高等学校入学者選抜要項について
- 4 平成31年度栃木県立中学校入学者選考要項について
- 5 平成31年度栃木県立特別支援学校の高等部及び幼稚園部の入学者選抜要項について

### 平成30(2018)年5月8日(火) 定例会

- 1 学校職員の懲戒処分について
- 2 栃木県産業教育審議会委員の任命について

### 平成30(2018)年6月6日(水) 定例会

- 1 日光明峰高等学校における学校運営協議会委員の任命について
- 2 公立小・中学校長の人事について
- 3 平成30(2018)年度栃木県立中学校の教科用図書採択に係る調査研究について
- 4 栃木県スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- 5 栃木県文化財保護審議会委員の委嘱について

### 平成30(2018)年7月11日(水) 定例会

- 1 栃木県立美術館評議員会委員の任命について
- 2 栃木県立博物館協議会委員の任命について
- 3 学校職員の懲戒処分について
- 4 学校職員の懲戒処分について
- 5 学校職員の懲戒処分について
- 6 栃木県生涯学習審議会委員の任命に関する教育委員会の意見について
- 7 第35期栃木県社会教育委員の委嘱について
- 8 第29期栃木県立図書館協議会委員の任命について

### 平成30(2018)年8月7日(火) 定例会

- 1 公立小学校長の人事について
- 2 学校職員の懲戒処分について
- 3 平成31(2019)年度県立中学校で使用する教科用図書の採択について
- 4 平成31(2019)年度県立特別支援学校の小学部及び中学部で使用する教科用図書の採択について

### 平成30(2018)年9月4日(火) 定例会

- 1 平成30(2018)年度教育委員会の点検・評価(平成29(2017)年度対象)(案)について
- 2 平成30(2018)年度教育功労者、優良学校及び優良団体の表彰について
- 3 平成30(2018)年度9月補正予算案について
- 4 学校職員の懲戒処分について

- 5 平成30(2018)年度とちぎ教育賞について
- 6 平成31(2019)年度栃木県立高等学校の生徒並びに特別支援学校の高等部の生徒及び幼稚部の幼児の募集定員の見込みについて
- 7 栃木県運動部活動の在り方に関する方針(案)について
- 8 栃木県指定有形文化財(工芸品)の指定解除について

#### 平成30(2018)年10月11日(木) 定例会

- 1 栃木県立美術館評議員会委員の任命について
- 2 平成31(2019)年度公立学校職員定期異動方針について
- 3 栃木県文化財保護審議会委員の追加委嘱について
- 4 栃木県いじめ問題対策委員会委員の任命について

#### 平成30(2018)年11月6日(火) 定例会

- 1 栃木県立博物館協議会委員の任命について
- 2 学校職員の懲戒処分について

#### 平成30(2018)年12月18日(火) 定例会

- 1 平成31(2019)年度教育委員会事務局等職員定期人事異動基本方針について
- 2 学校職員の懲戒処分について
- 3 県立学校管理規則の一部改正について

#### 平成31(2019)年1月8日(火) 定例会

- 1 平成30(2018)年度栃木県教育委員会各種大会優勝者等表彰について
- 2 学校における働き方改革推進プランの策定について
- 3 平成31(2019)年度栃木県立高等学校の生徒並びに特別支援学校の高等部の生徒及び幼稚部の幼児の募集定員について

#### 平成31(2019)年2月5日(火) 定例会

- 1 平成30(2018)年度2月補正予算案について
- 2 平成31(2019)年度当初予算案について
- 3 学校職員定数条例の一部改正について
- 4 学校職員の懲戒処分について
- 5 学校職員の懲戒処分について
- 6 栃木県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について

#### 平成31(2019)年3月19日(火) 定例会

- 1 栃木県教育委員会事務局組織規程等の一部改正について
- 2 「栃木県教職員懲戒処分の基準」の一部改正について
- 3 事務局等職員の人事について
- 4 公立学校職員の給与に関する教育委員会規則の一部改正について
- 5 栃木県教育職員免許状に関する規則の一部改正について
- 6 公立小・中・義務教育学校及び県立学校長の人事について
- 7 学校職員の分限処分について

- 8 学校職員の懲戒処分について
- 9 栃木県文化庁活動の在り方に関する方針(案)について
- 10 栃木県子どもの読書活動推進計画(第四期)の策定について
- 11 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理規則の一部改正について
- 12 栃木県立なす高原自然の家設置及び管理条例施行規則の一部改正について
- 13 栃木県有形文化財の指定について
- 14 栃木県天然記念物の指定解除について

#### 平成31(2019)年3月26日(火) 臨時会

- 1 学校職員の懲戒処分について
- 2 学校職員の懲戒処分について
- 3 栃木県立学校教職員の人事評価の実施に関する規則及び栃木県市町村立教職員の人事評価の実施に関する規則の一部改正について
- 4 県立学校管理規則の一部改正について
- 5 県立学校職員服務規程の一部改正について
- 6 栃木県立美術館管理規則及び栃木県立博物館管理規則の一部改正について

#### (3) 栃木県総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第1条の4の規定により栃木県知事が招集する栃木県総合教育会議に、県教育委員会は構成員として出席します。

平成30(2018)年度における総合教育会議は2回開催されました。

#### 〔総合教育会議の協議事項等〕

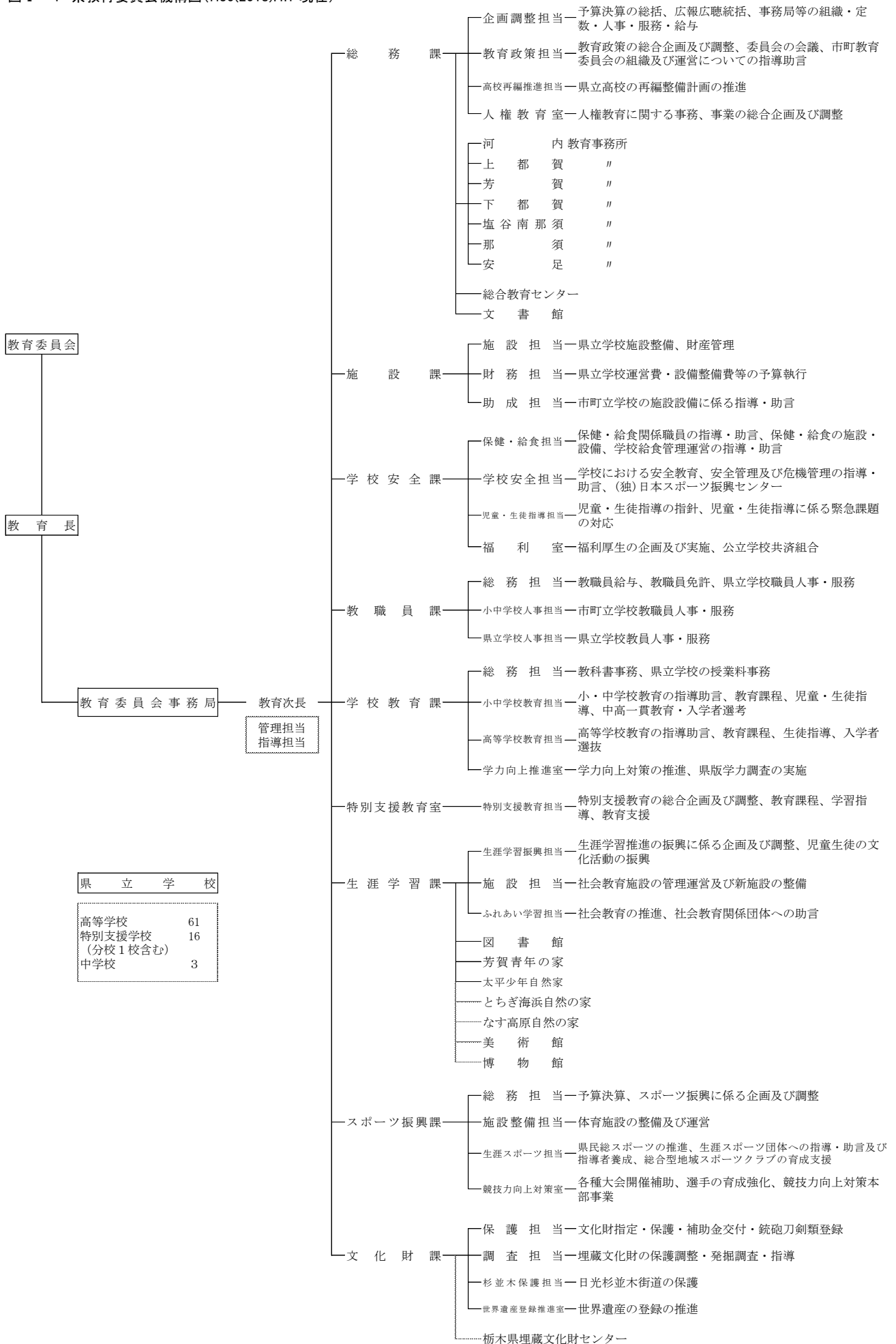
#### 平成30(2018)年6月21日(木)

- 1 地域を支える人材の確保と職業人を育てるキャリア教育の充実について

#### 平成30(2018)年10月23日(火)

- 1 地域を支える人材の確保と職業人を育てるキャリア教育の充実について

図 I - 1 県教育委員会機構図(H30(2018).4.1 現在)



## 2 附 属 機 関

### (1) 栃木県教科用図書選定審議会

根拠法令 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条

設置期間 平成30(2018)年4月3日から平成30(2018)年8月31日まで

人 員 16人

目 的 教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、答申する。

1 市町の教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く。）の校長の行う教科用図書の採択に関する事務についての県教育委員会の指導、助言又は援助に関する事項

2 県立の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関する事項

第1号委員（校長及び教員）

浪花なをみ（宇都宮市立国本西小学校長）

石川 明宏（鹿沼市立加蘇中学校長）

生田目秀之（野木町立南赤塚小学校教諭）

宮堀 宏恵（宇都宮市立横川中学校教諭）

中澤 由香（宇都宮大学教育学部附属中学校教諭）

久地井彰子（作新学院中等部教諭）

第2号委員（学校教育に専門的知識を有する者）

大森 亮一（栃木県総合教育センター所長）

池田 聖（栃木県教育委員会事務局教育次長）

斎藤美智雄（上都賀教育事務所長）

笠原 健一（足利市教育委員会教育委員）

岡 良一郎（益子町教育委員会教育長）

第3号委員（学識経験者）

津野田誠一（栃木県連合教育会常務理事）

藤井佐知子（宇都宮大学理事・副学長）

伊勢 正明（白鷗大学教育学部准教授）

比企 恵美（栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会会員）

熊田 裕子（栃木県PTA連合会監事）

審議状況 平成30(2018)年度は会議を2回開催し、審議事項は次のとおりです。

1 平成31(2019)年度使用教科用図書の採択の基本方針等について

2 教科用図書調査研究について

### (2) 栃木県産業教育審議会

根拠法令 産業教育振興法（昭和26年法律228号）

栃木県産業教育審議会条例（昭和60年条例第35号）

人 員 10人

委 員（第40期）

佐久間昌平（宇都宮機器㈱顧問）

板橋 信行（株板通代表取締役社長）

山本 純子（ヤマゼンコミュニケーションズ㈱ 栃ナビ！責任者兼取締役営業部長）

横山 玲子（県女性農業士会会長）

有吉 幸子（宇都宮美容専門学校長）

大森 玲子（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）

松下 繁一（足利大学附属高等学校長）

石川 理一（県立宇都宮商業高等学校長）

菊地 明男（宇都宮市立星が丘中学校長）

佐野 将司（栃木労働局職業安定部長）

### (3) 栃木県いじめ問題対策委員会

根拠法令 栃木県いじめ問題対策委員会条例（平成26年 栃木県条例45号）

人 員 7人

目 的 県立学校におけるいじめの防止等のための対策に関する審議等を行う。

委 員

石神 知也（石神法律事務所弁護士）

柳川 悦子（柳川小児科医院医師）

伊崎 純子（白鷗大学教育学部准教授）

土屋 佳子（日本社会事業大学災害ソーシャルワークセンター客員准教授）

澤田 匡人（学習院女子大学国際文化交流学部准教授）

原田 浩司（宇都宮大学教育学部准教授）

荒山 秀夫（元宇都宮東警察署長）

### (4) 栃木県社会教育委員

（第35期 平成30(2018)年7月23日～令和3(2021)年7月22日）

根拠法令 社会教育法第15条

人 員 20人以内

目 的 社会教育に関する諸計画を立案し、教育委員会の諮問に応じ、これに対し意見を述べる。

学校教育関係者

宮井 由美（宇都宮市立城山東小学校長）

塩谷 勇直（宇都宮市立清原中学校長）

中田 誠（栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園校長）

社会教育関係者

金田 淳（栃木県PTA連合会長）

渋江 一雄（栃木県高等学校PTA連合会事務局長）

内藤 進（(一社)栃木県子ども会連合会長）

島田 知子（(一社)ガールスカウト栃木県連盟前連盟長）

川村多喜男（日光市教育委員会事務局生涯学習課長）

家庭教育関係者

伊吹 桂子（栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会長）

石塚 雅子（栃木県女性教育推進連絡協議会副会長）

学識経験者

青木 章彦（作新学院大学女子短期大学部教授）

横山 明子（帝京大学宇都宮キャンパス総合基礎教授）

高橋 克彦（株式会社東武宇都宮百貨店人事部人事課長）



岡崎 真弓 (栃木県社会福祉協議会福祉資金課長)  
吉川 文子 (人権擁護委員)

#### 公 募

渡邊真知子 (特定非営利活動法人代表理事)  
池澤 良子 (学校図書館事務)

審議状況 平成30(2018)年度は、会議を2回開催し、「人生100年時代、働き方改革等の社会の変化に対応した社会教育の推進方策について」というテーマで審議しました。

### (5) 栃木県立図書館協議会

(第29期 平成30(2018)年7月23日～令和3(2021)年7月22日)

根拠法令 図書館法第14条

人 員 10人

目 的 図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について意見を述べる。

#### 委 員

笠原 紀昭 (栃木県立鹿沼高等学校長)  
佐山 美幸 (栃木県PTA連合会副会長)  
七海 朱美 (栃木県女性教育推進連絡協議会副会長)  
田城 博子 (矢板公民館長)  
相馬 裕子 (栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会副会長)  
大橋 幸雄 (作新学院大学特任教授)  
大音 由里 (栃木子どもの本連絡会会長)  
星野 英昭 (宇都宮市立中央図書館長)  
高山 慶子 (宇都宮大学准教授)  
寺島 玄 (公募委員)

審議状況 平成30(2018)年度は協議会を1回開催し、平成30(2018)年度主要事業の実施状況、平成31(2019)年度事業計画等について審議しました。

### (6) 栃木県生涯学習審議会

(第13期 平成30(2018)年7月11日～令和3(2021)年7月10日)

根拠法令 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律

人 員 20人以内

目 的 知事又は教育委員会の諮問に応じ、生涯学習に関する重要事項を調査審議する。

#### 委 員

鈴木 厚 (宇都宮市文化会館館長)  
浅井 秀実 (栃木県医師会常任理事)  
橋本 健一 ( (公財) 栃木県体育協会参事)  
石川 尚子 ( (一社) 栃木県専修学校各種学校連合会理事)  
大嶋 一生 (日光市長)  
加藤 公博 (高根沢町長)  
横松 盛人 (栃木県議会議員)  
大橋 嘉孝 (栃木市教育委員会生涯学習部生涯学習課長)  
風間 教司 ( (有) 風間総合サービス代表取締役)

生井 泉 (日光公民館社会教育指導員)

川井 正枝 (栃木県女性団体連絡協議会事務局長)

和田 裕二 ( (社福) とちぎ健康福祉協会理事長)

伊吹 桂子 (栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会会長)

浪花 なをみ (宇都宮市立国本西小学校校長)

石崎 智久 ( (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構栃木支部長兼栃木職業能力開発促進センター所長)

内藤 靖 ( (公社) 栃木県経済同友会幹事)

中村 祐司 (宇都宮大学地域デザイン科学部教授)

和田 佐英子 (宇都宮共和大学シティライフ学部教授)

竹内 律 (公募委員：宇都宮市生涯学習センター運営審議会副委員長)

宮地 ゆみ (公募委員：日光市安良沢小学校コーディネーター)

審議状況 平成30(2018)年度は、会議を2回開催し、教育委員会からの諮問「今後予想される社会の変化に対応した多様な学習活動の推進方策について」を受け、このことについて審議しました。

### (7) 栃木県スポーツ推進審議会

(平成30(2018)年7月7日～令和3(2021)年7月6日)

根拠法令 スポーツ基本法第31条

人 員 20人以内

目 的 県のスポーツ推進計画、その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。

#### 委 員

三森 文徳 (栃木県議会議員)  
橋本 健一 ( (公財) 栃木県体育協会参事)  
安藤 佳子 (栃木県レクリエーション協会 指導者養成委員会副委員長)  
鈴木 幸江 (栃木県スポーツ推進委員協議会理事)  
前田 秀美 (栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会)  
小金沢 茂 ( (特非) 栃木県障害者スポーツ協会副主幹)  
香川 玲子 ( (一社) 栃木県幼稚園連合会理事)  
小川 史子 (栃木県小学校教育研究会体育部会理事)  
中山 俊美 (栃木県中学校体育連盟会長)  
塩澤 好和 (栃木県高等学校体育連盟会長)  
渡邊 明男 (栃木県私立中学高等学校連合会)  
月橋 春美 (宇都宮共和大学准教授)  
久保 元芳 (宇都宮大学准教授)  
内山 須美子 (白鷗大学教授)  
小山さなえ (山梨学院大学教授)  
並木 裕子 (加圧トレーニングインストラクター)  
阿久津 通恵 (公募委員)  
津久井富雄 (栃木県市長会・大田原市長)  
星野 光利 (栃木県町村会・上三川町長)  
田上 富男 (栃木県市町村教育委員会連合会)

審議状況 平成30(2018)年度は、栃木県スポーツ推進計画2020を踏まえた令和3(2021)年度以降の本県スポーツ推進計画の作成手順について審議しました。

## (8) 栃木県文化財保護審議会

(平成30(2018)年7月19日～令和3(2021)年7月18日)  
根拠法令 文化財保護法第190条、栃木県文化財保護審議会条例・規則

人 員 17人

目 的 教育委員会の諮問に応じて、文化財の保護及び活用等に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

委 員

青木 章彦 (作新学院大学女子短期大学部教授)  
新井 敦史 (大田原市黒羽芭蕉の館学芸員)  
小川 聖 (元小山市立博物館学芸員)  
柏村 勇二 (栃木県立博物館教育広報課長)  
金井 忠夫 (那須塩原市那須野が原博物館学芸員)  
齊藤 弘江 (栃木県建築士会烏山支部長)  
酒寄 雅志 (國學院大學栃木短期大学教授)  
関沢まゆみ (国立歴史民俗博物館研究部教授)  
副島 弘道 (大正大学名誉教授)  
高山 慶子 (宇都宮大学准教授)  
玉蟲 敏子 (武蔵野美術大学教授)  
千田 孝明 (元栃木県立博物館学芸部技幹兼人文課長)  
長尾 充 (東京芸術大学大学院教授)  
林 光武 (栃木県立博物館自然課長)  
原田 一敏 (ふくやま美術館館長)  
原田 正彦 ((公財)日光社寺文化財保存会上席主任技師)  
梁木 誠 (栃木県考古学会会長)

審議状況 平成30(2018)年度は、会議を2回開催し、建造物2件を県指定有形文化財にするよう、また、県指定有形文化財1件及び天然記念物1件について指定を解除するよう答申しました。

## (9) 栃木県立美術館評議員会

(平成30(2018)年11月2日～令和3(2021)年11月1日)  
根拠法令 博物館法20条第1項 栃木県立美術館条例第9条

人 員 11人

目 的 美術館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる。

委 員

日下田英彦 (栃木県中学校教育研究会美術部会会長・下野市立南河内中学校長)  
武田 公男 (栃木県小学校教育研究会図画工作部会会長・宇都宮市立白沢小学校長) ※H30(2018).7.11 就任  
石坂 典久 (栃木県小学校教育研究会図画工作部会会長・宇都宮市立陽南小学校長) ※H30(2018).7.10 退任  
清水奈名子 (宇都宮大学国際学部准教授)  
橋本 房子 (家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問)

佐々木正直 (群馬県立館林美術館長)

佐々木吉晴 (宇都宮美術館長) ※H30(2018).7.11 就任

谷 新 (前宇都宮美術館長) ※H30(2018).7.10 退任

梶原 紀子 (認定特定非営利活動法人もうひとつの美術館代表理事・館長)

早川けいこ (栃木県議会議員)

松下 正直 (株足利銀行取締役兼代表執行役頭取)

岸本 卓也 (株下野新聞社代表取締役社長) ※H30(2018).7.11 就任

観堂 義憲 (株下野新聞社代表取締役会長) ※H30(2018).7.10 退任

有坂 隆二 (公募)

審議状況 平成30(2018)年度は、会議を2回開催(H30(2018).8、H31(2019).3)し、平成29(2017)年度事業実績報告、平成29(2017)年度美術館評価、平成30(2018)年度事業実施状況及び平成31(2019)年度事業計画について審議しました。

## (10) 栃木県立博物館協議会

(平成30(2018)年12月7日～令和3(2021)年12月6日)

根拠法令 博物館法20条第1項 栃木県立博物館条例第9条

人 員 17人

目 的 博物館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる。

委 員

飯野 達央 (元栃木県参事兼自然環境課長)

大澤 慶子 (文星芸術大学准教授) ※H30(2018).12.7 就任

鈴木 健一 (宇都宮共和大学客員教授) ※H30(2018).12.6 退任

岡部 正英 (栃木県市長会・佐野市長) ※H30(2018).12.7 就任

広瀬 寿雄 (栃木県市長会・下野市長) ※H30(2018).12.6 退任

萩原恵美子 (株下野新聞社編集局くらし文化部部長代理)

佐藤 峰子 (ボランティア連絡協議会)

塩田ひとし (栃木県議会議員)

藤田 眞一 (下野手仕事会会長) ※H30(2018).12.7 就任

大畑 英雄 (下野手仕事会・大畑武者絵資料館長) ※H30(2018).12.6 退任

真瀬 宏子 (栃木県町村会・野木町長) ※H30(2018).12.7 就任

小菅 一弥 (栃木県町村会・壬生町長) ※H30(2018).12.6 退任

村木優実子 (NHK宇都宮放送局長) ※H30(2018).7.11 就任

松本 春枝 (NHK宇都宮放送局長) ※H30(2018).7.10 退任

益子ゆかり (栃木県公民館連絡協議会理事・那須烏山市烏山公民館長) ※H30(2018).7.11 就任

渡邊小百合 (栃木県公民館連絡協議会理事・大田原市生涯学習課長兼中央公民館長) ※H30(2018).7.10 退任

揚石 哲司 (栃木県PTA連合会副会長)

上野 幸弘 (栃木県子ども会連合会副会長)

上野 一典 (栃木県私立中学高等学校連合会・宇都宮文星女子高等学校長) ※H30(2018).12.7 就任

上野 憲示 (栃木県私立中学高等学校連合会・学校法人宇都宮学園理事長) ※H30(2018).12.6 退任

及川 充子 (栃木県小学校長会・宇都宮市立横川西小学校長) ※H30(2018).12.7 就任  
樽井 圭子 (栃木県小学校長会・宇都宮市立五代小学校長) ※H30(2018).12.6 退任  
小堀 茂雄 (栃木県中学校長会・宇都宮市立一条中学校長) ※H30(2018).12.7 就任  
山本 伸夫 (栃木県中学校長会・宇都宮市立若松原中学校長) ※H30(2018).12.6 退任  
根本いづ美 (栃木県高等学校長会・栃木県立益子芳星高等学校長) ※H30(2018).12.7 就任  
日向野 勝 (栃木県高等学校長会・栃木県立宇都宮中央女子高等学校長) ※H30(2018).12.6 退任  
藤本由利子 (公募)  
審議状況 平成30(2018)年度は会議を1回開催(H30(2018).10)し、平成30(2018)年度博物館事業の実施状況及び平成29(2017)年度博物館評価について審議しました。

## 3 表 彰

### (1) 教育功労者・優良学校及び優良団体表彰

表彰式 平成30(2018)年10月19日  
栃木県公館 大会議室

受賞者

#### 【教育功労者】

野口 京子 (宇都宮市立峰小学校長)  
樋口 良広 (宇都宮市立一条中学校事務長)  
佐々木徳志 (宇都宮市立陽西中学校長)  
糸川佳寿子 (宇都宮市立豊郷中学校長)  
大出 忠央 (鹿沼市立みどりが丘小学校長)  
中村 仁 (鹿沼市立東中学校長)  
吉田 正順 (鹿沼市立北中学校長)  
大塚 道治 (真岡市立真岡中学校長)  
三田 進 (益子町立益子中学校長)  
小森 祥一 (市貝町立市貝小学校長)  
中島 聖巳 (野木町立野木中学校長)  
高山 芳樹 (小山市立大谷東小学校長)  
福富 靖 (小山市立間々田小学校長)  
橋本美智明 (小山市立小山城南中学校長)  
佐藤 義明 (小山市立間々田中学校長)  
小林 良次 (栃木市立大宮北小学校長)  
山久保拓男 (那須烏山市立南那須中学校長)  
岡田 明秀 (矢板市立片岡小学校長)  
池澤 紀子 (大田原市立薄葉小学校長)  
尾畑 宏 (大田原市立若草中学校長)  
伴 真貴子 (那須塩原市立三島小学校長)  
霜田 貢 (佐野市立城東中学校長)  
田中 昭三 (足利市立毛野小学校長)  
村田 正幸 (足利市立毛野中学校長)  
仁平 宏三 (宇都宮工業高等学校教頭)  
飯塚 仁 (小山西高等学校長)  
鈴木 真之 (栃木農業高等学校長)  
橋本 正治 (足利高等学校長)  
田中 泉 (真岡高等学校教諭)  
相沢 忠裕 (那須拓陽高等学校長)  
江田 敏子 (富屋特別支援学校長)  
室井 崇生 (岡本特別支援学校長)  
鈴木 利生 (栃木特別支援学校長)  
大森 亮一 (栃木県総合教育センター所長)  
小林 貴代 (佐野市社会教育委員委員長)  
斎藤 安代 (塩谷町社会教育委員副委員長)  
福田 健三 (野木町体育協会理事)

松本 幸三 (壬生町体育協会会長)  
古川祐見子 (学校薬剤師)  
臼井 正人 (学校歯科医)  
柏村 祐司 (栃木県立博物館名誉学芸員)  
市村 孝雄 (元 野木町文化財保護審議会会長)

#### 【優良学校】

鹿沼市立みどりが丘小学校  
市貝町立赤羽小学校  
壬生町立壬生北小学校  
下野市立古山小学校  
さくら市立南小学校

#### 【優良団体】

宇都宮市立西小学校PTA  
佐野市立葛生中学校PTA  
栃木県立栃木高等学校PTA  
鹿沼市体育協会ゴルフ連盟

## (2) 平成30(2018)年度とちぎ教育賞受賞者表彰

表彰式 平成30(2018)年11月6日  
栃木県公館 大会議室

#### 受賞者

高橋 正和 (宇都宮市立今泉小学校)  
石川 晴美 (宇都宮市立石井小学校)  
堀内 多恵 (宇都宮市立豊郷中央小学校)  
田沼 美知 (宇都宮市立御幸が原小学校)  
谷津 智子 (上三川町立北小学校)  
藤井 崇 (宇都宮市立豊郷中学校)  
鈴木光太郎 (宇都宮市立雀宮中学校)  
水井 知美 (宇都宮市立鬼怒中学校)  
北島 裕子 (鹿沼市立みどりが丘小学校)  
大森 真弓 (日光市立今市第三小学校)  
石川 恵 (鹿沼市立東中学校)  
倉澤 由佳 (日光市立東中学校)  
入江 聡 (真岡市立亀山小学校)  
箕輪 尚子 (茂木町立中川小学校)  
関本恵美子 (芳賀町立芳賀東小学校)  
中田 智子 (壬生町立壬生小学校)  
吉田理徳子 (野木町立新橋小学校)  
大塚 亮太 (小山市立小山城東小学校)  
伊東 美華 (栃木市立栃木中央小学校)  
渡部 真弓 (下野市立細谷小学校)  
荻原 好恵 (小山市立小山第三中学校)  
亀山 敬子 (栃木市立東陽中学校)  
吉永 恵 (さくら市立氏家小学校)  
高橋やす子 (那須烏山市立江川小学校)  
木島 幸江 (矢板市立矢板中学校)  
君 健一郎 (大田原市立佐良土小学校)  
菊地はす江 (那須塩原市立槻沢小学校)

高橋 尚孝 (大田原市立大田原中学校)  
増渕 裕子 (那須町立那須中央中学校)  
石井 宗宏 (那須塩原市立黒磯中学校)  
三芝 直美 (佐野市立界小学校)  
猿橋 清美 (佐野市立城東中学校)  
森 奈緒子 (佐野市立赤見中学校)  
長谷川順子 (足利市立山辺中学校)  
沖山 磨 (足利市立北中学校)  
黒川 治彦 (栃木県立宇都宮高等学校)  
井澤 英里 (栃木県立宇都宮北高等学校)  
黒崎 利之 (栃木県立宇都宮工業高等学校)  
時田 清子 (栃木県立鹿沼東高等学校)  
佐藤 誠 (栃木県立鹿沼商工高等学校)  
福田小夜里 (栃木県立小山南高等学校)  
新井 悟 (栃木県立小南城南高等学校)  
石川 友紀 (栃木県立壬生高等学校)  
佐藤 成之 (栃木県立真岡高等学校)  
柳 路子 (栃木県立真岡北陵高等学校)  
田村 絵美 (栃木県立茂木高等学校)  
鈴木 賢一 (栃木県立那須拓陽高等学校)  
木戸 朋子 (栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園)  
磯前 達也 (栃木県立益子特別支援学校)  
中山 玄徳 (栃木県立那須特別支援学校)

## (3) 栃木県公立学校職員退職者に対する感謝状贈呈

平成31(2019)年3月29日

#### 被贈呈者

平成30(2018)年度末で退職した小・中学校関係502人、  
県立学校関係122人の計624人に対し感謝状が贈呈されました。

## (4) 各種大会優勝者等表彰

表彰式 平成31(2019)年2月12日  
栃木県公館 大会議室

#### 受賞者

#### 【体育関係(個人)】

赤羽 沙也加 那須塩原市立三島中学校  
(第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水  
泳競技大会 女子13~14才100m、200m背泳ぎ 優  
勝)  
石川 友望 國學院大學  
(第18回アジアローラースポーツ選手権大会 リンク  
ホッケー女子の部 準優勝、第60回全日本学生ロー  
ラースケート選手権大会 女子ホッケーの部 優  
勝)  
伊藤 海之亮 栃木県立栃木商業高等学校  
(第11回全国カデ・エペフェンシング選手権大会 男  
子の部 優勝)  
稲垣 璃樹 宇都宮市立国本中学校  
(第35回全日本武術太極拳選手権大会 槍術 優勝)

植田 颯真 さくら市立氏家中学校  
(第56回全国防具付空手道選手権大会 形 中学生男子の部 優勝)

榎本 遼香 筑波大学  
(第73回国民体育大会 水泳競技 飛込競技成年女子・高飛込3m飛び板飛込 優勝)

遠藤 光 作新学院高等学校  
(平成30年度全国高等学校総合体育大会 競泳競技男子1500m自由形 優勝)

太田 彪雅 東海大学  
(全日本学生柔道体重別選手権大会 男子100kg超級 優勝)

大橋 雅貴 LIEBE 栃木(北関東総合警備保障株式会社)  
(第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) ホッケー男子 優勝)

大平 翔士 佐野日本大学高等学校  
(平成30(2018)年度全国高等学校総合体育大会剣道競技 男子個人 優勝)

落合 大将 LIEBE 栃木(北関東総合警備保障株式会社)  
(第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) ホッケー男子 優勝)

折原 研二 (株) 那須国際射撃場  
(全日本選手権大会 クレー射撃競技・スキート種目 優勝)

折原 梨花 文星芸術大学  
(全日本学生選手権大会 クレー射撃競技・スキート種目 優勝)

檜山 岬 栃木県立矢板東高校附属中学校  
(第43回全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会 打突競技(小太刀部門) 優勝、第44回全日本選手権大会 打突競技(小太刀部門) 優勝)

片岡 一英 栃木弓道連盟  
(明治神宮奉納全国弓道大会 弓道近的競技称号者の部 優勝)

桂木 美咲 カルソニックカンセイ(株)  
(第66回全日本実業団弓道大会 弓道近的競技女子の部 優勝)

上澤 杏音 鹿沼市立北押原小学校  
(第27回東アジアホープス大会 女子団体 優勝)

唐津 大輔 栃木県立日光明峰高等学校  
(2018IIHF男子U18アイスホッケー世界選手権ディビジョンIグループB アイスホッケーU-18 3位)

河部 勝次 神戸製鋼真岡製造所  
(第30回全日本ベンチプレス選手権大会 マスターズ4男子93kg級 優勝)

川又 玲瑛 宇都宮市立瑞穂野中学校  
(IFSC世界ユース選手権モスクワ2018 ユースB男子ボルダリング 優勝、第4回ボルダリングユース日本選手権鳥取大会2018 ユースB男子ボルダリング 優勝、第73回国民体育大会 山岳競技 少年男子ボルダリング 優勝)

君島 王羅 足利大学附属高等学校  
(JOCジュニアオリンピックカップ全国ジュニアスキー競技会兼2018全日本ジュニアスキー選手権大会 K2男子大回転競技 優勝)

黒田 貴臣 サトウGTC  
(第80回日本商業開発(株)全日本ベテランテニス選手権'18 男子45歳以上ダブルス 優勝)

毛塚 来美 栃木県立栃木翔南高等学校  
(第26回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会 国際第三套路太極拳、太極剣 優勝、第7回世界ジュニア武術選手権大会 国際第三套路太極拳、太極剣 優勝)

後藤 彩斗 宇都宮市立築瀬小学校  
(明治150年記念平成30(2018)年度全日本少年少女武道なぎなた錬成大会 なぎなた試合競技4年生の部 優秀賞)

小林 郁弥 北関東総合警備保障株式会社  
(平成30(2018)年度全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会 50m3×40M(成年50mライフル三姿勢120発競技) 優勝、平成30年度全日本選抜ライフル射撃競技大会 50m3×40M(成年50mライフル三姿勢120発競技) 優勝)

近藤 清 西那須野クラブ  
(第22回全日本シニアソフトテニス選手権大会 混合ダブルス70 優勝)

坂本 安樹 上三川町立上三川小学校  
(第26回全国小学生バドミントン選手権大会 男子ダブルス5年生以下 優勝)

櫻井 慎大 宇都宮市立白沢小学校  
(第26回全国小学生バドミントン選手権大会 男子ダブルス5年生以下 優勝)

佐藤 政大 日本商業開発(株)  
(第80回日本商業開発(株)全日本ベテランテニス選手権'18 男子45歳以上ダブルス 優勝)

清水 咲子 ミキハウス  
(第13回パンパシフィック水泳選手権大会 競泳競技女子400m個人メドレー 3位、第18回アジア競技大会水泳競技 競泳競技女子400m個人メドレー 3位)

鈴木 一太 宇都宮市立陽北中学校  
(JOCジュニアオリンピックカップ2018全日本ジュニア体操競技選手権大会 体操男子2部種目別ゆか 優勝)

鈴木 瑞生 栃木県立鹿沼高等学校

- (平成30(2018)年度第60回全国教職員剣道大会 女子個人の部 優勝)
- 高橋 奈々 栃木県立宇都宮中央女子高等学校  
(第41回全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 女子15~16才100m平泳ぎ 優勝、第73回国民体育大会 水泳競技 競泳競技少年女子B100m平泳ぎ 優勝)
- 武井 琉晟 栃木県立栃木商業高等学校  
(アジアジュニアアカデフェンシング選手権大会 men's Epee Team 3位)
- 千野 虹 小山市立小山第三中学校  
(第17回全国女子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会 女子58kg級 優勝)
- 土谷 歩夢 那須塩原市立三島中学校  
(第49回ジュニアオリンピックカップ陸上競技大会 ABC男子共通4×100mリレー 優勝)
- 豊嶋 大雅 宇都宮市立石井小学校  
(JOCジュニアオリンピックカップ2018全日本ジュニア体操競技選手権大会 体操競技男子Bクラス 種目別平行棒 優勝)
- 中谷 郁斗 栃木市立栃木西中学校  
(第49回ジュニアオリンピックカップ陸上競技大会 ABC男子共通4×100mリレー 優勝)
- 中山 日菜子 日本体育大学  
(第7回東アジアカップ 女子ソフトボール 優勝)
- 檜崎 智亜 TEAM au  
(IFSCワールドカップ2018ボルダリング部門及びコンバインド部門 年間総合2位、第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) コンバインド 3位、第1回コンバインド・ジャパンカップ 男子複合 優勝)
- 檜崎 明智 TEAM au  
(IFSC世界ユース選手権モスクワ2018ボルダリング部門及びリード部門 優勝、IFSCアジア選手権倉吉大会2018ボルダリング部門及びコンバインド部門 優勝、第4回ボルダリングユース日本選手権鳥取大会 ジュニア男子 優勝)
- 萩野 公介 ブリジストン  
(第13回パンパシフィック水泳選手権大会 競泳競技男子400m個人メドレー 2位、第18回アジア競技大会水泳競技 競泳競技男子400m個人メドレー 2位、第94回日本選手権水泳競技大会 競泳競技男子200m・400m個人メドレー 優勝)
- 原科 太一 横浜国立大学  
(第10回アジア・オセアニア選手権大会 打突競技(二刀部門) 優勝、第44回全日本スポーツチャンバラ選手権大会 打突競技(二刀部門) 優勝)
- 久野 愛莉 日本大学  
(第13回世界女子相撲選手権大会 個人重量級 3位、第23回全日本女子相撲選手権大会 無差別級 優勝、第8回アジア女子相撲選手権大会 女子重量級 優勝)
- 平永 健太 乗馬クラブクレイン栃木  
(CCI1\*Miki2018 ワンスター第1競技CCI1\* 優勝、第18回アジア競技大会 総合馬術(団体) 優勝)
- 広田 思乃 那須トレーニングファーム  
(第70回全日本障害馬術大会2018PartI 全日本障害飛越選手権 優勝、第73回国民体育大会馬術競技 成年女子二段階障害飛越 優勝)
- 福地 倭大 作新学院高等学校  
(第15回全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会 男子+93kg級 優勝、第36回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会 男子+93kg級 優勝)
- ブルガ アリエル 佐野市立城東中学校  
(第45回全日本中学校陸上競技選手権大会 共通男子400m 優勝、第49回ジュニアオリンピックカップ陸上競技大会 ABC男子共通4×100mリレー 優勝)
- 星 卓 LIEBE 栃木(株式会社サンコー)  
(第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) ホッケー男子 優勝)
- 堀川 龍 作新学院高等学校  
(平成30年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技 ライトフライ級 優勝)
- 本田 尚也 サトウGTC  
(2018DUNLOP SRIXON CUP 全国選抜ジュニアテニス選手権大会兼ワールドジュニアテニス世界大会代表選考会 12歳以下男子シングルス 優勝)
- 増山 誠倫 小山乗馬クラブ  
(第70回全日本障害馬術大会2018PartI 大障害飛越競技B(標準) 優勝)
- 松田 弥咲妃 大田原市立野崎中学校  
(世界大会 WHISTLER Cup U-14女子大回転 優勝)
- 松本 涼 小山市立小山第三中学校  
(第49回ジュニアオリンピックカップ陸上競技大会 ABC男子共通4×100mリレー 優勝)
- 水沼 尚輝 新潟医療福祉大学  
(第94回日本学生選手権水泳競技大会 競泳競技男子100mバタフライ 優勝)
- 三田 大生 栃木県立黒羽高等学校  
(第15回世界ジュニア相撲選手権大会 男子軽量級 3位、平成29年度全国高等学校相撲選抜大会 体重別個人80kg級 優勝)
- 茂呂居 岳人 栃木県立佐野高等学校  
(第73回国民体育大会山岳競技 少年男子ボルダリング 優勝)

- 山根 大地 日本大学  
(平成 29 年度第 38 回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会 男子ジュニア 69 kg級 優勝)
- 吉澤 颯希 白鷗大学足利高等学校  
(第 16 回全日本女子ボクシング選手権大会 女子バンタム級 (ジュニアの部) 優勝)
- 和久井 麻由 東京都立代々木高等学校  
(全国高等学校ゴルフ選手権大会 高校女子個人の部 優勝)
- 渡邊 憲 作新学院高等学校  
(第 15 回全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会 男子 93 kg級 優勝、第 36 回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会 男子 93 kg級 優勝)
- 樋口 翔太 佐野日本大学高等学校  
(第 26 回日・韓・中ジュニア交流競技会 1,500m 優勝)
- 落合 有佳利 キヤノン (株)  
(第 34 回日本身体障がい者水泳選手権大会 200m 個人メドレー 100m 自由形 優勝)
- 齋藤 一法 ホンダエンジニアリング(株)  
(第 34 回日本身体障がい者水泳選手権大会 200m 自由形 優勝、World Para Swimming 公認 2018 ジャパンパラ水泳競技大会 水泳 男子 50m 自由形 水泳 男子 200m 自由形 優勝)
- 大塚 忠胤 日本アムウェイ合同会社  
(ベガスシュートオープン コンパウンド・リミテッド・フライツ部門 3位)
- 加治佐 博昭 こてやま鍼灸整骨マッサージ院  
(World Para Athletics 公認 2018 ジャパンパラ陸上競技大会 男子 800m 優勝)
- 柴田 蒼麻 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校中学部  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 陸上競技ソフトボール投げ 優勝)
- 澤田 暖 栃木県立国分寺特別支援学校高等部  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 競泳 背泳 25m 競泳 4×25m メドレーリレー 優勝)
- 荒井 彩心 宇都宮市田原小学校  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 競泳ビート板 25m 優勝)
- 中島 楽惟 小山市立小山城南中学校  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 競泳平泳ぎ 50m 競泳 4×25m メドレーリレー 優勝)
- 布塚 悠 トヨタカーズ  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 競泳 4×25m メドレーリレー 優勝)
- 布塚 未来翔 小山市立間々田中学校  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 競泳 4×25m メドレーリレー 優勝)
- 新井 弘臣 (株)ジャパンミート  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 卓球 シングルス男子 優勝)
- 薄井 えりか (有) コパン  
(2018 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 卓球シングルス女子 優勝)
- 眞田 卓 凸版印刷 (株)  
(インドネシア 2018 アジアパラ競技大会 車いすテニス男子ダブルス 優勝、車いすテニス男子シングルス 2位)
- 大谷 桃子 西九州大学  
(インドネシア 2018 アジアパラ競技大会 車いすテニス女子シングルス 3位)
- 奈良田 栄一  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技ソフトボール投 優勝)
- 篠原 美帆 藤井産業 (株)  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技 100m 陸上競技 200m 優勝)
- 青木 龍太  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技ジャベリックスロー、陸上競技砲丸投げ 優勝)
- 臼井 悠斗 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技 200m 優勝)
- 杉本 汐夢 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技 100m 優勝)
- 日野 花音 栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技 200m 優勝)
- 下野 直美 障害者支援施設かりいほ  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 陸上競技ソフトボール投 優勝)
- 吉原 未来 作新学院大学  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 水泳 25m 自由形 水泳 50m 背泳ぎ 優勝)
- 大島 茄巳琉 佐野市立南中学校  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 水泳 50m 平泳ぎ 水泳 50m 背泳ぎ 優勝)
- 宇賀神 シゲ  
(第 18 回全国障害者スポーツ大会 卓球 (サウンドテーブルテニス) 優勝)

**【体育関係（団体）】**

LIEBE 栃木

(2018 年度全日本社会人ホッケー選手権大会 ホッケー男子 優勝)

カルソニックカンセイ株式会社弓道部

(第 65 回全日本勤労者弓道選手権大会 弓道近的競技 優勝)

作新学院高等学校ボクシング部

(平成 30(2018)年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会 ボクシング学校対抗 優勝)

作新学院高等学校ゲートボール部 (作新クラブ)

(第 23 回全国ジュニアゲートボール大会 ジュニア女子 1 部クラス 優勝)

作新学院高等学校ゲートボール部 (作新学院)

(第 7 回全国高等学校ゲートボール選手権大会 ゲートボール 優勝)

作新学院

(第 34 回全日本ゲートボール選手権大会 ゲートボール 優勝)

卓桜会栃木卓球センター

(第 37 回全日本クラブ卓球選手権大会 女子小・中学校の部 優勝)

栃木県弓道連盟 (男女総合)

(第 73 回国民体育大会弓道競技 男女総合 1 位)

栃木県弓道連盟 (成年男子)

(第 73 回国民体育大会弓道競技 成年男子遠的・近的 1 位)

栃木県弓道連盟 (少年男子)

(第 73 回国民体育大会弓道競技 少年男子遠的・近的 1 位)

栃木県弓道連盟 (少年女子)

(第 73 回国民体育大会弓道競技 少年女子近的 1 位)

栃木県立宇都宮白楊高等学校馬術部

(第 52 回全日本高等学校馬術競技大会 馬術団体障害飛越 優勝)

栃木県立今市高等学校フィールドホッケー部

(平成 30(2018)年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会 ホッケー男子 優勝、第 50 回全国高等学校選抜ホッケー大会 ホッケー男子 優勝)

栃木市立大平中学校弓道部女子

(第 15 回全国中学生弓道大会 女子弓道近的競技 優勝)

栃木市立大平中学校弓道部男子

(平成 30(2018)年度全日本少年少女武道錬成大会 弓道近的競技 男子の部 優秀賞)

宇都宮市立鬼怒中学校弓道部

(第 15 回全国中学生弓道大会 男子弓道近的競技 優勝)

野木町立野木第二中学校弓道部

(平成 30(2018)年度全日本少年少女武道錬成大会 弓道近的競技 男子の部 優秀賞)

作新学院高等学校弓道部

(第 36 回全国高等学校弓道選抜大会 女子団体 優勝)

**【学芸関係（個人）】**

荒山 花帆 宇都宮市立戸祭小学校

(第 42 回全国学生書写書道展 公募の部小学校 5・6 年の部 文部科学大臣賞)

添野 日向 宇都宮市立宮の原小学校

(第 6 回日本学校合奏コンクール 2017 全国大会ソロ &amp; アンサンブルコンテスト ソロ部門小学校の部 金賞・文部科学大臣賞)

五月女 心奈 宇都宮大学教育学部附属小学校

(第 19 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 小学 1・2 年生部門アジア大会 金賞)

篠崎 美蘭 宇都宮市立横川中央小学校

(第 19 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 小学 3・4 年生部門全国大会 金賞、第 8 回日本パッサコンクール全国大会 小学 3・4 年 B 部門 金賞及びベーレンライター賞)

法師人 大輝 宇都宮市立横川中学校

(第 26 回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」 高学年の部 内閣総理大臣賞)

池嶋 俊平 栃木市立栃木東中学校

(税についての作文 総務大臣賞)

田波 舜祐 佐野市立田沼小学校

(平成 30(2018)年度歯・口の健康啓発標語コンクール 最優秀賞)

平塚 さゆり 足利市立御厨小学校

(第 60 回水道週間協賛懸賞募集 図画の部 特選(日本水道協会会長賞))

須永 愛桜 栃木県立足利特別支援学校高等部

(第 37 回肢体不自由児・者の美術展 特賞 文部科学大臣奨励賞)

板橋 聖波 栃木県立栃木特別支援学校高等部

(第 37 回肢体不自由児・者の美術展 特賞 毎日新聞社会事業団賞)

神山 翔 栃木県立盲学校小学部

(第 68 回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール 声楽部門 独唱 1 部 1 位 ヘレン・ケラー賞)

広瀬 由花 栃木県立盲学校高等部

(第 68 回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール 声楽部門 独唱 2 部 1 位)

**【学芸関係（団体）】**

文星芸術大学附属高等学校将棋部

(第 54 回全国高等学校将棋選手権大会兼第 42 回全国高等学校総合文化祭将棋部門 男子団体 優勝)



## 〔Ⅱ〕教 育 行 政

# 栃木県教育振興 1 基本計画 2020 -教育ビジョンとちぎ-

## 【計画策定の趣旨】

教育基本法では、教育は一人一人の「人格の完成」を目指すとともに「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成を求めています。教育に課せられたこのような使命を果たすためには、とちぎの子どもたちが、自己実現を目指して生涯にわたり学び続けていけるようにすること、そして、主体的に社会に参画してこれから先の未来を自分たちの手でともに創造していけるようにすることが必要と考えます。

県教育委員会では、平成 23(2011)年度から平成 27(2015)年度までの三期計画の成果と課題を踏まえ、とちぎの子どもたちが将来、社会的に自立し、主体的に社会に参画して生きていける力を培えるよう、平成 28(2016)年度からの 5 年間の本県教育行政の基本方向を示す本計画を策定しました。

## 【計画の性格】

- 教育基本法第 17 条第 2 項に基づき、国が定める第 2 期教育振興基本計画（平成 25(2013)年 6 月決定）を参酌して定める、本県の教育振興基本計画です。
- 県政の基本指針を示した重点戦略「とちぎ元気発信プラン」に掲げる将来像の実現に向けた、教育行政分野における計画です。

## 【計画の期間】

平成 28(2016)年度から令和 2(2020)年度までの 5 年間

## 【本県教育の基本理念】

近年、グローバル化や知識基盤社会の進展、雇用をめぐる状況の変化、人口減少や高齢化の進展、家庭や地域社会の変化など、変化の激しい時代を迎えており、将来の社会の姿が描きにくい状況にあります。これらは、子どもたちが生きていく未来にも続くことが予想されます。

このような状況を踏まえ、県教育委員会では、とちぎの子どもたちが、学校教育で培った力を基盤にして生涯にわたり学び続け、主体的に社会に参画し、広い視野を持って私たちの未来をつくっていけるようにすることが大切であると考え、本県教育の基本理念を次の一文に集約しました。

## 基本理念

とちぎから世界を見つめ  
地域とつながり 未来に向かって  
ともに歩み続ける人間を育てます

本県は、豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化、日本や世界に誇れる産業など、様々な魅力を有しており、今後は、それらを有効に活用して未来を創造していくことが重要です。そのためには、魅力ある「とちぎ」で成長する子どもたちに、自分の生き方とつながる地域を意識させることが大切と考えます。

地域から学び、地域に関わる子どもたちの経験は、自分が社会的な存在であることを認識させます。地域と関わり行動する中で、その地域に貢献したり、そこに生きる人から認められたりすることによって、自分の存在を価値あるものとして受け止める自己有用感を高め、子どもたちは、未来の社会がどのように変化したとしても、自信をもって一歩前へ歩み出し、未来を切り拓く力を身に付けるようになります。

今後、持続可能な社会を確かなものにしていくため、とちぎの教育を受けた誰もが、自他の幸せや豊かな社会の実現を目指して、生涯にわたって着実に歩み続けていけるようにすることが本県教育の果たす役割であると考えます。

## 【本県教育の基本目標】

本県教育の基本理念のもと、今後の本県教育が目指す基本目標として「学びの基盤をつくる」「志を立て未来をつくる」「育ちあえる絆をつくる」の 3 つを設定します。本県教育に携わる者が広くこの基本目標を共有することが大切です。

## 基本目標

学びの基盤をつくる  
志を立て未来をつくる  
育ちあえる絆をつくる

## 2 栃木県教育大綱

平成 27(2015)年度に 3 回にわたる総合教育会議において、知事と教育委員会が協議をし、平成 28 年 3 月に知事が「栃木県教育大綱」を策定しました。

「栃木県教育大綱」は、3 つの「基本目標」と 9 つの「施策の方向」を掲げるほか、「施策の方向プラス」として「心身の健康と豊かな人間性を育む食育の充実」を掲げています。

概要は、以下のとおりです。

### 第 1 はじめに

#### 1 趣旨

社会を取り巻く環境が大きく変化する中、誇れるふるさととちぎをつくり、次の世代に引き継ぐためには、人づくりが重要であり、郷土への愛着と誇りの醸成や知徳体の調和のとれた発達を促す取組等が大切である。また、子育てに最適な県となるためにも教育環境の充実は不可欠である。

こうした考えのもと、栃木県教育大綱を策定し、次代を拓き、地域を支えるとちぎの人づくりを推進していく。

#### 2 大綱の位置付け

本大綱は、地教行法第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、本県の教育、文化等の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定める「とちぎ元気発信プラン」、「栃木県教育振興基本計画 2020」との整合性を図る。

#### 3 大綱の対象期間

対象期間は、平成 28(2016)年度から令和 2(2020)年度までの 5 年間

### 第 2 基本目標

○「次代を拓き、地域を支えるとちぎの人づくり」を総合的に推進するため、次の 3 つを基本目標とする。

- 1 知・徳・体の調和のとれた発達を促すことによって生涯にわたって学び続ける力を育む。
- 2 自分の生き方を社会との関わりの中で考えさせることによって夢を志に高め未来を創造する力を育む。
- 3 地域の中で豊かな人間関係を築くことによって互いに育ちあうことのできる絆づくりを進める。

### 第 3 施策の方向

○上記の基本目標を達成するため、次の 9 つを施策の方

向とする。

- 1 確かな学力の育成と教育環境の整備
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 子ども一人ひとりに応じた教育・支援の充実
- 4 自分の生き方を考える教育の充実
- 5 地域を支える人材の育成
- 6 グローバル人材の育成
- 7 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- 8 スポーツを通じた人づくり
- 9 文化を通じた人づくり

### 第 4 施策の方向プラス

○上記の 3 つの基本目標全てに関連する取組を「施策の方向プラス」とする。

「心身の健康と豊かな人間性を育む食育の充実」

### 第 5 おわりに

○保健、医療、福祉、青少年健全育成、職業教育、安全対策など知事部局と教育委員会との緊密な連携が必要な課題が多くなっている。

○総合教育会議の設置を契機に、同会議等を活用しながら、課題に対する共通認識のもと、連携を一層強化し、大綱をはじめ、「とちぎ元気発信プラン」や「栃木県教育振興基本計画」等に位置づけられた人づくりに関する各種施策の着実な推進を図っていく。

# 3 教育行政重要施策

「栃木県教育振興基本計画 2020 ―教育ビジョンとちぎ―」に掲げる目標の実現に向けて、同計画の施策体系に基づく今年度の主な取組内容は次のとおりです。

## 1 学びの基盤をつくる

### (1) 基本施策 1

#### 「確かな学びを育む教育の充実」

- ①新たな学びに向けた指導体制強化事業
- ②創意ある教育課程の編成と実施
- ③高校生学力向上総合支援事業
- ④とちぎっ子学力アッププロジェクト(とちぎ学力向上推進事業)
- ⑤家庭学習促進支援
- ⑥情報教育の充実
- ⑦英語教育の充実
  - ・英語担当教員の指導力向上研修
- ⑧産業教育の推進
  - ・キャリア形成支援事業
  - ・起業家精神育成事業
  - ・高校生未来の職業人育成事業

### (2) 基本施策 2

#### 「豊かな心を育む教育の充実」

- ①道徳教育総合支援事業
- ②体験活動の充実
- ③青少年教育施設の充実
- ④家庭における読書活動の推進
- ⑤子どもの読書活動関係者への情報提供や支援
- ⑥子どもの読書ボランティア指導者の養成
- ⑦高校生読書活動推進事業
- ⑧学業指導の推進
- ⑨いじめ防止運動推進事業
- ⑩不登校児童生徒支援事業
- ⑪スクールカウンセラー等活用事業
- ⑫スクールソーシャルワーカー活用事業
- ⑬ネットトラブル対策事業
- ⑭SNS を活用した相談事業【新規】

〔 SNS を活用した双方向による相談を実施し、生徒が学校や家庭等での悩みを大人に相談しやすい仕組みを構築する。〕

### (3) 基本施策 3

#### 「健やかな体を育む教育の充実」

- ①教科体育の充実
- ②体力向上事業

### ③運動部活動の充実

#### ・部活動指導員配置事業【新規】

〔 外部人材を活用した部活動指導員を配置する市町に対して助成する。〕

- ④高等学校安全登山対策事業
- ⑤栃木県健康教育研究大会の開催
- ⑥健康教育対策及び研究事業
- ⑦健康づくりのための専門家派遣事業
- ⑧栃木県がん教育総合支援事業
- ⑨薬物乱用防止教室推進事業
- ⑩食育推進啓発事業
- ⑪つなげる食育チャレンジ推進事業
- ⑫栄養教諭等の研修の充実
- ⑬学校安全総合支援事業

### (4) 基本施策 4

#### 「特別支援教育の充実」

- ①特別支援教育体制の充実
- ②特別支援教育の充実
- ③発達障害児の支援
- ④入院高校生の支援
- ⑤高等学校における通級による指導の導入【新規】  
〔 研究実践校において通級による指導の実践研究を行うとともに、各県立高等学校における校内支援体制の整備を推進する。〕
- ⑥職業教育指導体制の強化
- ⑦自立活動指導の充実
- ⑧学校看護師の配置

### (5) 基本施策 5

#### 「幼児教育の充実」

- ①幼児教育と小学校教育の連携の深化・拡充
- ②教育・保育の質の向上
- ③幼児期の子どもを持つ保護者への支援

## 2 志を立て未来をつくる

### (6) 基本施策 6

#### 「自分の生き方を考える教育の充実」

- ①キャリア形成支援事業【再掲】
- ②インターンシップ推進事業
- ③とちぎ子どもの未来創造大学の運営
- ④国の事業を活用した学力向上の推進
  - ・スーパーサイエンスハイスクール
  - ・スーパープロフェッショナルハイスクール
  - ・スーパーグローバルハイスクール
- ⑤とちぎの高校生「じぶん未来学」の推進
- ⑥性に関する指導の推進

### (7) 基本施策 7

#### 「地域についての理解を深める教育の充実」

- ①とちぎふるさと学習の推進
- ②補助教材「栃木からみる世界と日本」の活用促進
- ③地域連携教員活動支援事業

- ④放課後子ども教室の推進
- ⑤とちぎの活動様式伝承事業

**(8) 基本施策 8**

**「伝統や文化に関する教育の充実」**

- ①芸術文化の鑑賞機会の充実
- ②文書館資料の充実と普及
- ③埋蔵文化財の展示・教育普及活動
- ④文化財保存事業
- ⑤遺跡発掘調査の実施
- ⑥とちぎ“いにしへの回廊”づくり事業
- ⑦日光杉並木街道保護事業

**(9) 基本施策 9**

**「グローバル化に対応した教育の充実」**

- ①グローバルコミュニケーション能力強化の推進
- ②国際教育の推進
- ③長期・短期留学支援
- ④起業家精神育成事業【再掲】
- ⑤高等学校ALT活用事業【新規】

大学入試改革に対応するため、コミュニケーションを重視した授業を取り入れるとともに、進学実績が高い高校については、ALTを個別に配置し、英語教育の質・量ともに充実を図る。

**(10) 基本施策 10**

**「社会に参画する力を育む教育の充実」**

- ①公共的な事柄に関わる学習の充実
- ②環境教育・エネルギー教育の充実
- ③福祉教育の充実
- ④地域課題を探究し解決を図る学習の充実
- ⑤青少年リーダーの育成
- ⑥公民館等の社会教育施設における学習活動の充実

**3 育ちあえる絆をつくる**

**(11) 基本施策 11**

**「人権尊重の精神を育む教育の充実」**

- ①人権教育推進体制の充実
  - ・総合的な推進を図るための各種会議の開催
  - ・人権教育推進のための支援訪問
- ②人権教育指導者の養成
  - ・各種研修会の開催
- ③人権に関する指導・学習資料の作成及び活用推進
- ④人権教育に関する研究の指定
  - ・人権教育研究推進事業
  - ・人権教育研究学校指定事業
- ⑤地域や家庭への啓発

**(12) 基本施策 12**

**「県民一人一人の生涯学習への支援」**

- ①栃木県生涯学習推進計画五期計画の推進
- ②生涯学習を推進する指導者の養成と活動支援
- ③とちぎ子どもの未来創造大学の運営【再掲】
- ④アカデミアとちぎ推進事業

- ⑤とちぎ県民カレッジの推進
- ⑥学習情報提供システムの運営
- ⑦県立図書館の充実
- ⑧生涯学習ボランティアの推進
- ⑨地域課題解決型学習の推進

**(13) 基本施策 13**

**「学校・家庭・地域の連携による教育の充実」**

- ①ふれあい学習の推進
- ②地域連携教員活動支援事業【再掲】
- ③地域教育コーディネーターの養成
- ④社会教育主事講習への派遣
- ⑤学校支援地域本部の取組促進
- ⑥地域未来塾の推進
- ⑦放課後子ども教室の推進【再掲】
- ⑧「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動の推進

**(14) 基本施策 14**

**「地域全体で支える家庭教育への支援」**

- ①家庭教育支援者の養成
  - ・家庭教育オピニオンリーダー研修
  - ・家庭教育支援プログラム指導者研修
- ②親学習プログラムの普及・定着
- ③家庭・地域いじめ対策教育支援
- ④とちぎの高校生「じぶん未来学」の推進【再掲】
- ⑤家庭教育・子育て支援関係者広域ネットワーク
- ⑥家庭教育相談体制の充実

**(15) 基本施策 15**

**「スポーツを通じた教育の充実」**

- ①広域スポーツセンターの事業
- ②とちぎスポーツフェスタの開催
- ③スポーツ選手の育成強化
- ④国体に向けた競技力向上
- ⑤オリンピック・パラリンピック教育推進事業

**4 基本施策推進のための教育環境づくり**

**(16) 教育環境づくり<sup>1</sup>**

**「教員の資質・能力の向上」**

- ①教職員の人材確保
- ②教員研修計画等の策定
- ③教職員研修の実施
- ④とちぎの教育未来塾の実施
- ⑤現職教員の大学院研修派遣及び内地留学生派遣
- ⑥かがやきプロジェクト（加配の活用）
  - ・学力向上推進リーダーの配置
- ⑦教職員等の健康診断の実施
- ⑧各種メンタルヘルス対策の実施
- ⑨ストレスチェック事業

## (17) 教育環境づくり②

### 「学校の指導体制の整備」

- ① いきいきプロジェクト（少人数学級の充実）【一部新規】
  - ・小中学校少人数学級推進事業  
小学校第1～4学年及び中学校全学年で実施している35人以下学級について、小学校第5学年においても実施する。
- ② スマイルプロジェクト（非常勤講師配置の充実）
  - ・小中義務教育学校非常勤講師配置事業
- ③ かがやきプロジェクト（加配の活用）
  - ・学力向上実践加配の配置
- ④ スクールカウンセラーの配置【再掲】
- ⑤ スクールソーシャルワーカーの配置【再掲】

## (18) 教育環境づくり③

### 「社会の変化に対応した特色ある学校づくり」

- ① 第二期県立高等学校再編計画の推進
- ② 学校評議員制度の推進
- ③ 学校運営協議会推進事業

## (19) 教育環境づくり④

### 「学校施設・設備の整備と学校の安全管理」

- ① 高等学校校舎等の維持管理
- ② 県立学校施設長寿命化推進事業
- ③ 県立学校空調設備運営費【新規】  
県立高校普通教室の空調設備を管理運営する。
- ④ 産業教育設備の整備
- ⑤ 公立学校施設の整備促進
- ⑥ 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
- ⑦ 高等学校安全登山対策事業
- ⑧ 学校安全推進事業

## (20) 教育環境づくり⑤

### 「青少年教育施設とスポーツ施設の整備」

- ① 新青少年教育施設の整備
- ② 総合スポーツゾーンの整備
- ③ 県立スポーツ施設の改修

# 4 企 画

## (1) 平成30(2018)年度教育施策の策定

本県の教育の現状と課題並びに県民や時代の要請を踏まえて、より充実した教育行政を推進するために、県教育委員会の各課室所館・各教育機関との連携のもとに、平成30(2018)年度重要施策を策定しました。さらに、これを冊子「平成30(2018)年度教育施策」として刊行し、教育機関等に配布しました。

## (2) 企画調整専門部会の設置の展開

当面する教育行政上の諸問題に対応するため、県教育委員会事務局内の研究組織として、事務局各課室・総合教育センター等で構成する企画調整専門部会（プロジェクトチーム）を次のとおり設置し、それぞれの検討課題について研究を進めました。

### ア 教員採用の改善に関する検討部会

幅広い視野と豊かな人間性を持ち実践的な指導力を備えた人材を確保するための教員の採用のあり方について検討しました。

### イ 新たな職に関する検討部会

副校長の設置については、一斉全校配置案だけでなく、副校長・教頭併置案についても具体的な配置方法、配置効果、給与等の試算などを具体的に検討しました。また、副校長の職務内容（校長から委譲できる権限等）等についても引き続き検討しました。さらに、主幹教諭については、配置拡大を図るため、アンケート調査結果等を踏まえて効果的な配置方法、職務内容等を検討しました。

### ウ 県立学校における土曜日の活用に関する検討部会

学校教育法施行規則が一部改正され、土曜授業を行うことが可能であることが示された。また、新しい高等学校学習指導要領が公示され、2022年度から学年進行で実施される。各学校が教育課程を編成する上で、土曜日をどのように活用できるかを検討しました。

### エ 高校入試改善検討部会

本県の高等学校入学者選抜の充実・改善を図るため、入学者選抜に係る資料・方法等の見直しや改善等について検討しました。

### オ 高等学校における特別支援教育の充実に関する検討部会

高等学校における障害等のある生徒に対する教育の充実について検討しました。

カ 今後の特別支援学校の在り方に関する検討部会  
特別支援学校の児童生徒数の推移等を踏まえ、教育環境の充実等に関する対応の方向性について検討しました。

### (3) 国の施策等に対する提案・要望

平成 31 (2019) 年度の事業を円滑に進めるため、国の施策等に対する提案・要望活動を行いました。提案・要望事項は次のとおりです。

- 特別支援教育に係る支援環境の整備・充実について
- 小・中学校及び高等学校における教育相談体制の充実について
- きめ細かな指導ができる教育環境の整備について
- 公立学校施設の整備促進に係る施策の充実について
- 高校生の山岳事故防止対策等の充実強化について
- 登録有形文化財（建造物）保護に係る施策の充実について

## 5 広 聴 ・ 広 報

### (1) 広聴事業の処理

教育委員会及び県民生活部広報課で実施している広聴事業において、教育委員会に関わる県民からの要望、意見、提案等に対応しました。

### (2) 「県教委だより」

「県教委だより」は、県内の教職員や教育関係者、また、教育に関心がある県民の皆さんに、教育情報を積極的に提供することを目的として、栃木県教育委員会ホームページ「とちぎの教育」において、年 4 回配信しています。県教育委員会の各施策や事業の紹介、県教育委員会各課室所館の催し物・募集のお知らせ等、様々な教育情報を提供しています。

### (3) 県政記者クラブを通じての広報

#### ア 教育長記者会見

教育に関する県民の正しい理解と協力を得ながら教育行政を積極的に推進するため、教育長記者会見を行いました。

平成 30 (2018) 年度は、計 8 回開催しました。

#### イ 県政記者クラブ発表

県民に対してタイムリーな広報を行うため、県教育委員会に係る重要な事項については説明により、また、軽易な事項については関係資料の提供により、それぞれ県政記者クラブに発表しました。

### (4) 「とちぎテレビ」を活用した広報

栃木県教育放送番組「“学” ビジョンとちぎ」は、県域放送の特性を活かし、県民の皆様に学校教育や生涯学習等に関する各種教育情報を提供していくことを目的に企画・制作し、放送しています。

平成 30 (2018) 年度は、次のとおり番組を企画・制作し、放送しました。

○イブニング 6Plus (毎週月～金曜日 18:00 ～ 19:00 放送) コーナー内「“学” ビジョンとちぎ」

- ・毎週月曜日 18:40 ごろから 4 分間
- ・47 本製作、年間 47 回放送
- ・県教育委員会の事業や施設の紹介
- ・県立学校紹介
- ・生涯学習、スポーツ、文化財の情報等

## (5) 「ホームページ」を活用した広報・広聴

県内外の皆さんに本県教育についての理解を深めていただくことを目的に、栃木県の公式ホームページ内に「とちぎの教育」を開設しています。

インターネットの特性を生かし、県教育委員会各課室所館の主要事業、行事・催し物、審議会等の情報提供を行いました。

また、電子メール等により、教育委員会への意見・提言等を広く聴取しました。

# 6 調査統計

## (1) 公立学校教員構成調査

調査の結果は、平成 30(2018)年 10 月「教育調査報告書第 190 号」として刊行しました。

### ア 調査の目的

公立小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員構成を明らかにし、行政施策の基礎資料を得ることを目的とします。

### イ 調査の構成及び調査対象

公立小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校教員の本務者について、年齢、勤務年数、出身学校、授業時数、所有免許状等について調査しました。

### ウ 調査の期日

平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

## (2) 新年度児童生徒数・学級数見込調査

### ア 調査の目的

新年度の児童生徒数・学級数等を把握し、教育行政上の基礎資料を得ることを目的とします。

### イ 調査の対象

市町立小・中学校及び義務教育学校について調査しました。

### ウ 調査の期日

平成 30(2018)年 9 月 1 日現在

## (3) 中学校等生徒の進路希望調査

### ア 調査の目的

中学校等の 3 年生の進路希望状況を把握し、進路指導及び高等学校の課程、学科等整備計画の基礎資料を得ることを目的とします。

### イ 調査の構成及び調査対象

県内国・公・私立の中学校、義務教育学校（後期課程）、私立中等教育学校（前期課程）及び国公立特別支援学校中学部 3 年生全員を対象に、上級学校進学希望状況、就職希望状況等を調査しました。

### ウ 調査の期日

平成 30(2018)年 10 月 1 日・12 月 1 日現在の 2 回

## (4) 中学校・高等学校等卒業者の進路状況調査

### ア 調査の目的

教育行政計画の立案及び進学・就職などの進路指導のための基礎資料を得ることを目的とします。



イ 調査の構成及び調査対象  
県内国・公・私立中学校、義務教育学校（後期課程）、私立中等教育学校（前期課程）及び公立高等学校の平成 30(2018)年 3 月卒業者を対象に、上級学校進学状況・就職状況等を調査しました。

ウ 調査の期日  
平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

#### (5) 全日制高等学校生徒の他県との交流調査

ア 調査の目的  
全日制高等学校生徒の他県との交流状況を明らかにし、行政上の基礎資料を得ることを目的とします。

イ 調査の構成及び調査対象  
県内国・公・私立の中学校、義務教育学校（後期課程）、私立中等教育学校（前期課程）及び高等学校を対象に、本県中卒者の他県高等学校への進学状況及び他県の中卒者の本県への進学状況を調査しました。

ウ 調査の期日  
平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

#### (6) 体格・体力・運動能力に関する調査（児童生徒に関する行政調査システム）

調査の結果は、「栃木県児童生徒の体力」として刊行しました。

ア 調査の目的  
児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料として活用することを目的とします。

イ 調査の構成及び調査対象  
公立小・中学校及び義務教育学校の児童生徒約 144,000 人、高等学校の生徒約 35,000 人を対象に、体格・体力・運動能力について調査しました。

ウ 調査の期日  
体格・体力・運動能力に関する調査 平成 30(2018)年 5～7 月（身体測定・新体力テスト）

#### (7) 地方教育費調査（文部科学省調査）

調査の結果は、平成 31(2019)年 3 月「教育調査報告書第 191 号」として刊行しました。

ア 調査の目的  
地方教育費の使途と財源の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、国及び地方公共団体が教育施策を決定する際の資料に供することを目的とします。

イ 調査の構成及び調査対象  
平成 29(2017)会計年度において、国・県・市町が公教育に支出した経費及び P T A 等の寄付金を調査しました。

対象は、全国の都道府県・市町村・組合の教育委員会及び公立諸学校です。

ウ 調査の期日  
平成 28(2017)会計年度について、平成 30(2018)年 6 月～9 月に調査しました。

#### (8) 平成 30(2018)年度の刊行物

- ・平成 29(2017)年度 栃木県の教育
- ・栃木県児童生徒の体力 平成 31(2019)年 3 月
- ・教育行政資料要覧 平成 31(2019)年 3 月
- ・とちぎ教育のしおり 平成 30(2018)年度
- ・教育調査報告書 第 190 号・第 191 号
- ・平成 30(2018)年度 中学校等生徒の進路希望調査報告書（年 2 回）
- ・平成 30(2018)年度 中学校等卒業者の進路状況調査報告書
- ・平成 30(2018)年度 県立高等学校等卒業者の進路状況調査報告書

# 7 人権教育の 企画・調整

県教育委員会は、「栃木県人権教育基本方針」（平13(2001).11.6 決定）に基づき、「栃木県教育振興基本計画2020—教育ビジョンとちぎ—」（平28(2016)～令和2(2020)年度）に沿うとともに、「栃木県人権尊重の社会づくり条例」（平15(2003).4.1 施行）及び「栃木県人権施策推進基本計画（2016～2025）」（平28(2016)～令和7(2025)年度）等を踏まえ、県内すべての学校すべての地域において人権教育を推進してきました。

## (1) 人権教育推進体制の充実に向けた支援

すべての学校すべての地域で人権教育が効果的に推進されるよう、人権教育推進体制の充実に向けた支援に努めました。

- 人権教育推進会議
- 市町教育委員会教育長人権教育連絡会議
- 人権教育担当者連絡会議
- 人権教育担当指導主事会議
- 人権教育担当社会教育主事会議 等

## (2) 人権教育指導者の養成と資質・能力の向上

人権教育に携わる指導者を養成するとともに、指導者としての資質・能力の向上に努めました。

### ア 各種指導者研修会等の開催

- 性的マイノリティの理解と対応のための研修会
  - ・ 6月8日（金）とちぎ男女共同参画センター
- 人権教育推進担当者研修会
  - ・ 7月31日（火）とちぎ男女共同参画センター
- デートDV を考える研修会
  - ・ 8月10日（金）とちぎ男女共同参画センター
- 性暴力について考える研修会
  - ・ 8月10日（金）とちぎ男女共同参画センター
- 児童虐待に対応するための研修会
  - ・ 9月6日（木）総合教育センター
- 人権教育担当者スキルアップ研修
  - ・ 9月20日（木）県庁東館講堂

## イ 人権教育研究学校・研究推進地域指定状況

図Ⅱ－1 研究学校の指定  
(小・中・高等学校関係S52(1977)年開始)

年度	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
H17(2005) ～18 指定	小4												
18～19 指定	高1												
19～20 指定	小2												
20～21 指定	高1												
21～22 指定													
22～23 指定													
23～24 指定													
24～25 指定													
25～26 指定													
26～27 指定													
27～28 指定													
28～29 指定													
29～30 指定													
30～R 1(2019) 指定													
計	小6 中0 高2	小4 中0 高2	小3 中1 高2	小1 中3 高2	小1 中3 高2	小2 中2 高2	小2 中2 高2	小3 中1 高2	小3 中1 高2	小3 中1 高2	小4 中0 高2	小2 中2 高2	小2 中2 高1

※網掛け：文部科学省指定

図Ⅱ－２ 研究推進地域の指定

(S54(1979)年開始)

年度	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
H19(2007)～21 指定	1									
20～22 指定	1 →									
21～23 指定	1 →→									
22～24 指定		1 →→								
23～25 指定			1 →→							
24～26 指定				1 →→						
25～27 指定					1 →→					
26～28 指定						1 →→				
27～29 指定							1 →→			
28～29 指定								1 →→		
29～30 指定									1 →	
30～R 1(2019) 指定										1
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

※網掛け：文部科学省指定

### (3) 学習内容及び方法の改善・充実と啓発の推進

○人権について理解を深め、人権意識を高められるよう、指導資料等を計画的に作成し、その活用を図ってきました。

- ・人権教育推進の手引
- ・人権に関する文集 あすへのびる－第38集－
- ・人権の窓（小学6年学習資料）
- ・ 〃 （中学2年学習資料）
- ・ 〃 （高校1年学習資料）
- ・ 〃 （保護者用啓発資料）
- ・人権教育だより第49・50号（ホームページ掲載）
- ・小中学校人権教育指導資料  
「人権教育推進のためのQ&A 直接的指導編」
- ・人権に関する社会教育指導資料  
「人権ワークショップ2018」

○学校及び関係機関との連携のもとに啓発活動を積極的に推進してきました。

- ・人権に関する作文の募集・審査・表彰・発表
- ・人権に関するイラストの募集・審査・表彰・展示
- ・人権教育に関するテレビ番組の制作・放映

## 〔Ⅲ〕 教 育 財 政

# 1 教育財政

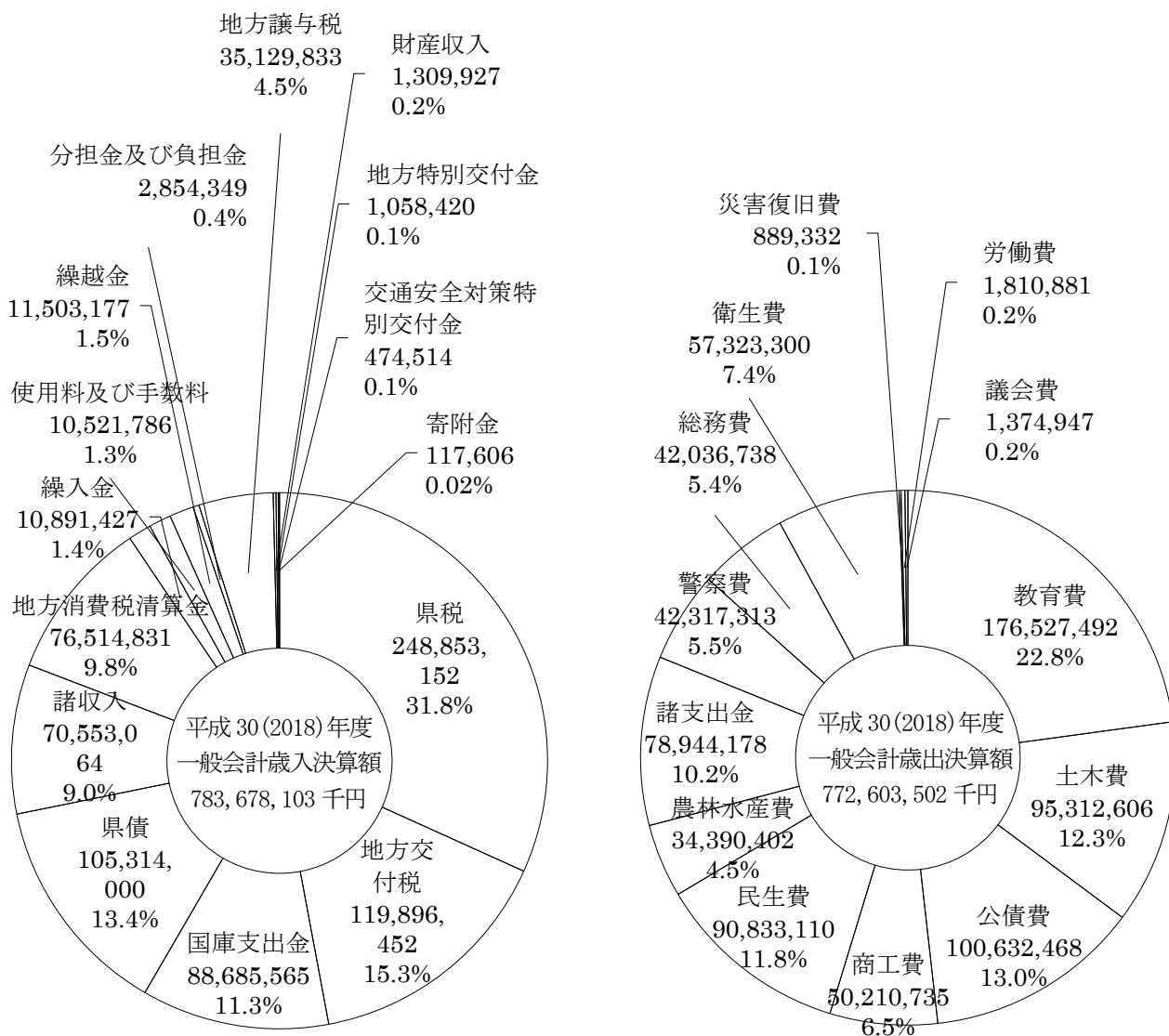
## (1) 教育予算（決算額）

平成30(2018)年度の栃木県の一般会計歳出決算額は、総額772,603,502千円（前年度774,639,380千円）でした。このうち、教育費は176,527,492千円（前年度176,440,904千円）で、これは総額の22.8%（前年度22.8%）に当たります。

なお、県の歳入歳出決算額の内訳は図Ⅲ－1のとおりです。

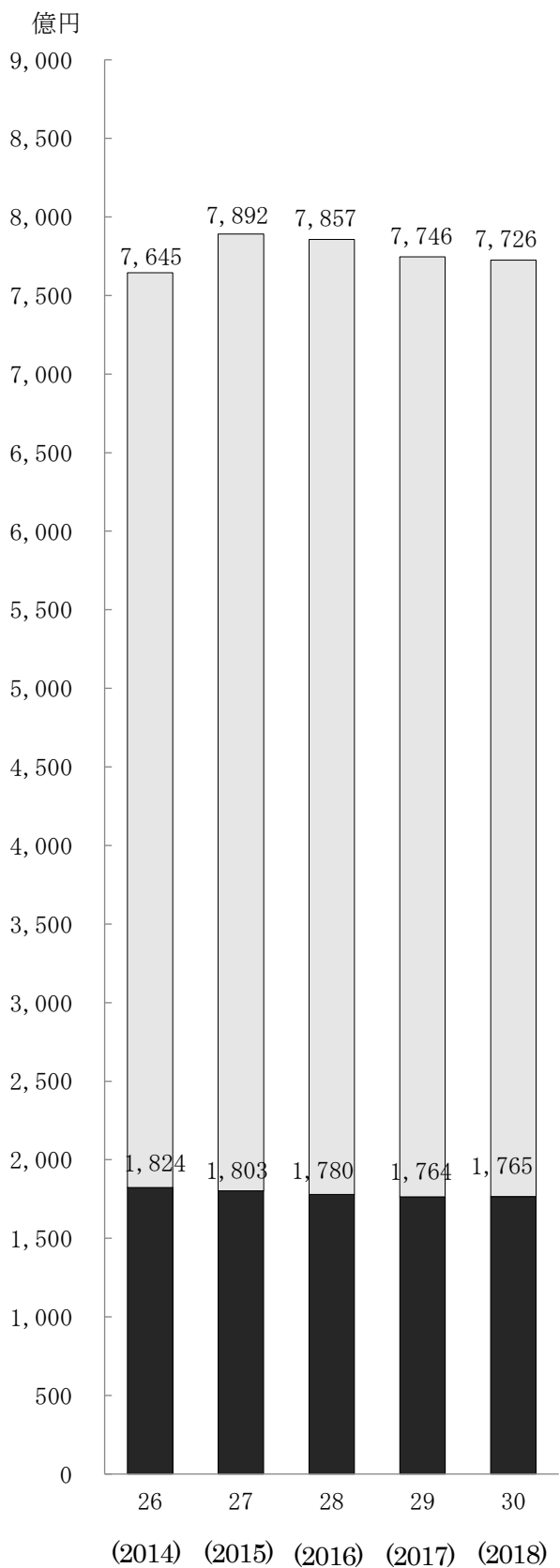
また、県の歳出決算及びそれに占める教育費決算の比率の推移を5か年にわたってみますと図Ⅲ－2のとおりとなります。

図Ⅲ－1 平成30(2018)年度一般会計歳入歳出決算額の内訳（千円）



(注) 構成比は、款名ごとに四捨五入しているため合計が100%にならないことがある。

**図Ⅲ－２ 教育予算（決算額）**  
最近5か年における決算額の推移とそれに占める教育費

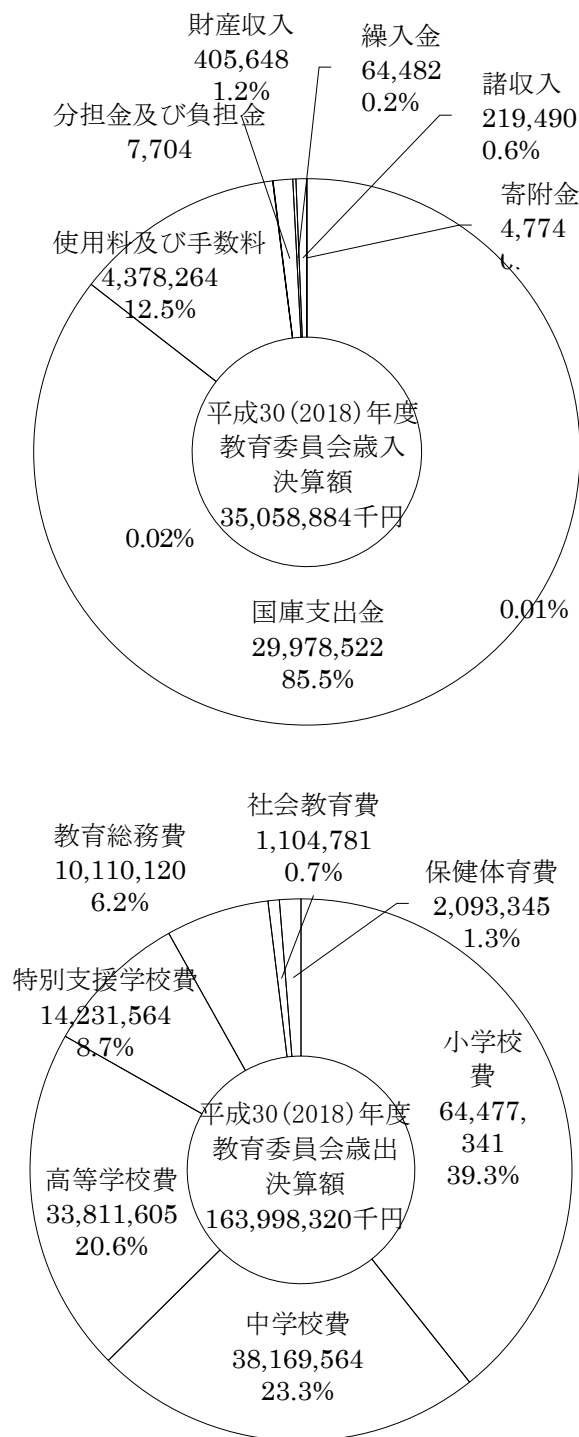


**(2) 県教育委員会に関する決算額**

平成30(2018)年度県教育委員会に関する歳入歳出決算額の内訳は、図Ⅲ－3のとおりです。歳入科目中もっと大きな比率を占めているのは、国庫支出金で、その大部分は、義務教育をすすめていくための義務教育費負担金です。

歳出の方でも義務教育費（小・中学校費）が特に多く、大部分は給与費として支出されています。

**図Ⅲ－3 県教育費歳入歳出決算額の内訳（千円）**



(注) 構成比は、款名ごとに四捨五入しているため合計が100%にならないことがある。

## [IV] 学 校 管 理

# 1 学 校 施 設

## (1) 小・中学校等（平成 30(2018). 5. 1 現在）

※義務教育学校については、1～6 学年を小学校、7～9 学年を中学校として数値等を各校へ計上した。

### ア 面積と構造比率

#### (7) 校舎

本県の公立小・中学校等校舎の面積は、表Ⅳ－1 のとおり小学校（363 校）が 1,472,811 m<sup>2</sup>、中学校（158 校）が 855,497 m<sup>2</sup>となっています。

これらの面積を構造別にみると、木造校舎は小学校で約 1.6%、中学校では約 0.9%を占めています。小・中学校ともに鉄筋コンクリート造によるものが多く約 94%を占めており、老朽化した危険建物の改築により、新たに建築される建物では鉄筋コンクリート造及び鉄骨造が大部分を占めています。

現在では、教育方法の多様化のなかで、学校建築の傾向も、従来の画一的な量的整備から、教育環境の質的向上をも考慮した質的整備へと移行しています。各市町とも施設整備には強い意欲を持っており、ゆとりと潤いのある豊かな教育空間を求め多目的スペースの設置、木材の積極的な利用、学校開放のための地域学校連携施設整備等の試みがなされています。

#### (4) 屋内運動場

屋内運動場の面積は、表Ⅳ－1 のとおり小学校が 312,028 m<sup>2</sup>、中学校が 196,030 m<sup>2</sup>となっており、その構造比率は小学校の約 95.2%、中学校の約 98.7%が鉄筋コンクリート造及び鉄骨・その他造となっています。なお、近年は木造による改築も行われています。

本県の公立小・中学校等で屋内運動場を保有している学校は、小学校で 363 校中 360 校（99.2%）、中学校では 158 校中 153 校（98.7%）となっています。校舎整備と並行して早期に 100%の保有率を達成する必要があると思われます。

## (2) 県立高等学校（平成 30(2018). 5. 1 現在）

### ア 面積と構造比率

#### (7) 校舎

県立高等学校における校舎の面積は、表Ⅳ－1 のとおり 60 校 641,963 m<sup>2</sup>で、1 校当たりの面積は約 10,699 m<sup>2</sup>となっています。

学校毎の面積の違いは、学級数の多少にもよりますが、総体的に 10,000 m<sup>2</sup>を越す学校は、農業、工業、商業といった実業系の学校に多く、これは普通校に比べ特別教室や実習関係の施設を多く持っているためです。

また、校舎面積を生徒 1 人当たりになると約 17.3 m<sup>2</sup>となります。

次にこの面積を構造別にみますと、鉄筋コンクリート造 85.2%、鉄骨造 13.6%、木造 1.1%となり、鉄筋及び鉄骨造が大部分を占めています。

#### (4) 屋内運動場

屋内運動場の面積は、表Ⅳ－1 のとおり総面積は 155,030 m<sup>2</sup>となっています。

また、この面積を構造別にみますと、鉄筋コンクリート造 22.8%、鉄骨造 76.6%、木造 0.7%となっています。

#### (7) 校地面積

県立高等学校における校地の総面積は、表Ⅳ－2 のとおり 4,924,085 m<sup>2</sup>で、その内訳は、建物敷地 32.0%、運動場 34.3%、実験実習その他 33.2%、借地 0.5%となっています。1 校当たりの校地の面積は約 82,068 m<sup>2</sup>となり広くみえますが、これは農業高校等の実験実習地が相当な面積で含まれているためです。

また、運動場面積は生徒 1 人当たり約 45.4 m<sup>2</sup>となります。



表Ⅳ－１ 公立学校建物の実態調査

学校種別	学校数	校舎 (㎡)				屋内運動場 (㎡)			
		鉄筋コンクリート造	その他造骨	木造	計	鉄筋コンクリート造	その他造骨	木造	計
小学校	363	1,394,225	54,420	24,166	1,472,811	39,312	257,804	14,912	312,028
割合		94.7%	3.7%	1.6%		12.6%	82.6%	4.8%	
中学校	158	798,942	48,973	7,582	855,497	44,837	148,571	2,622	196,030
割合		93.4%	5.7%	0.9%		22.9%	75.8%	1.3%	
高校	60	547,261	87,464	7,238	641,963	35,302	118,699	1,029	155,030
割合		85.2%	13.6%	1.1%		22.8%	76.6%	0.7%	
特別支援学校	15	82,251	8,207	40	90,498	1,000	8,293	0	9,293
割合		90.9%	9.1%	0.0%		10.8%	89.2%	0.0%	

※端数処理の関係上、割合の合計が100%にならない場合があります。

表Ⅳ－２ 県立学校校地面積

(H30(2018).5.1現在、単位：㎡、人)

番号	区分 学校名	校地面積	内 訳				生徒一人 あたりの 校地面積	生徒数 (訪問学級 等除く)
			建物敷地面積	運動場面積 (借地除く)	実験・実習・その他	借用面積		
1	宇 都 宮	111,377	19,580	56,393	35,404	0	133	837
2	宇都宮東(中学含む)	53,223	18,158	33,028	1,349	688	68	780
3	宇 都 宮 南	55,447	21,194	30,000	4,253	0	58	958
4	宇 都 宮 北	58,326	19,512	37,222	1,592	0	61	955
5	宇 都 宮 清 陵	76,958	31,197	30,052	15,709	0	93	829
6	宇 都 宮 女 子	36,132	22,925	11,515	1,692	0	43	836
7	宇都宮中央女子	67,232	42,320	24,912	0	0	81	834
8	宇 都 宮 白 楊	332,434	84,919	27,550	219,965	0	389	855
9	宇 都 宮 工 業	79,620	42,453	37,167	0	0	83	959
10	宇 都 宮 商 業	42,335	15,401	24,240	267	2,427	51	835
11	鹿 沼	38,377	22,783	13,551	0	2,043	54	713
12	鹿 沼 東	70,298	27,400	31,760	11,138	0	118	597
13	鹿 沼 南	309,005	35,306	16,386	257,313	0	529	584
14	鹿 沼 商 工	43,894	24,757	13,693	3,227	2,217	75	589
15	今 市	37,927	23,034	14,893	0	0	64	594
16	今 市 工 業	57,215	29,726	25,949	1,540	0	128	447
17	日 光 明 峰	50,973	9,131	41,842	0	0	340	150
18	上 三 川	61,781	21,188	40,593	0	0	133	465
19	石 橋	43,705	23,416	18,985	0	1,304	61	716
20	小 山	61,163	22,018	39,145	0	0	88	699
21	小 山 南	59,997	20,175	39,822	0	0	128	469
22	小 山 西	60,413	24,246	36,167	0	0	102	594
23	小 山 北 桜	208,620	55,551	34,795	116,282	1,992	382	546
24	小 山 城 南	45,233	20,231	22,884	2,118	0	77	590
25	栃 木	126,608	23,635	19,266	77,087	6,620	177	714
26	栃 木 女 子	40,062	20,143	18,628	303	988	56	721
27	栃 木 農 業	251,520	43,098	29,567	178,855	0	491	512
28	栃 木 工 業	52,680	21,502	31,178	0	0	88	596
29	栃 木 商 業	36,669	15,864	16,210	0	4,595	62	587
30	学 悠 館	19,024	10,682	6,750	503	1,089	41	461
31	栃 木 翔 南	56,797	18,402	38,395	0	0	95	596
32	壬 生	61,059	12,119	48,940	0	0	129	475
33	佐野(中学含む)	64,005	21,173	35,398	7,434	0	82	784
34	佐 野 東	42,498	14,501	27,997	0	0	63	673
35	佐 野 松 桜	57,098	19,559	37,539	0	0	84	680
36	足 利	38,613	19,061	19,552	0	0	74	521
37	足 利 南	59,874	25,624	34,250	0	0	127	473
38	足 利 女 子	28,960	17,612	11,348	0	0	48	598
39	足 利 工 業	46,386	23,083	23,303	0	0	78	592
40	足 利 清 風	41,813	12,884	27,522	1,407	0	70	597
41	真 岡	62,642	27,343	28,898	6,401	0	105	598
42	真 岡 女 子	39,238	20,520	16,509	2,209	0	66	598
43	真 岡 北 陵	249,322	37,500	32,210	178,190	1,422	452	551
44	真 岡 工 業	53,596	19,279	34,317	0	0	111	481
45	益 子 芳 星	66,281	20,605	36,075	9,601	0	141	470
46	茂 木	51,528	15,640	35,720	168	0	111	464

番号	学校名	区分	校地面積	内 訳			生徒一人あたりの校地面積	生徒数 (訪問学級等除く)	
				建物敷地面積	運動場面積 (借地除く)	実験・実習・その他			借用面積
47	烏山		67,962	35,248	26,754	5,940	20	121	561
48	馬頭		55,291	14,780	29,583	10,928	0	196	282
49	大田原		75,221	27,586	26,699	20,936	0	108	699
50	大田原女子		59,392	20,722	12,418	26,252	0	88	678
51	黒羽		52,205	24,335	27,364	506	0	117	448
52	那須拓陽		272,712	23,497	32,381	216,834	0	386	706
53	那須清峰		65,752	48,422	17,330	0	0	97	677
54	那須		42,303	22,927	19,376	0	0	110	384
55	黒磯		59,547	19,383	25,903	14,261	0	100	593
56	黒磯南		61,604	30,230	31,374	0	0	128	481
57	矢板		329,908	110,668	16,786	202,454	0	612	539
58	矢板東(中学含む)		72,312	28,533	43,779	0	0	106	681
59	高根沢		58,004	7,683	50,321	0	0	98	590
60	さくら清修		43,914	27,015	16,830	69	0	61	719
合計			4,924,085	1,577,479	1,689,014	1,632,187	25,405	132	37,211

番号	学校名	区分	校地面積	内 訳			生徒一人あたりの校地面積	生徒数 (訪問学級等除く)	
				建物敷地面積	運動場面積 (借地除く)	実験・実習・その他			借用面積
1	盲		51,741	15,000	18,000	18,741	0	1,078	48
2	聾		29,406	15,690	8,288	5,428	0	368	80
3	のざわ		30,005	23,920	5,400	685	0	213	141
4	わかくさ		3,270	0	0	0	3,270	113	29
5	富屋(分校含む)		24,912	18,392	715	1,359	4,446	62	400
6	岡本		13,449	9,700	3,749	0	0	320	42
7	宇都宮青葉		17,989	11,695	5,920	374	0	76	238
8	今市		29,385	18,799	9,740	846	0	319	92
9	国分寺		19,422	13,307	0	0	6,115	65	300
10	栃木		33,097	20,585	10,400	2,112	0	119	278
11	足利		6,784	3,050	3,734	0	0	133	51
12	足利中央		24,228	18,929	4,951	348	0	97	249
13	益子		19,011	12,697	5,418	896	0	96	199
14	那須		24,529	14,911	9,207	411	0	84	292
15	南那須		27,164	22,664	4,500	0	0	179	152
合計			354,392	219,339	90,022	31,200	13,831	137	2,591

※校地面積は公有財産管理台帳と突き合わせ済み(ただし、端数の関係等で誤差が生じている)。

## 2 県立学校の 授業料・入学料

### (1) 授業料

#### ア 授業料の区分

現行の授業料は下記のとおりです。

区 分	授 業 料	
	年 額	月 額
高等学校（全日制の課程）	118,800円	9,900
〃（定時制の課程）	31,920	2,660
〃（通信制の課程）	1 単位年額 320 円	

(注) 定時制課程の月額授業料は19単位を履修の場合

#### イ 高等学校（全日制の課程）の授業料の推移

表Ⅳ-3

年 度	授 業 料	年 度	授 業 料
昭和48(1973)	年額 11,400円	平成8(1996)	年額 104,400円
49(1974)	11,400	9(1997)	104,400
50(1975)	11,400	10(1998)	104,400
51(1976)	28,800	11(1999)	108,000
52(1977)	38,400	12(2000)	108,000
53(1978)	38,400	13(2001)	108,000
54(1979)	57,600	14(2002)	111,600
55(1980)	57,600	15(2003)	111,600
56(1981)	67,200	16(2004)	111,600
57(1982)	67,200	17(2005)	115,200
58(1983)	67,200	18(2006)	115,200
59(1984)	74,400	19(2007)	115,200
60(1985)	74,400	20(2008)	118,800
61(1986)	74,400	21(2009)	118,800
62(1987)	82,800	22(2010)	118,800
63(1988)	82,800	23(2011)	118,800
平成元(1989)	82,800	24(2012)	118,800
2(1990)	88,800	25(2013)	118,800
3(1991)	88,800	26(2014)	118,800
4(1992)	88,800	27(2015)	118,800
5(1993)	98,400	28(2016)	118,800
6(1994)	98,400	29(2017)	118,800
7(1995)	98,400	30(2018)	118,800

(注) ・平成22(2010)年度から平成25(2013)年度までは、公立高等学校の授業料無償化により、県立高校の授業料は原則として不徴収

- ・平成26(2014)年度から授業料に充てるため、市町村民税所得割額30万4,200円未満の世帯に高等学校等就学支援金を支給
- ・平成30(2018)年度7月支給分から、市町村民税所得割額と道府県民税所得割額の合算額が50万7,000円未満の世帯に高等学校等就学支援金を支給

#### ウ 授業料の減免

保護者等が、次の事項に該当し、授業料の納入が困難な事情がある場合は授業料の免除を受けることができます。

- 生活保護法により、生活保護を受けている者（被保護者）
- 保護者が死亡、心身の障害又は長期の傷病の状況にある者
- 保護者が火災、風水害その他の災害にかかり、著しい損害を受けた者
- 児童福祉法により、里親委託措置又は児童福祉施設等に入所措置されている者
- 生活状況が被保護者に準ずる状況にある者

### (2) 入学料

現行の入学料は下記のとおりです。

区 分	入 学 料
高等学校（全日制の課程）	5,650 円
〃（定 時 制）	2,100
〃（通 信 制）	200

# 3 学校数・学級数 児童数・生徒数

## (1) 幼稚園(国・公・私立)

### ア 園数

平成30(2018)年度の幼稚園の数は、国立1園、公立1園、私立98園、計100園で前年度より14園減少しました。

(表IV-4、7 参照)

### イ 園児数

平成30(2018)年度の園児数は、15,039人です。これを国公立別に見ると国立157人(1.0%)、公立83人(0.6%)、私立14,799人(98.4%)で、男女別では男子7,639人(50.8%)、女子7,400人(49.2%)です。

(表IV-4 参照)

## (2) 幼保連携型認定こども園(公・私立)

### ア 園数

平成30(2018)年度の幼保連携型認定こども園の数は公立4園、私立90園、計94園です。前年度より13園増加しました。

### イ 園児数

平成30(2018)年度の園児数は、16,383人です。これを公立別に見ると公立464人(2.8%)、私立15,919人(97.2%)で、男女別では男子8,308人(50.7%)、女子8,075人(49.3%)です。

(表IV-4、8 参照)

## (3) 小・中学校(国・公・私立)

### ア 学校数・学級数

平成30(2018)年度の小学校の数は、国立1校、公立361校(うち分校1校)、私立1校、計363校(本校362校、分校1校)で、前年度より6校(公立6校)減少しました。

中学校の数は、国立1校、公立156校(うち分校2校)、私立7校、計164校(本校162校、分校2校)で、前年度より1校減少しました。

また、学級数は小学校が4,464学級で前年度より9学級増加し、中学校が2,041学級で前年より14学級減少しています。

そのうち、公立小学校の普通学級は前年度より9学級減少し3,769学級、特別支援学級は前年度より18学級増加し695学級で計4,464学級です。公立中学校は普通学級が前年度より31学級減少し1,714学級、特別支援学級は前年度より17学級増加し327学級で、計2,041学級です。

(表IV-4、9、10 参照)

### イ 児童生徒数

平成30(2018)年度の児童生徒数は、小学校が男子52,044人、女子48,888人、計100,932人で前年度より1,393人減少し、中学校は男子27,131人、女子25,805人、計52,936人で、前年度より952人減少しています。そのうち、国立小学校は622人、国立中学校は463人、私立小学校は373人、私立中学校は1,228人です。(表IV-4 参照)

## (4) 義務教育学校

### ア 学校数・学級数

平成30(2018)年度の学校数は、公立2校です。

また、学級数は21学級で、うち普通学級が19学級、特別支援学級が2学級です。

### イ 児童生徒数

平成30(2018)年度の児童生徒数は349人(男子181人、女子168人)です。(表IV-4、9 参照)

## (5) 高等学校(公・私立全日制、定時制)

### ア 学校数

平成30(2018)年度の学校数は県立61校、私立14校の75校で、前年度と同じでした。また、課程別にみると、本校全日制67校(県立53校、私立14校)、本校定時制2校(県立のみ)、本校併置校6校(県立のみ)です。

また、男女校別にみると、男子校4校、女子校9校、男女共学の学校62校です。

なお、単独高等学校(1学科のみ設置されている学校)は49校(普通科36校、農業科1校、工業科5校、商業科1校、総合学科6校)、総合校(2学科以上併置されている学校)は26校(普通科と職業科の併置校19校、職業科複数校7校)です。

(表IV-4、6 参照)

### イ 生徒数

平成30(2018)年度の生徒数は53,276人(男子27,161人、女子26,115人)で、前年度より401人減少しています。生徒数を公立別に見ると、公立校は36,957人で前年度より251人減少し、私立校は16,319人で前年度より150人増加しました。なお、私立校の生徒が占める割合は30.6%となっています。

また、生徒数を課程別にみると、全日制52,235人、定時制1,041人です。

さらに学科別にみると、普通科34,330人(構成比64.4%)、農業科2,274人(同4.3%)、工業科5,816人(同10.9%)、商業科4,801人(同9.0%)、水産科62人(同0.1%)、家庭科1,880人(同3.5%)、福祉科260人(同0.5%)、その他の学科532人(同1.0%)、総合学科3,321人(同6.2%)です。(表IV-4、5 参照)

(6) 中等教育学校（私立）

ア 学校数、学級数

平成 30(2018)年度の学校数は私立 1 校で、前年度と同数です。

また、学級数は 8 学級で、前年度より 2 学級減少しています。

イ 生徒数

平成 30(2018)年度の生徒数は 514 人（男子 240 人、女子 274 人）で前年度より 27 人減少しています。

(7) 特別支援学校

ア 学校数・学級数

平成 30(2018)年度の学校数は、17 校（国立 1 校、県立 16 校）で、前年度と同数です。

また、学級数は 579 学級で、前年度より 8 学級増加しています。

イ 児童生徒数

平成 30(2018)年度の児童生徒数は 2,649 人（男子 1,734 人、女子 915 人）で前年度より 24 人増加しています。

(表Ⅳ-4 参照)

表Ⅳ-4 学校数、学級数、児童生徒数

平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

区 分	学 校 数			学級数	在学者数			
	計	本校	分校		計	男	女	
幼稚園	平成29(2017)年度	114	114	-	813	16,798	8,579	8,219
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>723</b>	<b>15,039</b>	<b>7,639</b>	<b>7,400</b>
	国立	1	1	-	5	157	78	79
	公立	1	1	-	3	83	39	44
	私立	98	98	-	715	14,799	7,522	7,277
認定こども園 幼保連携型	平成29(2017)年度	81	81	-	552	14,421	7,350	7,071
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>94</b>	<b>94</b>	<b>-</b>	<b>643</b>	<b>16,383</b>	<b>8,308</b>	<b>8,075</b>
	公立	4	4	-	18	464	244	220
	私立	90	90	-	625	15,919	8,064	7,855
小学校	平成29(2017)年度	369	368	1	4,455	102,325	52,669	49,656
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>363</b>	<b>362</b>	<b>1</b>	<b>4,464</b>	<b>100,932</b>	<b>52,044</b>	<b>48,888</b>
	国立	1	1	-	18	622	313	309
	公立	361	360	1	4,428	99,937	51,547	48,390
	私立	1	1	-	18	373	184	189
中学校	平成29(2017)年度	165	163	2	2,055	53,888	27,587	26,301
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>164</b>	<b>162</b>	<b>2</b>	<b>2,041</b>	<b>52,936</b>	<b>27,131</b>	<b>25,805</b>
	国立	1	1	-	12	463	232	231
	公立	156	154	2	1,983	51,245	26,335	24,910
	私立	7	7	-	46	1,228	564	664
義務 学校教	平成29(2017)年度	2	2	-	21	377	194	183
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>21</b>	<b>349</b>	<b>181</b>	<b>168</b>
	公立	2	2	-	21	349	181	168
高等学校	平成29(2017)年度	75	75	-	...	53,677	27,508	26,169
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>75</b>	<b>75</b>	<b>-</b>	<b>...</b>	<b>53,276</b>	<b>27,161</b>	<b>26,115</b>
	公立	61	61	-	994	36,957	18,127	18,830
	全日 定時制	53	53	-	930	35,916	17,519	18,397
	全・定併置	2	2	-	64	1,041	608	433
	私立	14	14	-	...	16,319	9,034	7,285
	全日制	14	14	-	...	16,319	9,034	7,285
	通信制	1	1	-	...	2,337	1,387	950
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>...</b>	<b>2,259</b>	<b>1,329</b>	<b>930</b>
	公立	(2)	(2)	-	...	912	472	440
私立	1	1	-	...	1,347	857	490	
中等 学校教	平成29(2017)年度	1	1	-	10	541	266	275
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>8</b>	<b>514</b>	<b>240</b>	<b>274</b>
	私立	1	1	-	8	514	240	274
特別 学校支 援	平成29(2017)年度	17	16	1	571	2,625	1,732	893
	<b>平成30(2018)年度</b>	<b>17</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>579</b>	<b>2,649</b>	<b>1,734</b>	<b>915</b>
	国立	1	1	-	9	58	40	18
	公立	16	15	1	570	2,591	1,694	897

- (注) 1 幼稚園及び幼保連携型認定こども園の学級数は在園児のいない学級も含む。(学校基本統計)  
 2 公立中学校は県立中学校 3 校を含む。  
 3 「全・定併置」とは、全日制と定時制の両方の課程を設置している学校をいう。  
 4 「高等学校通信制の公立の「学校数」の( )内の数値は、全日制または定時制高校と併置されている。

5 中等教育学校の学級数は、前期課程の学級数である（後期課程を含まない）。

表IV-5 学科別、学年別生徒数

平成30(2018)年5月1日現在

区 分	生徒数	全 日 制 生 徒 数						定 時 制 生 徒 数						
		計	男	女	1学年	2学年	3学年	計	男	女	1学年	2学年	3学年	4学年
普 通	34,330	33,542	16,328	17,214	11,141	11,279	11,122	788	407	381	259	235	185	109
農 業	2,274	2,274	1,196	1,078	784	754	736	0						
工 業	5,816	5,671	5,213	458	1,866	1,919	1,886	145	130	15	51	31	38	25
商 業	4,801	4,693	2,036	2,657	1,558	1,584	1,551	108	71	37	30	35	18	25
水 産	62	62	60	2	16	24	22	0						
家 庭	1,880	1,880	189	1,691	641	643	596	0						
看 護	0	0						0						
情 報	0	0						0						
福 祉	260	260	32	228	90	84	86	0						
そ の 他	532	532	374	158	173	195	164	0						
総 合 学 科	3,321	3,321	1,125	2,196	1,120	1,102	1,099	0						
合 計	53,276	52,235	26,553	25,682	17,389	17,584	17,262	1,041	608	433	340	301	241	159

(学校基本統計)

表IV-6 単独・総合別学校数

平成30(2018)年5月1日現在

区 分	計	単 独 校											総 合 校				
		計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	その他	総合	計	普通と 職業1	普通と 職業 2以上	職業 のみ 2以上
計 (本校)	75	49	36	1	5	1	-	-	-	-	-	-	6	26	13	6	7
全 日 制	67	44	33	1	3	1	-	-	-	-	-	-	6	23	11	6	6
定 時 制	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
併 置	6	4	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1
(分校)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(学校基本統計)

表IV-7 設置者別幼稚園数

平成30(2018)年5月1日現在

市 町 名	幼 稚 園 数			市町名	幼 稚 園 数				
	国立	公立	私立		国立	公立	私立		
市 部	宇 都 宮 市	1		31	町 部	上 三 川 町			2
	足 利 市			7		益 子 町			
	栃 木 市			5		茂 木 町			
	佐 野 市			5		市 貝 町			
	鹿 沼 市			7		芳 賀 町			
	日 光 市			5		壬 生 町			2
	小 山 市			8		野 木 町			1
	真 岡 市			6		塩 谷 町			
	大 田 原 市			6		高 根 沢 町			2
	矢 板 市			2		那 須 町			2
	那 須 塩 原 市			3		那 珂 川 町			
	さ くら 市			1		計	1	1	98
	那 須 烏 山 市		1			合 計	100		
	下 野 市			3		(学校基本統計)			

表IV-8 設置者別幼保連携型こども園

平成30(2018)年5月1日現在

市 町 名	幼 稚 園 数			市町名	幼 稚 園 数				
	国立	公立	私立		国立	公立	私立		
市 部	宇 都 宮 市			14	町 部	上 三 川 町			
	足 利 市			8		益 子 町			2
	栃 木 市		1	12		茂 木 町			1
	佐 野 市			7		市 貝 町			1
	鹿 沼 市			1		芳 賀 町			2
	日 光 市			3		壬 生 町			2
	小 山 市			11		野 木 町			1
	真 岡 市			7		塩 谷 町			
	大 田 原 市			2		高 根 沢 町			
	矢 板 市			1		那 須 町			
	那 須 塩 原 市			8		那 珂 川 町		3	
	さ くら 市			1		計	0	4	90
	那 須 烏 山 市			2		合 計	94		
	下 野 市			4		(学校基本統計)			

表IV-9 学級編成別学級数

平成30(2018)年5月1日現在

公立小学校	計	単式	複式	特別支 援学級	公立中学校	計	単式	複式	特別支 援学級
平成29(2017)年度	4,455	3,694	84	677	平成29(2017)年度	2,055	1,744	1	310
平成30(2018)年度	4,464	3,687	82	695	平成30(2018)年度	2,041	1,713	1	327

(学校基本統計)

義務教育校	計	単式	複式	特別支 援学級
平成29(2017)年度	21	18	1	2
平成30(2018)年度	21	18	1	2



表IV-10 市町別小・中学校設置状況

平成30(2018)年5月1日現在

市 町 名	小 学 校 数			中 学 校 数			義務教育学校数		
	国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立
県					3				
市 部	栃 木 県								
	宇 都 宮 市	1	68	1	1	25	4		
	足 利 市		22			11	1		
	栃 木 市		30			14	1		
	佐 野 市		26			9			
	鹿 沼 市		25			10			
	日 光 市		26			15			
	小 山 市		24			10		1	
	真 岡 市		14			9			
	大 田 原 市		20(1)			8(1)			
	矢 板 市		9			3(1)			
	那 須 塩 原 市		20			9		1	
	さ く ら 市		6			2			
	那 須 烏 山 市		5			2			
下 野 市		12			4				
町 部	上 三 川 町		7			3			
	益 子 町		4			3			
	茂 木 町		4			1			
	市 貝 町		3			1			
	芳 賀 町		3			1			
	壬 生 町		8			2			
	野 木 町		5			2			
	塩 谷 町		3			1			
	高 根 沢 町		6			2			
	那 須 町		7			2	1		
	那 珂 川 町		3			2			
計	1	360(1)	1	1	154(2)	7	0	2	0

(注) ( ) は分校数で外数である。

(学校基本統計)

## 4 教員数と構成

### (1) 教員数と構成

公立小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員数とその構成については次のとおりです。（「平成30(2018)年度公立学校教員構成調査」平成30(2018).5.現在）

#### ア 学校種別教員数

学校種別、職名別、男女別教員数は、表IV-11のとおりです。

なお、学校に籍はあるが教育委員会事務局、その他学校以外に勤務している者、内留者、退職者、非常勤講師、産休・育休・傷休・介休補充教員、実習教諭、在外日本人学校派遣教員、社会体験研修者は除いています。

教員総数 14,584 人のうち、小学校が 6,666 人で全体の 45.7% を占め、次いで中学校が 3,846 人 (26.4%)、義務教育学校が 43 人 (0.3%)、高等学校 (全・定・通) が 2,742 人 (18.8%)、特別支援学校が 1,287 人 (8.8%) です。

#### イ 男女別教員数

学校種別に女子教員の占める割合をみると、小学校が 6,666 人のうち 4,255 人で 63.8% であり、中学校が 3,846 人のうち 1,711 人で 44.5%、義務教育学校が 43 人のうち 22 人で 51.2%、高等学校が 2,742 人のうち 954 人で 34.8%、特別支援学校は 1,287 人

のうち 857 人で 66.6% となっており、全体では 14,584 人のうち 7,799 人で 53.5% です。

#### ウ 教員の平均年齢・平均勤務年数

教員の平均年齢及び平均勤務年数は下の表のとおりです。

#### 教員の平均年齢（公立）

（単位：歳）

区分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校 (全・定・通)	特別支援学校
男	44.5	43.6	40.9	44.8	42.5
女	42.7	42.7	39.9	42.7	41.5
平均	43.3	43.2	40.4	44.1	41.8

#### 教員の平均勤務年数（公立）

（単位：年）

区分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校 (全・定・通)	特別支援学校
男	19.7	18.7	15.4	18.1	15.0
女	17.6	16.6	15.4	15.9	13.0
平均	18.3	17.8	15.4	17.3	13.7

表IV-11 教員数（公立）

（単位：人）

区分	合計		校長		教頭		主幹教諭		教諭		養護教諭	栄養教諭		助教諭		栄養助教諭	講師		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	
計	14,584	6,785	7,799	473	110	452	180	74	23	5,243	6,112	581	2	90	28	59	63	513	581
小学校	6,666	2,411	4,255	264	91	217	149	10	12	1,818	3,374	349	2	43	24	59	22	76	156
中学校	3,846	2,135	1,711	141	10	143	16	15	4	1,712	1,349	152		38	4		12	120	130
義務教育学校	43	21	22	1	1	2	2			14	13	3						4	3
高等学校(全)	2,554	1,649	905	56	3	65	4	38	3	1,306	720	60					9	184	106
高等学校(定)	159	122	37	1		9		3		69	18	1					8	40	10
高等学校(通)	29	17	12			1	1			14	9							2	2
特別支援学校	1,287	430	857	10	5	15	8	8	4	310	629	16		9			12	87	174

# 5 人 事

## (1) 小・中学校

令和元(2019)年度の小・中学校の定期人事異動総数は、3,126人で、前年度より118人増となっています。また、新規採用者は、前年度より7人減となっています。なお区分別人員は次のとおりです。(表IV-12、13参照)

〈小・中学校人事異動〉

校	長	217人
教	頭	230人
一	般 教 職 員	1,570人
退	職	538人
新	規 採 用	449人
県立・国立大学法人市町事務局等		122人
	計	3,126人

(期限付採用者を除く。)

## (2) 県立学校

令和元年(2019)年度の県立学校の定期人事異動総数は、645人で、前年度より55人減となっています。また、新規採用者は前年度より19人減となっています。

(表IV-12、13参照)

なお、区分別異動人員は次のとおりです。

〈県立学校人事異動〉

校	長	20人
教	頭	45人
一	般 教 職 員	362人
退	職	99人
新	規 採 用	119人
	計	645人

(期限付採用者を除く。)

表IV-12 職名別採用者数

学校種別	平成 30 (2018) 年 4 月 2 日 ~ 平成 31 (2019) 年 4 月 1 日														期限付採用			
	校長・職員							その他							合計	助 教 論 講 師	そ の 他	計
	校長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	小 計	事 務 職	実 習 手	学 校 司 書	寄 宿 指 導 員	技 術 職	公 の 仕 他	小 計				
小 学 校	94	119	12	261	19		505	15						15	520	345	40	385
中 学 校	29	44	12	140	4	2	231	8				3		11	242	247	26	273
義務教育学校		1					1							0	1	4	1	5
県立学校	12	19	10	110	4	0	155	6	5		0			11	166	455	294	749
合 計	135	183	34	511	27	2	892	29	5		0	3	0	37	929	1,051	361	1,412

- (注) 1 校長・教頭・主幹教諭への昇任・学校栄養職員から栄養教諭への任用替えを含む。  
 2 養護助教諭は助教諭・講師に、学校栄養職員は技術職員に含める。  
 3 期限付採用は欠員補充者のみ記載。

表IV-13 職名別退職者数

学校種別	平成 30 (2018) 年 4 月 2 日 ~ 平成 31 (2019) 年 4 月 1 日														期限付採用			
	校長・職員							その他							合計	講 助 教 師 論	そ の 他	計
	校長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	小 計	事 務 職	実 習 手	学 校 司 書	寄 宿 指 導 員	技 術 職	公 の 仕 他	小 計				
小 学 校	83	41	1	198	23	2	348	7						7	355	313	39	355
	(1)			(4)	(1)		(6)	(1)						(1)	(7)			
中 学 校	43	12		103	7	2	167	15						15	182	248	12	257
義務教育学校					1		1							0	1	6	1	7
県立学校	11	8	1	71	8	2	101	20	3		1		10	34	135	451	283	734
				(1)			(1)							(1)	(1)			
合 計	137	61	2	372	39	6	617	42	3	0	1	0	10	56	673	1,018	335	1,353
	(1)			(5)	(1)		(7)	(1)						(1)	(8)			

(注) ( ) 内は死亡者の再掲。

# 6 免 許

- 特支 一・二種 特別支援教育概論 (45人)
- 特支 一・二種
  - (視覚) 視覚障害児の教育 (63人)
  - (聴覚) 聴覚障害児の教育 (68人)
  - (知的) 知的障害児教育総論 (33人)
  - (肢体) 肢体不自由児教育総論 (54人)
  - (病弱) 病弱児教育総論 (87人)
  - (重複・LD) 重複障害児教育総論 (79人)
- 計 (656人)

## (1) 教育職員免許状授与等件数(平成30(2018)年度)

教育職員免許法に基づき、免許状授与等の出願者に対し、授与、書換、再交付を行った件数は、次のとおりです。

### ア 授与件数

区分	普通免許	特別免許	臨時免許	計
幼稚園	552		10	562
小学校	447		190	637
中学校	540		69	609
高等学校	542	1	176	719
特別支援学校	111		28	139
特別支援学校 自立教科				
特別支援学校 自立活動			/	0
養護	43		5	48
栄養	19			19
計	2,254	1	478	2,733

### イ 書換・再交付件数

書換	再交付	計
186	136	322

## (2) 栃木県教育職員免許法認定講習

目的：免許法の規定に基づき、上級免許状、他教科免許状等を取得するために必要な単位を修得させる。

期間：平成30(2018)年8月1日から8月28日まで

会場：宇都宮大学、白鷗大学

開設コース・科目及び受講者数：

- 小 一 種 算数概説 (18人)
- 高 一 種(実習) 園芸生産技術学 (38人)
- 小・中・高・養教一種 教育基礎論 (41人)
- 小 一・二種 音楽科教育法 (48人)
- 図画工作科教育法 (63人)
- 小 一・二種
- 中 一・二種
- 高 一 種
- 養教 一 種 教育相談の理論  
及び方法 (49人)

# 7 現 職 教 育

## (1) 体系化のあらし

県教育委員会が行う研修には、「基本研修」と「専門研修」があります。

前者は悉皆必修の研修で、新規採用時、2年目、3年目、5年目、10年目、20年目に全ての教員が受講するものとしています。

後者は、専門研修1、2、3に大別しています。1はさらにア、イに区分され、1ーアは教育課程の領域、教育の諸分野等に関する研修であり、1ーイは校長、教頭、主任等の職位にある者を対象とする研修です。2は自主的に自己啓発を願う職員の研修意欲を充実させ、専門職としての識見と能力を伸長させるための希望研修です。また、3は土曜日や夏季休業中に、受講を希望する職員に対して自主的な研修の機会を提供するものです。

## (2) 教員派遣・内地留学

### ア 校長研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：5日間
- (ウ) 会 場：独立行政法人教職員支援機構
- (エ) 内 容：講義並びに演習・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等
- (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数		
		小学校	中学校	県立学校
1	6月11日～6月15日	4		
2	10月15日～10月19日			1

### イ 副校長・教頭等研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：10日間
- (ウ) 会 場：独立行政法人教職員支援機構
- (エ) 内 容：講義並びに演習・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等

## (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数			
		小学校	中学校	県立学校	指導主事
1	7月30日～8月10日				5
2	9月25日～10月5日			2	1
3	11月5日～11月16日	1	4		3
4	2月4日～2月15日	5	1		2

## ウ 中堅教員研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：10日間
- (ウ) 会 場：独立行政法人教職員支援機構
- (エ) 内 容：講義並びに演習・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等
- (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数		
		小学校	中学校	県立学校
1	5月21日～6月1日			2
2	6月18日～6月29日	1	1	
3	7月23日～8月3日	5		
4	8月13日～8月24日	2	4	
5	11月19日～11月30日	2	1	3
6	1月15日～1月25日	2	1	

## エ 次世代リーダー育成研修

- (ア) 主 催：独立行政法人教職員支援機構
- (イ) 期 間：5日間
- (ウ) 会 場：独立行政法人教職員支援機構
- (エ) 内 容：講義並びに演習・学校管理・教育内容・教育方法・一般教養等
- (オ) 期 日：参加者

回	期 間	参 加 者 数		
		小学校	中学校	県立学校
1	8月6日～8月10日	1	1	
2	12月10日～12月14日		1	1

## オ 平成30(2018)年度内地留学生派遣

派遣教員数は、小学校38人、中学校18人、義務教育学校1人、県立学校12人です。

派遣期間は、1か年(2人)、6か月(60人)、3か月(7人)、の3種類です。

派遣先は、教科等に応じて、宇大43人、総合教育センター7人、その他の大学等19人となっています。

教科等別派遣人員は次表のとおりです。

教科等	小学校	中学校	高等学校
国語	2		
社会	3	1	
地理・歴史			
公民			
算数・数学		3	
理科	2	1	
生活			
音楽	2		
図工			
美術			
保健体育	2	1	
技術・家庭		1	
英語	1	1	1
中国語	2		
ポルトガル語	1		
スペイン語		1	
キャリア教育・進路指導			
児童・生徒指導	5	6	
教育相談	(5)	(6)	
教育近代化	5	2	
特別活動	1		
道徳	1	1	
へき地教育			
農業			1
工業			1
商業			1
家庭			
看護・養護	1		
産業教育			
芸術			
特別支援教育	5	1	7
人権教育	5		
幼児教育	(2)		
社会教育			1
福祉			
計	38	19	12

### (3) 連絡会等

#### ア 小・中学校長連絡会議

4月26日（教育会館大ホール）

本県教育行政、学校管理運営上の諸問題、学校教育指導上の諸問題、児童・生徒指導の推進について等の説明を行いました。

#### イ 公立小学校、中学校及び義務教育学校教頭連絡会議

7月27日、総合教育センターを会場に実施。学校管理運営上の諸問題、学校教育指導上の諸問題、児童・生徒指導の諸問題等の説明、研究協議等を行いました。

#### ウ 県立学校長会議

第1回 4月13日（金）総合文化センター

県教育委員会の教育行政基本方針・重要施策・努力目標・予算の概要等の説明、質疑応答を行いました。

第2回 6月18日（月）県庁本館

第3回 10月22日（月）県庁本館

第4回 11月22日（木）県庁本館

第5回 1月7日（月）県庁東館

#### エ 県立学校教頭事務連絡会

第1回 5月2日（水）総合教育センター

第2回 10月4日（木）総合教育センター

第3回 12月10日（月）総合教育センター

第4回 1月10日（木）総合教育センター

#### カ 平成30(2018)年度大学院派遣

教育の資質向上と学校教育の充実を目的として、教育公務員特例法の規定に基づき、次の大学各大学院に現職教員を派遣しました。

宇都宮大学大学院 10名

（教職大学院 小4、中5、県1）

# 8 福 利 厚 生

## (1) 健康管理

教職員の定期健康診断、特殊健康診断及びメンタルヘルス事業を行っています。

## (2) 恩給等

昭和 37(1962)年 11 月 30 日までの退職者には、「恩給法」等の規定により恩給等を支給しています。

平成 30(2018)年度は 29 人に対して 40,827,059 円を支給しました。

## (3) 公立学校共済組合

共済組合は、組合員やその被扶養者の病気、出産、死亡、休業及び災害にかかる短期給付と組合員の退職、障害又は死亡にかかる長期給付の 2 つの給付事業や貸付、保健・健康管理等の福祉事業を行っています。

ア 組合員数等 (単位：人)

組 合 員			被扶養者数
男	女	計	
7,075	7,929	15,004	10,551

(平成 31(2019). 3. 31 現在)

### イ 短期給付

組合員又は被扶養者の疾病、出産、死亡、災害等についての給付を行うもので、法定給付と附加給付があります。

### ウ 長期給付

退職厚生(共済)年金、障害厚生(共済)年金及び遺族厚生(共済)年金の給付を共済組合本部(東京)から行っています。

### エ 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする時並びに住宅の新築、増改築、修理及び住宅敷地等の購入の場合に資金の貸付を行っています。

平成 30(2018)年度は 210 件、364,020,000 円を貸し付けしました。

### オ 保健・健康管理事業

組合員及びその被扶養者の健康管理や保持増進を目的とした事業を行っています。

平成 30(2018)年度は健康管理事業(人間ドック、特定健康診査・特定保健指導等)、レクリエーション事業や宿泊施設利用補助事業等を行いました。

[V] 学 校 教 育



# 1 教 育 課 程

## (1) 幼稚園

- ア 教育課程研究集会〔幼児教育〕
- (7) 運営 総合教育センター
- (4) 6月15日、9月27日 総合教育センター  
9月～1月 各幼稚園、こども園、保育所  
参加者 幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育  
所教職員

## (2) 小・中学校及び義務教育学校

新しい学習指導要領が告示されたことを受け、小学校、中学校及び義務教育学校における新教育課程の適切な編成・実施に向けた次の事業を行いました。

- ア 新教育課程説明会
- ・県内各公立、私立の小・中学校等の校長及び教員等
- (7) 運営 学校教育課 各教育事務所
- (4) 7月24日～8月10日 県内10地区
- イ 教育課程に関する資料作成
- (7) 現職教育資料シリーズ「新学習指導要領」

## (3) 高等学校

新しい学習指導要領が告示されたことを受け、高等学校における新教育課程の適切な編成・実施に向けた次の事業を行いました。

- ア 新教育課程説明会
- ・県立高等学校及び県内私立高等学校等の管理職及び教務主任等
- (7) 運営 学校教育課
- (4) 8月6日 総合教育センター

## (4) 特別支援学校(小・中学校及び義務教育学校を含む)

- ア 特別支援学校新教育課程説明会
- (7) 運 営 特別支援教育室
- (4) 7月26日(木)、31日(火)、  
8月6日(月)、23日(木)、24日(金)、  
3月18日(月)  
県内6会場  
参加者 県立特別支援学校の教員、小・中学校等  
特別支援学級及び通級による指導担当  
教員等

# 2 学 力 向 上

とちぎっ子学習状況調査を要として、義務教育9年間の学びの連続性を重視した本県独自の学力向上システムを構築し、児童生徒一人一人の学力向上を図ることを目的とする「とちぎっ子学力アッププロジェクト」を推進しました。

## (1) 平成30年度とちぎっ子学習状況調査の実施

- 実施日：平成30(2018)年4月17日(火)
- 調査の対象及び教科：
- 小学校第4・5学年(国語・算数・理科)
  - 中学校第2学年(国語・社会・数学・理科・英語)
- 児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査  
参加校数525校、参加人数48,538名

## (2) 学力向上専門員の派遣

学力向上専門員を県内公立小・中学校に派遣し、とちぎっ子学習状況調査の効果的な活用や、学習指導における検証改善サイクルの確実な構築・運用を促進。  
10名の専門員を177校に派遣、延べ派遣回数883回

## (3) 学力向上推進リーダーの配置

小学校の国語と算数の教科指導に実績のある教員を「学力向上推進リーダー」に認定し、担当学校内の教員の指導力向上を図る。19市町に配置。

## (4) 平成30(2018)年度調査結果活用研修会の実施

- 実施日：平成30(2018)年6月21日(木) [小学校]  
平成30(2018)年6月22日(金) [中学校]  
参加校数538校、参加人数556名

## (5) 平成30(2018)年度調査結果活用説明会の実施

- 実施日：平成30(2018)年9月7日(金)  
平成30(2018)年10月10日(水)  
参加人数105名(県・市町教委指導主事)

## (6) 教師用指導資料「とちぎの子ども『確かな学力』向上のために 授業改善プラン(小学校 国語・算数)」の作成・配付

国語資料1,300部、算数資料1,300部

## (7) 保護者用リーフレットの作成・配付

小学校約52,000部、中学校約34,000部

## (8) 学力向上検証委員会の開催(年間3回)

### 3 児童・生徒指導

#### (1) 事業の推進

ア 「いじめ・不登校等対策チーム」による学校支援  
全小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校への訪問、電話・来所による相談を実施しました。

イ スクールカウンセラー等活用事業

小・中学校及び義務教育学校、高等学校 464 校に配置し、学校におけるカウンセリング等の機能の充実を図り、児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決に努めました。

ウ 学校生活適応支援員（生徒指導推進協力員・学校相談員）派遣事業

小学校 17 校に配置することにより教育相談体制や児童指導體制の充実を図り、小学校段階での不登校や問題行動などの未然防止・早期発見・早期対応についての調査研究を行いました。

エ 学校問題解決支援事業

学校の努力にもかかわらず解決が困難な事案に対して、保健福祉部局などの関係機関等と連携を図りながら問題の解決に向けた学校支援を行いました。

オ 緊急スクールカウンセラー等活用事業

東日本大震災による災害救助適用地域にある学校（小・中・高 27 校）にスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒等の心のケアに努めました。

#### (2) 協議会、研修会等の開催

ア 児童・生徒指導推進中央研修会

回数 年 1 回（5 月 8 日）

会場 栃木県教育会館

目的 県内の幼稚園、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒指導担当者が一堂に集い、本県の児童・生徒指導の基本方針に対する共通理解を図るとともに、今後の児童生徒の調和のとれた成長を促すための効果的な指導・援助の在り方について理解を深める。

テーマ 児童生徒の問題行動等への適切な対応—新たな不登校児童生徒を生まない未然防止と初期対応の取組—

イ 県立学校生徒指導連絡協議会

回数 年 2 回

協議内容 生徒指導上の諸問題とその対策

ウ 県立学校教育相談連絡協議会

回数 年 1 回

協議内容 学校教育相談活性化の方策

エ 地区別中・高生徒指導連絡会

地区の中学校長会と高等学校長会が連携し、生徒指導担当者により、地区単位で定期的実施

回数 年 1～3 回

協議内容 生徒指導の諸問題とその対策

オ 児童・生徒指導推進地区別研修会

回数 年 1 回（6 月～10 月までの間で各教育事務所ごとに実施）

会場 各教育事務所の指定する会場

目的 児童・生徒指導推進中央研修会の内容を踏まえながら児童生徒の自己指導能力の育成を図るための指導・援助の在り方や指導體制等について具体的な研究協議を行い、児童・生徒指導の充実に資する。

テーマ 児童生徒の問題行動等への適切な対応—新たな不登校児童生徒を生まない未然防止と初期対応の取組—

#### (3) 生徒活動推進事業

ア ふれあい活動高校生のつどい

自主的・創造的諸活動や国際理解に取り組む高校生に発表の機会を与え、明るい未来を築く担い手となる高校生の豊かな人間関係づくりの促進と、主体的な活動の推進を図るために、県内高校生約 900 人の参加を得て、7 月 27 日（金）に実施しました。

イ 体験活動の推進

児童生徒の他者への思いやりや社会性、豊かな人間性を育むために、ボランティア活動などの児童生徒による社会奉仕活動等を推進しました。

#### (4) 文部科学省主催生徒指導連絡協議会、生徒指導講座への教員派遣

ア 生徒指導指導者養成研修への教員の派遣

派遣人員 県立高校教員 1 名、小中学校教員 2 名

講座内容 不登校・いじめ等の問題行動や児童虐待等の生徒指導上の今日的課題について演習形式により実施

イ いじめの問題に関する指導者養成研修への教員、指導主事の派遣

派遣人数 県立高校教員 2 名、県立特別支援学校教員 1 名、小中学校教員 7 名、市教育委員会児童・生徒指導担当指導主事 2 名

講座内容 いじめに関する講演・講義・ワークショップ・協議・事例研究・演習形式により実施

## (5) 調査・統計

児童生徒の問題行動等の状況把握や対応策の検討のための基礎資料作成等のため、下記調査を実施しました。

ア 平成 29(2017)年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

# 4 進路指導

## (1) 協議会・講座の開催

### ア 中学校

(ア) 進路指導主事研究協議会の開催(年1回)

○期 日 7月12日

○会 場 総合教育センター

○参加者 県内中学校及び義務教育学校・特別支援学校進路指導主事等(174名)

○内 容

説 明

- ・県立高等学校入学者選抜について
- ・産業技術専門校の概要について
- ・専修学校・各種学校の概要について
- ・県立特別支援学校入学者選抜等について
- ・県立高等学校の再編について
- ・キャリア教育の推進について

### イ 高等学校

(イ) 進路指導連絡協議会

○期 日 6月13日

○会 場 総合教育センター

○参加者 県立学校進路指導主事(87名)

○内 容

説 明

- ・進学指導について
- ・就職指導について
- ・特別支援学校における進路指導について

報 告

- ・全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会

関係機関説明

- ・産業技術専門校について
- ・若年者雇用対策について
- ・未来のドクター応援事業について
- ・看護職員イメージアップについて

(イ) 一日体験学習

平成 31(2019)年度入学者選抜の実施を予定するすべての県立高等学校で夏季休業中等に実施しました。

## 平成 30(2018)年度参加状況

生 徒	保護者	教 員	合 計
32,062	14,752	264	47,078

## (2) 手引・資料類の作成

### ア 高等学校

・「進路情報資料」(とちぎの県立高校ガイド2019)の作成・配布

### イ 中学校

・進路啓発資料「学ぶこと・働くこと・生きること」の作成

## (3) 大会等への教員の派遣

キャリア教育を推進するための指導者の養成を目的とした研修に受講者を派遣しました。

研修名 キャリア教育指導者養成研修(独立行政法人教職員支援機構主催)

期間 7月2日～7月6日

人員 小学校教員2名 中学校教員1名  
高等学校教員1名

内容 各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

## (4) 中学生の卒業後の状況

学校基本調査(H30(2018).5.1現在)

平成30(2018)年3月の国公立中学校卒業者は18,257人(男9,321人、女8,936人)で、前年度より518人減少しています。

卒業者の進路別内訳をみると、高等学校等進学者(通信制進学者を含む)18,052人(構成比98.9%)、専修学校(高等課程)進学者3人(同0.0%)、専修学校(一般課程)1人(同0.0%)、公共職業能力開発施設等入学者34人(同0.2%)、就職者28人(同0.2%)、左記以外の者139人(同0.8%)、不詳・死亡の者0人で、進学者のうち3人が就職しながら進学しています。

なお、進学率(就職進学者を含む)と就職率(就職進学者を含む)の推移を年次別にみると、表V-1のようになっています。

表V-1 進学率・就職率の推移(中学生)

区分	卒業生数(人)			進学率(%)			就職率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭58年(1983)	28,204	14,400	13,804	93.3	92.3	94.5	3.5	4.3	2.8
59	28,309	14,478	13,831	93.5	92.0	95.1	3.7	4.6	2.8
60	28,640	14,603	14,037	94.0	92.9	95.1	3.8	4.6	3.0
61	30,012	15,388	14,624	93.8	92.8	94.8	4.0	4.9	3.0
62	31,325	16,122	15,203	93.5	92.9	94.1	3.8	4.7	2.8
63	32,538	16,767	15,771	93.2	92.2	94.3	4.1	5.6	2.6
平成	33,066	16,934	16,132	93.1	91.9	94.4	4.2	5.9	2.3
2	32,461	16,584	15,877	93.5	92.0	95.0	3.9	5.5	2.3
3	30,868	15,965	14,903	94.7	93.6	95.9	2.9	3.9	1.9
4	29,639	15,106	14,533	94.9	93.9	96.0	2.5	3.3	1.5
5	29,422	15,031	14,391	95.2	93.9	96.4	2.4	3.6	1.1
6	28,585	14,674	13,911	95.7	94.8	96.8	1.9	2.7	1.1
7	28,305	14,419	13,886	96.2	95.2	97.2	1.8	2.5	1.0
8	26,663	13,861	12,802	96.6	95.6	97.6	1.4	2.0	0.8
9	26,148	13,454	12,694	96.5	95.5	97.6	1.3	2.0	0.7
10	26,145	13,432	12,713	96.7	95.7	97.8	1.3	1.9	0.7
11	26,024	13,368	12,656	96.5	95.7	97.5	1.0	1.5	0.5
12	25,499	12,998	12,501	96.4	95.7	97.2	1.0	1.5	0.5
13	24,812	12,627	12,185	96.6	95.9	97.3	1.1	1.5	0.8
14	23,686	12,117	11,569	96.6	96.1	97.1	0.8	1.2	0.5
15	23,299	11,939	11,360	97.1	96.7	97.6	0.7	0.9	0.4
16	22,468	11,372	11,096	97.4	96.8	98.0	0.7	1.0	0.4
17	21,072	10,786	10,286	97.5	97.1	98.0	0.6	0.8	0.3
18	20,506	10,571	9,935	97.6	97.3	97.9	0.5	0.8	0.4
19	20,452	10,375	10,077	97.6	97.2	98.0	0.5	0.8	0.2
20	19,656	10,101	9,555	97.6	97.0	98.4	0.6	0.9	0.3
21	19,463	10,015	9,448	98.0	97.7	98.3	0.3	0.4	0.2
22	19,816	10,062	9,754	98.1	97.9	98.4	0.3	0.4	0.1
23	18,900	9,696	9,204	98.0	97.7	98.4	0.3	0.4	0.1
24	18,970	9,679	9,291	98.3	97.8	98.9	0.3	0.6	0.1
25	18,903	9,591	9,312	98.4	97.9	99.0	0.3	0.5	0.1
26	18,809	9,692	9,117	98.7	98.4	99.1	0.2	0.3	0.1
27	18,512	9,569	8,943	98.7	98.3	99.1	0.3	0.4	0.1
28	18,754	9,623	9,131	98.8	98.4	99.2	0.2	0.4	0.1
29	18,775	9,463	9,312	99.0	98.8	99.2	0.2	0.3	0.1
30(2018)	18,257	9,321	8,936	98.9	98.5	99.2	0.1	0.2	0.0

(注)「進学」とは、次に掲げる高等学校等に進学することをいう。

高等学校(全・定・通)、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科

昭和58(1983)年までの進学率は、高等学校通信制を除いた数値である。

## (5) 高校生の卒業後の状況

学校基本調査(平成30(2018).5.1現在)

平成30(2018)年3月の国公立高等学校(全日制・定時制)卒業者は17,139人(男8,841人、女8,298人)で、前年度に比べ354人減少しています。

卒業者の進路別内訳をみると、大学等進学者(通信制進学者を含む)8,999人(構成比52.5%)、専修学校(専門課程)進学者2,943人(同17.2%)、専修学校(一般課程)

等入学者 314 人 (同 1.8%)、公共職業能力開発施設等入学者 139 人 (同 0.8%)、就職者 3,900 人 (正規の職員等 3,889 人、正規の職員等でない 11 人) (同 22.8%)、一時的な仕事に就いた者 43 人 (同 0.3%)、左記以外の者 800 人 (同 4.7%)、不詳・死亡の者 1 人です。

また、進学又は入学し、かつ就職した者は 3 人 (正規の職員等 2 人、正規の職員等でない者 1 人) です。

なお、進学率 (就職進学者を含む) と、就職率 (就職進学者を含む) をみると、表 V-2 のようになっています。

表 V-2 進学率・就職率の推移 (高校生)

区分	卒業者数 (人)			進学率 (%)			就職率 (%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭58年 (1983)	24,928	12,911	12,017	25.3	23.5	27.2	50.5	50.5	50.5
59	23,258	11,953	11,305	24.9	22.7	27.2	49.9	49.1	50.8
60	21,751	11,198	10,553	26.6	25.0	28.4	49.6	48.4	50.9
61	26,189	13,573	12,616	26.7	24.8	28.8	48.3	47.8	48.9
62	26,436	13,686	12,750	27.7	25.1	30.5	44.7	43.9	45.6
63	27,297	14,202	13,095	27.1	24.4	30.1	43.5	43.4	43.7
平元	28,695	14,962	13,733	28.9	26.0	31.9	43.2	43.0	43.5
2	29,954	15,714	14,240	29.8	26.1	34.0	42.3	42.1	42.5
3	31,129	16,240	14,889	30.2	25.3	35.5	40.8	41.2	40.3
4	31,592	16,278	15,314	31.1	25.8	36.9	38.5	39.3	37.7
5	31,387	16,082	15,305	33.2	28.1	38.5	36.2	37.7	34.6
6	30,960	16,121	14,839	35.1	30.3	40.4	32.8	34.9	30.4
7	29,479	15,089	14,390	37.0	32.3	41.8	30.5	33.3	27.5
8	28,782	14,605	14,177	37.8	33.5	42.2	28.9	32.0	25.7
9	27,384	14,029	13,355	40.0	36.6	43.5	27.4	30.2	24.4
10	27,161	13,711	13,450	41.3	37.9	44.8	27.3	30.3	24.2
11	25,312	13,058	12,254	43.3	41.4	45.4	24.9	27.5	22.1
12	24,504	12,496	12,008	44.0	43.5	44.6	21.9	25.1	18.6
13	24,403	12,470	11,933	45.2	44.2	46.2	22.1	24.7	19.3
14	24,203	12,392	11,811	45.1	44.3	46.0	20.0	22.1	17.8
15	23,609	12,062	11,547	45.6	45.2	45.9	19.7	22.3	17.1
16	22,804	11,711	11,093	46.4	45.3	47.5	19.9	22.7	16.9
17	21,677	11,160	10,517	47.3	47.3	47.2	21.0	24.0	17.8
18	21,547	11,088	10,459	49.9	49.4	50.4	21.6	25.1	17.8
19	20,719	10,558	10,161	50.6	49.9	51.3	22.1	26.0	18.0
20	19,360	10,037	9,323	52.6	52.1	53.1	22.7	26.2	19.0
21	18,684	9,721	8,963	53.4	52.8	54.1	22.2	25.6	18.5
22	18,616	9,438	9,178	54.5	52.5	56.5	18.2	21.3	15.0
23	17,818	9,203	8,615	54.3	53.2	55.5	19.2	22.6	15.7
24	17,739	9,172	8,567	52.2	51.0	53.4	20.2	24.0	16.1
25	18,269	9,369	8,900	52.3	49.8	55.0	19.8	24.5	14.9
26	17,391	8,864	8,527	50.8	48.9	52.8	22.3	27.4	16.9
27	17,491	8,904	8,587	52.0	50.0	54.1	21.8	26.8	16.7
28	17,554	8,905	8,649	52.1	49.7	54.5	22.8	27.8	17.6
29	17,493	8,998	8,495	51.8	49.6	54.1	22.6	27.5	17.4
30 (2018)	17,139	8,841	8,298	52.5	50.4	54.8	22.8	27.4	17.8

(注) 「進学」とは、次に掲げる学校等に進学することをいう。

大学学部、短期大学本科、大学及び短期大学の別科、高等学校及び特別支援学校高等部の専攻科、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学

## (6) 特別支援学校生の卒業後の状況

学校基本調査 (H30(2018). 5. 1 現在)

平成 29(2017)年 3 月の国公立特別支援学校の卒業者は、中学部 196 人 (男 131 人、女 65 人)、高等部 354 人 (男 241 人、女 113 人) です。

中学部卒業者の進路別内訳をみると、高等学校等進学者 196 人 (特別支援学校高等部に進学) です。

高等部卒業者の進路別内訳をみると、大学等進学者 2 人、専修学校 (専門課程) 進学者 2 名、公共職業能力開発施設等入学者 1 人、就職者 105 人、左記以外の者 244 人です。

なお、左記以外の者 244 人のうち 231 人が、社会福祉施設等入所者、通所者です。

# 5 研究 学 校

( ) は指定年度を示す。

## (1) 県教育委員会指定研究学校・協力校一覧

### ア 小・中学校関係

#### ○小動物飼育指導担当教員研修事業

獣医師派遣による研修

上三川町立北小学校	(30)
日光市立落合西小学校	(30)
真岡市立大内中央小学校	(30)
下野市立石橋小学校	(30)
那珂川町立馬頭小学校	(30)
那須塩原市立東原小学校	(30)
足利市立久野小学校	(30)

#### ○道徳教育応援チーム

那須烏山市立烏山中学校	(30)
那須町立那須中学校	(30)
足利市立第二中学校	(30)

#### ○幼・保・小ジョイントプロジェクト

鹿沼市	(30)
-----	------

### イ 県立学校関係

#### ○高校生学力向上総合支援事業

・スタディフロンティア推進事業

「コア・スクール」プラン

宇都宮高等学校	(28・29・30)
宇都宮北高等学校	(28・29・30)
宇都宮白楊高等学校	(28・29・30)
大田原高等学校	(28・29・30)
鹿沼南高等学校	(29・30・1)
栃木翔南高等学校	(29・30・1)
茂木高等学校	(29・30・1)
石橋高等学校	(30・1・2)
足利南高等学校	(30・1・2)
烏山高等学校	(30・1・2)

「アクティブ・スクール」プラン

宇都宮南高等学校	(30)
宇都宮女子高等学校	(30)
鹿沼東高等学校	(30)
小山高等学校	(30)
小山西高等学校	(30)
小山北桜高等学校	(30)
足利清風高等学校	(30)

・定通生学力アップ支援事業

「ラーニング・スキルアップ」プラン

学悠館高等学校定時制	(30)
------------	------

「ライセンス・アップ」プラン

定時制・通信制 10 校	(30)
--------------	------

#### ○人権教育研究学校

真岡工業高等学校	(29・30)
----------	---------

#### ○新たな学びに向けた指導体制強化事業

・「学校組織力アップ」プラン

「教科指導体制」研究

宇都宮南高等学校 (地歴・公民)	(30)
小山高等学校 (理科)	(30)
真岡高等学校 (数学)	(30)
茂木高等学校 (国語)	(30)
黒磯高等学校 (英語)	(30)

「カリキュラム・マネジメント」研究

鹿沼東高等学校	(30)
大田原女子高等学校	(30)

・「進学指導体制強化」プラン

「大学入学共通テスト」研究

(国語)	
宇都宮清陵高等学校	(30)
宇都宮中央女子高等学校	(30)
佐野東高等学校	(30)
真岡女子高等学校	(30)
(数学)	
宇都宮高等学校	(30)
宇都宮北高等学校	(30)
栃木女子高等学校	(30)
大田原高等学校	(30)

(英語)	
宇都宮女子高等学校	(30)
石橋高等学校	(30)
小山高等学校	(30)
真岡高等学校	(30)

「全日制普通科単位制高校導入に向けた進学指導体制」研究	
宇都宮中央女子高等学校	(30・1・2・3)
足利高等学校	(30・1・2・3)
足利女子高等学校	(30・1・2・3)

○英語教育連携プログラム開発事業

烏山高等学校 (研修協力校)	(30)
----------------	------

## (2) 文部科学省・国立教育政策研究所指定研究学校・推進校一覧

### ア 総務課

#### ○人権教育

宇都宮市立若松原中学校	(29・30)
真岡市立山前中学校	(29・30)
那須塩原市立黒磯小学校	(30・1)
足利市立坂西北小学校	(30・1)



## 6 県立中学校 入学者選考

平成 31 (2019) 年度県立中学校入学者選考においては、以下のようになっています。

### (1) 県立中学校の募集定員

- ア 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校  
105 名
- イ 栃木県立佐野高等学校附属中学校  
105 名
- ウ 栃木県立矢板東高等学校附属中学校  
70 名

※ただし、男女いずれかが 6 割を超えないものとする

### (2) 日程

- ア 適性検査、作文及び面接の実施  
平成 31 (2019) 年 1 月 12 日 (土)
- イ 入学予定者の決定  
平成 31 (2019) 年 1 月 17 日 (木)

### (3) 選考結果

- ア 宇都宮東高等学校附属中学校

	人 数	内 訳		倍 率*
		男 子	女 子	
出 願 者	474	228	246	4.51
受 験 者	470	224	246	4.48
入学予定者	105	43	62	

倍率\* (募集定員 105 名に対する比率)

- イ 佐野高等学校附属中学校

	人 数	内 訳		倍 率*
		男 子	女 子	
出 願 者	276	106	170	2.63
受 験 者	275	105	170	2.62
入学予定者	105	42	63	

倍率\* (募集定員 105 名に対する比率)

- ウ 矢板東高等学校附属中学校

	人 数	内 訳		倍 率*
		男 子	女 子	
出 願 者	169	71	98	2.41
受 験 者	167	70	97	2.39
入学予定者	70	29	41	

倍率\* (募集定員 70 名に対する比率)

## 7 高等学校入学者選抜

平成 31 (2019) 年 3 月の本県中学校等卒業生総数は 18,223 人であり、本県中学生の高等学校 (公・私立高・高専・特別支援学校高等部) への進学率は 99.0% となり、前年度と比べ 0.1 ポイント増加しました。

平成 31 (2019) 年度県立高等学校入学者選抜においては、以下のようになっています。

### (1) 県立高等学校の募集定員

募集定員は 12,635 人 (全日制 12,035 人、定時制 600 人) で、前年度と比べ 200 人減少しました。

### (2) 県立高等学校志願合格状況 (全日制・定時制)

合格者は 11,959 人で、その内訳は、全日制で 11,635 人 (特色選抜 3,286 人、A 海外特別選抜 24 人、一般選抜 8,325 人)、定時制で 324 人となっています。

### (3) 県立高等学校の入学者選抜方法の改善

全日制課程では、昭和 52 (1977) 年度から一部の専門学科ではじまった推薦入学は 58 (1983) 年度からは全専門学科で、61 (1986) 年度からは一部の普通科に、平成 7 (1995) 年度からはすべての普通科にも導入されました。また、平成 17 (2005) 年度からは学校・学科等の特色に応じて推薦入学を実施しないこともできるようになりました。さらに平成 26 (2014) 年度から、これまでの推薦入学に替えて特色選抜を実施しています。

平成 31 (2019) 年度の特徴選抜定員枠は、2,886 人 (前年度は 2,906 人) で、志願者は 5,222 人 (前年度は 5,479 人)、合格内定者は 3,286 人 (前年度は 3,323 人) でした。

また、平成元 (1989) 年度から海外帰国者・外国人等の受検に関する特別措置が導入され、平成 31 (2019) 年度は A 海外特別選抜において 24 人が合格しました。

学力検査受検者に対しては、平成元 (1989) 年度より希望する学校・学科において面接を導入しましたが、平成 31 (2019) 年度は 23 校 76 科で実施されました。

配点に関しては、学校・学科の特色等に応じて教科内傾斜配点を実施することができるようになっています。

さらに平成 9 (1997) 年度からは理数科、外国語科において特定教科の得点を 1.5 倍する教科間の傾斜配点も実施しています (現在は小山高等学校の理数科のみ実施)。平成 14 (2002) 年度からは、教科内傾斜配点を実施する学校・学科を事前に公表しています。

平成 12 (2000) 年度からは、学力検査と調査書の評定の



比重の置き方の弾力化をはかり、小山南高等学校スポーツ科では実技検査を導入しました。平成 14(2002)年度からは、選抜の手順等を公表したほか、学力検査得点の簡易開示を実施しています。さらに、欠席が多い理由等を説明しようとする志願者は自己申告書を提出でき、選抜のための資料に加える制度が導入されました。

定時制課程では、平成 17(2005)年度の学悠館高等学校の開校に伴いフレックス特別選抜が導入されました。平成 31(2019)年度のフレックス特別選抜定員枠は 100 人、志願者は 202 人、合格者は 110 人でした。

表V-3 平成31(2019)年度 県立高等学校入学者選抜一般選抜受検・合格状況(全日制課程) 平成31(2019).3.12現在

番号	学校名	学科名	男女	募集 定員	特色選抜 内定者数	A海外特 別選抜 内定者数	一般選抜 定員	受 検 人 員			合 格 人 員				合格 倍率	
								男	女	計	男		女			計
											第1志望	2,3志望	第1志望	2,3志望		
1	宇都宮	普通	男	280	27	3	250	323		323	250			250	1.29	
2	宇都宮東	普通	男女	160	57	2	0									
3	宇都宮南	普通	男女	320	100		220	142	130	272	111		109	220	1.24	
4	宇都宮北	普通	男女	320	48	1	271	218	146	364	164		107	271	1.34	
5	宇都宮清陵	普通	男女	240	60		180	93	103	196	82		98	180	1.09	
6	宇都宮女子	普通	女	280	28	4	248		300	300			249	249	1.20	
7	宇都宮中央女子	普通	女	240	27	2	211		256	256			211	211	1.21	
		総合家庭	女	40	8		32		57	57			33	33	1.73	
8	宇都宮白楊	農業経営	男女	40	14		26	15	19	34	11		15	26	1.31	
		生物工学	男女	40	14		26	22	22	44	12		15	27	1.63	
		食品科学	男女	40	14		26	4	47	51	1		26	27	1.89	
		農業工学	男女	40	14		26	40	1	41	27			27	1.52	
		情報技術	男女	40	14		26	44	6	50	24		3	27	1.85	
		流通経済	男女	40	14		26	17	32	49	7		20	27	1.81	
		服飾デザイン	男女	40	14		26	1	35	36			26	26	1.38	
9	宇都宮工業	機械システム	男女	120	30		90	101	4	105	81	4	4	1	90	1.24
		電気情報システム	男女	80	20		60	61	3	64	53	3	3	1	60	1.14
		建築デザイン	男女	40	10		30	33	17	50	18		13	31	1.61	
		環境建設システム	男女	80	20		60	68	11	79	51	1	8	60	1.34	
10	宇都宮商業	商業	男女	200	70		130	105	116	221	52		79	131	1.69	
		情報処理	男女	80	28		52	49	20	69	39		13	52	1.33	
11	鹿沼	普通	男女	240	60		180	119	101	220	99		81	180	1.22	
12	鹿沼東	普通	男女	200	60		140	110	72	182	83		57	140	1.30	
13	鹿沼南	普通	男女	80	17		63	28	42	70	24		39	63	1.11	
		食料生産	男女	40	10		30	21	14	35	17		13	30	1.17	
		環境緑地	男女	40	9		31	15	21	36	10		21	31	1.16	
		ライフデザイン	男女	40	13		27	3	27	30	3		24	27	1.11	
14	鹿沼商工	情報科学	男女	40	10		30	40	5	45	29		2	31	1.45	
		商業	男女	120	41		79	31	58	89	27		52	79	1.13	
15	今市	総合学科	男女	200	50		150	85	100	185	69		81	150	1.23	
16	今市工業	機械	男女	80	28		52	36	1	37	36	4	1	2	43	1.00
		電気	男女	40	8		32	23	1	24	23		1	24	1.00	
		建設工学	男女	40	14		26	22	10	32	18		8	26	1.23	
17	日光明峰	普通	男女	80	20		60	16	13	29	15		13	28	1.04	
18	上三川	普通	男女	160	40		120	56	83	139	46		74	120	1.16	
19	石橋	普通	男女	240	60	3	177	162	103	265	113		65	178	1.49	
20	小山	普通	男女	200	50		150	118	52	170	102		48	150	1.13	
		数理科学	男女	40	10		30	29	7	36	24		6	30	1.20	
21	小山南	普通	男女	80	24		56	47	47	94	31		26	57	1.65	
		スポーツ	男女	80	40		40	38	9	47	32		8	40	1.18	
22	小山西	普通	男女	200	50	1	149	98	85	183	76		73	149	1.23	

番号	学校名	学科名	男女	募集 定員	特色選抜 内定者数	A海外特 別選抜 内定者数	一般選抜 定員	受 検 人 員			合 格 人 員				合格 倍率	
								男	女	計	男		女			計
											第1志望	2,3志望	第1志望	2,3志望		
23	小山北桜	園芸科学	男女	40	6		34	16	21	37	14		20		34	1.09
		造園土木	男女	40	10		30	25	1	26	25		1		26	1.00
		建築システム	男女	40	7		33	28		28	27				27	1.04
		総合ビジネス	男女	40	10		30	19	20	39	16		14		30	1.30
		生活文化	男女	40	10		30	2	35	37	1		29		30	1.23
24	小山城南	総合学科	男女	200	50		150	45	157	202	31		119		150	1.35
25	栃木	普通	男	240	60		180	203		203	180				180	1.13
26	栃木女子	普通	女	240	36	2	202		221	221			202		202	1.09
27	栃木農業	植物科学	男女	40	10		30	31	7	38	21		7	2	30	1.36
		動物科学	男女	40	10		30	15	21	36	9	1	19	1	30	1.29
		食品科学	男女	40	10		30	15	24	39	10		20		30	1.30
		環境デザイン	男女	40	10		30	30	5	35	24	1	5		30	1.21
28	栃木工業	機械	男女	80	28		52	66	1	67	51		1		52	1.29
		電気	男女	40	12		28	36	1	37	22	4	1	1	28	1.61
		電子情報	男女	40	14		26	48	4	52	25		2		27	1.93
29	栃木商業	商業	男女	160	56		104	42	78	120	33	3	67	1	104	1.20
		情報処理	男女	40	14		26	23	13	36	18		8		26	1.38
30	栃木翔南	普通	男女	200	50		150	57	115	172	54		96		150	1.15
31	壬生	普通	男女	160	48		112	65	86	151	46		66		112	1.35
32	佐野	普通	男女	160	59	1	0									
33	佐野東	普通	男女	200	50		150	97	91	188	77		73		150	1.25
34	佐野松桜	情報制御	男女	80	28		52	66		66	52				52	1.27
		商業	男女	80	28		52	16	44	60	12		40		52	1.15
		家政	男女	40	14		26		24	24			24		24	1.00
		介護福祉	男女	30	10		20	4	19	23	2		18		20	1.15
35	足利	普通	男	160	40		120	143		143	120				120	1.19
36	足利南	総合学科	男女	160	56		104	38	96	134	28		76		104	1.29
37	足利女子	普通	女	200	50	1	149		169	169			149		149	1.13
38	足利工業	機械	男女	80	28		52	64	1	65	51		1		52	1.25
		電気	男女	40	12		28	33		33	28				28	1.18
		産業デザイン	男女	40	14		26	6	25	31	5		21		26	1.19
		電子機械	男女	40	12		28	27	1	28	25	3			28	1.12
39	足利清風	普通	男女	80	28		52	43	29	72	32		20		52	1.38
		商業	男女	80	28		52	25	39	64	21		31		52	1.23
		情報処理	男女	40	11		29	13	7	20	13	3	7	4	27	1.00
40	真岡	普通	男	200	40		160	165		165	160				160	1.03
41	真岡女子	普通	女	200	50	1	149		168	168			149		149	1.13
42	真岡北陵	生物生産	男女	40	10		30	15	14	29	14	1	14	1	30	1.04
		農業機械	男女	40	10		30	28	1	29	27	1	1	1	30	1.04
		食品科学	男女	40	14		26	9	22	31	6		20		26	1.19
		総合ビジネス	男女	40	14		26	12	19	31	7		19		26	1.19
		介護福祉	男女	30	9		21	2	14	16	1		14		15	1.07

番号	学校名	学科名	男女	募集定員	特色選抜 内定者数	A海外特 別選抜 内定者数	一般選抜 定員	受 検 人 員			合 格 人 員				合格 倍率	
								男	女	計	男		女			計
											第1志望	2,3志望	第1志望	2,3志望		
43	真岡工業	機 械	男女	40	14		26	24	1	25	24		1		25	1.00
		生産機械	男女	40	14		26	26	2	28	24		2		26	1.08
		建 設	男女	40	14		26	22	2	24	22	2	2		26	1.00
		電 子	男女	40	12		28	32	1	33	27		1		28	1.18
44	益子芳星	普 通	男女	160	40		120	51	83	134	44		76		120	1.12
45	茂 木	総合学科	男女	160	40		120	63	63	126	61		59		120	1.05
46	鳥 山	普 通	男女	200	70		130	75	48	123	75		48		123	1.00
47	馬 頭	普 通	男女	80	15		65	37	18	55	37		18		55	1.00
		水 産	男女	25	8		17	14		14	14				14	1.00
48	大 田 原	普 通	男	240	44		196	197		197	196				196	1.01
49	大田原女 子	普 通	女	200	50		150		159	159			150		150	1.06
50	黒 羽	普 通	男女	160	56		104	56	44	100	56		44		100	1.00
51	那須拓陽	普 通	男女	80	28		52	30	30	60	26		26		52	1.15
		農業経営	男女	40	14		26	15	10	25	15	1	10		26	1.00
		生物工学	男女	40	14		26	23	10	33	17		9		26	1.27
		食品化学	男女	40	14		26	7	23	30	6		20		26	1.15
		食物文化	男女	40	14		26	1	26	27	1		25		26	1.04
52	那須清峰	機 械	男女	40	14		26	24		24	23	3			26	1.04
		電 気	男女	40	14		26	30	1	31	25		1		26	1.19
		電子機械	男女	40	14		26	27		27	26				26	1.04
		建設工学	男女	40	14		26	25	2	27	24		2		26	1.04
		情報技術	男女	40	14		26	25	1	26	25		1		26	1.00
		商 業	男女	40	14		26	1	23	24	1		23		24	1.00
		リゾート観光	男女	40	14		26	7	9	16	7		9		16	1.00
53	那 須	普 通	男女	120	30	1	89	37	27	64	37		27		64	1.00
		リゾート観光	男女	40	14		26	7	9	16	7		9		16	1.00
54	黒 磯	普 通	男女	200	50		150	92	69	161	87		63		150	1.07
55	黒 磯 南	総合学科	男女	160	56		104	58	83	141	38		66		104	1.36
56	矢 板	農業経営	男女	40	14		26	16	16	32	12		14		26	1.23
		機 械	男女	40	14		26	28		28	26				26	1.08
		電 子	男女	40	14		26	25		25	24	2			26	1.04
		栄養食物	男女	40	14		26	8	18	26	8		18		26	1.00
		介護福祉	男女	30	10		20	7	12	19	7		12		19	1.00
57	矢 板 東	普 通	男女	160	68		29	8	7	15	8		7		15	1.00
58	高 根 沢	普 通	男女	80	20	1	59	24	33	57	24		33		57	1.00
		商 業	男女	120	42		78	38	39	77	38		39		77	1.00
59	さくら清 修	総合学科	男女	240	84	1	155	86	100	186	72		83		155	1.20
合 計				12,035	3,286	24	8,461	5,244	4,729	9,973	4,305	37	3,968	15	8,325	1.20

【備考】

1 一般選抜定員＝（募集定員）－（特色選抜内定者数）－（A海外特別選抜内定者数）

ただし、宇都宮東高等学校、佐野高等学校及び矢板東高等学校の一般選抜定員は、

一般選抜定員＝（募集定員）－（特色選抜内定者数）－（A海外特別選抜内定者数）－（内部進学による内定者数）

受検人員

受検人員計

2 合格倍率＝ $\frac{\text{第1志望合格人員}}{\text{受検人員}}$

ただし、合計欄の合格倍率＝ $\frac{\text{合格人員計}}{\text{受検人員計}}$

第1志望合格人員

合格人員計

表V-4 平成31(2019)年度 県立高等学校入学者選拔出願・合格状況(定時制課程)

平成31(2019).3.22 現在

番号	学校名	学科名	男女	一般選抜定員	出願人員				受検人員				合格人員			
					男	女	計	出願倍率	男	女	計	受検倍率	男	女	計	合格倍率
1	宇都宮工業	工業技術	男女	80	24	3	27	0.34	23	3	26	0.33	23	3	26	1.00
2	宇都宮商業	普通	男女	80	11	3	14	0.18	11	3	14	0.18	11	3	14	1.00
		商業	男女	40	8	10	18	0.45	8	9	17	0.43	8	9	17	1.00
3	鹿沼商工	商業	男女	40	6	1	7	0.18	5	1	6	0.15	5	1	6	1.00
4	学悠館	(I部)普通	男女	36	41	35	76	2.11	40	35	75	2.08	17	21	38	1.97
		(II部)普通	男女	36	39	15	54	1.50	37	13	50	1.39	26	11	37	1.79
		(III部)普通	男女	21	5	5	10	0.48	4	5	9	0.43	11	10	21	1.29
5	足利工業	工業技術	男女	40	8		8	0.20	8		8	0.20	8		8	1.00
6	真岡	普通	男女	40	15	11	26	0.65	14	8	22	0.55	14	7	21	1.05
7	大田原東	普通	男女	40	11	10	21	0.53	11	10	21	0.53	11	10	21	1.00
8	矢板東	普通	男女	40	2	3	5	0.13	2	3	5	0.13	2	3	5	1.00
合計				493	170	96	266	0.54	163	90	253	0.51	136	78	214	1.18

[備考] 1 学悠館高等学校を除く高等学校の一般選抜定員は、募集定員と同一である。  
学悠館高等学校の一般選抜定員は、募集定員からフレックス特別選抜の合格人員を除いたものである。

$$2 \text{ 出願倍率} = \frac{\text{出願人員}}{\text{一般選抜定員}}$$

$$3 \text{ 受検倍率} = \frac{\text{受検人員}}{\text{一般選抜定員}}$$

$$4 \text{ 合格倍率} = \frac{\text{合格人員}}{\text{第1志望合格人員}}$$

ただし、合計欄の合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員計}}{\text{合格人員計}}$

表V-5 平成31(2019)年度 フレックス特別選拔出願・合格状況

平成31(2019).3.12 現在

番号	学校名	学科名	男女	募集定員	募集定員の50%	出願人員				受検人員				合格人員			
						男	女	計	出願倍率	男	女	計	受検倍率	男	女	計	合格倍率
1	学悠館	(I部)普通	男女	80	40	48	54	102	2.55	48	53	101	2.53	17	27	44	2.30
		(II部)普通	男女	80	40	50	35	85	2.13	49	34	83	2.08	25	19	44	2.13
		(III部)普通	男女	40	20	9	6	15	0.75	8	6	14	0.70	14	8	22	1.27
合計				200	100	107	95	202	2.02	105	93	198	1.98	56	54	110	1.80

[備考]

$$1 \text{ 出願倍率} = \frac{\text{出願人員}}{\text{募集定員の50\%}}$$

$$2 \text{ 受検倍率} = \frac{\text{受検人員}}{\text{募集定員の50\%}}$$

$$3 \text{ 合格倍率} = \frac{\text{合格人員}}{\text{第1志望合格人員}}$$

ただし、合計欄の合格倍率 =  $\frac{\text{受検人員計}}{\text{合格人員計}}$

# 8 幼 児 教 育

## 幼児教育センター事業

幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校との連携を図りながら、幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境を目指し、次の基本方針に基づき各種の事業を実施した。

### (1) 基本方針

- ア 幼小連携の推進
- イ 研修
- ウ 情報の提供
- エ 調査研究

### (2) 幼小連携の推進

番号	事業名	内 容
1	幼小連携推進会議	「とちぎの幼児教育」の実施状況を報告し、今後の施策・事業の方向性に対する意見や、幼小連携の現状と課題について協議した内容を、次年度の取組に生かした。
2	幼小ジョイントプロジェクト	鹿沼市内の認定こども園仁神堂幼稚園、菊沢東小学校において、教職員による互いの保育・授業参観や幼児と児童との交流活動を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に相互理解を深めた。さらに、共有した子どもの姿からスタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの見直しを図った。また、その際の協議内容等を含め、報告書にまとめた。

### (3) 研修相談（教育・保育の質の向上）

- ア 研修

幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校の教職員を対象とした合同研修や幼小連携推進のための幼小連携推進者養成研修をはじめとして、幼稚園教育要領及び保育所保育指針等に基づく研修や今日的な課題に対応した研修及び情報提供を実施し、幼児期における教育・保育の充実を図った。

※幼：幼稚園、こ：幼保連携型認定こども園、保：保育所、小：小学校、義：義務教育学校、特：特別支援学校

番号	事業名	研修内容	対 象	日数	計 画		実 績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	合同研修 〔幼小〕	・「接続期の主体的・対話的で深い学び」とは ・幼小接続期のカリキュラムの見直し	幼・こ・保： 年長担当等、 小・義：1年 担任、 生活科主任等	1	570	570	534	534
2	幼小連携推進者養成研修	・幼小連携に欠かせないジョイントカリキュラムの在り方 ・小学校第一学年授業参観 ・幼稚園年長児保育参観 ・職場体験 ・幼小連携推進者の今後の役割	幼・こ・保・ 小・義教職員	5	40	200	40	196
3	トップセミナー	・幼児期における主体的・対話的で深い学びとは～大学入試改革から見る幼児教育～	幼・こ・保・ 小・義・特 園長、施設 長、校長等	1	200	200	137	137

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
4	幼児期の特別支援教育研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>要領・指針から見る幼児期における特別支援教育</li> <li>子どもとつながる、子どもをつなぐ、特別支援教育</li> <li>実践報告・協議</li> </ul>	幼・こ・保・小・義・特 教職員	2	80	160	55	105
5	スキルアップセミナーⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児理解に基づいた評価とは</li> <li>評価に生かす記録の実際</li> </ul>	幼・こ・保・小・義・特 教職員	1	100	100	82	82
6	スキルアップセミナーⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>要録の意義と役割</li> <li>発達と学びをつなぐ要録の作成と活用</li> </ul>	幼・こ・保・小・義・特 教職員	1	100	100	81	81
7	教育課程研究集会〔幼児教育〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議主題の解説</li> <li>研究発表と協議</li> </ul>	幼・こ・保 教職員	3	200	600	48	139
8	スタートカリキュラム講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育所・こども園って？～入学前の生活～</li> <li>スタートカリキュラムって？～入学当初の生活～</li> <li>自校のスタートカリキュラムを見直そう</li> </ul>	幼・こ・保・小・義 教職員	1	80	80	50	50
9	新規採用幼稚園教諭等研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者として</li> <li>幼児期の健康管理と安全管理</li> <li>幼児期の教育の基本</li> <li>保育の実践と省察</li> <li>保育観察・保育研究</li> <li>一人一人を大切に教育</li> <li>幼児理解に基づいた保育を考えよう</li> <li>指導計画の作成～明日の保育を考える～</li> <li>日案の作成</li> </ul>	新規採用幼稚園教諭等	4	267	1,068	267	969
10	幼稚園等教職5年目研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職5年目への期待</li> <li>新しい教育要領等について</li> <li>一人一人を大切に集団づくり</li> <li>障害のある幼児などへの指導</li> <li>幼児とものとの関わり</li> <li>環境を構成する際の教材の工夫</li> <li>各計画のつながりと一人一人を大切に指導計画</li> </ul>	教職経験5年目の教諭等	3	97	291	97	256
11	中堅幼稚園教諭等資質向上研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教員に向けて</li> <li>新教育要領等の全面実施に当たって</li> <li>子どもの学びをつなげる</li> <li>幼小接続の視点からの教育課程の工夫・改善</li> <li>幼児期における主体的・対話的で深い学びとは</li> <li>学校力を高めるカリキュラムマネジメント</li> <li>幼稚園等における組織マネジメント</li> <li>地域における幼児期の教育のセンターとしての役割とは</li> <li>幼児期における特別支援教育</li> <li>教育課程と子どもの姿のつながり</li> <li>課題研究の成果と課題 等</li> </ul>	教職経験11年目の教諭等	6	33	198	33	189
12	幼児教育特別講座Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な計画とは</li> </ul>	幼・こ・保 園長、施設長	1	100	100	65	65
13	幼児教育特別講座Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児期の特別支援教育とは</li> </ul>	幼・こ・保 教職員	1	100	100	46	46
幼児教育関係研修合計					1,967	3,767	1,535	2,849

イ 園内研修等への支援

幼稚園・保育所等からの要請に応じ、指導主事や幼児教育専門員等を教育・保育アドバイザーとして派遣し、教育内容や教育課程に関すること、幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所・小学校・義務教育学校の連携に関すること、家庭との連携に関すること等への講話、演習を行った。また、教職員等からの教育上の問題や悩みについての相談に応じ、課題の解決への援助を行った。

(7) 保育・教育アドバイザー派遣件数

番号	月 派遣先	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		1	幼稚園			1					1			
2	保育所			2	1	1		1				1		6
3	こども園			2	3		3	2	4	3	4	2		23
4	教育委員会その他	2	1	3	7	3	3	5	3	2	2	1		32
計		2	1	8	11	4	6	8	8	5	6	4	0	63

内容等：「発達に応じた子どもへの対応」、「教育課程の編成」、「幼小連携」、「要録の記入と活用」、「計画訪問」等

(4) 教育相談実施件数

番号	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		1	来所相談							1	1			
2	電話相談													0
計								1	1					2

(4) 情報の提供

幼児教育に関する教材ビデオ等を整備し、研修等で活用することにより、教職員の指導力を高めるとともに、情報誌やホームページ等により、保護者や幼児教育関係者に情報を提供し、子育ての支援や幼児教育の理解促進を図った。

ア 教材ビデオ等の活用・ホームページによる情報提供

区分	内容	備考
ビデオライブラリー	研修用ビデオの整備と活用	貸出 9件 13本
幼児教育センターホームページ	幼児教育センター事業案内、リーフレット、その他 URL <a href="http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/">http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/</a>	アクセス件数 4,460件

イ 国公立幼稚園等代表者会議の開催

(7) 期 日：平成30(2018)年6月6日

(4) 参加者：国公立幼稚園等関係者行政担当者 6園 10名

(9) 内 容：国及び県の幼児教育関係施策・指針の伝達、各園の情報交換等

ウ 刊行活動

刊行活動	部数等	配布先	主な内容
幼児教育センター情報誌 「おうち」	平成30(2018)年9月 65,000部	各幼稚園、こども園、保育所等を通じ、3歳から5歳の子を持つ保護者及び教職員、その他関係機関等	第33号：「文字に親しむ」
	平成31(2019)年2月 65,000部		第34号：「きまりを守るって？」



## (5) 調査研究

幼小連携等に係る今日的課題について調査研究を行い、その成果を広く発信・提供し課題解決の一助とした。

### ア 幼児教育に関する調査研究

研究内容	委員	備考
「幼児教育と小学校教育との接続」	幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育園・小学校の教職員等（委員数6名）	幼児教育と小学校教育の接続を「カリキュラムをつなぐ」「保育と授業をつなぐ」「一人一人をつなぐ」の3つの視点で捉え、実際にカリキュラムや保育・授業の見直しを行い、実践した成果を、幼児教育と小学校教育の望ましい接続の在り方としてリーフレットにまとめた。

### イ 家庭における幼児教育の実態調査

研究主題	研究内容	対象	備考
家庭における幼児教育の実態調査	テーマ： 「文字に親しむ」について 「きまりを守るって？」について	幼稚園・こども園・保育所等に通う3歳から5歳の子をもつ保護者	調査：年2回実施 結果は幼児教育センターで発行する幼児教育センター情報誌「おうち」にて情報提供

## 9 へき地・複式・分校教育

本県におけるへき地等小・中学校は22校、全小・中学校の約4.2%を占めています。また、複式学級をもつ学校は39校で、全小・中学校の約7.5%に達しています。なお、複式学級の数は82学級です。(表V-6)

### (1) 勤労条件の改善

- ア へき地学校に赴任した教職員に対して4号給昇給を行いました。
- イ へき地手当に準ずる手当を支給しました。

### (2) 研修活動の充実

初めて複式学級の担任となる教員等を対象に6月12日日光市立足尾小学校を会場に「複式学級担当教員研究会」を実施しました。

また、10月11日～12日に実施された第67回全国へき地教育研究大会京都大会には、3名の教職員を派遣しました。

表V-6 へき地学校等及び複式学級分校等の数

教育事務所	へき地等学校										小中別合計		合計
	へき地学校等										小	中	
	特別地	準へき地		へき地学校									
		1級	2級	3級	小	中							
小	中	小	中	小	中	小	中	小	中				
河内													0
上都賀			1	1	5	4	1	1			7	6	13
芳賀			2								2		2
下都賀													0
塩谷南那須					1						1		1
那須	1				1						2	0	2
安足			2		2						4		4
計	1		5	1	9	4	1	1			16	6	22
	1		6		13	2	0				22		

教育事務所	複式学級をもつへき地等学校の数	複式学級をもつ分校の数	複式学級をもつその他の学校の数	分校をもつ学校の数	分校の数	複式学級の数
河内						
上都賀	7		12			43
芳賀	1					1
下都賀			4			8
塩谷南那須			2	1	1	4
那須	2		5	2	2	15
安足	3		3			11
計	13		26	3	3	82
		39				

(注)へき地等学校・複式・分校数

$$\text{網掛け} (22+27+3) = 52$$

# 10 定時制・通信制教育

## (1) 定時制課程の現況

ア 学校名、設置学科、生徒数等

平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

学 校 名	独立・併置・分校別	昼夜別	学 科	生徒数	完全給食
宇 工 高	併 置	夜	工業技術	91	○
宇 商 高	〃	〃	普・商	109	○
鹿 商 工 高	〃	〃	商 業	38	○
学 悠 館 高	独 立 校	昼・夜	普・商	560	○
足 工 高	併 置	夜	工業技術	53	○
真 高	〃	〃	普 通	68	○
大 東 高	独 立 校	〃	〃	76	× (補食給食)
矢 東 高	併 置	〃	〃	45	× (補食給食)
計				1, 040	6

イ 募集定員・出願・合格状況……表V-4及び表V-5 (P53) のとおりです。

## (2) 通信制課程在籍生徒数 (平成 18(2006)年度～平成 30(2018)年度)

[宇都宮高等学校]

平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

年度	18年 (2006)	19年 (2007)	20年 (2008)	21年 (2009)	22年 (2010)	23年 (2011)	24年 (2012)	25年 (2013)	26年 (2014)	27年 (2015)	28年 (2016)	29年 (2017)	30年 (2018)
男	410	410	400	393	402	407	410	425	416	413	368	364	339
女	390	390	400	407	398	393	390	375	376	380	337	315	288
計	800	800	800	800	800	800	800	800	792	793	705	679	627

[学悠館高等学校]

平成 30(2018)年 5 月 1 日現在

年度	18年 (2006)	19年 (2007)	20年 (2008)	21年 (2009)	22年 (2010)	23年 (2011)	24年 (2012)	25年 (2013)	26年 (2014)	27年 (2015)	28年 (2016)	29年 (2017)	30年 (2018)
男	174	177	176	179	191	166	160	157	149	130	139	140	133
女	188	223	221	221	209	239	215	212	185	143	145	149	152
計	362	400	397	400	400	405	375	369	334	273	284	289	285

## (3) 主な定通教育関係事業及び行事 (平成 30(2018)年度)

行 事 名	主 催 団 体	期 日	開 催 地	参 加 対 象
定時制通信制総合体育大会	高 体 連 県 教 委 定通教育振興会	6 月 16、23 日	県総合運動公園ほか	定通制生徒 1, 200 人
定時制通信制文化発表会	県 教 委 定通教育振興会 高 文 連	10 月 13 日	栃木県教育会館	定通制生徒 1, 200 人

# 11 産 業 教 育

## (1) 産業教育の現状

### ア 概要

職業に関する学科を置く高等学校は全部で 23 校、うち職業学科のみの単独校が農業 1 校、工業 5 校、商業 2 校の計 8 校で、ほかに職業学科のみの併置校が 7 校、普通科との併置校が 8 校あります。下記表中の学校数・学級数は学科設置校の延数です。

学 科	学校数	学級数	生 徒 数
農 業	7	60	2, 274
工 業	11(2)	114(13)	4, 439(145)
商 業	12(3)	87(14)	3, 404(108)
水 産	1	3	62
家 庭	7	21	829
福 祉	3	9	260
計	41(5)	294(27)	11, 268(253)

(注) ( ) は定時制課程を示す。

### イ 学科構成

農業に関する学科 14 ( 農業、農業経営、生物生産、園芸科学、食料生産、環境緑地、農業土木、農機工学、食品化学、食品科学、造園土木、生物工学、農業機械、生活科学)

工業に関する学科 17 ( 機械、電子機械、情報制御、生産機械、電気、電子情報、電子、建築デザイン、建設工学、建築システム、建設、環境設備、環境土木、産業デザイン、情報科学、情報技術、なお定時制に工業技術)

商業に関する学科 5 ( 商業、情報処理、流通経済、リゾート観光、総合ビジネス)

水産に関する学科 1 ( 水産)

家庭に関する学科 7 ( 家政、総合家庭、服飾デザイン、栄養食物、食物文化、生活文化、ライフデザイン)

福祉に関する学科 2 ( 社会福祉、教養福祉)

## (2) 産業教育教員の研修

### ア 研究協議会等の開催

#### (7) 産業教育学科主任等研究協議会

学科主任及び農場長等を対象とし、栃木県総合教育センターにおいて、研究協議(学科別分科会)を行いました。

#### 〈研究協議題〉

「生徒の課題解決能力を育成する取組について」

### イ 研修のための派遣

#### (7) 文部科学省主催等講習会への派遣

全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座 1 人、学校農業クラブ指導者養成講座 2 人、産業・情報技術等指導者養成研修 5 人、産業教育実習助手研修 1 人、の計 9 人を派遣しました。

#### (4) 産業教育担当教員の現場実習派遣

県外 0 人、県内 8 人の計 8 人を派遣しました。

#### (7) 総合教育センターにおける研修

〔X〕教育機関等事業 1 総合教育センターを参照

## (3) 教育内容・方法の改善

### ア キャリア形成支援事業

企業・大学・地域等の外部機関や人材を活用し、専門的な知識・技術を学んだり、「大学等の向こうにある社会」を意識し、社会における自分の役割や在り方、生き方等について生徒が深く考えたりする機会を充実することにより、社会的・職業的自立に向け必要となる資質・能力を育成する。

平成 30(2018)年度は県立高等学校(全日制、定時制、通信制)と特別支援学校の 3 校合わせて 64 校で実施しました。

## (4) 栃木県産業教育審議会

〔I〕教育委員会 2 附属機関を参照

## (5) 栃木県産業教育振興会

### ア 現状

本会は、産業界及び教育関係者の協力で昭和 28(1953)年に設立されました。

9 支部からなり、平成 30(2018)年度末現在の会員は、産業界 751 社・団体、公・私立 31 校であり、事務局を学校教育課内に置いています。

### イ 主な事業

栃高教研の各関係部会との連携のもとに次の様な事業を実施しています。

栃高教研各部会補助、産業教育優良卒業生の表彰、産業教育功労者の表彰、産業教育教員の研究助成、産業教育教員の現場実習派遣、会報発行など。

# 12 特別支援教育

## (1) 特別支援学校の概要

### ア 学校数

平成 30(2018)年度の学校数(県立)は、特別支援学校 16 校(分校 1 校を含む)です。

### イ 学級数及び在籍幼児児童生徒数

平成 30(2018)年度の学級数及び在籍幼児児童生徒数は下の表のとおりです。前年度と比較すると、学級数で 9 学級増加、幼児児童生徒数で 26 人増加しています。

障害種別	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	合計
学校数	1	1	10	2	2	16
幼稚部学級数	1	5				6
幼児数	2	21				23
小学部学級数	5	8	151	41	20	225
児童数	10	24	679	111	47	871
中学部学級数	4	4	92	23	9	132
生徒数	10	15	408	59	22	514
高等部学級数	7	8	154	20	13	202
生徒数	17	20	1,045	61	31	1,174
専攻科学級数	5					5
生徒数	9					9
学級数合計	22	25	397	84	42	570
幼児児童生徒数合計	48	80	2,132	231	100	2,591

## (2) 特別支援学級等の概要

平成 30(2018)年度の特別支援学級の設置学校数、学級数、在籍児童生徒数は下の表のとおりです。前年度と比較すると、学級数で 35 学級増加、在籍児童生徒数で 233 人増加しています。通級指導教室は計 148 教室です。

学校	種別	知的障害	肢体不自由	病弱・ 身体虚弱	弱視	難聴	自閉症・ 情緒障害	合計
小学校等	学校数	265	12	4	1	9	259	299
	学級数	342	12	4	1	9	328	696
	児童数	1,533	17	5	2	16	1,468	3,041
中学校等	学校数	133	5		1	3	119	261
	学級数	167	5		1	3	152	328
	生徒数	785	8		1	3	625	1,422
合計	学校数	398	17	4	2	12	378	560
	学級数	509	17	4	2	12	480	1,024
	児童生徒数	2,318	25	5	3	19	2,093	4,463

(注) 学校数の合計の数値は、特別支援学級設置校の実数である。

## (3) 特別支援教育の充実

### ア 特別支援教育の充実

#### (ア) 特別支援教育研究会の開催

小・中学校等の教頭を対象に、特別支援学校(知的障害)を会場にして特別支援教育に関わる法令や制度を踏まえた校内支援体制の整備についての理解啓発を図りました。

#### (イ) 特別支援教育学習指導研修の実施

小・中学校等の特別支援学級担当 2 年目の教員を対象に、特別支援学校で行われている指導について理解を促し、実践的指導力の向上を図るため、特別支援学校で研修を実施しました。

#### (ロ) 高等学校における支援情報の引継ぎに関する調査研究の実施

高等学校特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会及び各高等学校における校内研修会の開催により、高等学校教員に対し、引継ぎの趣旨や方法等について周知を図りました。

また、引継ぎの取組について、県内大学・専門学校等を訪問しての説明及び依頼、経済五団体を通じた団体会員(企業)への周知を行いました。

### イ 発達障害児の支援

#### (ア) 認定こども園・幼稚園・保育所、小・中・高等学校等への専門家の派遣

発達障害のある幼児児童生徒への適切な指導及び必要な支援を充実させるため、医療や心理等の専門家を学校等の要請に応じて派遣しました。

#### (イ) 発達障害に関する理解啓発のためのリーフレットの作成

特別支援教育資料「栃木県立高等学校における特別支援教育の充実—『通級による指導』の導入 2019~2021 年度—」を作成しました。

### ウ 入院高校生の支援

自治医科大学附属病院及び獨協医科大学病院に入院する生徒について、特別支援学校分教室と高等学校との連携による教育支援を行いました。

### エ 障害のある児童生徒の教育支援の推進

#### (ア) 県教育支援委員会の開催

障害のある子どもの教育支援にかかわる事項について説明・報告及び意見聴取を行いました。

- ・年 3 回開催
- ・教育支援委員会委員 17 人
- ・教育支援委員会調査員 10 人

#### (イ) 教育支援地方研究協議会の開催

各市町教育委員会の就学事務担当者及び特別支援学校の就学相談担当者等の資質の向上を図るため、障害のある子どもの教育支援に関する研究協議等を行いました。

- ・年 3 回開催

# 13 人 権 教 育

## オ 新教育課程の周知

### (7) 教育課程編成の手引の作成

特別支援学校教育課程編成の手引（小学部・中学部）及び特別支援学級及び通級による指導教育課程編成の手引を作成しました。

### (イ) 説明会の開催

特別支援学校小学部・中学部新学習指導要領等に示された内容を周知するため、特別支援学校教員を対象に特別支援学校新教育課程説明会、小・中学校等の特別支援学級及び通級による指導担当教員を対象に特別支援教育新教育課程説明会を開催しました。

## カ 職業教育指導体制の強化

特別支援学校（知的障害）高等部において、今後の就職先として期待される流通、環境、食品、福祉に関する分野について、企業等の外部専門家の知見を活用しながら、研修会の開催や指導計画の改善を行いました。

また、特別支援学校（知的障害）3校に就労支援コーディネーターを配置し、県内全域の新たな実習・就職先の企業開拓を行うとともに、企業に対して特別支援学校における職業教育の理解啓発を図るための企業向けセミナーを行いました。

## キ 自立活動指導の充実

特別支援学校における自立活動の指導をより充実させるため、各学校が外部専門家の知見を活用した研修会等を定期的に実施しました。また、県主催の報告会等においては、各学校の取組についての協議を行い、情報共有を図りました。

## ク 交流及び共同学習の推進

特別支援学校の児童生徒等の経験を広め、積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、特別支援学校の近隣の学校や児童生徒の居住する地域の学校との交流及び共同学習を計画的、組織的に行い、相互理解の促進を図りました。

## ケ 特別支援学校センター的機能の充実

特別支援学校において、障害のある幼児とその保護者に対する相談や小・中学校等の教員の指導力向上のための支援を行いました。

## コ 学校看護師の配置

医療的ケアが必要な児童生徒に対し、非常勤学校看護師を10校に配置しました。

## サ 医療的ケアに関する体制の充実

運営協議会を開催し、特別支援学校における医療的ケアの実施状況や課題などについての情報交換や協議を行いました。

各校においては、指導医による医療的ケア実施についての研修を行いました。

学校における人権教育は、学校の実情を踏まえるとともに、児童生徒の発達段階に即しながら各教科等の特質に応じ、教育活動全体を通して、組織的・計画的に推進してきました。

## (1) 人権教育の努力点

### ア 学校教育課

すべての教育活動をととして人権教育を推進するとともに、各種研修会の開催、関係資料の作成、研究学校の研究、校内研修の充実などにより教職員の資質向上に努めました。

### イ 総合教育センター

人権教育を推進するために、人権や人権教育に関する研修を適切に配置し、教職員が人権感覚や実践的な人権意識を高められるよう努めました。

## (2) 人権教育の推進

### ア 人権教育指導体制の充実

学校の教育活動全体を通じて、全職員の共通理解のもとに人権教育を組織的、計画的に推進するため、各学校の実態に即した指導体制の充実を図るよう、支援に努めました。

### イ 学習内容・方法の改善・充実と資料の作成

すべての教育活動を通じて人権教育を推進していくため、参加体験型の手法を取り入れるなど、学習内容・方法の改善・充実を図るとともに、児童生徒の発達の段階に即し、人権について正しく理解させるための指導資料を作成し、活用の促進に努めました。

### ウ 指導者研修の充実

人権教育を、全ての学校において正しく推進するため、指導者の資質向上をめざして、計画的に指導者研修を実施しました。

#### ・教職員課

県立学校長会議（1回）

#### ・学校教育課

75人

地区別人権教育研修会（1回7地区） 506人

高等学校及び特別支援学校人権教育実践研究会（2回） 170人

県立学校教頭事務連会（4回） 420人

県立学校教務主任連絡協議会（2回） 170人

県立学校生徒指導連絡協議会（2回） 170人

県立学校進路指導連絡協議会（1回） 87人

## (4) 総合教育センターにおける研修

〔X〕教育機関等事業 1 総合教育センターを参照

・総合教育センター

基本研修

初任者研修	492人
新規採用養護教諭研修	25人
新規採用学校栄養職員研修	6人
新規採用事務職員研修	27人
教職2年目研修	365人
教職2～5年目研修〔5年目〕	317人
養護教諭2年目研修	27人
養護教諭2～5年目研修〔5年目〕	24人
学校栄養職員2年目研修	4人
学校栄養職員2～5年目研修〔5年目〕	3人
事務職員5年目研修	19人
中堅教諭等資質向上研修	211人
中堅養護教諭資質向上研修	18人
中堅学校栄養職員資質向上研修	4人
教職20年目研修	181人

エ 人権教育研究学校の指定

人権教育の実践的な研究を通して、人権教育に関する指導方法等の改善・充実を図るため、研究学校を指定し、研究を進めてきました（**5 研究学校**を参照）。

# 14 国際理解教育

(1) 外国語指導助手配置状況（平成30(2018)年度）

区分	外国語指導助手（姓・名）	性別	国籍	高校
県立学校関係	チャフーラ・ケビン	男	米	宇都宮高校
	ツダ・ウィリアム	男	米	宇都宮南高校
	マクリントック・ソフィ	女	豪	宇都宮北高校
	ホー・ドミニク	女	英	宇都宮清陵高校
	ヘイメン・アレクサ	女	米	宇都宮女子高校
	リンチ・ジョスリン	女	米	宇都宮中央女子高校
	チュロング・バトリック	男	豪	宇都宮商業高校
	プリチャード・シャーロット	女	英	鹿沼高校
	ローガン・カイル	男	米	今市高校
	ワーラー・メイソン	男	米	小山高校
	シューツ・チャンドラー	男	米	栃木高校
	マーフィー・サンディー	女	巴	栃木女子高校
	ハー・ザイ	男	米	栃木翔南高校
	ブラウン・ジャミラ	女	米	佐野東高校
	ライ・チンジュー	女	1	佐野松桜高校
	ジョーンズ・デリアン	男	米	足利高校
	ヘスケス・オリビア	女	英	足利女子高校
	セシラーノ・ドニー	男	豪	足利清風高校
	セファル・ビンセント	男	米	真岡高校
	スタルカップ・ウィリアム	男	米	大田原高校
	ボール・ジェニファー	女	米	大田原女子高校
	マニング・ダニエル	男	愛	黒磯南高校
	ブランキン・ジェイムス	男	英	宇都宮東高校附属中学
	ラフエニエル・ポーニバルアナイース	女	加	佐野高校附属中学
	セスカ・プリンセス・マリエル	女	比	矢板東高校附属中学

(注)「巴」はバルバドス、「1」は南アフリカ、「愛」はアイルランド、「比」はフィリピンの略である。

(2) グローバル人材育成事業（平成30(2018)年度）

豊かな語学力・コミュニケーション能力を身に付け、異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティを備えた、国際的に活躍できる「グローバル人材」を育成するため以下の取組を実施しています。

ア 高校生長期留学支援事業

官民協働海外留学支援制度

トビタテ留学 JAPANの積極的な活用を呼びかける情報提供を行い、多くの高校生の海外留学への挑戦を応援する。

# 15 情 報 教 育

- イ 県立学校短期留学支援事業  
 単独校や複数校からなる団体の独自企画による短期留学への支援をする。  
 支援対象団体 13 団体
- ウ グローバルコミュニケーション力強化事業  
 高校生の論理的思考の向上と国際社会で活用できる表現力を養成する。  
 ディベート指導者研修会  
 7月14日(土) 会場：宇高
- エ グローバル人材育成講演会事業  
 グローバルキャリアの視点から世界の第一線で活躍する企業人などの講演や、県内高校生の留学経験者による報告会等を通して、幅広い教養と専門性を身に付け、グローバル人材の育成を図る。  
 11月19日(月) 会場：とちぎ福祉プラザ
- オ 起業家精神育成事業  
 チャレンジ精神やチームワークとリーダーシップを養う観点から、企業との連携により日本国内及び世界に通用する商品開発や販売促進を通して、グローバル化に対応できる人材の育成を図る。  
 実施校：栃工高、足工高、北陵高、矢高、鹿沼高、壬生高、茂木高
- カ 高校生短期留学プログラム支援事業(国庫事業)  
 学校等が主催する短期の海外派遣プログラムに参加する高校生に対して補助金を交付する。  
 大田原女子高校、宇都宮北高校、栃木翔南高校の計48名に対して補助金を交付した。

## (1) 情報教育の推進

指導者研修(総合教育センターにおける研修)

研 修 名	日	計 画		実 績	
		実人数	延人数	実人数	延人数
ICT 活用研修 〔エクセルの活用〕	1	60	60	61	61
ICT 活用研修 〔タブレット端末の活用〕	1	30	30	33	33

## (2) 県内公立学校におけるコンピュータの導入等の状況

(平成30(2018)年4月現在)

### ア コンピュータを設置する学校数

(ア) 小学校	100.0%
(イ) 中学校	100.0%
(ウ) 義務教育学校	100.0%
(エ) 高等学校	100.0%
(オ) 特別支援学校	100.0%
(カ) 合 計	100.0%

### イ インターネット接続

(ア) 小学校	100.0%
(イ) 中学校	100.0%
(ウ) 義務教育学校	100.0%
(エ) 高等学校	100.0%
(オ) 特別支援学校	100.0%
(カ) 合 計	100.0%



# 16 学 校 体 育

## (1) 指導者の資質の向上

小学校では、体育を専門とする教員が少ないため、体育実技に関する研修や指導法の研究等を積極的に行い資質の向上を図る必要があります。

中学校では、第1学年及び第2学年において全領域が必修となっていることから、特に武道指導、ダンス指導について指導力の向上を図る必要があります。

また、高等学校では、特技を持つ教員は多いものの、特技以外の領域についても指導力の向上を図る必要があります。

このような状況を踏まえ、体育担当教員の資質の向上を図るため次の各種講習会及び研究会等を開催しました。

### ○小学校体育実技指導者講習会

7月24・25・26・27日 参加者 145人

### ○学校体育実技指導者講習会（宇都宮市）

8月1・2日、9月6・7日 参加者 218人

### ○学校武道指導者講習会（宇都宮市）

6月5日 参加者 59人

### ○武道認定講習会（宇都宮市）

10月25・29日、11月1・2日 参加者 17人

### ○学校体育実技指導協力者派遣（前期）

5月31日～7月18日 宇都宮市ほか6市町

### ○学校体育実技指導協力者派遣（後期）

11月6日～平成31(2019)年2月18日 真岡市ほか1市町

### ○児童生徒の体力向上指導者研修会（足利市、益子町、大田原市）

7月30日、8月3日、11月27日 参加者 105人

### ○児童生徒の体力、運動能力調査学校担当者会議（宇都宮市）

2月4日 参加者 475人

### ○運動部活動指導者研修会（宇都宮市ほか）

8月7・21・23・26日 参加者 156人

### ○登山計画審査会（県庁北別館ほか）

第1回：平成30(2018)年4月23日(月)【登山計画審査21件】

第2回：平成30(2018)年5月30日(水)【登山計画助言1件、登山計画が「ボライ」検討】

第3回：平成30(2018)年6月22日(金)【登山計画審査22件、登山計画助言3件】

※第4回：平成30(2018)年7月24日(火)【登山計画が「ボライ」検討】

第5回：平成30(2018)年9月7日(金)【登山計画審査13件、登山計画助言1件、登山計画が「ボライ」検討】

第6回：平成30(2018)年11月14日(水)【登山計画審査5件、登山計画が「ボライ」検討】

## (2) スポーツ活動の促進

中学校及び高等学校における学校教育活動としての各種スポーツ大会の開催や関東・全国大会の派遣等について次のような指導助成を行いました。

### ア 中学校

#### 《各種大会開催》

#### ○県中学校春季体育大会（宇都宮市ほか）

5月30日～7月7日 18競技 12,908人

#### ○県中学校総合体育大会（宇都宮市ほか）

7月16日～1月17日 22競技 14,003人

#### ○県中学校新人大会（宇都宮市ほか）

9月22日～10月16日 19競技 8,363人

#### ○関東中学校体操大会（宇都宮市）

8月8日～10日 237人

#### ○関東中学校新体操大会（小山市）

8月5日～7日 216人

#### ○関東中学校剣道大会（小山市）

8月10日～11日 673人

#### 《各種大会派遣》

#### ○関東大会派遣（東京都ほか）

7月28日～12月2日 20競技種目 1,147人

#### ○全国大会派遣（中国ほか）

8月17日～2月2日 22競技種目 301人

#### 《顕彰》

#### ○優秀選手・学校・指導者顕彰（宇都宮市）

平成31(2019)年1月31日

・中学校スポーツ最優秀賞 2団体

・奨励賞（有望選手） 370人

・優秀選手賞 567人

・優秀学校賞 11学校

・優秀監督賞 30人

### イ 高等学校

#### 《各種大会開催》

#### ○県高等学校総合体育大会兼関東大会県予選会（宇都宮市ほか）

4月14日～1月17日 35競技 13,218人

#### ○全国高等学校総合体育大会県予選会（宇都宮市ほか）

5月12日～11月3日 30競技 12,063人

#### ○県高等学校定通制総合体育大会（宇都宮市）

6月16日～23日 9競技ほか 383人

#### ○県高等学校新人大会（宇都宮市ほか）

8月12日～2月11日 34競技 11,964人

#### ○県高等学校定通制秋季大会（宇都宮市ほか）

10月27日～11月10日 7競技 204人

#### ○関東高等学校バスケットボール大会（宇都宮市ほか）

6月2・3日 512人

#### ○関東高等学校卓球大会（宇都宮市）

6月2・3日 696人

#### ○関東高等学校ラグビーフットボール大会（佐野市）

6月9・10日 819人

○関東高等学校剣道大会（宇都宮市）  
6月9・10日 736人  
《各種大会派遣》

○関東大会派遣（関東各都県）  
6月2日～2月10日 44競技種目 1,891人

○全国大会派遣（全日制・三重県ほか）  
7月28日～2月26日 41競技種目 660人

○全国大会派遣（定通制・東京都ほか）  
7月27日～8月19日 9競技種目 159人  
《顕彰》

○優秀選手顕彰（宇都宮市）  
31(2019)年1月・2月  
・高校スポーツ賞 15名

・高校スポーツ奨励賞 13名

・優秀選手賞 3名

・優秀監督賞 4名

・特別功労賞 3名

・特別賞 該当なし

・高校スポーツ優秀選手賞 67名

・高校優秀選手 552名

ウ その他  
《中学校・高等学校運動部に関する調査》

○運動部加入率 平成30(2018)年6調査

学校種別	調査校数	運動部加入率 (%)
中学校	165	70.1
高等学校	全日制	74
	定通制	10
		21.2

### (3) 体育施設の整備

学校体育施設は年々整備されており、特にプール建設に対する関心が高まり、漸次その設置率は高まっています。

プール 平成30(2018)年5月1日現在

学校種別	栃木県		
	学校数	設置数	設置率(%)
小学校	360	336	93.3
中学校	154	122	79.2
義務教育学校	2	1	50.0
高等学校	61	55	90.2

**武道場(専用)：**中学校の整備率が高等学校のそれと比べて極めて低く、整備の促進が急がれます。高等学校においても更に、計画的な整備が必要です。

平成30(2018)年5月1日現在

学校種別	学校数	柔・剣道場(注)		相撲場	
		設置校数	設置率(%)	設置校数	設置率(%)
中学校	154	114	74.0	1	0.6
義務教育学校	2	1	50.0		
高等学校	61	51	83.6	2	3.3

(注)柔・剣道場は独立・併設を含む。

**屋外運動場：**中学校及び高等学校の屋外運動場は年々整備されてきました。今後とも更なる整備を図る必要があります。

平成30(2018)年5月1日現在

学校種別	栃木県		
	学校数	設置数	設置率(%)
小学校	360	360	100.0
中学校	154	150	97.4
義務教育学校	2	2	100.0
高等学校	61	60	98.4

### (4) 体力調査

児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料として活用するため、体力調査を実施しました。**(表V-7 体力調査の結果からみた本県の児童生徒の体力の現状 参照)**

調査の期日：平成30(2018)年5～7月

調査の内容：新体力テスト及び身体計測

調査の対象：県内の小・中学校・義務教育学校及び高等学校を悉皆。

小学校	363校	96,217人
中学校	158校	46,969人
高等学校(全)	59校	34,228人
(定)	8校	666人
計	588校	178,080人

調査の結果は平成30(2018)年度「栃木県児童生徒の体力」として刊行済みです。

表V-7 体力調査の結果から見た本県の児童生徒の体力の現状（平成30(2018)年度）

(男子)

区分	年齢	年度	人数	項目	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび	ホー ル投げ	合計点	身長	体重	
					(kg)	(回)	(点)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)		(cm)	(kg)	
小学校	6歳	2018	7,786	平均	9.10	11.61	25.14	27.59	19.16	11.66	111.49	7.92	29.78	116.37	21.61	
				標準偏差	2.24	5.24	6.26	4.99	10.26	1.23	18.09	3.14	6.65	5.01	4.07	
		2017	7,626	平均	8.91	11.58	25.25	27.34	18.51	11.68	110.24	7.94	29.47	116.31	21.57	
				標準偏差	2.29	5.26	6.42	4.83	9.84	1.18	17.86	3.12	6.56	5.03	3.59	
		7歳	2018	8,113	平均	10.67	14.10	26.82	31.53	28.34	10.81	123.48	11.06	36.77	122.29	24.39
					標準偏差	2.53	5.46	6.67	5.92	13.97	1.10	18.17	4.34	7.45	5.34	4.58
	2017		7,957	平均	10.65	14.15	26.37	31.49	27.76	10.85	122.15	11.16	36.47	122.39	24.33	
				標準偏差	2.54	5.28	6.54	5.89	13.32	1.15	17.75	4.47	7.40	5.07	4.41	
	8歳		2018	8,214	平均	12.51	16.10	28.76	35.47	35.62	10.26	134.07	14.54	42.78	128.13	27.69
					標準偏差	2.86	5.74	7.17	7.01	17.12	1.07	18.62	5.63	8.22	5.56	5.58
		2017	8,102	平均	12.39	15.95	28.04	35.13	34.55	10.37	130.53	14.46	41.87	128.02	27.63	
				標準偏差	2.92	5.69	6.79	7.03	16.73	1.09	18.77	5.72	8.23	5.55	5.47	
		9歳	2018	8,381	平均	14.28	17.80	29.90	39.47	43.68	9.86	141.99	17.76	47.91	133.46	31.20
					標準偏差	3.24	5.66	7.23	7.21	19.48	1.03	19.42	6.82	8.85	5.83	6.76
	2017		8,249	平均	14.26	17.94	29.83	39.15	43.27	9.87	141.01	18.27	47.85	133.38	31.08	
				標準偏差	3.26	5.85	7.28	7.33	19.78	1.07	19.57	6.90	8.92	5.79	6.88	
	10歳		2018	8,480	平均	16.45	19.66	32.15	42.88	52.23	9.46	150.88	21.49	53.52	138.88	34.90
					標準偏差	3.68	5.76	7.78	7.12	21.80	0.99	20.61	7.89	9.24	6.21	8.13
		2017	8,522	平均	16.41	19.80	31.67	42.72	51.99	9.48	149.00	21.75	53.31	138.96	34.86	
				標準偏差	3.65	5.74	7.62	7.36	21.38	1.02	21.02	8.08	9.12	6.21	7.89	
		11歳	2018	8,425	平均	19.44	21.59	34.51	46.00	60.72	9.03	160.98	25.03	59.29	145.18	39.28
					標準偏差	4.61	5.63	7.91	6.87	22.96	1.00	22.24	9.20	9.61	7.25	9.27
	2017		8,128	平均	19.30	21.67	34.04	45.84	60.50	9.05	159.56	25.11	58.98	144.86	38.92	
				標準偏差	4.66	5.67	8.01	6.99	22.98	0.99	21.63	9.24	9.53	7.45	9.34	
中学校	12歳		2018	7,989	平均	23.66	23.81	38.36	49.16	68.43	8.69	176.76	17.01	32.99	152.51	44.48
					標準偏差	6.17	5.66	9.09	6.54	23.76	0.89	25.09	4.87	8.88	8.11	10.57
		2017	8,201	平均	23.52	23.80	37.97	48.94	68.97	8.70	174.71	16.67	32.57	152.51	44.47	
				標準偏差	6.15	5.58	9.04	6.77	23.33	0.96	24.85	4.78	8.82	8.15	10.01	
		13歳	2018	7,991	平均	29.01	27.11	42.39	52.81	85.81	8.04	194.53	19.89	41.68	159.62	49.02
					標準偏差	7.05	5.85	9.98	7.12	24.28	0.77	25.51	5.55	10.13	7.70	9.96
	2017		7,917	平均	29.17	27.16	42.35	52.37	86.04	8.06	191.64	19.50	41.58	159.63	49.06	
				標準偏差	7.07	6.01	10.19	7.74	24.42	0.89	28.17	5.47	10.08	7.68	9.98	
	14歳		2018	8,106	平均	34.21	29.47	46.69	55.73	94.02	7.61	208.83	22.62	48.92	164.88	54.05
					標準偏差	7.25	5.91	10.87	7.20	23.93	0.71	25.50	5.82	10.67	6.76	10.23
		2017	8,211	平均	34.20	29.42	46.91	55.66	93.96	7.65	207.55	22.03	48.55	165.10	54.06	
				標準偏差	7.28	5.97	10.70	7.09	24.21	0.67	25.73	5.71	10.62	6.67	9.93	
高校(全日制)		15歳	2018	5,676	平均	36.90	29.27	49.48	57.06	86.07	7.55	216.89	22.91	50.49	167.97	59.07
					標準偏差	6.59	5.49	10.75	6.34	23.40	0.70	24.11	5.37	9.73	6.07	10.65
	2017		5,712	平均	37.13	29.58	49.18	56.95	87.13	7.56	217.56	23.39	50.85	167.83	59.18	
				標準偏差	6.89	5.75	10.91	6.32	23.23	0.63	23.97	5.56	10.08	5.87	10.75	
	16歳		2018	5,508	平均	39.35	30.69	51.46	58.36	90.95	7.43	223.91	24.47	54.17	169.35	60.91
					標準偏差	7.05	5.83	11.27	6.89	26.08	0.69	24.26	5.67	10.72	5.83	10.52
		2017	5,426	平均	39.31	31.12	51.57	58.60	93.13	7.36	224.61	24.86	54.99	169.36	61.05	
				標準偏差	6.84	5.77	10.84	6.43	25.31	0.71	23.72	5.75	10.38	5.88	10.47	
		17歳	2018	5,472	平均	41.06	31.77	53.05	59.65	92.64	7.32	227.44	25.52	56.70	170.17	62.90
					標準偏差	7.11	5.83	10.77	6.42	25.81	0.66	23.95	5.89	10.64	5.83	10.77
	2017		5,644	平均	40.88	31.81	52.89	59.25	90.66	7.35	227.34	25.49	56.27	170.17	63.10	
				標準偏差	6.99	6.11	11.13	6.68	25.68	0.74	24.18	5.95	10.81	5.85	10.67	
高校(定時制)	15歳		2018	121	平均	36.01	22.96	42.69	46.77	53.40	8.17	193.72	19.07	37.18	167.80	63.78
					標準偏差	7.49	5.92	11.79	9.46	25.30	1.05	32.48	5.11	10.01	6.18	17.67
		2017	141	平均	36.87	24.43	40.45	48.38	55.43	7.92	198.99	20.58	39.40	167.45	61.47	
				標準偏差	7.51	7.09	10.24	7.36	23.21	0.90	28.38	5.95	10.02	6.64	14.54	
		16歳	2018	113	平均	38.56	24.76	43.32	49.50	59.85	7.73	209.58	20.58	42.24	168.30	62.48
					標準偏差	7.65	6.90	11.32	8.23	23.18	0.77	26.88	5.84	10.37	6.25	13.39
	2017		108	平均	37.91	24.28	41.82	48.09	58.02	8.04	203.11	20.47	39.90	168.51	63.95	
				標準偏差	6.75	6.97	11.14	9.02	24.41	1.17	29.67	5.74	10.37	5.99	14.10	
	17歳		2018	108	平均	39.96	25.20	45.72	50.82	60.48	7.75	211.56	21.94	44.05	169.92	64.20
					標準偏差	7.73	7.53	12.07	9.73	27.53	0.88	31.79	5.61	11.70	5.82	13.94
		2017	93	平均	40.49	23.62	44.12	46.71	57.20	7.95	201.02	21.28	40.61	169.20	62.37	
				標準偏差	7.86	7.22	11.83	9.17	24.34	1.04	34.19	5.66	10.20	5.70	12.74	
18歳		2018	60	平均	40.02	23.83	42.28	49.40	59.85	7.97	205.05	20.30	40.52	169.70	64.78	
				標準偏差	8.50	6.81	11.03	6.97	24.53	0.88	29.32	5.70	10.64	6.67	16.10	
	2017	78	平均	41.68	26.49	45.27	48.10	59.76	7.89	207.85	21.79	43.04	168.77	64.70		
			標準偏差	6.32	6.84	9.41	8.69	25.98	0.99	31.35	5.88	8.82	6.04	15.44		

- ・2017年度の10歳、13歳のデータは、「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）による」
- ・用語「平均値」は調査結果の算術平均値であり、集団の尺度上の位置を示す。平均値＝調査結果の総和／人数（標本数）
- ・用語「標準偏差」は、調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に68%が入り、平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。
- ・ボール投げは、小学生はソフトボール、中・高校生はハンドボールを用いる。
- ・体力合計点は、8種目を得点化したものであり、各種目10点満点で合計80点満点となる。男女別及び学校種別で基準が異なる。

(女子)

区分	年齢	年度	人数	項目	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ	合計点	身長	体重
					(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)		(cm)	(kg)
小学校	6歳	2018	7,326	平均	8.52	11.35	27.37	26.72	16.41	11.95	104.23	5.50	30.07	115.42	21.03
				標準偏差	2.04	5.06	6.37	4.48	7.61	1.13	16.47	1.82	6.73	4.98	3.33
		2017	7,325	平均	8.41	11.22	27.64	26.51	15.95	11.99	103.69	5.60	29.80	115.53	21.17
				標準偏差	2.13	4.97	6.45	4.28	7.66	1.09	16.40	1.93	6.64	4.89	3.41
	7歳	2018	7,691	平均	10.05	13.78	29.68	30.49	22.55	11.09	116.04	7.39	37.49	121.40	23.84
				標準偏差	2.32	4.97	6.83	5.25	9.93	1.03	16.81	2.54	7.26	5.12	4.11
		2017	7,487	平均	10.11	13.94	29.22	30.65	22.64	11.11	116.01	7.51	37.56	121.47	23.81
				標準偏差	2.35	4.99	6.69	5.27	10.18	1.02	16.87	2.57	7.34	5.38	4.20
	8歳	2018	7,741	平均	11.83	15.65	32.04	34.35	28.00	10.51	127.75	9.59	44.02	127.26	26.94
				標準偏差	2.66	5.41	7.30	6.46	12.97	1.00	17.80	3.32	8.15	5.62	5.20
		2017	7,614	平均	11.73	15.55	31.17	33.98	27.34	10.60	125.16	9.66	43.26	127.34	27.01
				標準偏差	2.71	5.27	6.90	6.37	12.52	0.96	17.75	3.40	7.96	5.55	5.16
	9歳	2018	7,922	平均	13.62	17.37	33.68	38.22	35.32	10.09	136.48	11.79	49.88	133.37	30.52
				標準偏差	3.08	5.23	7.35	6.45	14.99	0.95	18.50	4.14	8.51	6.28	6.31
		2017	7,803	平均	13.61	17.29	33.56	37.81	34.91	10.08	135.12	11.92	49.60	133.41	30.31
				標準偏差	3.18	5.27	7.33	6.67	14.96	0.98	18.29	4.28	8.55	6.37	6.30
	10歳	2018	8,048	平均	16.20	18.96	36.74	41.43	43.37	9.64	145.77	14.17	55.99	140.08	34.53
				標準偏差	3.83	5.18	7.94	6.38	16.94	0.92	19.71	5.09	8.87	6.87	7.41
		2017	8,107	平均	16.15	19.05	36.04	41.20	42.94	9.66	144.51	14.22	55.91	140.14	34.62
				標準偏差	3.67	5.10	7.89	6.42	16.56	0.88	20.09	5.00	8.63	6.84	7.25
	11歳	2018	8,090	平均	19.30	20.57	39.37	44.08	49.90	9.24	155.18	16.26	61.55	146.71	39.49
				標準偏差	4.26	5.06	8.35	6.19	18.27	0.87	20.68	6.05	8.74	6.68	8.08
		2017	7,848	平均	19.18	20.28	38.82	43.52	48.98	9.27	152.89	16.16	60.85	146.45	39.34
				標準偏差	4.32	5.02	8.40	6.20	17.74	0.77	20.39	6.00	8.73	6.83	8.15
中学校	12歳	2018	7,711	平均	21.75	21.63	42.29	46.04	53.04	9.11	164.13	11.62	44.82	151.49	44.03
				標準偏差	4.55	5.19	9.12	5.68	18.32	0.75	21.67	3.73	10.19	5.97	8.24
		2017	7,765	平均	21.58	21.11	42.12	45.47	52.28	9.17	161.39	11.21	43.65	151.67	44.22
				標準偏差	4.46	4.96	8.97	5.72	18.15	0.76	21.48	3.62	10.09	5.79	8.38
	13歳	2018	7,436	平均	24.09	23.87	45.40	47.82	60.81	8.82	170.95	12.86	50.48	154.69	47.36
				標準偏差	4.59	5.47	9.38	5.86	19.59	0.81	22.31	4.12	10.82	5.39	7.81
		2017	7,623	平均	24.15	23.73	44.96	47.21	60.87	8.84	167.75	12.69	50.01	154.65	47.55
				標準偏差	4.56	5.53	9.24	6.11	19.58	0.79	23.60	4.03	10.58	5.35	7.56
	14歳	2018	7,736	平均	25.69	24.99	47.65	48.85	61.51	8.73	173.59	13.96	53.45	156.27	50.34
				標準偏差	4.68	5.74	9.70	6.06	19.91	0.73	22.78	4.36	11.13	5.33	7.58
		2017	7,895	平均	25.62	24.83	47.35	48.49	60.59	8.76	171.71	13.52	52.64	156.05	50.34
				標準偏差	4.73	5.54	9.68	6.23	19.87	0.83	23.59	4.26	11.32	5.18	7.72
高校(全日制)	15歳	2018	5,923	平均	25.64	23.94	48.55	49.20	52.98	8.93	172.25	13.32	51.73	156.61	51.85
				標準偏差	4.48	5.42	9.95	5.33	16.74	0.71	21.92	3.96	10.36	5.08	7.91
		2017	6,069	平均	25.62	23.92	47.80	48.71	52.91	8.96	172.11	13.31	51.30	156.57	51.87
				標準偏差	4.36	5.39	9.74	5.35	16.67	0.73	21.25	4.01	10.24	5.21	7.58
	16歳	2018	5,891	平均	26.48	24.81	49.53	49.47	54.05	8.92	173.49	13.76	53.10	157.09	52.89
				標準偏差	4.54	5.67	9.99	5.54	18.52	0.87	22.11	4.17	11.07	5.36	7.56
		2017	5,810	平均	26.44	24.83	49.56	49.07	53.68	8.98	173.60	13.75	52.78	157.11	53.10
				標準偏差	4.59	5.56	9.79	5.56	18.80	0.80	22.47	4.25	11.09	5.13	7.84
	17歳	2018	5,758	平均	26.90	25.14	51.41	49.86	53.36	8.98	174.38	14.12	53.92	157.39	53.32
				標準偏差	4.62	5.82	9.85	5.72	19.24	0.91	22.66	4.35	11.39	5.41	8.04
		2017	5,659	平均	26.82	25.27	50.92	49.42	52.93	8.99	173.82	14.02	53.56	157.36	53.32
				標準偏差	4.64	5.79	9.89	5.83	19.16	0.87	22.66	4.20	11.34	5.31	7.90
高校(定時制)	15歳	2018	101	平均	25.78	19.86	46.12	42.81	33.94	9.38	151.66	11.86	41.90	156.29	54.74
				標準偏差	6.14	5.96	10.65	5.87	13.64	1.01	23.77	3.76	10.87	5.02	10.96
		2017	106	平均	25.76	18.49	45.28	41.27	34.78	9.68	151.67	12.18	40.51	155.68	54.31
				標準偏差	5.53	5.76	8.98	6.16	15.55	1.49	22.91	3.59	11.04	5.45	10.20
	16歳	2018	65	平均	26.23	20.37	47.40	42.42	37.18	9.42	157.72	12.85	44.06	156.86	54.09
				標準偏差	5.42	5.83	10.10	8.49	15.33	1.18	27.30	3.28	10.79	5.93	9.64
		2017	80	平均	25.16	18.11	44.29	42.03	30.53	9.65	150.63	11.74	39.53	155.82	53.07
				標準偏差	6.53	7.28	9.54	6.58	13.13	1.20	24.92	3.56	11.43	6.23	9.46
	17歳	2018	70	平均	25.66	19.57	45.37	42.41	34.74	9.62	156.27	11.86	41.79	155.49	51.51
				標準偏差	5.73	5.93	9.70	5.73	13.93	1.44	23.85	3.62	11.01	5.99	8.26
		2017	62	平均	27.06	19.61	44.13	43.15	36.85	9.43	156.56	12.63	42.81	155.35	53.67
				標準偏差	5.56	5.90	8.76	6.30	15.71	1.06	23.33	4.10	11.01	11.08	10.56
18歳	2018	28	平均	28.25	21.50	45.82	40.46	34.86	9.60	162.36	13.32	43.64	155.84	53.24	
			標準偏差	6.68	6.56	13.58	9.49	18.43	1.33	29.87	4.59	15.46	6.06	8.05	
	2017	44	平均	26.98	18.48	44.18	39.84	27.39	10.37	146.43	11.93	37.48	155.34	55.89	
			標準偏差	5.31	6.77	8.49	7.20	12.44	1.52	22.24	3.70	10.64	5.31	13.77	

- ・2017年度の10歳、13歳のデータは、「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)による」
- ・用語「平均値」は調査結果の算術平均値であり、集団の尺度上の位置を示す。平均値＝調査結果の総和／人数(標本数)
- ・用語「標準偏差」は、調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に68%が入り、平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。
- ・ボール投げは、小学生はソフトボール、中・高校生はハンドボールを用いる。
- ・体力合計点は、8種目を得点化したものであり、各種目10点満点で合計80点満点となる。男女別及び学校種別で基準が異なる。

# 17 学校保健安全

児童・生徒の学校保健・安全対策を推進しました。

## (1) 幼児児童生徒の体格

平成 30(2018)年度の幼児、児童生徒の身長及び体重を終戦直後の昭和 23(1948)年度及び 30 年前(親世代)の昭和 63(1988)年度と比較しました。(表V-8参照)

男女別に昭和 63(1988)年度との値の差が最大となる年齢は、男子は身長が 13 歳と 15 歳(1.9cm 増)、体重が 15 歳(1.9kg 増)となっており、女子は身長が 5 歳(1.5cm 減)、体重が 15 歳(1.2kg 減)となっています。

## (2) 学校心臓検診

### ア 目的

学校における児童生徒の心臓疾患等を早期に発見し、適切な事後管理を行うため、学校保健安全法に定められている小学 1 年生・中学 1 年生・高校 1 年生の他、本県では小学 4 年生も対象に心臓検診を実施し、学校における健康管理の充実を図りました。

### イ 検診方法

#### ①小・中学 1 年生

##### (ア) 対象

全県下の小・中学 1 年生の児童・生徒

##### (イ) 検診項目と実施方法(市町立及び県立学校)

###### ○一次検診

- (1) 心臓病調査票
- (2) 4 誘導心電図(小学 1 年生)
- (3) 12 誘導心電図(中学 1 年生)
- (4) 3 心音図
- (5) 胸部打聴診
- (6) 健康観察結果

###### ○二次検診

一次検診の結果、要精検となった者について実施。

- (1) 12 誘導心電図
- (2) 8 心音図
- (3) 胸部X線(70mm 以上)
- (4) 胸部打聴診

###### ○最終判定

二次検診の結果を、専門家による委員会で判定しました。さらに高度な検診を必要とするものについては、専門医療機関等に紹介しました。

なお、異常のある場合は、所見名をつけるとともに、管理指導区分を決め、事後措置の徹底を図りました。

#### ②高校 1 年生

##### (ア) 対象

全県下の高校 1 年生の生徒

##### (イ) 検診項目と実施方法(県立学校のみ)

###### ○一次検診

- (1) 心臓病調査票
- (2) 12 誘導心電図
- (3) 胸部打聴診
- (4) 健康観察結果

###### ○最終判定

一次検診の結果を専門家による委員会で判定し、要精密検査となった者には、各保護者に通知し、保護者の負担及び責任において受診させた医療機関からの最終結果及び管理指導区分を学校に提出後、学校から、県立学校心臓検診判定委員会に報告し、最終判定を確認しました。

さらに、異常のある場合は、事後措置の徹底を図りました。

#### ③小学 4 年生

##### (ア) 対象

県内(市町立及び県立学校)の小学 4 年生の児童

##### (イ) 検診項目と実施方法

学校の設置者の定めた項目・方法による。

### ウ 検診結果

#### ①小学 1 年生

○一次検診 受診率 99.91%

#### ②中学 1 年生

○一次検診 受診率 99.65%

#### ③高校 1 年生(全日制)

○一次検診 受診率 99.93%

#### ④小学 4 年生

○一次検診 受診率 99.75%

表V-8 男女別、年齢別平均体格 昭和62(1987)年度(親世代)及び昭和23(1948)年度(終戦直後の世代との比較)  
(男子)

区分		身長 (cm)					体重 (kg)				
		平成 30(2018) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	昭和 63(1988) 年度 C	差 A-C	平成 30(2018) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	昭和 63(1988) 年度 C	差 A-C
幼稚園	5歳	109.5	105.1	4.4	110.8	▲1.3	18.7	17.0	1.7	19.3	▲0.6
小学校	6	116.5	109.4	7.1	116.8	▲0.3	21.7	18.5	3.2	21.7	0.0
	7	122.5	113.5	9.0	122.3	0.2	24.6	20.3	4.3	24.4	0.2
	8	128.5	118.1	10.4	128.2	0.3	27.5	22.1	5.4	27.6	▲0.1
	9	133.6	122.9	10.7	133.3	0.3	31.2	24.2	7.0	31.2	0.0
	10	139.0	126.0	13.0	138.1	0.9	35.4	26.3	9.1	34.1	1.3
	11	144.7	131.1	13.6	144.2	0.5	38.9	28.7	10.2	38.4	0.5
中学校	12	152.2	135.8	16.4	151.0	1.2	44.5	31.3	13.2	44.2	0.3
	13	159.8	142.7	17.1	157.9	1.9	49.4	34.7	14.7	48.6	0.8
	14	165.2	146.7	18.5	163.9	1.3	54.6	39.2	15.4	54.6	0.0
高等学校	15	168.5	153.3	15.2	166.6	1.9	60.3	42.8	17.5	58.4	1.9
	16	169.7	155.4	14.3	169.0	0.7	61.6	46.2	15.4	61.1	0.5
	17	170.1	158.7	11.4	169.7	0.4	62.8	49.8	13.0	62.6	0.2

(女子)

区分		身長 (cm)					体重 (kg)				
		平成 30(2018) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	昭和 63(1988) 年度 C	差 A-C	平成 30(2018) 年度 A	昭和 23(1948) 年度 B	差 A-B	昭和 63(1988) 年度 C	差 A-C
幼稚園	5歳	108.7	104.2	4.5	110.2	▲1.5	18.3	16.5	1.8	19.1	▲0.8
小学校	6	115.5	107.9	7.6	115.8	▲0.3	21.2	17.8	3.4	21.0	0.2
	7	121.6	112.6	9.0	121.4	0.2	24.2	19.6	4.6	23.5	0.7
	8	127.1	117.3	9.8	127.6	▲0.5	27.1	21.4	5.7	26.9	0.2
	9	133.3	122.0	11.3	133.4	▲0.1	30.9	23.5	7.4	30.1	0.8
	10	139.4	126.6	12.8	139.2	0.2	34.1	25.8	8.3	34.1	0.0
	11	147.4	131.5	15.9	146.2	1.2	40.3	28.5	11.8	39.5	0.8
中学校	12	151.2	135.6	15.6	151.2	0.0	43.8	32.6	11.2	44.4	▲0.6
	13	154.5	139.1	15.4	154.3	0.2	47.5	36.5	11.0	47.7	▲0.2
	14	156.5	146.2	10.3	156.0	0.5	50.9	40.7	10.2	50.6	0.3
高等学校	15	157.0	149.9	7.1	157.3	▲0.3	51.8	46.4	5.4	53.0	▲1.2
	16	156.9	150.5	6.4	157.3	▲0.4	52.5	45.9	6.6	53.2	▲0.7
	17	158.0	151.3	6.7	157.2	0.8	54.3	48.0	6.3	53.4	0.9

**(3) 児童生徒の感染症**

児童生徒の感染症等による出席停止報告は表V-9のとおりです。

**表V-9 平成30(2018)年度感染症等発生状況(県教委届出分)**

感染症の種類	区分	人数	合計	感染症の種類	区分	人数	合計
インフルエンザ	小	24,697	38,957	溶連菌感染症	小	3,420	4,448
	中	9,253			中	918	
	義	57			義	9	
	高	4,950			高	101	
百日咳	小	19	28	手足口病	小	34	50
	中	8			中	16	
	義	0			義		
	高	1			高		
麻疹	小		0	伝染性紅斑	小	88	117
	中				中	29	
	義				義		
	高				高		
流行性耳下腺炎	小	249	340	ヘルパンギーナ	小	44	53
	中	82			中	8	
	義				義	1	
	高	9			高		
風疹	小	1	3	マイコプラズマ感染症	小	174	283
	中				中	82	
	義				義	2	
	高	2			高	25	
水痘	小	1,290	1,621	感染性胃腸炎	小	726	1,578
	中	304			中	451	
	義	1			義	4	
	高	26			高	397	
咽頭結膜熱	小	81	108	带状疱疹	小	34	62
	中	24			中	21	
	義	0			義		
	高	3			高	7	
結核	小			伝染性膿痂疹	小	5	8
	中				中	3	
	義				義		
	高				高		
腸管出血性大腸菌感染症	小	1	2	アデノウイルス感染症	小	24	39
	中	1			中	13	
	義				義		
	高				高	2	
流行性角結膜炎	小	160	237	その他	小	74	177
	中	55			中	36	
	義	1			義	2	
	高	21			高	65	
急性出血性結膜炎	小	1	2	その他	小	23	25
	中				中	2	
	義				義		
	高	1			高		
		計				48,138	

\* あたまじらみは感染症ではない

**(4) 学校安全**

ア 本県の児童生徒の交通事故発生状況

児童生徒の交通事故発生状況は表V-10のとおりです。

**表V-10 交通事故発生状況**

(ア) 交通事故発生状況(平成30(2018)年分県警交通企画課調べ)

対象区分	件数	死亡	負傷者
幼児	95	0	92
小学生	135	1	132
中学生	131	0	129
高校生	248	2	240
計	609	3	593

(イ) 高校生が関係する交通事故の状態別・原因別発生状況(当事者数)

原因別	状態別	状態別							
		総数	歩行者	自転車	二輪車	うち原付	うち同乗	四輪車	うち同乗
総数		256	12	176	32	24		36	32
免許経験	無免許	2			2				
	1年未満	22			18	16		4	
	1年以上	12			12	8			
	該当なし	220	12	176				32	
事故原因	交差点違反								
	信号無視	2			2	1			
	一時不停止	12		10	1			1	
	徐行								
	右左折方法								
	その他	3		2	1	1			
	通行区分・追越								
	横断転回								
	飲酒運転								
	速度過大	1			1				
ハンドル操作等不適	18		18						
わき見	6		4	2	2				
安全不確認	55		46	8	7		1		
動静不注視	14		11	3	3				
その他	15		10	5	3				
違反なし	95	9	75	9	7		2		
同乗中	32						32	32	
歩行者の違反	3	3							

イ 学校における交通安全指導の強化

平成30(2018)年における状況は、前年に比べて発生件数が増加し、小学生及び高校生(私立学校を含む。)の死亡事故が発生しております。原因別発生状況では、「安全不確認」や「違反なし」の交通事故数が増加しております。

従来から児童生徒を悲惨な交通事故から守るため、通学路対策、スクールゾーン対策等交通環境の整備促進を図っていますが、究極的には人の問題が重要であることから、交通道徳を含む交通安全の優れた実践者たる社会人を育成するという教育本来の目的に即した人づくりの一環として、交通安全教育が学校教育全体を通じて組織的、計画的に行われるよう積極的に推進する必要があります。特に、次により学校教育において交通安全教育の徹底を図っています。

○学校における交通安全教育の明確な位置づけと指導の改善充実を図る。

○児童生徒の登下校における通学路の安全確保と安全指導の徹底を図る。

- 教職員に対する交通安全教育に関する研修会の開催並びに交通安全指導者実技講習会へ積極的に派遣し、指導力の向上を図る。
- 高校生の交通事故の防止と交通マナー向上のため、県内全9地区に設置した高等学校交通問題地域連絡協議会の活動の充実を図る。
- 学校、家庭、地域が一体となって交通安全に関する意識高揚のための活動を推進する。
- 高等学校生の運転適性検査を実施し、一人一人の特性に応じた指導を強化する。
- 高等学校生に対する二輪車安全運転講習会の開催を推進し、安全運転意識の高揚と実践態度の育成を図る。

ウ (独) 日本スポーツ振興センター災害共済給付

(ア) 加入状況

少子化に伴う幼児児童生徒数の減少に伴い、災害共済制度への加入者も漸減傾向にあります。平成30(2018)年度の栃木県内における加入者の合計は266,231人で、昨年度から1,793人の減となりました。

(イ) 給付状況

栃木県内の学校管理下における幼児児童生徒の災害に係る(独)日本スポーツ振興センターの給付状況について、平成30(2018)年度は23,250件で、昨年度から2,125件の減となりました。(表V-11参照)

表V-11 栃木県の災害共済給付の状況

(単位：人、件、円)

年度	加入者数 (除要保護)	医療費		障害見舞金		死亡見舞金		合計	
		給付件数	給付額	給付件数	給付額	給付件数	給付額	給付件数	給付額
平成25 (2013)	278,176	28,608	216,480,045	3	3,040,000	2	42,000,000	28,613	261,520,045
26 (2014)	276,348	27,638	218,561,835	7	24,600,000	2	56,000,000	27,647	299,161,835
27 (2015)	273,548	27,815	217,372,203	4	11,920,000			27,819	229,292,203
28 (2016)	271,333	26,240	204,071,874	5	80,420,000	1	14,000,000	26,246	298,491,874
29 (2017)	268,024	25,363	202,083,679	5	13,540,000	7	196,000,000	25,375	411,623,679
30 (2018)	266,231	23,243	180,357,109	6	15,680,000	1	28,000,000	23,250	224,037,109

出典：(独) 日本スポーツ振興センター学校安全部「災害共済給付状況」



# 18 食育・学校給食

## (1) 学校給食の実施状況

### ア 小・中学校、義務教育学校

本県における学校給食の実施状況は、平成30(2018)年5月1日現在で、完全給食が公立小学校(100%)・中学校(98.1%)、(小学校360校・99,656人、中学校151校・49,919人、義務教育学校2校・348人)実施されています。

### イ 夜間定時制高等学校

夜間定時制高等学校における学校給食の実施校は、8校のうち完全給食6校、補食給食2校となっています。

### ウ 特別支援学校

特別支援学校における学校給食の実施校は、12校(完全給食)です。

## (2) 学校給食調理場の設置状況

現在、学校給食は単独調理場方式と共同調理場方式の二つの調理方式により実施されています。

公立小・中学校、義務教育学校においては、単独調理場方式が207箇所、共同調理場方式が61箇所です。夜間定時制高等学校及び特別支援学校は、全て単独調理場方式です。

## (3) 栄養摂取状況

1人1食当たりの児童生徒栄養摂取状況についてみると、小学校、中学校、義務教育学校、夜間定時制高等学校、特別支援学校とも、おおむね良好です。

## (4) 学校給食費

食事内容の充実向上と給食費は密接な関係にあり、発達の段階における栄養摂取基準を満たすことはもちろんのこと、「おいしく魅力ある給食」とするためには、相応の費用を必要としますが、本県1人1食当たりの平均給食費は、小学校244円19銭、中学校285円87銭となっています。少ない経費でよりよい学校給食を実施しています。

## (5) 衛生管理

学校給食は、集団給食であるため、衛生管理の徹底を図り、より安全かつ安心できる食事の提供を行っています。

## (6) 優良学校等の表彰

学校給食実施上、優れた成果を挙げてきた学校及び学校給食共同調理場並びに学校給食に特に功績のあった学校給食関係者や団体を、例年学校給食優良学校等として、栃木県教育委員会教育長又は文部科学大臣より表彰を受けています。

## (7) 食に関する指導の実施状況

各学校においては、児童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、適切な栄養の摂取による健康の保持増進が図られるよう、学校給食の時間を中心として各教科・特別活動など学校の教育活動全体を通じて食に関する指導を実施しています。

[市町立学校における食に関する指導の実施状況]

項目	割合(%)
食に関する指導の全体計画作成	100.0
食に関する指導の年間指導計画作成	97.5
給食だよりの配布	98.1
食育だよりの配布	91.6
地域生産者等との交流活動の実施	76.2

## (8) 学校給食における地場産物活用状況

学校給食に地場産物を活用して食に関する指導を行うことにより、児童生徒が暮らす地域の自然や食文化、産業に対する理解を深め、地域に誇りをもつことにもつながります。

平成30(2018)年度 41.3%

※「学校給食実施状況」「学校給食供給対象学校数及び供給対象児童生徒数」は、栃木県ホームページをご覧ください。

(URL)

[http://www.pref.tochigi.lg.jp/m09/kenkouhukurika/kyushoku\\_tyousah30.html](http://www.pref.tochigi.lg.jp/m09/kenkouhukurika/kyushoku_tyousah30.html)

または

ホーム>教育・文化>学校教育>学校保健・給食  
>平成30年度学校給食の実施状況

## [VI] 生涯學習

# 1 生涯学習振興

県民の生涯学習に対する意欲の高まりに応えるとともに、学んで活かす「生涯学習社会“とちぎ”」の形成を目指し、その推進体制の整備と関連事業の充実を図るため、次のような事業に取り組んでいます。

## (1) 生涯学習審議会の運営

生涯学習の推進に関する施策について県民の意見を求めるため、知事又は教育委員会の諮問に応じ、生涯学習に関する重要事項を調査審議することを目的として「生涯学習審議会」を設置しています。

○会議：年2回

## (2) 生涯学習推進本部の運営

生涯学習に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、知事を本部長とする「生涯学習推進本部」を設置し、「栃木県生涯学習推進計画」の策定を行い、「栃木県生涯学習推進計画」に基づいた本部指定重点事業の円滑な推進を図っています。

75 ○生涯学習推進本部事務担当者会議：年1回

## (3) とちぎ県民カレッジ

県民の高まる学習意欲に応え、関係機関等の連携のもと、体系的かつ総合的に学習機会を提供するため平成9(1997)年10月に開学、平成10(1998)年度からは通年で運営しています。

多様な講座があり、学習情報の提供や学習相談なども実施しています。また、学習の奨励や社会参加活動への支援として、希望者には学習歴の累積や奨励証の交付、生涯学習ボランティアセンターへの登録などを実施しています。

## (4) 生涯学習振興事業の実施

この事業は、県民の生涯学習の促進に資するとともにその成果の県民への波及をねらいとするものです。

### ア 学習相談

県民の生涯学習を支援するため、学習機会、施設、指導者等に関する相談を、電話、面接、E-mailにより随時行っています。

### イ 学習情報提供等システムの充実

県民の学習ニーズに迅速かつ的確に応えるため、学習に関する様々な情報をコンピュータに蓄積し、インターネットを通じて提供する「とちぎレイン

ボーネット」の情報を随時更新するなど内容の充実を図っています。

また、学習の成果を地域社会の中で生かせるよう栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム(とちぎかがやきネット)によりボランティアに関する情報提供を行っています。

### ウ アcademiaとちぎ(学校開放講座)

高度化、専門化した県民の学習要求に応えるため、県立高校の教育機能を活用して、学習機会を提供するものです。

○平成30(2018)年度「Academiaとちぎ推進事業」実施状況

(単位：時間、人)

学校名	実施期間	学習時間	回数	受講者		修了者	
				男	女	男	女
1 宇都宮南高等学校	7月14日～12月8日	10	5	53	98	53	98
2 日光明峰高等学校	10月20日～12月8日	12	4	5	14	5	14
3 足利南高等学校	5月9日～1月30日	146	28	4	16	4	13
4 足利特別支援学校	6月16日～10月6日	5.9	4	12	29	12	29
5 足利中央特別支援学校	7月21日～12月1日	11.5	5	0	22	0	22
6 那須特別支援学校	8月18日～12月1日	28.5	7	1	18	0	17
計		213.9	53	75	197	74	193
合計				272		267	

### エ 生涯学習ボランティア活動促進事業

あらゆる年齢層の人々が、これまでに蓄積した学習活動の成果を地域社会の中で生かすことができるよう環境整備を図っています。

○生涯学習ボランティアセンターの運営

○とちぎかがやきネットによるボランティアに関する情報提供

## (5) とちぎ子どもの未来創造大学推進事業

### ア とちぎ子ども未来創造大学

子どもたちの学力向上の基礎づくりのために必要な、「学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度」を身につけることを目的とし、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、子どもたちに「本物」に触れる学習機会を提供するものです。

講座数：「宇宙・天文」「科学・実験」「生物・医学」「ロボット・ものづくり」の理系4コース、「文学・芸術」「歴史・考古学」「地理・社会」文系3コース、学び方コースの計8コース

## 160 講座

対 象：県内に居住又は通学する小学校4年生～中学校3年生及び義務教育学校の相当学年

参加者：延べ約3,600名

### イ とちぎ未来大使「夢」講座

広く活躍する「とちぎ未来大使」を講師とし、中学校時代の経験や、目標をもち、その目標を達成した過程を講話や実演、交流等を通して中学生等に伝え、中学生等に「夢」をもたせ、考えさせる機会を提供するものです。

講座数：18講師により21校で実施

対 象：原則として講座を実施する県内の公立中学校（義務教育学校含む）に在籍する生徒

参加者：5,580名

## (6) 地域連携教員活動支援事業

地域の特性を生かした教育活動を生涯学習の視点から効果的・効率的に展開するため、原則として社会教育主事の資格を有する教員を地域連携教員として明確に校務分掌に位置づけ、地域連携に関する学校内外の推進体制整備を行うとともに地域に根ざした特色ある学校づくりの推進を目指しています。

ア 地域連携教員指名者数：602名（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校）

### イ 事業の整備体制

○地域連携教員研修の開催（年4回）

○地域連携活動支援資料（リーフレット）の作成と全公立学校に各校10部（義務教育学校は各校20部）配布

ウ 地域とともにある学校づくり推進フォーラム

# 2 社会教育施設

## (1) 公民館

公民館については、社会教育法第20条で「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」と規定しています。

すなわち、公民館は、一定地域の住民の日常生活と結びついた教養の向上、健康の増進、情操の純化を図るため、各種事業を行う社会教育の中核的施設として重要なものです。またその性格からして、住民の身近に設けられることが必要です。

この様な認識のもとに、県及び市町が一体となって、公民館の施設・設備の整備充実と職員の資質の向上・活動の活発化等を目指しているところです。

本県の公民館の現状は、平成30(2018)年4月1日現在で、公民館が163館（中央館・地区館）が県内全市町に設置されています。また専任常勤職員は、館長68人、公民館主事等176人となっています。

公民館がその機能を十分発揮して、充実した社会教育活動を展開し、住民の要望に応えるためには、施設・設置の整備充実とあわせて、専任館長、専任公民館主事等職員の充実が急務ですが、現状はまだ満足すべき状況にあるとは言えませんので、今後一層の努力が必要であると考えられます。

### 公民館設置状況（平成30(2018). 4. 1現在）

中央館	19 館
地区館	144 館
計	163 館

## (2) 図書館

ア 県立図書館

県立図書館について

### 【X】教育機関等事業 3 図書館参照

イ 市町立図書館

(7) 設置状況（平成31(2019). 3. 31現在）

本県における市町立図書館数は53館（市立40、町立13）です。

(イ) 現状

本県の図書館数は、次頁の表VI-1のとおりであり、市町立図書館の平均蔵書数は14万冊、

職員数は617人、うち司書は322人という現状で、サービス網の整備とともに、蔵書のより一層の充実と、司書の養成・確保が今後の課題と考えられます。

**(3) 青年の家**

青年の家については、

**〔X〕 教育機関等事業 4 青年の家参照**

**(4) 少年自然の家**

少年自然の家については、

**〔X〕 教育機関等事業 5 少年自然の家参照**

**(5) とちぎ海浜自然の家**

とちぎ海浜自然の家については、

**〔X〕 教育機関等事業 6 とちぎ海浜自然の家参照**

**(6) なす高原自然の家**

なす高原自然の家については、

**〔X〕 教育機関等事業 7 なす高原自然の家参照**

**(7) 視聴覚ライブラリー**

視聴覚ライブラリーについては、

**〔VII〕 社会教育 3 視聴覚教育参照**

**(8) 同和対策集会所**

同和対策集会所については、

**〔VII〕 社会教育 4 人権教育参照**

表VI-1 図書館の現状 (平成 30(2018)年度)

平成 31(2019)年 3 月 31 日現在 (単位:冊、人)

区分	図書館名	蔵書数	年間受入冊数	職員数		年間館外貸出冊数	
				司書	一般		
県立	栃木県立図書館	752,776	10,523	14+ (0) = 14	18+ (0) = 18	54,958	
市	宇都宮市立中央図書館	636,684	20,790	10+ (8) = 18	38+ (1) = 39	1,095,997	
	宇都宮市立東図書館	343,878	12,367	10+ (1) = 11	28+ (0) = 28	938,918	
	宇都宮市立南図書館	345,908	14,245	7+ (1) = 8	2+ (0) = 2	1,162,227	
	宇都宮市立上河内図書館	81,668	2,792	2+ (0) = 2	6+ (1) = 7	86,414	
	宇都宮市立河内図書館	142,654	4,640	9+ (9) = 18	4+ (1) = 5	343,481	
	足利市立図書館	283,773	7,882	15+ (0) = 15	9+ (0) = 9	313,532	
	栃木市栃木図書館	317,930	9,466	10+ (0) = 10	10+ (0) = 10	445,372	
	栃木市大平図書館	159,764	5,001	8+ (0) = 8	3+ (0) = 3	219,092	
	栃木市藤岡図書館	65,874	2,721	3+ (1) = 4	3+ (0) = 3	90,601	
	栃木市都賀図書館	84,855	2,643	3+ (1) = 4	3+ (0) = 3	68,783	
	栃木市図書館西方館	22,188	1,902	3+ (1) = 4	2+ (0) = 2	26,812	
	栃木市図書館岩舟館	35,445	1,572	2+ (1) = 3	2+ (0) = 2	27,143	
	佐野市立図書館	271,362	5,998	8+ (0) = 8	7+ (0) = 7	350,555	
	佐野市立田沼図書館	123,670	3,802	6+ (0) = 6	0+ (0) = 0	118,915	
	佐野市立葛生図書館	72,437	2,463	4+ (0) = 4	1+ (0) = 1	47,956	
	鹿沼市立図書館	258,751	6,072	8+ (0) = 8	11+ (0) = 11	246,421	
	鹿沼市立図書館東分館	65,974	3,643	4+ (0) = 4	2+ (0) = 2	186,556	
	鹿沼市立図書館栗野館	97,106	2,707	1+ (0) = 1	3+ (1) = 4	54,543	
	日光市立今市図書館	218,367	10,128	8+ (0) = 8	6+ (0) = 6	290,529	
	日光市立日光図書館	104,343	3,739	6+ (0) = 6	1+ (0) = 1	58,912	
	日光市立藤原図書館	92,793	2,909	7+ (0) = 7	0+ (0) = 0	26,714	
	小山市立中央図書館						
	小山市立中央図書館小山分館	557,238	9,999	7+ (9) = 16	8+ (1) = 9	717,336	
	小山市立中央図書館間々田分館						
	小山市立中央図書館桑分館						
	真岡市立図書館	235,890	6,656	6+ (0) = 6	6+ (0) = 6	226,272	
	真岡市立二宮図書館	70,697	2,311	2+ (0) = 2	1+ (0) = 1	59,465	
	大田原市立大田原図書館	191,388	6,438	11+ (0) = 11	8+ (0) = 8	427,857	
	大田原市立黒羽図書館	79,936	2,952	1+ (1) = 2	4+ (0) = 4	73,159	
	矢板市立図書館	136,976	3,964	5+ (0) = 5	3+ (0) = 3	152,355	
	那須塩原市西那須野図書館	176,188	5,413	7+ (0) = 7	9+ (0) = 9	281,857	
	那須塩原市黒磯図書館	164,711	7,187	9+ (0) = 9	3+ (0) = 3	276,878	
	那須塩原市塩原図書館	73,598	2,158	2+ (0) = 2	3+ (0) = 3	52,923	
さくら市氏家図書館	113,456	4,617	6+ (0) = 6	3+ (0) = 3	200,357		
さくら市喜連川図書館	99,821	3,268	4+ (0) = 4	2+ (0) = 2	105,149		
那須烏山市立南那須図書館	143,760	5,425	6+ (0) = 6	1+ (0) = 1	148,524		
那須烏山市立烏山図書館	89,747	4,103	3+ (0) = 3	2+ (0) = 2	67,156		
下野市立南河内図書館	118,209	3,249	4+ (0) = 4	1+ (0) = 1	90,318		
下野市立石橋図書館	110,246	2,848	5+ (0) = 5	4+ (0) = 4	124,259		
下野市立国分寺図書館	94,707	2,573	3+ (0) = 3	3+ (0) = 3	131,236		
町	上三川町立図書館	117,101	4,071	8+ (0) = 8	4+ (0) = 4	141,749	
	ふみの森もてぎ図書館	56,787	6,696	4+ (0) = 4	3+ (4) = 7	76,645	
	市貝町立図書館	84,546	2,605	4+ (0) = 4	5+ (0) = 5	75,813	
	芳賀町図書館	105,539	3,570	8+ (0) = 8	3+ (4) = 7	163,385	
	壬生町立図書館	185,419	3,048	7+ (0) = 7	2+ (0) = 2	186,905	
	野木町立図書館	165,859	4,370	7+ (0) = 7	6+ (0) = 6	179,673	
	塩谷町図書館	32,480	465	0+ (0) = 0	2+ (13) = 15	11,742	
	立	高根沢町図書館					
		高根沢町図書館仁井田分館	255,422	9,337	12+ (0) = 12	13+ (0) = 13	387,904
		高根沢町図書館上高根沢分館					
		那須町立図書館	107,806	2,772	4+ (0) = 4	3+ (0) = 3	97,541
		那珂川町馬頭図書館	83,200	1,757	3+ (0) = 3	5+ (0) = 5	40,907
	那珂川町小川図書館	46,478	1,583	3+ (0) = 3	3+ (0) = 3	31,914	
合計	8,275,405	251,440	289+ (33) = 322	269+ (26) = 295	10,783,710		

\*館数は県立1館、市立40館、町立13館の計54館(分館を含む) ※市町立図書館の蔵書数平均 141,936.40

\*数字には分館分も含む。(小山・高根沢) 冊

\*職員数については平成31(2019)年4月現在。( )内は兼務職員数。

## [VII] 社 会 教 育

# 1 社会教育指導者

社会教育振興の基盤であることから、その充実を図る必要があります。このため、社会教育関係職員の確保と資質の向上を図るとともに、一般有志指導者の養成・発掘に努め、指導者層の整備充実を図っています。

## (1) 社会教育関係職員

社会教育に関する専門的職員である社会教育主事を計画的に養成するとともに、市町が設置する社会教育指導者や社会教育関係職員の確保とその資質の向上を図っています。

### ア 社会教育主事

県や市町の社会教育行政の中核として、地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な助言等を行う社会教育主事を確保するため国が実施する社会教育主事講習に受講者を派遣しました。

#### ○宇都宮大学

平成30(2018)年7月18日～8月10日 76人

### イ 社会教育指導員

社会教育の指導者層の充実を図るため、市町が設置する社会教育指導員について、社会教育指導員研修会の開催により、資質の向上を図りました。

平成30(2018)年度の設置状況は、表Ⅶ-1のとおりでした。

## (2) 社会教育有志指導者

社会教育の内容・手法は、従来から多様でありましたが、一般的な学歴水準の向上や社会構造の複雑化に伴い、さらに高度化・多様化しつつあることから、これに対応するため、有志指導者の発掘と確保を図る必要があります。

平成30(2018)年度の有志指導者養成確保のための事業を、下記のとおり実施しました。

### ア 子ども会指導者の養成

#### (ア) 子ども会指導者研修会

少年教育の中心になっている子ども会活動の活性化を図るため、指導者の養成と確保が強く要請されています。この見地に立って、直接その指導に当たろうとする指導者に対して、専門的知識及び技能を修得させ、もって本県子ども会活動の発展を図りました。

・会場：ロイヤルホテル那須

・期日：平成30(2018)年9月30日、10月1日

※関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会として実施。

表Ⅶ-1 社会教育指導員設置状況(平成30(2018)年度)

(単位：人)

市町名	設置人員	市町名	設置人員
宇都宮市	13	下野市	10
足利市	3	上三川町	4
栃木市	14	益子町	1
佐野市	8	茂木町	2
鹿沼市	8	市貝町	1
日光市	12	芳賀町	3
小山市	12	壬生町	3
真岡市	0	野木町	1
大田原市	11	塩谷町	1
矢板市	3	高根沢町	0
那須塩原市	17	那須町	5
さくら市	3	那珂川町	1
那須烏山市	2		
25市町		138	



## 2 社会教育関係団体

### (1) 青少年団体

青年団体は、地域を基盤とする地域青年団等と、職員職域に結成されているグループ・サークルに大別されます。

#### ア 地域青年団

主として農村を基盤としていた地域青年団は、農村青年の都市への流出や都市での加入率が伸びていないなどにより、昭和30(1955)年には31,724人を数えた団員も昭和45(1970)年には、10,241人となり、それ以後も4～5年に1,000人程度漸減をしています。平成30(2018)年3月31日現在、2団体が地域で活動しています。

#### イ 少年団体

少年団体としては、町内会、学校区などを基盤として結成され、最大の会員数を擁する子ども会のほか、ボーイスカウト、ガールスカウト等があります。

##### ① 子ども会

子ども会は県下全地域的に結成され、その数は、平成30(2018)年3月31日現在2,547団体、小中学生の会員数は94,083人となっています。

数多くの団体が組織される一方で、その活動の多くは夏休み、冬休みに集中しており、また、子どもたち自身が主催する活動の減少や、指導者の後継者不足など、子どもや親の意識の変化に伴い、新たな問題も生じてきました。昭和47(1972)年から子ども会の指導者養成に努めた結果、昭和48(1973)年5月に「県子供会指導者連合会」が結成されました。その後、昭和50(1975)年3月には「県子供会育成会連絡協議会」が結成され、さらに平成10(1998)年4月1日からは、名称を「栃木県子ども会連合会」と変更し、平成19(2007)年3月1日から「社団法人栃木県子ども連合会」、平成25(2013)年4月1日から「一般社団法人栃木県子ども会連合会」となり、活発な子ども会育成活動が行われています。

##### ② ボーイスカウト・ガールスカウト

ボーイスカウト・ガールスカウトは、その積極的な活動を通し地域の人々とのふれあいを深めるとともに、指導者養成に努めています。

ボーイスカウトは、平成31(2019)年3月31日現在26団体でスカウト数1,171人、ガールスカウトは平成31(2019)年3月31日現在18団体でスカウト数458人です。

### (2) 成人教育団体

#### ア PTA (父母と先生の会)

PTAは、学校に在籍する児童生徒の親及び教師などによって学校ごとに組織され、「児童生徒の健全な成長を図る」ことを目的として、必要な学習や実践活動をする社会教育関係団体です。

表Ⅶ-2 PTA団体数及び会員数

平成30(2018)年3月31日現在 (会員数：人)

区 分	団体数	会員数
小 学 校 P T A	359	122,668
中 学 校 P T A	145	53,721
小・中合同 P T A	9	1,125
小計 (小・中学校) ①	513	177,514
高 等 学 校 P T A	67	41,431
特別支援学校 P T A	15	3,959
小計 (県立学校) ②	82	45,390
合 計 (① + ②)	595	222,904

※高等学校PTAは附属中PTAを含む

#### イ 婦人会

社会教育関係団体の中核的存在である地域婦人は、各郡市地域婦人団体をもって組織され、県内17市町に平成30(2018)年3月31日現在で81団体、会員12,071人の最大の女性団体です。

各郡市地域婦人団体の連絡機関として、栃木県地域婦人連絡協議会が結成されており、婦人会相互の親善融和を図り、その共通の目的である女性の地位向上、青少年の健全育成、家庭生活並びに社会生活の刷新、地域社会の福祉増進を図ることを活動の目的としています。

各郡市や各单位婦人会においても、地域社会への奉仕、学習活動、会員相互の親善等、活発な活動を行っています。

### (3) その他の団体

#### ア 栃木県社会教育委員協議会

この会は、県及び市町社会教育委員で組織され、社会教育委員相互の緊密な連携を図り、社会教育の振興を図るため、社会教育委員の研修、社会教育に関する研究・調査の実施、関係機関・団体の事業への協力等の活動を行っています。

#### イ 栃木県公民館連絡協議会

この会は、県内の公立公民館及び公民館類似施設と連絡提携を図り、もって公民館活動の振興発展に寄与することを目的として、各公民館の情報交換や研修、調査研修等を行っています。

また、昭和50(1975)年から主事部会が発足し、主

事の研修と相互の連絡や公民館活動の振興を図り、この会の強化・推進の力となっています。

#### ウ 栃木県ユネスコ連絡協議会

この会は、県内の5つのユネスコ協会で構成され、「ユネスコ活動の振興発展に寄与する」ことを目的とし、会員相互の連絡、関係機関との連携、ユネスコ活動推進のための活動を行っています。

各ユネスコ協会では、会員が相互に研修・学習しあうとともに、ユネスコ精神や理念を地域の市民の間に振興させるため、積極的な活動を行っています。

#### エ 栃木県視聴覚教育連盟

この連盟は、県内視聴覚ライブラリー及び視聴覚ライブラリー協議会で構成され、各構成団体の連絡協調を図るとともに、それぞれに活動を促進することを目的としています。そのために、視聴覚教育に関する調査研究、資料の作成配布、優良教材・教具の紹介、研究会、講習会・コンクール等の開催等を実施しています。

## 3 視 聴 覚 教 育

### (1) 現 状

教育の近代化を進めるなかで、視聴覚教育の重要性が唱えられている現在、本県においても、視聴覚教育の体系化を図り、教材の効果的利用法の研究を進めています。

#### ア 教材教具の充実

教材映画の購入については、限られた予算を有効に使い、最も利用率の高いものを購入しました。

表Ⅶ-3 平成30(2018)年度購入視聴覚教材

	ジャンル	題名
1	学校教育・消費者教育	自立した消費者になろう 「契約」を学び「権利」と「責任」を自覚する
2	社会教育・防災減災教育	防災生活～尊い命を守るために～

表Ⅶ-4 視聴覚教材保有数

平成31(2019)年3月31日現在

16ミリフィルム	スライド	ビデオテープ	DVD
1,884本	431本	2,407本	461本

表Ⅶ-5 16ミリフィルム対象別利用状況

平成31(2019)年3月31日現在

区分	件数 (件)	百分率 (%)	本数 (本)	百分率 (%)	人数 (人)	百分率 (%)
社会教育	2	100	2	100	20	100
学校教育	0	0	0	0	0	0
合計	2	100	2	100	20	100

表Ⅶ-6 DVD等対象別利用状況

平成31(2019)年3月31日現在

区分	件数 (件)	百分率 (%)	本数 (本)	百分率 (%)	人数 (人)	百分率 (%)
社会教育	38	42	92	46	473	4
学校教育	53	58	110	54	10,117	96
合計	91	100	202	100	10,590	100

### (2) 視聴覚教育の推進

#### ア 各種研修会

「16ミリ映写機技術指導者研修」を隔年で行っており、平成29(2017)年度は、平成29(2017)年5月17日に総合教育センターにて実施しました。(平成30(2018)年度は実施なし)

#### イ 技術者の養成

視聴覚教育の推進する人達を養成するため、16 ミリ映写機技術者養成講習会を県内2地区で4回実施しました。

平成30(2018)年度の合格者は、36人で、技術者総数は29,832人に達しました。

#### ウ 視聴覚センター・ライブラリー

県下の視聴覚ライブラリーは、6団体あります。

内訳は、条例、規則等に基づいて設置されている公立視聴覚ライブラリー5団体、栃木県視聴覚センター1団体です。

視聴覚ライブラリーは、学校教育、社会教育について学習効果を高めるとともに教育機会の充実を図り、視聴覚教材供給の中心拠点としての大きな役割を果たすことが期待されます。

## 4 人 権 教 育

県教育委員会では、「栃木県人権教育基本方針」を平成13(2001)年11月に定め、人権尊重の精神で涵養を目的とした人権教育を積極的に推進しています。

社会教育においては、生涯にわたって人権に関する多様な学習機会を提供するとともに、人権尊重の理念について理解を深めるよう努力しています。

### (1) 社会教育施設（集会所）の充実

同和地区住民が、部落差別の解消を目指して自らの生活・文化の向上を図り、教養と技術を高め、さらに、社会連帯意識の高揚をめざす教育施設としての集会所の充実に取り組んできました。

### (2) 指導者研修の充実

県及び市町の社会教育関係職員並びに社会教育関係団体役員に対し、人権問題についての研修の機会を設け、指導者の育成と資質の向上を図るため、研修会を計画的に実施しました。

#### ア 人権教育指導者（一般）研修

7回 参加者延べ 2,083人

#### イ 人権教育指導者（専門）研修

6回 参加者延べ 228人

# 5 成人教育

生涯学習の観点から、多様化している一般成人の学習要求に応えるため、各種学級・講座等学習機会の提供事業の促進を図ると共に、有志指導者の養成確保に努めました。

成人教育の学習の場としては市町で開設している「婦人（女性）学級」「高齢者教室」「成人大学講座」等があり、更に県で開催している「アカデミアとちぎ（学校開放講座）」「女性教育指導者研修」等があります。

なお、文部科学省認定の社会通信教育などの学習活動も成人教育活動の一環として奨励しています。

社会教育関係団体としては、栃木県PTA連合会・栃木県高等学校PTA連合会・栃木県地域婦人連絡協議会等があり、これらは学習活動や地域活動を通じて人づくりやコミュニティづくりに大きな役割を果たしています。

## (1) 女性教育

### ア 女性教育指導者研修

生涯学習の観点に立って女性教育の充実・振興を図るために、女性教育諸活動に携わっている方々を対象として研修を行い、女性教育活動の企画・運営・評価に必要な高度の知識・技術を習得いただき、県内各地域において積極的に活動を推進しうる女性教育指導者を養成しました。

○期 間 平成30(2018)年7月17日(火)

～平成31(2019)年1月11日(金)

○会 場 総合教育センターほか

○対 象 女性団体、女性学級・家庭教育学級その他の学習グループにおける指導的立場にある方

○内 容 (1) 女性教育活動の現状  
(2) 団体活動に関する意義や人間関係の在り方  
(3) 団体活動に必要な実務的技術  
(4) グループ別課題研究他

○修了者 14人

### イ 国立女性教育会館主催事業参加促進

女性教育に関する実践的な研修及び専門的な調査研究を行ったり、より高度な知識・技術を習得したりするなど、女性教育活動を促進しうる女性教育指導者の養成を目的とする国立女性教育会館主催事業への参加を促進しました。

### ウ 婦人（女性）学級

婦人（女性）学級は、女性がもつ生活上の課題についての学習を一定期間にわたって、計画的・継続的に行うもので、現在では男女共同参画社会に関する学習も含めた講座が展開されています。

## (2) 高齢者教育

### ア 高齢者教室

高齢者教室は、社会の変化の理解・若い世代の理解・健康の維持・社会奉仕活動への参加等、高齢者にふさわしい社会能力を高めるために市町が開設するものです。平成30(2018)年3月31日現在は、県内22市町で559学級が開設されました。

## (3) 成人大学講座等

「成人大学講座」「市民大学」「成人セミナー」等の名称で市町が成人を対象として、一般的教養や専門的知識・技術等に関する学習の機会を提供するために開設しています。

平成30(2018)年度は20市町で市・町民大学が開設されました。

## (4) PTA活動

### ア PTA指導者研修

PTA活動をより一層促進するため、単位PTAの指導的役割を果たしている保護者及び学校教職員を対象に、その今日的役割や望ましいPTA運営の在り方について研修し、指導者としての資質の向上を図ることをねらいとしています。

平成30(2018)年度は、「豊かな心を育てるPTA活動」を研究主題とし、「子どもが健全に育つ環境を整えよう」をテーマとして、教育事務所ごとに研修Ⅰを実施し研修Ⅱは各地区小中高PTA連絡会と共催で実施しました。

表Ⅶ-7 PTA指導者研修

研 修 I		
形態地区	期 日	会 場
河 内	7月12日 (木)	田原コミュニティプラザ
上 都 賀	7月10日 (火)	日光市中央公民館
芳 賀	6月30日 (土)	益子町民会館
下 都 賀	6月26日 (火)	栃木市岩舟文化会館
塩 谷 那 須	7月26日 (木)	矢板市文化会館
那 須	7月26日 (木)	大田原市ピアートホール
安 足	7月27日 (金)	足利市民プラザ小ホール

研 修 II		
形態地区	期 日	会 場
河 内	11月22日 (木)	総合教育センター
上 都 賀	10月4日 (木)	鹿沼市民文化センター
芳 賀	11月15日 (木)	真岡市民会館
下 都 賀	10月18日 (木)	城址公園ホール (壬生町中央公民館)
塩 谷 那 須	5月25日 (金)	那須烏山市南那須公民館
那 須	6月22日 (金)	那須町文化センター
安 足	12月15日 (土)	佐野日本大学高等学校
	11月24日 (土)	足利市民プラザ小ホール

## 6 家 庭 教 育

家庭は、人間形成のための最も基本的な教育機能をもつ場ですが、近年、核家族化、少子化など家庭環境の変化に伴い、家庭教育が困難な社会になりつつあることが指摘されています。

このようなことを踏まえ、家庭教育の充実・向上を図るため、家庭の教育に関する情報や学習機会を提供したり、親等からの相談に応じたりするなど、家庭教育を支援する諸施策を進めました。

子育てについて必要な知識やスキル等を主体的に学ぶ「親学習プログラム」の活用推進と、家庭教育の重要性の啓発活動の促進、家庭教育に係わる指導者養成、相談事業等を実施しました。

### (1) 親学習プログラム普及定着事業の実施

子育てについて必要な知識やスキル等を主体的に学ぶ「親学習プログラム」等県作成の家庭教育支援プログラムの全県的な普及・定着を目指し、プログラムを効果的に活用する指導者の養成とより多くの学習機会に「親学習プログラム」等を活用した事業を展開しました。

#### ア 家庭教育支援プログラム指導者研修

- 研修日数 5日間
- 対 象 地域で家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に関わる活動に意欲のある方、県・市町の教育関係職員、PTA指導者、家庭教育学級生、家庭教育オピニオンリーダー等
- 内 容 家庭教育支援プログラムについて、ファシリテーション技術、家庭教育支援プログラムの展開、成果発表等
- 修了者 29人

#### イ 親学習プログラム活用促進事業

- 実施機会 就学時健康診断、PTA研修会、保護者会、家庭教育学級、乳幼児学級、企業等
- 実施回数 県内326回

## (2) とちぎの高校生「じぶん未来学」推進事業

やがて親となる世代である高校生が、親・家族・家庭などの意義や役割、地域の間人関係など地域社会について主体的に学ぶことにより、次世代を育成し、地域への愛着や定住意識の醸成を図るとともに、地域を支え守る気持ちをはぐくむため、とちぎの高校生「じぶん未来学」プログラムを作成し、全県立学校で実施しました。

## (3) 家庭教育・子育て支援関係者広域ネットワーク

家庭教育・子育て支援関係者が会し、交流を図りながら、課題を抱える保護者の学習機会を拡充するための具体的方策について、協議することにより、各市町の担当者同士のネットワークづくりを図るとともに、家庭教育支援の充実を図るため開催しました。

- 期 日 平成 30(2018)年 7 月 19 日 (木)
- 会 場 県総合教育センター
- 内 容 事例発表、グループ協議等
- 参加者 66 名

## (4) 家庭教育相談事業

乳幼児期から高校生期の子を持つ保護者が子育てやしつけなどの家庭教育に関する相談ができるよう、また子どもがいじめや不登校などの学校生活に関する相談ができるよう家庭教育相談事業「ホットほっと電話相談・メール相談」を実施しました。

### ア 電話による相談

保護者からの家庭教育に関する相談「家庭教育ホットライン」(028-665-7867)、子どもからの学校生活に関する相談「いじめ相談さわやかテレホン」(028-665-9999)の2本の電話相談を開設し、相談に応じています。

### ○相談件数

- 家庭教育ホットライン 769 件
- いじめ相談さわやかテレホン 800 件

### イ メールによる相談

保護者と子どもからの家庭教育、学校生活に関する相談に応じるため、平成 19(2007)年 10 月よりメール相談を開設しています。

### ○相談件数 70 件

## (5) 指導者養成事業の実施

家庭や地域(近隣)等の教育力を充実させるために下記の事業を実施しました。

### ア 家庭教育オピニオンリーダー研修

県民が身近な場で子育てに関する学習や活動を行うことができるように、その支援をする家庭教育オピニオンリーダーの養成を実施しました。

○期間 平成 30(2018)年 9 月～11 月

○会場 総合教育センター・各地区

○対象 地域などで家庭教育の振興に携わっている人  
家庭教育に興味関心を持っている人

○内容 近隣活動指導者への期待、カウンセリングマインド、家庭教育のあり方、近隣活動の進め方

○修了者 37 人

## (6) 家庭教育学級

親等の保護者及び家庭教育に関心をもつ一般成人を対象として、県内全市町に家庭教育学級が開設されています。

この家庭教育学級は P T A が主催する学級、市町費で開設する学級、団体による自主学級があります。その開設状況は次のとおりです。

表Ⅶ-8 家庭教育学級開設状況(平成 30(2018)年度)

区分	P T A 主催	市町 単独	その他	計
開設学級数	16	831	32	879

## (7) 家庭・地域いじめ対策教育支援事業の実施

心豊かで健やかな子どもたちをはぐくむために、社会全体で喫緊の課題であるいじめを許さない環境づくりを行うとともに、家庭教育におけるいじめ防止につながる親子の交流活動やネットに関する正しい理解を図る機会を提供しました。

### ア いじめ防止普及啓発事業

県民大会宣言、いじめ防止のためのスローガン・ロゴマーク等を活用したリーフレット、グッズの作成と配布を行いました。

### イ いじめ防止に向けた親子のコミュニケーション促進事業(委託事業)

いじめをしない、傍観しない子どもたちをはぐくむため、子どもの自尊感情や対人関係能力を各家庭で育成できるような働きかけとなるよう、社会教育団体に委託し実施しました。

委託団体 栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会  
栃木県地域婦人連絡協議会

# 7 ふれあい学習

「ふれあい学習」は、心豊かな青少年の育成のため、学校、家庭、地域が一体となって、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を図り、地域の活性化を図ることを目的としています。

## (1) ふれあい学習推進事業

平成 13(2001)年度から県内の教育事務所にふれあい学習課を設置し、全県的に「ふれあい学習」を促進するための体制を整備しました。

### ① 県全体の推進体制

県全体の推進方策を検討し、その方針を示したり、啓発のための資料作成を行ったりすることを目的に「ふれあい学習推進委員会」を開催しました。

また、「学校と地域の連携推進セミナー」を開催し、地域で子どもを育む活動の中核を担う指導者等を対象に、先進的な事例について情報を収集し、その方策等について研究を深めるとともに、指導者として必要なスキルを高める研修を行いました。

### ② 教育事務所ごとの推進体制

管内地域のふれあい学習推進方策の検討、ふれあい学習ネットワーク、ふれあい学習情報誌(HP)の企画・作成、ふれあい学習の推進に係る情報の収集・提供等を目的として「ふれあい学習推進会議」を開催しました。

また、「ふれあい学習ネットワーク」を実施し、地域で活動する様々な団体、関係機関、地域住民を結びつけ、地域で効果的にふれあい学習を推進するためのしくみづくりを行いました。

## (2) 放課後子ども教室推進事業

「放課後子ども教室推進事業」は全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参加を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。平成 30(2018)年度栃木県では、10 市町で 92 教室が実施されました。

(宇都宮市(53)、上三川町(5)、鹿沼市(8)、日光市(3)、真岡市(2)、壬生町(1)、小山市(4)、矢板市(3)、那須烏山市(3)、佐野市(10))

## (3) 地域教育コーディネーター養成事業

ボランティアが、学習の成果を生かした教育支援活動に参加しやすい環境をつくるために、各教育事務所、市町においてボランティアと学校や地域の教育団体・グループ等要請のある受け入れ側との連絡調整を行う「地域教育コーディネーター」を養成することを目的としています。

○平成 30(2018)年度補助事業実施状況(地域学校協働本部)

鹿沼市(1)、栃木市(10)、さくら市(2)、塩谷町(1)、那珂川町(1)、那須塩原市(3)

計 4 市 2 町 18 本部

# 8 青少年教育

急激に変化する社会の中で、青少年の生活意識、行動等が多様化しています。この変化に対応する「心の豊かさと創造性に富む人づくりの推進」のために、次のような力点の基に、青少年教育を推進しました。なお、在学青少年に対する社会教育の重要性が強調されるに伴い、学校教育との一層の連携を図ることに努めました。

## ① 条件整備的側面の充実

社会の変化に対応する青少年教育行政の推進に資するため、関係機関と連携しつつ青少年教育に関する調査・研究を行うとともに、市町に対し、少年・青年教室等の開設促進と、青少年教育に関する指導・助言及び援助に努めました。

## ② リーダーの開発と育成

地域における青少年活動の中核となる青少年リーダーを育成するため、リーダー養成事業を実施し、各種研修会を行いました。

## ③ 青少年団体活動の促進

青少年団体の自主的かつ健全な活動を促進するため、その指導者を養成するとともに、青少年団体の求めに応じて指導・助言・援助を行いました。

## ④ 地域社会を見直し、連帯意識を高めるための活動促進

青少年の地域連帯感や郷土愛の精神を育て、地域形成者として役割と自覚を高めさせるため、青少年地域活動等の促進を図りました。

## (1) 在学青少年教育

### ア 不登校児童生徒支援事業

平成 30(2018)年度に、不登校の解消を目指した自然宿泊体験活動を県内 2ヶ所で実施しました。

### イ 少年教室の開設促進

少年に対する学習機会を拡充するため、市町における少年教室の開設促進に努めました。

平成 29(2017)年度教室数 23 市町 520 事業

### ウ とちぎユースボランティア研修会

高校生を対象に、ふるさと「とちぎ」のボランティアリーダーとしてスキルアップを図ることを目的とし、下記のとおり 2ヶ所で研修会を実施しました。

## < in 芳賀 >

○期 日 平成 30(2018)年 7 月 25 日～ 27 日

○会 場 芳賀青年の家

○修了者 38 人

## < in 大平 >

○期 日 平成 30(2018)年 8 月 7 日～ 8 日、  
さらに 8 月 29 日、8 月 30 日、9 月 8 日、11 月  
3 日、11 月 4 日のうち一日を選択

○会 場 太平少年自然の家

○修了者 21 名

## (2) 勤労青年教育

### ア 青年教室の開催促進

市町における勤労青年教育振興等の一環として、広く地域内勤労青年を対象に教育の機会を提供し、もって健全な勤労青年の育成を図ることを目的として青年教室の開催に努めています。

平成 29(2017)年度には、5 市町で 37 事業が開催され、2,637 人が参加しました。

### イ ウィークエンド青少年セミナー

21 世紀を担う青少年地域リーダーを養成するため、下記のとおり研修会を実施しました。

○期 間 平成 30(2018)年 10～12 月

○会 場 総合教育センター

○研修内容 地域活動の企画・立案・運営について体験をとおして学び、地域活動・ボランティア活動の実践力の向上を図りました。

○受講者 26 人

## (3) 青少年地域活動（ふるさと運動等）促進事業

今日、失われつつある地域連帯感や郷土愛の精神を涵養するため、青少年に郷土の文化・自然などについての学習と実践的奉仕活動を行うことにより、地域形成者としての役割と自覚を高め、豊かな郷土づくりの推進を図る事業です。

平成 29(2017)年度は 17 市町で 150 事業が実施され、6,752 人が参加しました。

## (4) 子どもの読書活動の推進

平成 26(2014)年 3 月に策定した「栃木県子どもの読書活動推進計画（第三期）」に基づき、子どもの読書活動推進のための事業を実施するとともに、次期計画となる「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」の策定を行いました。

### ア 栃木県子どもの読書活動推進協議会

開催数 年 2 回

委員数 13 人

協議状況 ・四期計画における子どもの読書活動推進の方針・方策について  
・四期計画（案）について



イ 「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」

策定部会

開催数 年3回

委員数 15人

ウ 市町・学校等子どもの読書活動推進担当者会議

期間 平成30(2018)年6月14日

会場 栃木県庁北別館会議室 402

内容 (1) 事例発表  
・小山市立中央図書館  
・真岡女子高等学校  
(2) グループ協議

参加者 64人

エ 読書ボランティア等活動交流会

期間 平成30(2018)年11月7日

会場 栃木県庁北別館会議室 402

内容 (1) 講演  
「うたおう あそぼう わらべうた  
～乳幼児から学童まで～」  
(2) 交流会  
「見つけた！仲間たちに知らせたい  
私のおすすめ本」

参加者 60人

オ 子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ  
研修

期間 平成30(2018)年12月19日、  
平成31(2019)年1月10日、2月6日、  
3月6日、3月8日（5日間）

内容 講義・実習  
「『声』をもとめてー日本の子どもの  
文学、その歴史と現在ー」等

（実施主体 栃木県立図書館）

カ 家読（うちどく）推進事業

○啓発資料 「家読@とちぎ」配布

配布対象 小・中学新1年生

○子どもの読書活動推進フォーラム

期間 平成30(2018)年6月14日

会場 栃木県庁研修館講堂

内容 (1) 説明  
「栃木県における子どもの読書活動  
の推進について」  
(2) 講演  
「子どもが本を読むということ  
ー楽しい読書環境をめざしてー」

参加者 110人

キ 高校生読書活動推進事業

○読書コンシェルジュ育成事業

期間 平成30(2018)年7月8日、15日、  
8月3日（3日間）

内容・講話

「生きるためのヨ・リ・ド・コ・ロ  
となる読書（親問題と子問題）」

・ワークショップ

「心に届くPOPを書こう」

・公開講座

「ビブリオバトル実践講座」等

参加者 54人（読書コンシェルジュに任命）

他にH29 経験者の活動参加7人

○読書コンシェルジュおすすめ本普及・啓発事業

「高校生におすすめの本30冊 VOL. 2」の配布  
配布対象 高校生

○高校生読書ふれあい交流事業

・全国高等学校ビブリオバトル2018 栃木県大会  
（県央高校生読書交流会）

期間 平成30(2018)年12月9日

参加者 延べ145人

・読書コンシェルジュ活動交流会

期間 平成31(2019)年1月27日

## 〔Ⅷ〕 ス ポ ー ツ

# 1 スポーツ施設

## (1) 市町立スポーツ施設

本県の状況は、表Ⅷ-1のとおりです。

また、文部科学省の「学校施設環境改善交付金」を受けて建設された市町の公共体育施設は、表Ⅷ-2のとおりです。

表Ⅷ-1 各市町立スポーツ施設状況について

平成30(2018)年5月1日現在

教育 事務 所	施設 市町	体 育 館	水 泳 プ ール	陸 上 競 技 場	テ ニ ス コ ー ト	野 球 場	ソ フト ボ ー ル 場	サ ツ カ ー 場	運 動 広 場	柔 剣 道 場	弓 道 場	相 撲 場	ア イ ス ス ケ ー ト 場 ( パ イ ス ピ ン グ )	ス キ ー 場	キ ャ ン プ 場	ゲ ー ト ボ ー ル 場	ト レ ー ニ ン グ 場	そ の 他	合 計
河内	宇都宮市	9	4	1	8	16	6	7	3	2	1	0	0	2	9	6	0	74	
	上三川町	1	1	2	1	6	0	5	1	1	0	0	0	1	0	1	0	20	
上 都 賀	鹿沼市	6	6	2	6	5	2	2	3	2	0	0	0	0	2	4	0	40	
	日光市	9	4	0	8	7	4	9	0	1	0	2	0	5	7	1	2	59	
芳 賀	真岡市	9	0	2	4	9	7	3	1	0	0	0	0	0	2	1	0	38	
	益子町	2	1	1	3	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	14	
	茂木町	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	10	
	市貝町	1	0	1	1	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	10	
	芳賀町	9	1	2	1	4	3	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	23	
下 都 賀	栃木市	11	1	4	8	20	10	20	6	6	0	0	0	0	18	4	0	108	
	小山市	1	0	2	4	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	16	
	下野市	5	2	1	3	8	4	0	3	2	0	0	0	0	1	1	0	30	
	壬生町	2	1	2	3	3	4	1	1	1	0	0	0	1	2	1	0	22	
塩 谷 南 那 須	野木町	1	0	0	1	6	2	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	16	
	矢板市	5	1	1	1	3	2	2	1	1	1	0	0	1	2	0	0	21	
	さくら市	7	2	1	3	4	4	1	2	1	0	0	0	0	1	2	0	28	
	塩谷町	7	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	15	
	高根沢町	3	0	1	2	3	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	15	
那 須	那須烏山市	6	1	2	2	4	3	4	1	2	0	0	0	1	6	0	0	32	
	那珂川町	8	1	0	1	4	2	0	1	2	0	0	0	2	4	0	0	25	
	大田原市	2	3	2	4	7	4	1	2	1	2	0	0	1	2	0	0	31	
安 足	那須町	3	1	1	1	4	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	0	17	
	那須塩原市	7	3	0	3	12	5	3	2	1	0	0	0	1	2	2	0	41	
安 足	佐野市	4	2	2	6	7	3	1	2	1	0	0	0	1	1	2	1	33	
	足利市	8	2	1	7	18	2	0	1	1	0	0	0	2	2	2	2	48	
合 計		127	37	33	84	160	77	63	38	33	5	2	1	20	70	31	5	786	

**表Ⅷ-2 文部科学省の「学校施設環境改善交付金」を受けて建設された公共体育施設一覧**

市町名	施設名	規模
佐野市	あそ野学園義務教育学校 学校水泳プール（屋外）	210 m <sup>2</sup>
小山市	（仮称）城南地区新設小学校 学校水泳プール（屋外）	280 m <sup>2</sup>
那須塩原市	黒磯中学校 中学校武道場	250 m <sup>2</sup>

**(2) 県体育館**

県体育館は、

**〔X〕教育機関等事業 8 体育館**の項参照

## 2 スポーツ活動

**(1) スポーツ活動事業**

平成 30(2018)年度スポーツ活動事業として**表Ⅷ-4**のとおり実施しました。

**(2) スポーツ推進委員**

スポーツ推進委員は、市町教育委員会の非常勤職員として、市町の行う体育、スポーツ振興事業の企画に参画し、その推進者として活躍しています。

本県のスポーツ推進委員は、746 人（平成 30(2018)年 5 月現在）で、県内各種の体育・スポーツ行事や研修会、全国及び関東地区等の研修に積極的に参加しました。

**(3) スポーツ団体の育成強化**

スポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、次の事業及び団体に対し、473,653 千円を助成した。

（単位・千円）

事業名	補助金額
国民体育大会派遣	78,671
国体対策選手強化	334,238
（公財）栃木県体育協会	91,339
計	504,248

(4) 学校体育施設開放

市町における学校体育施設開放状況は表Ⅷ-3のとおりです。

年度	開放指定校
昭和53(1978)年度	那須拓陽高・佐野松桜高
54(1979)	宇都宮白楊高・真岡工業高
55(1980)	鹿沼高・栃木商業高
56(1981)	高根沢高・馬頭高・黒磯南高
60(1985)	益子芳星高
62(1987)	烏山高
63(1988)	小山南高
平成元(1989)年度	鹿沼東高
3(1991)	黒羽高
4(1992)	壬生高
5(1993)	上三川高
6(1994)	矢板高
7(1995)	大田原高
8(1996)	今市工業高
9(1997)	茂木高
10(1998)	那須高
18(2006)	栃木高

表Ⅷ-3 市町学校体育施設開放状況

教育事務所名	項目 市町名	小学校		中学校	
		学校数	開放校数	学校数	開放校数
河内	宇都宮市	68	68	25	25
	上三川町	7	7	3	3
上都賀	鹿沼市	25	23	10	10
	日光市	22	22	15	15
芳賀	真岡市	14	14	9	9
	益子町	4	4	3	3
	茂木町	4	4	1	1
	市貝町	3	3	1	1
	芳賀町	3	3	1	1
下都賀	栃木市	30	30	14	14
	小山市	25	22	11	11
	下野市	12	12	4	4
	壬生町	8	8	2	2
	野木町	5	5	2	2
塩谷南那須	矢板市	9	9	4	3
	さくら市	6	6	2	2
	塩谷町	3	3	1	1
	高根沢町	6	6	2	2
	那須烏山市	5	5	2	2
	那珂川町	3	3	2	2
那須	大田原市	20	20	8	8
	那須町	7	7	2	2
	那須塩原市	21	20	10	10
安足	佐野市	28	28	10	10
	足利市	22	22	11	11
合計		360	354	155	154

表Ⅷ-4 平成30(2018)年度 栃木県民総スポーツ関係事業一覧

事業名	実施期日	会場	内容
とちぎスポーツフェスタ2018	スポーツフェスタ	10月27日	とちぎ健康の森 トップアスリートによるスポーツ教室、健康ラジオ体操講習会、スポーツレクリエーション体験コーナー、障害者スポーツ体験コーナー (2,054人)
	生涯スポーツ大会	4月～3月	県内各会場 24種目 (5,663人)
	県民スポーツ大会	10月21日・28日	県総合運動公園ほか 対抗競技20種目、オープン競技5種目 (23,827人)
国民体育大会派遣	関東ブロック大会	8月17日～19日(中心会期)	茨城県 監督・選手派遣 (828人)
	本大会	9月9日～10月9日	福井県ほか 監督・選手派遣 (380人) 男女総合(天皇杯)成績 28位 女子総合(皇后杯) 26位
	冬季大会	1月30日～2月3日	北海道 アイスホッケー競技 (34人)
		1月30日～2月3日	北海道 スケート競技 (12人)
		2月14日～17日	北海道 スキー競技 (32人)
スポーツ少年団競技別交流大会	県大会	5月～11月	宇都宮市ほか 8競技 (3,521人)
	関東大会	7月27日～29日	山梨県 4競技 (88人)
	全国大会	3月27日～29日	山口県(剣道) (7人)
		3月28日～31日	大分県(バレーボール) (13人)
県スポーツ少年団ジュニアリーダースクール及び交歓会	8月10日～12日	今市青少年スポーツセンター レクリエーション活動ほか (61人)	
関東ブロックスポーツ少年大会	8月10日～12日	群馬県 レクリエーション活動ほか (12人)	
全国スポーツ少年大会	8月2日～5日	茨城県 レクリエーション (5人)	
日本スポーツ少年団シニアリーダースクール	8月9日～13日	静岡県 講義・実習 (3人)	
栃木県スポーツ少年団指導者研修大会	11月23日	県総合教育センター 講義・ディスカッション (283人)	
スポーツ少年団認定員養成講習会	6月～1月	県内10コース 講義・実技・試験 (842人)	
栃木県スポーツ少年団認定員再研修	1月27日	県総合教育センター 講義・ディスカッション (466人)	
県スポーツ推進委員研修会	9月～2月	宇都宮市ほか 研修会の開催・派遣 (710人)	
生涯スポーツ活動指導者講習会	7月1日	県総合教育センター 講義・実技 (144人)	
スポーツ指導者研修会	7月1日、2月3日	県総合教育センター 講義 (200人)	
公認スポーツ指導員養成講習会	9月～12月	宇都宮市ほか 講義・実技ほか (61人)	
第14回県障害者スポーツ大会(中止)	9月30日(予定)	栃木市総合運動公園ほか —	
第18回全国障害者スポーツ大会派遣	10月13日～15日	福井県 5競技 (32人)	
第31回全国健康福祉祭とやま大会(ねんりんびっく富山2018)派遣	11月3日～6日	富山県 19種目 (142人)	

## 3 競技力の向上

1 第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部を設置し、国際大会等で活躍する選手の育成を進め、国民体育大会において上位の成績を目指すとともに、令和4(2022)年に本県で開催する第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」において、天皇杯・皇后杯を獲得するため、競技力向上対策事業を実施しました。(表Ⅶ 1-5、6)

### (1) 国体対策選手強化事業(対策本部)

- ア 組織体制の整備・拡充
  - (ア) 競技団体強化推進事業費
  - (イ) 大学・企業・民間スポーツ連絡協議会の開催
- イ 選手の発掘・育成・強化
  - (ア) チームとちぎ育成強化事業
  - (イ) アドバイザリーコーチ招へい事業
  - (ウ) 新規導入競技サポート事業
  - (エ) タレント発掘・育成事業
  - (オ) ジュニアアスリート育成強化事業
  - (カ) 中学校・高等学校運動部活動支援事業
  - (キ) 有望選手・チーム強化支援事業
  - (ク) トップアスリート就職支援事業
  - (ケ) ふるさと選手サポート事業
  - (コ) 女性アスリート育成強化事業
- ウ 指導者の養成・資質の向上
  - (ア) 国体対策指導者養成事業
- エ 競技力向上のための環境整備
  - (ア) スポーツ医・科学サポート事業
  - (イ) スポーツ用具整備事業

### (2) 諸会議(対策本部)

- ア 第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部
  - (ア) 本部会議
  - (イ) 強化対策委員会
- イ 競技団体代表者会議
- ウ 競技団体ヒアリング

### (3) 国民体育大会派遣事業(県体協)

- ア 本大会(第73回)
  - 平成30(2018)年9月9日～10月9日
  - 福井県 監督・選手 380名参加
- イ 冬季大会(第74回)
  - (ア) スケート競技会

- 平成31(2019)年1月30日～2月3日
- 北海道 監督・選手 12名参加
- (イ) アイスホッケー競技会
  - 平成31(2019)年1月30日～2月3日
  - 北海道 監督・選手 34名参加
- (ウ) スキー競技会
  - 平成31(2019)年2月14日～2月17日
  - 北海道 監督・選手 32名参加

表Ⅷ-5 平成30(2018)年度国体対策選手強化事業

柱	事業名	実施時期	具体的な取組
Ⅰ 組織体制の整備・ 拡充	①競技団体強化 推進事業	2018年4月 ～2019年3月	・第77回国体を見据えた強化計画を作成するための会議開催・強豪県視察等への支援 短期・長期計画の作成:41 競技団体
	②大学・企業・民間スポーツ 連絡協議会の開催	2018年 10月25日	・成年種別強化等検討部会の開催(1回)※再掲
Ⅱ 選手の発掘・ 育成・ 強化	③チームとちぎ育成 強化事業	2018年4月 ～2019年3月	・競技団体が国体における入賞者数を増加するために実施する強化事業への支援:41 競技団体
	④アドバイザー・ コーチ招へい 事業	2018年4月 ～2019年3月	・強化練習会・強化合宿等の実施への支援 ・長期:32 競技 49 名、短期:20 競技 33 名、延べ 346 回実施
	⑤新規導入競技 サポート事業	2018年4月 ～2019年3月	・スポーツ教室や強化練習会等の実施への支援 8競技団体
	⑥タレント発掘・ 育成事業	2018年7月 ～12月	・検討部会の開催(3回)※再掲
		2018年7月～9月	・とちぎ未来アスリートプロジェクト ステージ1 応募者数 576 名
		2018年4月 ～2019年3月	・育成プログラム(小4～中2) 知的能力開発(14回)、身体能力開発(16回) ・競技体験プログラム(15 競技) ・パスウェイプログラム(小6) 面談 ・合宿
		2018年 11月23日	・とちぎ未来アスリートプロジェクト ステージ2 選考会 栃木県体育館 参加者数:197 名
		2019年3月23日	・「エクセレントキッズ・ジュニア」認定式 会場:栃木県庁東館 講堂 認定選手:44 名
		2018年4月 ～2019年3月	・スポーツ教室・強化練習会・強化合宿等の実施への支援: 41 競技団体
	⑦ジュニアアスリート 育成強化事業	2018年8月5日	・「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式 会場:栃木県総合文化センターメインホール 認定選手:35 競技 706 名(小学5年生～中学2年生) 講演者:柴田 あかね 氏 (ホッケー競技)
		2018年 10月14日 21日	・「チームとちぎジュニア選手」認定選手実技講習会 会場:今市青少年スポーツセンター 参加選手:161 名 参加保護者:172 名 講師:木村 尚資 氏他5名 スポーツリズムトレーニング協会(選手実技講習) 鈴木 いづみ 氏(保護者栄養学講習)
		2018年4月 ～2019年3月	・ジュニア選手・クラブ(中学生年代)を指定し、強化活動を支援:32 指定選手、9 クラブチーム



柱	事業名	実施時期	具体的な取組
Ⅱ 選手 の 発 掘 ・ 育 成 ・ 強 化	⑧ 中学校・高等学校 校運動部活動 支援事業	2018年9月 ～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校・高等学校拠点校検討部会の開催(1回)</li> <li>・中学校拠点校検討部会分科会の開催(1回)</li> <li>・高等学校拠点校検討部会分科会の開催(1回)※再掲</li> </ul>
		2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強化練習会・強化合宿等の実施への支援</li> <li>・中学校 拠点校 6校 10部、拠点地区 2地区3競技、県選抜 13競技</li> <li>・高等学校 重点強化拠点校 24校 59部、強化推進拠点校 40校 98部</li> </ul>
	⑨ 有望選手・チー ム強化支援事 業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県で活躍が期待できる選手・チームを指定し、強化練習会・強化合宿等の実施への支援</li> <li>・有望選手(A:32、B:41) 計 73名</li> <li>・有望チーム(S:5、A:7、B:19) 計 31チーム</li> </ul>
	⑩ トップアスリート 就職支援 事業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県で活躍が期待できるトップアスリートに対し県内企業等への就職を支援</li> <li>・協力企業 27社、就職希望者 10名、内定者 3名</li> <li>・協力企業の掲示用プレートの作成</li> </ul>
	⑪ ふるさと選手サ ポート事業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと選手の国体選考会等への参加に要する旅費の支援</li> <li>・ふるさと選手 151名に対し支援</li> </ul>
	⑫ 女性アスリート 育成強化事業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子種別に特化した強化事業への支援 37種目</li> </ul>
2018年9月15日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性アスリートコンディショニング研修会 会場:総合教育センター 講師:江田 香織 氏 (国立スポーツ科学センター) 難波 聡 氏 (埼玉医科大学婦人科)</li> </ul>	
Ⅲ 指 導 者 の 養 成 ・ 資 質 の 向 上	⑬ 国体対策指導 者養成事業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内指導者講習会の開催、中央競技団体等で開催する講習会及び上位大会への派遣等への支援 41競技団体</li> </ul>
		2018年7月 ～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体選手の指導者等を対象に研修会を実施 ◇スポーツマネジメント研修会(1回)参加者 93名 ◇スポーツテクニカル分析研修会(2回)参加者 138名(のべ) ◇スポーツメンタルトレーニング研修会(1回)参加者 81名</li> </ul>
		2018年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀指導者等の採用と適正配置 新規採用教員選考試験スポーツ特別採用枠で、中学校4名、高等学校7名の採用</li> </ul>
Ⅳ 競 技 力 向 上 の た め の 環 境 整 備	⑭ スポーツ医・科 学サポート事業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ栄養、心理、科学、医学、アスレティックトレーナー分野での競技団体への支援 26チームでの実施</li> </ul>
		2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第73回国民体育大会(関東ブロック大会・本大会)及び、第74回国民体育大会冬季大会へのアスレティックトレーナーの派遣 18名のアスレティックトレーナーを派遣</li> </ul>
	⑮ スポーツ用具 整備事業	2018年4月 ～2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技の特性により、国体で勝つために必要な、高額で特殊なスポーツ用具の貸与 14競技団体に貸与</li> </ul>

表Ⅳ-6 平成30(2018)年度 国民体育大会参加監督・選手数

競	技	名	会	場	地	監督・選手	
1	陸上	競技	福	井	市	27	
2	水	泳	敦賀市・石川県	金沢市・		25	
3	サッカー	一	坂	井	市	16	
4	テニス	ス	福	井	市	8	
5	ボート	ト	美	浜	市	3	
6	ホッケー	一	越	前	町	42	
7	ボクシング	グ	福	井	市	13	
8	バレーボール	ル	坂	井	市	13	
9	体操		鯖	江	市	6	
10	バスケットボール		福	井	市	12	
11	レスリング		お	お	い	町	16
12	セーリング		高	浜	町	5	
13	ウエイトリフティング		小	浜	町	8	
14	自転車		福	井	市・大野市	12	
15	ソフトテニス		越	前	町	6	
16	卓球		敦	賀	市	12	
17	軟式野球		敦賀市・小浜市	ほか		16	
18	相撲		大	野	市	10	
19	馬術		静	岡	県御殿場市	8	
20	フェンシング		越	前	町	3	
21	柔道		福	井	市	12	
22	バドミントン		勝	山	市	12	
23	弓道		敦	賀	市	16	
24	ライフル(CP)		福	井	市	1	
	ライフル(CP以外)		福	井	市	10	
25	剣道		福	井	市	14	
26	山岳		池	田	町	6	
27	カヌー	一	あ	わ	ら	市・大野市	2
28	アーチェリー	一	福	井	市	4	
29	空手道		敦	賀	市	8	
30	なぎなた		鯖	江	市	6	
31	ボウリング		福	井	市	5	
32	ゴルフ		あ	わ	ら	市	11
33	トライアスロン		高	浜	町	6	
34	クレー射撃		勝	山	市	6	
34	スケート		北	海	道	釧路市	12
35	アイスホッケー		北	海	道	釧路市	34
36	スキー		北	海	道	札幌市	32
計						458	

# [IX] 文 化

# 1 文 化 施 設

## (2) 県立美術館

美術館は、

〔X〕教育機関等事業 16 美術館の項参照

## (3) 県立博物館

博物館は、

〔X〕教育機関等事業 17 博物館の項参照

### (1) 文化施設

ア 博物館一覧

表区-1 登録博物館

平成31(2019)年1月現在

	名称	設置者	登録年	〒	所在地
公	1 栃木県立美術館	栃木県	昭和49	320-0043	宇都宮市桜4丁目2-7
	2 栃木県立博物館	栃木県	〃 58	320-0865	宇都宮市陸町2-2
	3 小山市立博物館	小山市	〃 57	329-0214	小山市大字乙女1-31-7
	4 佐野市郷土博物館	佐野市	〃 60	327-0003	佐野市大橋町2047
	5 足利市立美術館	足利市	平成 9	326-0814	足利市通2丁目14-7
	6 宇都宮美術館	宇都宮市	〃 9	320-0004	宇都宮市長岡町1077
	7 小杉放菴記念日光美術館	日光市	〃 10	321-1431	日光市山内2388-3
	8 那珂川町馬頭広重美術館	那珂川町	〃 12	324-0613	那珂川町馬頭116-9
	9 佐野市立吉澤記念美術館	佐野市	〃 14	327-0501	佐野市葛生東1-14-30
	10 陶芸メッセ・益子	益子町	〃 15	321-4217	益子町大字益子3021
	11 那須塩原市那須野が原博物館	那須塩原市	〃 17	329-2752	那須塩原市三島5-1
	12 さくら市ミュージアム ー 荒井寛方記念館 ー	さくら市	〃 17	329-1311	さくら市氏家1297
私	13 日光二荒山神社宝物館	(宗)日光二荒山神社	昭和40	321-1611	日光市中宮祠2484
	14 栗田美術館	(一財)栗田美術館	〃 50	329-4217	足利市駒場町1542
	15 濱田庄司記念益子参考館	(公財)濱田庄司記念益子参考館	〃 51	321-4217	益子町益子3388
	16 和気記念館	(公財)和気記念館	〃 62	329-2221	塩谷町大字玉生648
	17 山縣有朋記念館	(公財)山縣有朋記念館	平成 5	329-2501	矢板市上伊佐野1022
	18 塚田歴史伝説館	(一財)塚田歴史伝説館	〃 13	328-0037	栃木市倭町2-16
	19 藤城清治美術館那須高原	(一財)藤城清治美術館那須高原	〃 27	325-0301	那須郡那須町湯本203

(公立12館、私立7館 計19館)

表区-2 博物館相当施設

平成31(2019)年1月現在

	名称	設置者	登録年	〒	所在地
1	東京大学大学院理学系研究科附属 植物園日光分園	国立大学法人	昭和30	321-1435	日光市花石町1842
2	國學院大學栃木学園参考館	(学)國學院大學栃木学園	平成 5	328-8588	栃木市平井町608
3	那須ワールドモンキーパーク	(株)東北サファリパーク	〃 11	325-0001	那須町大字高久甲6146
4	(学)宇都宮学園上野記念館	(学)宇都宮学園	〃 11	320-0032	宇都宮市昭和2-5-8
5	栃木県なかがわ水遊園 おもしろ魚館	栃木県	〃 13	324-0404	大田原市佐良土2686
6	宇都宮動物園	(有)宇都宮動物園	〃 21	321-2115	宇都宮市金井町552-2

(公立2館、私立4館 計6館)

## 2 文 化 活 動

### (1) 巡回演劇公演

演劇鑑賞の機会を提供し、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図るとともに、芸術にふれる喜びを体験させるために、平成 30(2018)年度は、上都賀、河内及び芳賀教育事務所管内で各 1 公演ずつ実施しました。日ごろ演劇鑑賞の機会が少ない地域の小学生に好評を博しました。

○出演団体 (一社) 日本教育演劇道場劇団「らくりん座」

○題 目 「あらしのよるに」

表Ⅸ-3 巡回演劇公演実施状況 (平成 30(2018)年度)

開催期日	市町村名	参加校	参加者数
5 / 1 (火) 午後	日光市	小林小学校	111
5 / 11 (金) 午前	宇都宮市	雀宮南小学校	413
5 / 30 (水) 午後	益子町	七井小学校	338

合 計 862 人

### (2) 移動音楽鑑賞教室

次代を担う青少年に対し、優れた音楽を直接鑑賞する機会を提供し、芸術にふれる喜びを体験させるという趣旨から、平成 30(2018)年度は、県下 13 会場で実施しました。

○演 目 SWING!!!

～ブラックボトムブラスバンド演奏会～

表Ⅸ-4 移動音楽鑑賞教室実施状況 (平成 30(2018)年度)

No.	開催期日	市町村名	参加校	参加者数
1	6 / 5 (火) 午前	那須町	那須中学校	553
			那須中央中学校	
2	6 / 5 (火) 午後	那須塩原市	箒根中学校	91
3	6 / 6 (水) 午前	大田原市	紫塚小学校	325
4	6 / 6 (水) 午後	那須烏山市	境小学校	87
5	6 / 7 (木) 午前	塩谷町	塩谷中学校	263
6	6 / 7 (木) 午後	那珂川町	小川中学校	123
7	6 / 8 (金) 午前	上三川町	上三川小学校	813
			北小学校	
			坂上小学校	
8	6 / 8 (金) 午後	下野市	南河内中学校	213

9	6 / 26(火) 午前	芳賀町	芳賀東小学校	553
			芳賀北小学校	
			芳賀南小学校	
10	6 / 26(火) 午後	益子町	田野小学校	613
			益子小学校	
			益子西小学校	
			七井小学校	
11	6 / 27(水) 午前	鹿沼市	西小学校	197
12	6 / 27(水) 午後	小山市	間々田中学校	496
13	6 / 28(木) 午後	真岡市	真岡中学校	771
			真岡東中学校	
			真岡西中学校	
			大内中学校	
			山前中学校	
			中村中学校	
			長沼中学校	
			久下田中学校	
物部中学校				

合 計 5,098 人

### (3) 巡回伝統芸能公演

生徒の情操の涵養と芸術文化活動への参加機運を醸成するために、平成 30(2018)年度は、那須及び塩谷南那須教育事務所管内 2 会場で実施しました。小中学生 343 人が鑑賞し、大変好評でした。

○演 目 青少年狂言鑑賞会

表Ⅸ-5 巡回伝統芸能公演実施状況 (平成 30(2018)年度)

No.	開催期日	市町村名	参加校	参加者数
1	11/9 (金) 午前	大田原市	奥沢小学校	138
			金丸小学校	
			金田南中学校	
2	11/9 (金) 午後	那珂川町	馬頭中学校	205

合 計 343 人

### (4) 文化芸術による子供の育成事業

次代の文化の担い手となる子どもたちが、一流の文化芸術団体による優れた舞台芸術を鑑賞するとともに、実技指導を経てこれらの団体と共演する巡回公演事業と、芸術家の派遣により、講話、実技披露、実技指導を体験する派遣事業を、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的に、文化庁および市町教育委員会と共催で実施しました。

表区-6 巡回公演事業

No.	本公演実施日	実施予定校	種目	実施団体	参加人数
1	10/22(月)	佐野市立氷室小学校	合唱	二期会合唱団	309
2	10/30(火)	栃木県立栃木特別支援学校	オーケストラ	京都フィルハーモニー室内合奏団	363
3	10/29(月)	宇都宮短期大学附属中学校	オーケストラ	京都フィルハーモニー室内合奏団	333
4	10/19(金)	佐野市立田沼東中学校	オーケストラ	札幌交響楽団	410
5	11/13(火)	小山市立小山城南中学校	オーケストラ	札幌交響楽団	814
6	11/12(月)	下野市立緑小学校	オーケストラ	札幌交響楽団	302
7	11/14(水)	佐野市立吾妻小学校	児童劇	人形劇団むすび座	125
8	11/30(金)	下野市立吉田東小学校	児童劇	人形劇団むすび座	111
9	11/28(水)	高根沢町立北小学校	児童劇	人形劇団むすび座	187
10	11/29(木)	高根沢町立阿久津小学校	児童劇	人形劇団むすび座	559
11	11/15(木)	鹿沼市立みどりが丘小学校	児童劇	人形劇団むすび座	559
12	10/3(水)	佐野市立田沼小学校	演劇	劇団俳小	569
13	10/11(木)	栃木市立小野寺南小学校	演劇	劇団俳小	143
14	11/2(金)	栃木市立国府北小学校	演劇	劇団俳小	333
15	10/12(金)	那須塩原市立黒磯小学校	演劇	劇団俳小	317
16	11/12(月)	栃木県立足利特別支援学校	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	97
17	9/27(木)	下野市立業師寺小学校	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	385
18	10/3(水)	野木町立佐川野小学校	バレエ	谷桃子バレエ団	123
19	10/2(火)	小山市立羽川西小学校	バレエ	谷桃子バレエ団	202
20	9/25(火)	塩谷町立玉生小学校	バレエ	谷桃子バレエ団	202
21	9/27(木)	鹿沼市立池ノ森小学校	バレエ	谷桃子バレエ団	154
22	9/28(金)	鹿沼市立菊沢西小学校	バレエ	谷桃子バレエ団	188
23	10/4(木)	栃木県立佐野高等学校附属中学校	歌舞伎・能楽	瓦照苑	214
24	10/3(水)	栃木市立三嶋小学校	歌舞伎・能楽	瓦照苑	199
25	10/2(火)	鹿沼市立栗野中学校	歌舞伎・能楽	瓦照苑	235
26	11/28(水)	栃木県立聾学校	演芸	カンジヤマ・マイム	171
27	11/29(木)	栃木県立足利中央特別支援学校	演芸	カンジヤマ・マイム	323
28	11/30(金)	栃木市立吹上小学校	演芸	カンジヤマ・マイム	354

No.	本公演実施日	実施予定校	種目	実施団体	参加人数
29	11/27(火)	塩谷町立大宮小学校	演芸	カンジヤマ・マイム	187
30	7/4(水)	佐野市立飛駒小学校	歌舞伎・能楽	一般社団法人京都能楽囃子方同明会	126
31	7/12(木)	那須塩原市立黒磯北中学校	歌舞伎・能楽	一般社団法人京都能楽囃子方同明会	384

合計 8,978人

表区-7 派遣事業

No.	実施校	実施分野		実施回数
		大項目	中項目	
1	栃木県立矢板東高等学校附属中学校	伝統芸能	箏	3
2	栃木市立栃木西中学校	伝統芸能	箏	1
3	鹿沼市立清州第二小学校	音楽	ピアノ	1
4	那須烏山市立荒川小学校	音楽	ピアノ	1
5	上三川町立坂上小学校	音楽	ピアノ	1
6	真岡市立真岡小学校	音楽	ピアノ	2
7	那須塩原市立南小学校	音楽	ピアノ	2
8	佐野市立田沼小学校	音楽	弦楽器	1
9	栃木県立宇都宮東高等学校・同附属中学校	伝統芸能	箏	3
10	下野市立吉田西小学校	音楽	パーカッション	1
11	日光市立日光中学校	音楽	ピアノ	1
12	矢板市立泉小学校	舞踊	その他	1
13	宇都宮市立岡本北小学校	音楽	ピアノ	1
14	芳賀町立芳賀東小学校	伝統芸能	箏	2
15	栃木県立佐野高等学校附属中学校	伝統芸能	箏	3
16	小山市立豊田北小学校	音楽	パーカッション	1
17	鹿沼市立中央小学校	音楽	ピアノ	1
18	高根沢町立上高根沢小学校	演劇	人形劇	1
19	宇都宮市立石井小学校	音楽	ピアノ	2
20	真岡市立真岡西小学校	音楽	ピアノ	1
21	栃木県立さくら清修高等学校	音楽	その他	3
22	壬生町立壬生東小学校	音楽	パーカッション	3
23	日光市立下原小学校	伝統芸能	和太鼓	2
24	さくら市立氏家小学校	音楽	その他	1
25	宇都宮市立細谷小学校	音楽	管楽器	3
26	茂木町立茂木小学校	伝統芸能	箏	3
27	宇都宮文星女子高等学校	音楽	その他	3
28	栃木市立栃木南中学校	伝統芸能	箏	2
29	鹿沼市立栗野中学校	音楽	ピアノ	1
30	さくら市立南小学校	音楽	その他	1
31	宇都宮市立姿川中学校	音楽	管楽器	3
32	芳賀町立芳賀中学校	伝統芸能	箏	3
33	栃木県立大田原東高等学校	音楽	その他	1
34	小山市立大谷南小学校	音楽	パーカッション	1
35	鹿沼市立菊沢西小学校	美術	版画	3
36	さくら市立喜連川小学校	音楽	その他	1
37	宇都宮市立雀宮南小学校	音楽	パーカッション	3

No.	実施校	実施分野		実施回数
		大項目	中項目	
38	栃木県立足利特別支援学校	舞踊	バレエ	1
39	下野市立細谷小学校	音楽	パーカッション	1
40	鹿沼市立石川小学校	伝統芸能	箏	2
41	さくら市立上松山小学校	音楽	その他	1
42	宇都宮市立宝木中学校	音楽	その他	3
43	栃木県立宇都宮南高等学校	伝統芸能	箏	3
44	壬生町立藤井小学校	音楽	パーカッション	1
45	鹿沼市立みどりが丘小学校	音楽	管楽器	3
46	さくら市立押上小学校	音楽	その他	1
47	宇都宮市立緑が丘小学校	音楽	管楽器	3
48	栃木県立上三川高等学校	伝統芸能	箏	3
49	栃木市立赤津小学校	伝統芸能	和太鼓	1
50	鹿沼市立さつきが丘小学校	音楽	その他	3
51	下野市立古山小学校	音楽	パーカッション	1
52	小山市立穂積小学校	音楽	弦楽器	1
53	栃木市立家中小学校	伝統芸能	箏	2
54	下野市立石橋北小学校	音楽	パーカッション	1
55	下野市立国分寺西小学校	音楽	その他	3
56	栃木市立藤岡第二中学校	伝統芸能	箏	1
57	下野市立国分寺東小学校	音楽	ピアノ	1
58	栃木市立南小学校	伝統芸能	箏	2
59	栃木県立鹿沼商工高等学校	伝統芸能	箏	3
60	栃木市立国府北小学校	演劇	その他	1
61	鹿沼市立北小学校	美術	版画	3
62	さくら市立熟田小学校	音楽	その他	1
63	宇都宮市立豊郷南小学校	音楽	ピアノ	2
64	茂木町立逆川小学校	伝統芸能	箏	1
65	栃木市立栃木第五小学校	伝統芸能	箏	1
66	鹿沼市立東小学校	美術	版画	3
67	栃木市立静和小学校	伝統芸能	和太鼓	1
68	栃木市立栃木第四小学校	伝統芸能	箏	1
69	栃木県立鹿沼東高等学校	伝統芸能	箏	3

合計 125回

表区-8 派遣事業(子ども 夢・アート・アカデミー)

No.	実施校	実施分野	講師(芸術院会員)氏名	備考
1	鹿沼市立粕尾小学校	洋楽	栗林 義信	

実施回数:各1回

(5) 伝統文化親子教室

伝統文化・生活文化の継承・発展と、子どもたちの豊かな人間性の涵養に資することを目的に、次代を担う子どもたちが親とともに、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、華道、茶道等の伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対して文化庁の事業を利用して補助を行いました。

表区-9 伝統文化親子教室事業

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
1	宇都宮市	ふる里を知る子供の郷土料理教室	ふる里を知る子供の郷土料理教室	郷土料理
2	宇都宮市	西地区ひまわり太鼓	西地区ひまわり太鼓	和太鼓
3	宇都宮市	表千家宇都宮	伝統文化親子茶道教室	茶道
4	宇都宮市	河内剣道クラブ	伝統文化親子剣道教室	武道
5	宇都宮市	いけばな清原地区伝統文化こども教室	いけばな清原地区伝統文化こども教室	華道
6	宇都宮市	宇都宮市豊郷伝統文化和装礼法子供教室実行委員会	宇都宮市豊郷伝統文化和装礼法子供教室	和装・礼法
7	宇都宮市	宇都宮市古賀志伝統文化和装礼法子供教室実行委員会	宇都宮市古賀志伝統文化和装礼法子供教室実行委員会	和装・礼法
8	宇都宮市	うつのみや西部伝統文化活性化実行委員会	うつのみや西部伝統文化親子茶道教室	茶道
9	宇都宮市	日本棋院栃木県本部	伝統文化子ども囲碁教室	囲碁
10	宇都宮市	宇都宮市峰茶道親子教室実行委員会	宇都宮市峰茶道親子教室	茶道
11	宇都宮市	宇都宮かるた会	百人一首かるた親子教室	百人一首・カルタ
12	宇都宮市	宇都宮市宮の原伝統文化和装礼法親子教室実行委員会	宇都宮市宮の原伝統文化和装礼法親子教室事業	和装・礼法
13	宇都宮市	子ども和太鼓下野不動太鼓教室	子ども和太鼓下野不動太鼓教室	和太鼓
14	宇都宮市	宇都宮市鶴田地区伝統文化和装礼法親子教室実行委員会	宇都宮市鶴田地区伝統文化和装礼法親子教室	和装・礼法
15	宇都宮市	吟剣こども教室	吟剣こども教室	邦舞
16	宇都宮市	ひがし子ども和太鼓クラブ	ひがし子ども和太鼓教室	和太鼓
17	宇都宮市	東宮っ子ステーション	とうこうキッズ茶道教室	茶道
18	宇都宮市	双調会 峰支部	平成30年度 伝統文化親子教室	邦楽
19	鹿沼市	見野囃子連	地域に伝わるお囃子の伝承・新人育成	お囃子
20	鹿沼市	上深津囃子保存会	上深津お囃子親子教室	お囃子
21	鹿沼市	日の出町お囃子保存会	日の出町子どもおほやし教室	お囃子
22	鹿沼市	下沢囃子保存会	子供囃子連	お囃子
23	日光市	草月会栃木県支部	日光市こどもいけばな教室	華道
24	日光市	和装文化伝承会	ゆかた親子着付教室	和装・礼法
25	日光市	大字日向	日向獅子舞親子教室	獅子舞
26	真岡市	和太鼓伝承活動クラブやまびこ会	やまびこ太鼓教室	和太鼓
27	真岡市	西真岡剣道クラブ 仁風会	西真岡剣道親子教室	武道

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
28	真岡市	悠々茶道会	悠々茶道 親子教室	茶道
29	真岡市	台町囃子連	屋台囃子親子教室	お囃子
30	真岡市	泉町おはやし会	夷岡町おはやし会親子教室	お囃子
31	真岡市	真岡市伝統文化和装礼法親子教室実行委員会	真岡市伝統文化和装礼法親子教室事業	和装・礼法
32	真岡市	真岡市将棋連合会	いきいき親子将棋教室	将棋
33	茂木町	双調会茂木支部佐藤文玉予受社中	伝統文化もてぎことども教室	邦楽
34	芳賀町	伝統文化日本舞踊はがの会	伝統文化 日本舞踊はが親子教室	邦舞
35	野木町	野木町伝統文化いけばな子ども教室	野木町伝統文化いけばな子ども教室	華道
36	小山市	おやま伝統文化いけばな子供教室	おやま伝統文化いけばな子供教室	華道
37	小山市	いけばな親子教室	いけばな親子教室	華道
38	小山市	かもめ等の音会	伝統文化・和楽器子ども体験教室	邦楽
39	小山市	小山地区伝統文化いけばな親子教室	小山地区伝統文化いけばな親子教室	華道
40	小山市	おやま伝統文化子ども教室実行委員会	おやま伝統文化子ども教室	百人一首・カルタ
41	栃木市	平川はやし連	子供おはやし教室	お囃子
42	栃木市	邦楽教育を支援する等の音会	夏休みおこと教室	邦楽
43	栃木市	富張日の出連	富張子どもお囃子教室	お囃子
44	栃木市	日ノ出町はやし連	日ノ出町子供おはやし教室	お囃子
45	栃木市	とちぎ伝統文化子ども教室実行委員会	とちぎ伝統文化子ども教室	百人一首・その他
46	栃木市	大南ひまわり子ども教室実行委員会	大南ひまわり子ども教室	百人一首・カルタ
47	下野市	石橋旭会	石橋地区和太鼓子ども教室	お囃子
48	下野市	茶道芳月会	親子茶道教室	茶道
49	下野市	飯野茶華道教室	親子茶道体験教室	茶道
50	下野市	下野市伝統文化いけばな子ども教室実行委員会	下野市伝統文化いけばな子ども教室	華道
51	下野市	下野市草月いけばな教室	伝統文化親子いけばな教室	華道
52	下野市	下野市伝統文化和装礼法親子教室実行委員会	伝統文化和装礼法親子教室	和装・礼法
53	下野市	箏・樹陽会	伝統文化おこと教室	邦楽
54	下野市	小金井子供おはやし入門教室	小金井子供おはやし入門教室	お囃子

No.	市町	補助事業者名	補助事業名	事業分野
55	さくら市	伝統文化日本舞踊さくらの会	伝統文化 日本舞踊さくら親子教室	邦舞
56	さくら市	氏家子どもお囃子会	氏家子どもお囃子会	お囃子
57	那須烏山市	烏山山あげ保存会	こども常磐津教室	その他
58	塩谷町	伝統文化日本舞踊塩谷やまゆり会	伝統文化日本舞踊やまゆり親子教室	邦舞
59	那須町	上町はやし保存会	上町祭り囃子教室	お囃子
60	那須町	伊王野下町祭典保存会	祭り囃子親子教室	お囃子
61	那須塩原市	グローバルカルチャー那須	伝統文化親子教室	邦舞
62	佐野市	牧歌舞伎保存会	農村歌舞伎の伝承教室	その他
63	佐野市	いけばな親子教室たんぼぼ	いけばな親子教室 たんぼぼ	華道
64	佐野市	佐野市茶道研究会	伝統文化茶道体験教室	茶道
65	佐野市	佐野若竹子ども太鼓クラブ	佐野若竹子ども太鼓クラブ	和太鼓
66	佐野市	親子教室佐野クラブ	親子教室佐野クラブ	華道
67	佐野市	滝桜会	日本舞踊手ほどき親子体験教室	邦舞
68	佐野市	特定非営利法人ためまアスレチッククラブ	TAC和太鼓教室	和太鼓
69	佐野市	小原流佐野地区伝統文化いけばな親子教室実行委員会	佐野地区伝統文化いけばな親子教室	華道
70	佐野市	佐野伝統文化茶道愛好会実行委員会	伝統文化親子茶道教室	茶道
71	足利市	足利市八木節連合会	伝統文化子供八木節教室	その他
72	足利市	あしかが歌舞伎親子教室実行委員会	あしかが歌舞伎親子教室	その他
73	足利市	足利民謡民舞連盟	民謡民舞親子教室	民謡・民部
74	足利市	和太鼓集団 黎明座	和太鼓親子教室	和太鼓
75	足利市	生田流箏曲 いずみ会	伝統文化子どもお箏教室	邦楽
76	足利市	箏・恵夢の会	伝統文化親子お箏教室	邦楽
77	足利市	梓家会足利支所長唄登会	伝統文化親子長唄三味線教室	邦楽
78	足利市	足利あすなろ会	伝統文化親子囲碁教室	囲碁
79	足利市	日本将棋連盟足利支部	伝統文化親子将棋教室	将棋
80	足利市	足利地区小原流伝統文化いけばな親子教室風の子会	伝統文化いけばな親子教室	華道
81	足利市	伝統文化子ども花教室 足利	～心を育む～伝統文化子ども花教室	華道
82	足利市	表千家子ども茶道相山教室	伝統文化表千家子ども茶道教室	茶道
83	足利市	栃木官休会	伝統文化親子茶の湯教室	茶道
84	足利市	前結び和装学苑	親子前結び和装教室	和装・礼法



# 3 文 化 財

## (1) 新指定等文化財

ア 平成30(2018)年度新指定等一覧

No.	新規 / 追加	種別	名称・所在地	員数	指定等年月日
1	追加指定	国重要文化財(美術工芸品)	祭礼武器類 一、金銅装蛭巻薙刀拵 薙刀 無銘 一、金銅装黒漆薙刀拵 薙刀 無銘 日光市	3口 3口	平成30(2018)年10月31日
2	新規指定	国重要文化財(建造物)	大前神社 本殿、拝殿及び幣殿 真岡市	2棟	平成30(2018)年12月25日
3	新規指定	国指定重要無形民俗文化財	間々田のじゃがまた 小山市		平成31(2019)年3月28日
4	新規登録	国登録有形文化財(建造物)	旧東照宮宝物館 日光市	1棟	平成30(2018)年5月10日
5	新規指定	県指定有形文化財(建造物)	二荒山神社 本殿、拝殿、女体宮、神楽殿、神門、東回廊 附 建設の経緯を示す文書 棟札 奉納額 宇都宮市	6棟 21点 3点 4点	平成31(2019)年3月29日
6	新規指定	県指定有形文化財(建造物)	野木神社 本殿、拝殿 附 棟札 野木町	3点	平成31年3月29日

イ 平成30(2018)年度新指定等文化財種目別件数表

種類	区分			合計			
	指定別	国指定	県指定		国登録		
有形文化財	絵画		1		222		
	彫刻				156(1)		
	工芸品				252		
	書跡				71		
	古文書				3		
	考古・歴史資料				54		
	建造物	1	+2,-2	1	346		
	小計	1	0	1	1,104(1)		
無形文化財				5			
民俗文化財	有形				10		
	無形				35		
	小計				45		
記念物	史跡				86(2)		
	名勝				8		
	天然記念物		-1		76(1)		
	小計				170(3)		
重要伝統的建造物群保存地区				1			
合計				1	-1	1	1,325(4)

選定保存技術			3
--------	--	--	---

※ ( ) 内の数字は、二重指定されている件数です (内数)

内訳: 国特別史跡・国特別天然記念物 日光杉並木街道  
附並木寄進碑  
国特別史跡・国重要文化財 大谷磨崖仏

## (2) 埋蔵文化財発掘調査の現況

事業サイドと文化財保護サイドとの協議・調整の結果、記録保存のための発掘調査を行うこととなりますが、件数は減少傾向にあります。

具体的には表IX-10「平成30(2018)年度県内埋蔵文化財発掘届出等一覧表」に示すとおりです。

このうち、No20以降の学術研究等以外はいずれも開発に伴う記録保存のための発掘調査であり、これが多数を占めます。これは、近年の一般傾向となっています。

○発掘調査届出等件数

	(29(2017)年度)	(30(2018)年度)
県教育委員会主体	9	7
市町教育委員会	152	150
その他	9	6
計	170	163

表 Ⅹ - 10 平成 30(2018)年度県内埋蔵文化財発掘届出等一覧表

No.	開発事業等の種類	民間工事の届出数(法93)	公共工事の通知数(法94)	学術等の発掘調査届出数(法92)	地方公共団体の発掘調査通知数(法99)
1	道路	2	40	3	11
2	鉄道	0	0	0	0
3	空港	0	0	0	0
4	河川	0	1	0	0
5	ダム	0	0	1	0
6	学校	2	2	0	0
7	住宅	613	0	1	62
8	工場・店舗	35	0	1	7
9	その他建物	59	11	1	18
10	宅地造成	47	1	0	19
11	土地区画整理	2	1	0	3
12	公園造成	0	4	0	1
13	ゴルフ場	0	0	0	0
14	観光開発	0	0	0	0
15	ガス・電気・水道	24	24	0	1
16	農業関係	9	1	2	1
17	土砂採取	18	0	0	2
18	その他開発	254	26	0	17
19	自然崩壊	0	0	0	0
20	遺跡地図作成等	0	0	2	1
21	保存目的	0	0	0	1
22	学術研究	0	0	2	6
23	遺跡整備	0	0	0	0
	合計	1,065	111	13	150

遺跡の発見届(法96・97)	8
出土文化財認定	33

### (3) 日光杉並木街道保護事業

#### ア 樹勢回復事業

「特別史跡・特別天然記念物」である日光杉並木街道の保護事業として、杉の根を保護するために設置した木柵（設置後 10 年以上が経過し、腐食等が激しい区間を対象として）の改修工事を中心に事業を行いました。

○平成 30(2018)年度実績

木柵改修（日光市森友地区） 31m

#### イ 保護用地公有化

日光杉並木街道の並木杉の育成環境を保全するため、並木敷から 20m の範囲の土地を公有化しました。

○平成 30(2018)年度公有化実績

日光市小倉ほか 3,692 m<sup>2</sup>

#### ウ 日光杉並木オーナー制度

日光杉並木オーナー制度により、1 本 1,000 万円

で杉を売却し、その売却代金を保護基金に積み立てて運用を図りました。運用益や寄附金は保護事業の財源として活用しました。

○平成 30(2018)年度売却本数 562 本

### (4) 文化財関係補助

#### ア 文化財保存修理費補助金

高橋神社楼門保存修理

鹿沼今宮神社祭の屋台行事（用具等）保存修理

観音寺虚空蔵堂保存修理

二荒山神社本殿ほか 5 棟保存修理

#### イ 文化財保存整備費補助金

岡本家住宅防災設備保守点検

輪王寺防災設備保守点検

東照宮防災設備保守点検

二荒山神社防災設備保守点検

那須国造碑防災設備保守点検

**[X] 教育機関等事業**

# 1 総合教育センター

## (1) 事業運営方針

### ア 運営の基本方針

教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談及び幼児教育の充実並びに県民の生涯学習活動への支援を推進し、もって学校教育及び生涯学習の振興に資する。

### イ 事業内容

- 研修事業
- 調査研究事業
- 教育相談事業
- 幼児教育センター事業
- 資料・情報の収集提供事業
- 研究・学習活動支援事業
- 教育充実振興事業
- とちぎ県民カレッジ事業
- 栃木県生涯学習ボランティアセンターの運営

## (2) 研修事業

公立学校教職員の育成と資質の向上を図るため、体系的な研修を実施するとともに、生涯学習の推進にあたる関係職員の資質の向上や地域活動及びボランティア活動に携わる指導者を養成確保し、県民の生涯学習の充実と活性化を図るため、計画的、組織的な研修を実施しました。

- 研修内容の充実強化
- 新採教職員から校長までの体系的な研修の推進
- 社会教育関係職員及び社会教育関係団体の指導者、各種団体の指導者及び県民への計画的、組織的な研修の実施

実施した研修は次の表X-1のとおりです。

表X-1 研修事業一覧

### ア 教員関係研修

#### 基本研修

番号	事業名	日数	計画		実績	
			人員	延人員	人員	延人員
1	初任者研修 (小・中学校)	16	376	6,016	376	5,954
2	初任者研修 (高等学校・特別支援学校)	16	116	1,856	116	1,843
3	新規採用養護教諭研修	14	25	350	25	343
4	新規採用学校栄養職員研修	10	6	60	6	59
5	新規採用事務職員研修 (小・中学校)	7	27	189	27	186
6	教職2年目研修 (小・中学校)	2	270	540	270	528
7	教職2～5年目研修[5年目] (小・中学校)	3	235	705	235	693
8	教職2年目研修 (高等学校・特別支援学校)	2	95	190	95	187
9	教職2～5年目研修[5年目] (高等学校・特別支援学校)	3	82	246	82	239
10	養護教諭2年目研修	2	27	54	27	51
11	養護教諭2～5年目研修 [5年目]	3	24	72	24	67
12	学校栄養職員2年目研修	2	4	8	4	8
13	学校栄養職員2～5年目研修 [5年目]	3	3	9	3	9
14	事務職員5年目研修(小・中学校)	3	19	57	19	57
15	中堅教諭等資質向上研修 (小・中学校)	7	153	1,071	153	1,053
16	中堅教諭等資質向上研修 (高等学校・特別支援学校)	7	60	420	58	398
17	中堅養護教諭資質向上研修	6	18	108	18	103
18	中堅学校栄養職員資質向上研修	6	4	24	4	24
19	教職20年目研修 (小・中学校)	4	72	288	72	287
20	教職20年目研修 (高等学校・特別支援学校)	4	109	436	109	433
基本研修計			1,725	12,699	1,723	12,522

### 専門研修1ア

番号	事業名	日数	計画		実績	
			人員	延人員	人員	延人員
1	新任免許外教科担任研修 (中学校)	2	71	142	71	138
2	産業教育基礎技術研修	2	10	20	10	20
3	理科・基礎実験研修 (高等学校)	3	7	21	7	19
4	ネクストステージ研修	5	48	240	48	236
5	英語授業力向上研修	3	390	1,170	388	1,141
6	支援体制充実研修	2	173	346	173	340
7	教育相談充実研修 (高等学校)	2	74	148	74	142
8	特別支援学級新任 教員研修	3	145	435	145	409
9	通級による指導 新任教員研修	3	23	69	23	68
10	特別支援学級等 実践研修	3	70	210	70	203
11	特別支援学校 新任教員研修	1	51	51	51	51
12	職業教育指導力向 上研修	3	14	42	14	39
13	自立活動充実研修	2	15	30	15	30
14	早期教育相談担当 者研修	3	15	45	15	45
15	合同研修 〔幼小〕	1	350	350	339	339
16	幼小連携推進者 養成研修	5	20	100	20	94
専門研修1ア 計			1,476	3,419	1,463	3,314

### 専門研修1イ

番号	事業名	日数	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
1	校長研修 (小・中学校)	1	508	508	505	505
2	校長研修 (高等学校・特別支援学校)	1	75	75	75	75
3	新任校長研修 (小・中学校)	2	98	196	98	190
4	新任校長研修 (高等学校・特別支援学校)	2	13	26	13	26
5	教頭2年目研修 (小・中学校)	3	144	432	144	425
6	教頭2年目研修 (高等学校・特別支援学校)	3	28	84	28	84
7	新任教頭研修 (小・中学校)	4	151	604	151	596
8	新任教頭研修 (高等学校・特別支援学校)	4	21	84	21	82
9	新任主幹教諭研修 (小・中学校)	2	23	46	23	46
10	新任主幹教諭研修 (高等学校・特別支援学校)	2	14	28	14	28
11	新任教務主任研修 (小・中学校)	2	154	308	154	302
12	新任教務主任研修 (高等学校・特別支援学校)	2	26	52	26	52
13	新任部主事研修	2	8	16	7	13
14	新任学習指導主任研修 (小・中学校)	1	142	142	142	142
15	新任学習指導主任研修 (高等学校・特別支援学校)	1	35	35	35	35
16	新任児童指導主任研修 (小学校)	1	81	81	79	79
17	新任生徒指導主事研修 (中学校)	1	37	37	36	36
18	新任生徒指導主事研修 (高等学校・特別支援学校)	1	18	18	18	18
19	新任進路指導主事研修 (中学校)	1	41	41	41	41
20	新任進路指導主事研修 (高等学校・特別支援学校)	1	25	25	25	25
21	新任栄養教諭研修	5	7	35	7	35
22	新任道徳教育推進教 師等研修	1	147	147	147	147
23	新任地域連携教員研 修	2	196	392	196	380
24	人権教育指導者専門研修	6	24	144	24	142
25	新任補佐級事務長研修 (小・中学校)	1	13	13	13	13
26	新任係長級事務長研修 (小・中学校)	2	18	36	18	36
27	新任係長級 学校栄養職員研修	2	4	8	4	8
専門研修1イ 計			2,051	3,613	2,044	3,561

### 専門研修2

番号	事業名	日数	計画		実績	
			人員	延人員	人員	延人員
1	学校図書館研修	1	30	30	33	33
2	教科等専門研修	1×24	541	541	454	454
3	小学校理科観察実験研修 (初 級)	1	30	30	20	20
4	小学校理科観察実験研修 (中 級)	1	30	30	17	17
5	産業教育専門研修	2	29	58	29	57
6	環境学習プログラム研修	2	30	60	10	20
7	実習助手研修	2 (4)	50	128	52	112
8	ICT 活用研修 〔エクセルの活用〕	1	60	60	61	61
9	ICT 活用研修 〔タブレット端末の活用〕	1	30	30	33	33
10	校内研修ステップアップ 講座(小・中学校)	1	30	30	36	36
11	校内研修ステップアップ 講座 (高等学校、特別支援学校)	1	25	25	14	14
12	教育相談基礎研修	4	64	256	55	197
13	教育相談課題研修 〔いじめの理解と対応〕	1	60	60	38	38
14	教育相談課題研修 〔不登校の理解と対応〕	2	42	84	30	60
15	教育相談実践研修 〔保護者との連携〕	1	80	80	44	44
16	知的障害教育研修	1	200	200	166	166
17	自立活動研修	1	220	220	211	211
18	発達障害のある子どもの 教育支援研修	1	120	120	113	113
19	トップセミナー	1	20	20	14	14
20	幼児期の特別支援教 育研修	2	20	40	8	16
21	スキルアップセミナーⅠ	1	20	20	9	9
22	スキルアップセミナーⅡ	1	20	20	3	3
23	スタートカリキュラム 講座	1	40	40	15	15
専門研修2 計			1,791	2,182	1,465	1,743

### 専門研修3

番号	事業名	日数	計画		実績	
			実人員	延人員	実人員	延人員
1	とちぎの教育未来塾	7	200	1,400	202	910
2	教職員サマーセミナー	1×14	545	545	360	360
3	環境学習プログラム 体験セミナー	1×2	5	10	2	3
専門研修3 計			750	1,955	564	1,273

教育関係職員研修 合計		7,793	23,868	7,259	22,413
----------------	--	-------	--------	-------	--------

## イ 生涯学習関係研修

番号	事業名	研修内容	対象	日数	計画		実績	
					実人員	延人員	実人員	延人員
1	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	・地域づくりとボランティア活動 ・リーダーに求められるコミュニケーションスキル ・施設見学、グループ研究 等	[推・公] 県民	8	30	240	16	93
2	家庭教育オピニオンリーダー研修	・家庭教育支援の現状と課題 ・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・カウンセリングマインドを生かした相談のあり方 ・フィールドワーク 等	[推・公] 県民	7	50	350	40	253
3	家庭教育支援プログラム指導者研修	・家庭教育支援プログラムの基本 ・ファシリテーションの基礎 ・ファシリテーション演習 等	県民	5	80	400	58	186
4	ウィークエンド青少年セミナー	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画・立案・準備・実践 等	青少年 大学生 高校生	5	30	150	30	125
5	放課後活動指導者研修	・放課後活動指導者に求められるもの ・子どもの遊びの理解と支援 ・もしもの時も落ち着いて ～子どもを守る危機管理～ 等	社 県民	5	150	750	181	422
6	学校と地域の連携推進セミナー	・学校を核とした地域づくりのために ・学校・地域の連携・協働におけるそれぞれの役割 等	社 教 県民	3	80	240	97	168
7	地域教育コーディネーター養成セミナー	・栃木県における地域教育コーディネーターの養成について ・地域教育コーディネーターに期待される役割	社 教 県民	1	200	200	163	163
8	地域課題解決型学習プログラム指導者養成研修	・地域課題の実態について ・ファシリテーションの技術を学ぼう ・地域課題を通じた地域づくり	社 県民	5	80	400	123	442
9	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ	・生涯学習推進における行政職員への期待 ・学習プログラムの企画・立案 等	社	3	100	300	70	135
10	生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ	・参加体験型学習の実際 ・これからの社会教育のあり方 等	社	3	100	300	32	48
11	人権教育指導者専門研修	・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ体験 ・人権学習プログラム作成 等	社 教	6	50	300	41	232
12	16ミリ映写機技術指導者研修	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント	社 視	隔年実施のため平成30(2018)年度は未実施				
生涯学習関係研修合計					950	3,630	851	2,267

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員 視：視聴覚ライブラリー職員 [推・公]：要推及び公募

### (3) 調査研究事業

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施した。

#### ア 基本方針

- ・教育行政上の基礎資料となる調査及び調査研究を行う。
- ・当面する教育課題を的確に捉えて、指導に役立つ調査研究を行う。
- ・生涯学習推進の基礎資料となる調査研究を行う。
- ・幼児教育や家庭教育に係る今日的な課題について調査研究を行う。
- ・他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

#### イ 事業内容

	研究主題	研究内容	備考
1	思春期の家庭教育支援に関する調査研究	思春期版家庭教育支援プログラムの活用促進に向け、県立学校における活用状況の実態を把握し、研究協力員とともに研究協力校での新プログラムの実践やヒアリング調査を行った。調査結果から、プログラム活用を推進していくための手掛かりとなる事例を収集し、リーフレットにまとめ、県立学校等に配布した。	生涯学習部 新規
2	「主体的・対話的で深い学び」に関する調査研究（小・中の各学校段階） ～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善～	「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点から授業改善を行った実践事例を冊子にまとめ、関係学校等に配布した。	研究調査部 継続
3	高等学校における教科指導充実に関する調査研究～各教科における今日的課題解決を図る指導の工夫【「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善】	理科、外国語科（英語）、家庭科、農業科、工業科、商業科の6教科を対象とし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資する実践事例を冊子とパンフレットにまとめ、関係学校等に配布した。	研究調査部 継続
4	学習指導案・教材の収集と発信～「教材研究のひろば」の充実～	授業実践に役立つ学習指導案・教材の収集を行い、総合教育センターWebサイト内の「教材研究のひろば」から発信した。	研究調査部 継続
5	道徳科の授業に関する調査研究（小学校段階） ～「考え、議論する道徳」への転換に向けて～	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めさせる授業実践例を冊子にまとめ、関係学校等に配布した。	研究調査部 新規
6	「プログラミング教育」に関する調査研究（小学校段階） ～小学校における「プログラミング教育」指導資料の作成～	「プログラミング教育」の捉え方及び授業づくりに関する指導資料としてパンフレットを作成し、県内小学校教員等に配布した。	研究調査部 新規
7	教育に関する各種統計調査 ～教育行政基礎資料の提供～	本県及び国の教育に係る各種統計調査（県単6、文部科学省3の計9）を実施し、教育行政、教育施策に関する基礎資料を作成・配布した。 ○県単調査 (1) 中学校等卒業者の進路状況調査 (2) 県立高等学校等卒業者の進路状況調査 (3) 全日制高等学校生徒の他県との交流調査 (4) 公立学校教員構成調査 (5) 新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 (6) 中学校等生徒の進路希望調査 ○文部科学省調査 (7) 地方教育費調査（教育費調査・生涯学習関連費調査 平成29会計年度） (8) 子供の学習費調査 (9) 社会教育調査	研究調査部 継続
8	児童生徒支援に関する指導資料の作成	全ての児童生徒に目を向け「認める」ことの大切さと、それを意識したかかわりの実践例についてまとめた指導資料を作成し、県内の教員等に配布した。	教育相談部 継続



9	特別支援教育コーディネーターの役割に関する調査研究	障害のある児童生徒の指導・支援の充実に向け、特別支援教育コーディネーターと担任等との連携の在り方をまとめた指導資料を作成し、県内の教員等に配布した。	教育相談部 新規
10	幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のための調査研究	幼児教育と小学校教育の接続を「カリキュラムをつなぐ」「保育と授業をつなぐ」「一人一人をつなぐ」の3つの視点で捉え、実際にカリキュラムや保育・授業の見直しを行い、実践した成果を、幼児教育と小学校教育の望ましい接続の在り方としてリーフレットにまとめ、各幼稚園、こども園、保育所、小学校、義務教育学校に配布した。	幼児教育部 新規

#### (4) 教育相談事業

##### ア 障害児の教育相談

県内の障害のある幼児児童生徒及び保護者等に対して、教育上の問題や悩みなどについて相談・助言を行っています。

表X-2-ア 障害児教育相談実施回数

番号	状態別	計
1	視覚障害	
2	聴覚障害	
3	知的障害	(2) 9
4	肢体不自由	(1) 16
5	病弱	
6	言語障害	(3) 18
7	自閉症・情緒障害	(1) 16
8	重複障害	
9	その他	
計		(7) 59
延べ来談者数		123

(注) ( ) 内は新規ケース数

##### イ 一般教育相談

県内の児童生徒の心身の健全な育成に資するため、性格、行動、学業等に関する教育上の諸問題について相談に応じ、問題解決への援助を行っています。

表X-2-イ 一般教育相談実施回数

番号	状態別	計
1	不登校	(32) 125
2	集団不適應	(11) 32
3	非行	(1) 2
4	家庭内暴力	
5	無気力	
6	怠学	
7	性格	(6) 19
8	精神疾患・神経症	(1) 1
9	緘黙・チック・夜尿	
10	情緒不安定	(5) 20
11	学業問題	(1) 9
計		(57) 208
延べ来談者数		381

(注) ( ) 内は新規ケース数

表X-2-ウ 学校支援

事業名	内容	対象	実施回数
学校支援	学校や教育研究会等からの要請に応じて、教育相談及び特別支援教育に関する研修会や事例検討会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行った。	各学校・教育研究会等	学校(小・中・高・特) 91回 学校以外の教育団体等 20回
			合計 111回

(5) 資料・情報の収集提供事業

教育関係職員の教育活動及び研修や生涯学習に関する学習活動・学習相談及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努めた。

表X-3

事業名	内 容	備 考
図書資料等の提供	教育・生涯学習に関する図書資料、教育資料、教育雑誌等の整備充実、レファレンス、貸出し	・図書資料室来室者 4,114 名 ・資料貸出・レファレンス 1,579 件
学習相談情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介</li> <li>・面談・電話等による生涯学習相談</li> <li>・栃木県学習情報提供システム(とちぎレインボーネット)の運用及び活用</li> <li>・市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報提供</li> <li>・関係機関との連携 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レインボーネットアクセス件数 8,058 件</li> </ul> <a href="https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/">https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/</a>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習機会、施設、団体・グループ、指導者、教材、各種資格、学習プログラム、情報源、その他の9情報</li> <li>・延べ相談件数 969 件</li> </ul>
視聴覚教材、教具の整備、貸出	DVD・VHS・16ミリフィルム等、視聴覚教材教具の整備・貸出	・DVD等 205 件 ・教具 27 件
カリキュラムに関する支援	カリキュラムに関する情報の収集・整理、情報発信等県内の各学校及びその他の各教育機関、県内の各教育関係団体における教育活動の支援	・利用者数 241 人 ・アクセス件数 146,167 件

(6) 研究・学習活動援助事業

教育研究団体が当面している教育に関する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう支援協力した。

表X-4-ア 教育研究団体等への会場提供

種 類	件数
小 学 校 教 育 研 究 会	0
中 学 校 教 育 研 究 会	1
高 等 学 校 教 育 研 究 会	9
生 涯 学 習 団 体	29
そ の 他	271
計	310

表X-4-イ 要請に基づく講師派遣

番号	種 別	講師派遣件数
1	幼 稚 園	5
2	保 育 所	6
3	こ ども 園	20
4	小 学 校	103
5	中 学 校	44
6	高 等 学 校	43
7	特 別 支 援 学 校	19
8	本 県 の 各 部 局	260
9	本 県 以 外 の 都 道 府 県	1
10	県 内 市 町	38
11	生 涯 学 習 関 係 団 体	32
12	小 学 校 教 育 研 究 会	6
13	中 学 校 教 育 研 究 会	19
14	高 等 学 校 教 育 研 究 会	53
15	そ の 他	64
	計	713

(注) 1 ~ 11: 要請による訪問等

12 ~ 14: 教育研究団体主催の各教科等に関する研究会のための訪問等

(7) 幼児教育センター事業

幼児教育センター事業については、【V】学校教育 8 幼児教育の項参照

(8) 教育充実振興事業

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施した。

表X-5-A 教養講座

番号	講座名	内 容	期 日	主 な テ ー マ	参加人数	会 場
1	公開講座 「ライフ アップセ ミナー」 (再掲)	総合教育センターが主催する研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供した。	5月30日 ～ 2月19日 18回	・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・人権が尊重された社会をつくるために ・地域づくりとボランティア活動 ・発達障害のある児童生徒の理解と対応 ・地域課題を通じた地域づくり 等	73人	総合教育センター
2	教育相談 特別講座	悩みや不安、課題を抱える子どもへの教員のかかわりについて、子ども自身もつ「自分はこうありたい」というイメージを大切にするという視点から考える機会を提供する。	8月7日	・基調講演「解決志向の発想と対応～子どもの『力』と『なりたい姿』を活かす～」 目白大学人間学部特任教授 黒沢 幸子 ・パネルディスカッション「子どもとどうかかわるか」 目白大学人間学部特任教授 黒沢 幸子 さくら市立上松山小学校教諭 柳原 守 宇都宮市立一条中学校教諭 渡邊 直子 県立宇都宮白楊高等学校教諭 橘川 知世 ・演習「解決志向で考えましょう」	179人	総合教育センター

表X-5-I 展覧会・発表会・コンクール

番号	事業名	期 日	対 象	出品・発表点数	参加人数	会 場
1	第62回日本学生科学賞栃木県展覧会	審査 10月4日 展示 10月5～21日 表彰式 10月22日	中学校、高等学校 義務教育学校(後期課程)、中等教育学校 高等専門学校 (第3学年まで) 特別支援学校 (中学部、高等部)	中学校 8点 高等学校 14点 最優秀賞 6点 優秀賞 8点 優良賞 3点	一人	総合教育センター
2	第68回栃木県児童生徒発明工夫展覧会	審査 10月17日 展示 10月19～21日 表彰式 11月19日	小学校、中学校 義務教育学校 高等学校 中等教育学校 高等専門学校 (第3学年まで) 特別支援学校	合計 233点 団体賞 3団体 金賞 10点 銀賞 15点 銅賞 20点	1,120人	栃木県こども総合科学館 総合教育センター
3	第72回栃木県理科研究展覧会並びに発表会	地区展 1月11～22日 中央展 2月1～15日 審査 2月1、15日 展示 2月2、3日 表彰式 2月15日	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	地区展 3,642点 中央展 101点	地区展 約18,000人 中央展 約400人	各地区会場 こども総合科学館 総合教育センター
4	第31回栃木県自作視聴覚教材コンクール(再掲)	予備審査 1月18日 本審査 2月1日 表彰式 2月28日	一般県民	9点	11人	総合教育センター

**表X-5-ウ 開放事業**

名 称	期 日	対 象	事 業 の 内 容	参加人数
学びの杜の冬休み ～ふれる・つくる ・考える～ (再掲)	12月15日	子どもと親 をはじめと する県民	子どもの遊び(学習)活動の支援や保護者をはじめ大人の教育力の向上を目的として『ふれる、つくる、考える』の3つのジャンルの32の活動プログラムを実施した。 ・パーカッションでアンサンブル ・はじめてのゲームプログラミング 等	766人

**表X-5-エ 教育研究発表大会**

事 業 名	期 日	対 象	事 業 の 内 容	参加人数
栃木県教育研究発表大会	1月25～26日	幼稚園・保育所等の教職員、 小学校・中学校・義務教育学校・ 高等学校・特別支援学校の教職員、 生涯学習関係者、 大学生等、一般県民	県内教育機関における幼児教育、 学校教育及び生涯学習に関する研究 の成果を広く公開し、その理解と普 及を図り、本県教育の充実向上と生 涯学習の振興に資する。	944人

**(9) とちぎ県民カレッジ**

- 登録講座 (実施機関・講座数) 102機関 ————— 1,675 講座
- ア 受講者 91,483 人
- イ 機関内訳 県関係機関 (63機関) ————— 611 講座  
各市町 (12市町25機関) ————— 698 講座  
大学等 (14大学等) ————— 366 講座
- ウ コース別講座数 (内訳)
- ・健康・スポーツコース 150 講座
  - ・文化・教養コース 1,231 講座
  - ・地域活動コース 42 講座
  - ・能力・自己開発コース 193 講座
  - ・郷土理解コース 53 講座
  - ・アカデミアとちぎ 6 講座
- エ 学習歴累積希望登録者 (2,700名)
- オ 奨励証交付者 (500単位 1名、400単位 3名、300単位 20名、200単位 39名、100単位 107名)

# 2 文 書 館

栃木県立文書館は、古文書、将来貴重な歴史資料となる県の公文書その他必要な資料を収集及び保存して、これらの活用を図り、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、昭和61(1986)年4月1日に設置され、同年10月1日に開館しました。

## (1) 文書の収集及び整理

民間に伝えられてきた古文書、知事及び教育委員会等が管理する公文書で保存年限が到来し、又は保存を要しないと認められた公文書のうちから歴史的価値の高いもの、及び県の永年保存文書を、原本またはマイクロフィルムで保存し、分類・整理のうえ一般の閲覧利用に供しています。

### ア 古文書

文書館に寄託、寄贈された古文書及び所蔵文書は、次の215家、363,915点(他写真1,977点)です(平成31(2019)年3月31日現在)。

## 寄 託 文 書

番号	文書名(文書の内容)	文書点数
1	小貫敏尾家文書(芳賀郡小貫村名主文書)	7,279点
2	古川明家文書(日光道中新田宿名主・問屋文書)	983点
3	添野一夫家文書(都賀郡延島村名主文書)	4,142点
4	小崎耕作家文書(芳賀郡小貫村名主文書)	1,361点
5	上原雅輔家文書(日光道中間々田宿名主・問屋文書)	1,518点
6	高橋悦郎家文書(河内郡岩原村庄屋・戸長文書)	8,582点
7	安納肇家文書(河内郡下飯田村名主文書)	342点
8	鮎瀬健一家文書(那須郡伊王野村名主文書)	7,841点
9	古橋忠義家文書(河内郡高松村庄屋文書)	1,153点
10	石井孝家文書(安蘇郡戸奈良村年寄・絹買継商文書)	7,302点
11	滝田馨家文書(黒羽藩家老文書)	2,055点
12	石原叡家文書(都賀郡上草久村名主文書)	4,665点
13	吉村儀兵衛家文書(芳賀郡谷田貝町酒造文書)	2,737点
14	森重家文書(那須郡三斗内・鷹ノ巣村名主文書)	1,942点
15	上野晴夫家文書(宇都宮藩御用達商人文書)	10点
16	鈴木重次家文書(黒羽藩家老文書)	324点
17	深津区長引継文書(都賀郡深津村名主文書)	93点
18	海老澤雄蔵家文書(芳賀郡三谷村名主文書)	2,276点
19	秋元武夫家文書(喜連川藩学翰林館学頭文書)	2,078点
20	篠原久兵衛家文書(宇都宮藩御用達・油商文書)	995点
21	岡田純一家文書(芳賀郡東水沼村名主文書)	18,058点
22	印南継男家文書(神田平次郎氏蔵旗本芦野家老文書)	22点
23	若草史料コレクション(藤田好三氏収集文書)	594点
24	池沢清家文書(寒川郡下生井村名主文書)	261点
25	村上喜彦家文書(塩谷郡桜野村庄屋文書)	1,185点
26	井上潤三家文書(奥州道中佐久山宿問屋文書)	1,092点

番号	文書名(文書の内容)	文書点数
27	小野崎隆道家文書(塩谷郡伊佐野村名主・戸長文書)	1,153点
28	小堀義勝家文書(小堀氏収集文書)	696点
29	加藤彌平太家文書(芳賀郡生田目村豪農・戸長文書)	8,024点
30	網川文太家文書(芳賀郡給部村名主・問屋文書)	12,990点
31	小池篤家文書(小池篤氏収集文書)	2,297点
32	坂本学家文書(芳賀郡刈沼新田村名主・戸長文書)	2,799点
33	平賀イク家文書(日光県関係文書)	556点
34	高塩武一家文書(喜連川藩士・日露戦争関係文書)	648点
35	高橋吾吾家文書(宇都宮氏旧臣関係文書)	21点
36	田村春夫家文書(都賀郡西水代村名主文書)	7,762点
37	茂垣敏雄家文書(芳賀郡山内村庄屋文書)	259点
38	網川典家文書(芳賀郡稲毛田村名主文書)	597点
39	伊澤新右衛門家文書(日光道中石橋宿名主・問屋文書)	1,061点
40	津布久平八郎家文書(佐野氏拝領文書)	21点
41	徳田浩淳家文書(徳田浩淳氏収集文書)	254点
42	白石忠孝家文書(都賀郡山田村名主文書)	340点
43	和気辰夫家文書(塩谷郡熊ノ木村地租改正関係文書)	115点
44	石崎孝三郎家文書(河内郡多功村役人文書)	158点
45	飯島信行家文書(大般若経等宗教文書)	3点
46	青木今作家文書(都賀郡橋本村太子講関係文書)	113点
47	伊沢喜一家文書(都賀郡前原村名主文書)	240点
48	石川俊雄家文書(都賀郡大柿村名主・戸長文書)	1,197点
49	宮原功家文書(足利郡駒場村等旗本知行所文書)	95点
50	日下田実家文書(黒羽藩益子陣屋役人文書)	1,542点
51	斎藤英彦家文書(都賀郡西赤麻村修験金龍寺文書)	140点
52	篠崎昭家文書(河内郡羽牛田村庄屋文書)	1,752点
53	植木康男家文書(塩谷郡金枝村庄屋文書)	8,956点
54	松本聡家文書(那須郡寄居村名主・問屋文書)	756点
55	大島延次郎家文書(大島延次郎氏収集文書)	8,359点
56	富永慶晤家文書(河内郡成田村医師文書)	1,093点
57	矢板肇家文書(塩谷郡矢板村名主文書)	4,887点
58	石川三郎家文書(都賀郡上石川村名主文書)	3,494点
59	桑川芳雄家文書(都賀郡助谷村役人文書)	3,395点
60	植竹文雄家文書(都賀郡壬生通町修験室蔵寺文書)	420点
61	高橋光家文書(都賀郡猪倉村稲荷大名神号許証)	1点
62	肘内区有文書(塩谷郡肘内区有文書)	1,517点
63	杉山文雄家文書(塩谷郡肘内村庄屋文書)	842点
65	川上豊家文書(那須郡成田村名主文書)	3,025点
66	益子清家文書(都賀郡亀和田村名主文書)	561点
67	大島庄平家文書(塩谷郡熊ノ木村地主関係文書)	844点
68	郡司正之家文書(河内郡関沢村組頭文書)	92点
69	伝馬町自治会文書(日光・奥州道中宇都宮伝馬町祭礼関係文書)	387点
70	小宅雄次郎家文書(芳賀郡真岡町荒町年寄関係文書)	307点
71	石塚ヨシ家文書(河内郡上戸祭村組頭文書)	1,303点
72	秋山喜兵衛家文書(河内郡町田村役人文書)	2,996点
73	小野耕家文書(塩谷郡狭間田村庄屋文書)	421点
74	渡辺昭家文書(都賀郡栃窪村名主文書)	1点
75	五月女裕久彦家文書(河内郡下岡本村庄屋文書)	10,682点
76	鈴木敏夫家文書(河内郡下平出村庄屋文書)	184点
77	篠崎昌平家文書(宇都宮市会関係文書)	213点
78	福田輝家文書(宇都宮市会関係文書)	1,535点
79	田中ミツ家文書(宇都宮市会関係文書)	321点
80	田中次郎家文書(宇都宮市会関係文書)	371点

番号	文書名 (文書の内容)	文書点数
81	榑原長和家文書 (榑原好之氏収集文書)	302 点
82	下平出町星宮神社文書 (下平出町星宮神社関係文書)	117 点
83	平池秀光家文書 (平池秀光氏所蔵文書)	111 点
84	吉田友三郎家文書 (吉田友三郎氏収集文書)	75 点
85	中田益雄家文書 (都賀郡下宿村名主・戸長文書)	2,059 点
86	高松健比古家文書 (芳賀郡道祖土村名主・戸長文書)	1,913 点
87	宇加地太嘉雄家文書 (河内町白沢特定郵便局及び養蚕伝習所関係文書)	1,054 点
88	廣田絹枝家文書 (石那田村関係近世末・近代文書)	2,748 点
89	大嶋正守家文書 (宇都宮藩飯岡村地方文書)	134 点
90	野口榮造家文書 (安蘇郡天明宿薬物商・方面委員伝来・収集文書)	201 点
91	手塚一夫家文書 (宇都宮市商家文書及び俳人手塚七木関係文書)	1,967 点
92	桜美林大学所蔵木村半兵衛家文書 (足利・桐生の絹買継商関係文書)	308 点
93	清水辰三郎家文書 (芳賀郡東大島村東郷代官支配所の名主文書)	135 点
94	東大島地区共有文書 (芳賀郡東大島村近世末・近現代の共有文書)	201 点
95	栃木県立宇都宮高等学校所蔵文書 (宇都宮周辺の村の地方文書及び古書、古写本類)	187 点
96	旧高松國三郎家文書 (藤原町高原地区役場文書及び鷲頂山神社関係文書)	6,381 点
97	杉山正五家文書 (小・中・師範学校教科書類及び新聞切抜帳等)	427 点
98	藤田尠家文書 (宇都宮藩家老伝来文書)	1,105 点
99	須田睦家文書 (昭和前期海軍関係文書)	58 点
100	三澤毅家文書 (都賀郡古宿村名主文書)	8,132 点
101	善野佐次兵衛家文書 (栃木町上町商家文書)	2,947 点
102	島田嘉内家文書 (安蘇郡田島村名主文書)	5,859 点
103	小曾戸晶家文書 (鍋山衆・鍋山村名主文書)	3,081 点
104	大島治家文書 (安蘇郡古江村他7カ村割元文書)	5,110 点
105	高木正恵家文書 (築田郡日向村名主文書)	516 点
106	田島一利家文書 (下都賀郡家中村関係文書)	1 点
107	永井峯三家文書 (都賀郡川中子村名主文書)	2,683 点
108	塚原哲夫家文書 (小山氏旧臣伝来文書)	31 点
109	林志磨家文書 (都賀郡平井村名主文書)	28 点
110	小宅定一郎家文書 (宇都宮氏旧臣伝来文書)	60 点
111	大金重晴家文書 (那須郡小口村名主伝来文書)	3,097 点
112	大塚整吾家文書 (芳賀郡上籠谷村役人伝来文書)	1,229 点
113	柴田孝一家文書 (大道寺石村現業史料)	444 点
114	野澤崇晶家文書 (野澤紡績所関係史料)	114 点
115	菊池昇家文書 (芳賀郡益子村名主文書)	496 点
116	後藤清二家文書 (河内郡町田村名主文書)	3,512 点
117	青木益治家文書 (宇都宮町穀間屋・石町名主文書)	794 点
118	榑屏風岩 (渡邊久子家) 文書 (大谷石採掘・販売関係文書)	3,861 点
120	かな半旅館 (志鳥正樹家) 文書 (栃木町旅館・旅館業関係文書)	3,422 点
121	鈴木幸代家文書 (塩谷郡後岡村名主・組頭文書)	1,003 点
122	江連運家文書 (都賀郡南小倉村名主文書)	1,267 点
123	塚田輝夫家文書 (塚田輝夫氏収集文書)	66 点
124	赤羽佐介家文書 (塩谷郡五十里村名主文書)	1,898 点
125	大森淳家文書 (都賀郡横堀村春日神社別当久遠院文書)	142 点
126	関一恵家文書 (都賀郡古宿村名主文書)	10,358 点
127	中山贊司家資料 (四代目県庁舎竣工記念文箱)	1 点
128	新井常雄家文書 (足尾銅山関係写真 (注))	1,977 点
129	上田保雄家文書 (都賀郡古宿村名主文書)	305 点
130	横堀卓家文書 (芳賀郡祖母井村名主文書)	457 点
131	入江宏家文書 (下野の教訓書・石門心学関係書籍・女子教訓書・下野勤王志士関係書籍)	86 点
132	小平忠一家文書 (都賀郡野中村戸長文書、日清・日露戦争関係史料)	3,181 点
133	大島三郎家文書 (芳賀郡手彦子村名主文書)	1,866 点

番号	文書名 (文書の内容)	文書点数
134	中神秀夫家文書 (宇都宮藩上士文書及び中神秀夫氏収集文書)	112 点
135	渡辺利男家文書 (芳賀郡石下村村役人文書)	110 点
136	小川大平家文書 (安蘇郡下洗垂村名主文書)	32,766 点
137	高橋修家文書 (西沢金山関係文書)	4,470 点
138	印南覚一朗家文書 (塩谷郡下伊佐野村上層百姓・医者文書)	505 点
139	福田尚家文書 (芳賀郡柳林村・柳林農社関係文書)	631 点
140	大出喜明家文書 (鉄砲・弓矢指南関係文書)	14 点
141	佐野正司家文書 (塩谷郡葛城村名主文書)	339 点
142	川上吉弥家文書 (塩谷郡原荻野目村名主文書)	2,009 点
143	落合清家文書 (河内郡川中子村名主文書)	327 点
144	篠原種男家文書 (河内郡上砥上村小前惣百姓文書)	56 点
145	栃木県弁護士会文書 (裁判関係資料)	47 点
146	星野宗四郎家文書 (日光山関係文書)	50 点
147	赤羽幸雄家文書 (下江川村役場関係文書)	258 点
148	池澤裕家文書 (衛生組合関係文書)	8 点
149	上野虎四郎家文書 (宇都宮藩本陣・問屋関係文書)	7,043 点
150	植木四郎左衛門家文書 (塩谷郡佐貫村材木商関係文書)	1,127 点
151	竹澤涉氏収集文書 (下都賀郡を中心とした村方文書)	3,041 点
152	鳥海味噌文書 (大正～昭和の企業家の文書)	570 点
153	中山晋家文書 (壬生上河岸・薪炭商関係文書)	2,103 点
計		文書 321,802点 写真 1,977点

(注) 文書点数はフィルム数 (コマ数は106,269)

## 寄贈文書

番号	文書名 (文書の内容)	文書点数
寄贈101	入江正兵家文書 (入江正兵氏収集文書)	92 点
寄贈102	阿部憲司家文書 (阿部憲司氏収集文書)	42 点
寄贈103	坂入浩一家文書 (芳賀郡茅塚村名主・戸長文書)	4,318 点
寄贈104	小川キミ家文書 (都賀郡押切村名主文書)	125 点
寄贈105	手塚玄家文書 (都賀郡小金井宿医師文書)	58 点
寄贈106	第14 師団輜重隊文書 (第14 師団輜重隊関係文書)	11 点
寄贈107	辰巳四郎家文書 (辰巳四郎氏収集文書)	71 点
寄贈108	東海林吉郎家文書 (東海林吉郎氏収集文書)	2 点
寄贈109	横尾健一家文書 (県議会議員横尾輝吉氏関係文書)	2,035 点
寄贈110	牧中とく家文書 (吹上藩士文書)	18 点
寄贈111	白仁成家文書 (第12 代栃木県知事白仁武関係文書)	106 点
寄贈112	伊澤一男氏旧蔵文書 (薬学関係古書)	60 点
寄贈113	室井豊家文書 (戦中中国紀行和綴本及び日光他写真集)	433 点
寄贈114	坂本 治家文書 (河内郡幕田村庄屋文書)	2,218 点
寄贈115	黒須長市家文書 (平民新聞ほか)	105 点
寄贈116	釜井啓一郎家文書 (大正期県議会関係文書)	85 点
寄贈117	伊澤久治郎家文書 (旧満州国関係写真資料)	105 点
寄贈118	大塚懿子家文書 (知事官房大塚正親関係文書)	134 点
寄贈119	安積仰也家文書 (安積得也知事夫人関係文書)	52 点
寄贈120	田代善吉家文書 (田代善吉氏収集文書)	3,060 点
寄贈121	小貫敏尾家文書 (芳賀郡小貫村戸長・村長文書)	11,048 点
寄贈122	早尾卓家文書 (東照宮福宜早尾海雄日記)	42 点
寄贈123	奥田豊家文書 (奥田豊氏収集文書)	221 点

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
寄贈 124	奥田久家文書（足利郡・芳賀郡・都賀郡等村方文書）	187 点
寄贈 125	安蘇郡・足利郡他村方文書（安蘇郡・足利郡・芳賀郡・栃木町等村方文書）	170 点
寄贈 126	塚越哲男家文書（古河鉱業足尾製作所作成諸図）	133 点
寄贈 127	大部一夫家文書（下都賀郡諸町・村文書）	68 点
寄贈 128	影山一家文書（安蘇郡中村地租改正関連文書）	7 点
寄贈 129	菊地卓家文書（菊地卓氏収集文書）	130 点
寄贈 130	篠原昭雄家文書（日光町宮大工文書）	654 点
寄贈 131	柳田恵子家文書（那須郡佐久山町医師文書）	496 点
寄贈 132	植木康晴家文書（儒教関係の古書・教科書他）	31 点
寄贈 133	米山靖正文書（儒教関係の古書・歴史書他）	79 点
寄贈 134	江口渙家文書（江口晋六・襄関係史料）	101 点
寄贈 135	渡辺文作家文書（和書・漢籍・地図他）	308 点
寄贈 136	葛生・吉澤慎太郎家文書（吉澤石灰工業株式会社関係文書等）	2,772 点
寄贈 137	藤田好三氏収集文書（藤田好三氏収集文書）	8,102 点
寄贈 138	飯島千代吉家文書（飯島千代吉氏収集文書）	15 点
寄贈 139	大開環家文書（尋常高等小学校訓導関係史料）	152 点
寄贈 140	雨宮義人家文書（田中正造書簡等）	41 点
寄贈 141	村上安正文書（村上安正氏作成資料）	14 点
	計	37,901 点

## 所蔵文書

番号	文書名（文書の内容）	文書点数
201	芦谷字家文書（日光道中雀宮宿名主・本陣文書）	379 点
202	戸田忠和家文書（宇都宮藩主文書）	181 点
203	別当河原村文書（河内郡別当河原村名主文書）	17 点
204	栃木町文書（都賀郡栃木町名主文書）	135 点
205	大前村文書（足利郡大前村名主文書）	117 点
206	烏山藩主寺領寄進状（烏山藩主文書）	71 点
207	徳川将軍家朱印状（下野国内寺社宛て朱印状）	855 点
208	栃木県立図書館収集文書（佐野県・吹上県・彦根県等の文書）	107 点
209	神道裁許状（都賀郡真弓・横堀村等神社宛て文書）	59 点
210	岡田文明家文書（芳賀郡竹下村名主文書）	36 点
211	栃木県立足利図書館収集文書（栃木県立足利図書館収集文書）	98 点
301	滝沢村文書（那須郡滝沢村名主文書）	339 点
302	越名村文書（安蘇郡越名村関係文書）	296 点
303	勅語・詔書等（栃木県出納局管理課移管文書）	107 点
304	権崎村文書（足利郡権崎村関係文書）	50 点
305	上三川村文書（上三川村名主文書）	103 点
306	栃木県土木部河川課収書文書（栃木県土木部河川課からの収集文書）	18 点
307	栃木県会計課作成新旧収入証紙（栃木県会計課が作成した県収入証紙見本）	3 点
308	上高島村文書（下都賀郡上高島村の明治中期の文書）	115 点
309	高瀬家文書（安蘇郡戸奈良村役人文書）	287 点
310	秋山村文書（安蘇郡秋山村関係文書）	49 点
440	その他の史料（和書・漢籍他）	337 点
	布達（明治時代に出された行政命令）	453 点
	計	4,212 点

## イ 管理委任文書

知事が管理する公文書で、管理委任により館長が引継ぎを受けた文書。

### 管理委任文書（累計）

栃木県公文書（明治21(1888)年～昭和40(1965)年）	2,892 冊
栃木県公報（明治34(1901)年～昭和36(1961)年）	157 冊

## ウ 引継文書 5,280 冊

教育委員会が管理する公文書で、館長が引継ぎを受けた文書。

## エ 移管文書 42,533 冊

県の機関が管理する公文書で保存年限が到来したもののうち、将来貴重な歴史資料として保存する価値があるものとして館長が移管を受けた公文書。

## オ 参考図書 29,270 冊

歴史に関する図書、出版物等。

## カ 参考資料 8,986 冊

歴史に関するその他の資料。

## キ マイクロフィルム等

個人所蔵の古文書等の収集及び傷みややすい原文書の保存、利用を図るために、マイクロフィルム計 4,153 巻、史料写真帳計 8,070 冊を作成しております。

## (2) 史料所在調査

古文書等の史料の保存と今後の一層の活用を図るため、県内の史料所在調査及び目録の作成を実施しました。

平成 30(2018)年度には『栃木県史料所在目録第 48 集 赤羽佐介家文書・小池篤家文書』を刊行しました。

## (3) 教育普及事業

### ア 研修会

古文書に親しむ会

①平成 30(2018)年 5 月 28 日 受講者 144 名

②平成 30(2018)年 6 月 11 日 受講者 124 名

③平成 30(2018)年 6 月 18 日 受講者 129 名

④平成 30(2018)年 7 月 2 日 受講者 124 名

歴史講演会

「織田信長と東国」

平成 30(2018)年 11 月 8 日 受講者 105 名

### イ 市町文書保存担当者講習会

平成 30(2018)年 10 月 31 日 受講者 30 名

### ウ 授業支援

小中高 10 校 20 時間

### エ 昭和館展示解説ボランティア

活動期間：平成 30(2018)年 4 月～平成 31(2019)年 3 月

年間活動日数：26 日 年間案内人数：557 人

年間活動人数：30 人



# 3 図 書 館

## (4) 利用者等統計

平成 30(2018)年度の文書閲覧者・展示観覧者・調査相談者・見学者の利用者総数は 2,615 人、文書出納・複製等の総利用件数は 17,894 点になっています。

### 平成 30(2018)年度栃木県立文書館利用者数等一覧

開館日数	利用者		閲覧室			展示室		レファレンス	見学者
	総利用者	(入館者)	閲覧者	出納	複製	展示日数	観覧者		
日			名	点(冊)	枚	日	名	件	名
222	2,615	1,719	661	2,573	3,265 (12,056)	239	865	896	193

(注)複製欄 ( ) 内の数字は、写真撮影の枚数である。

## (5) 刊行物

- ・文書館だより 第 61 号
- ・栃木県立文書館年報 第 32 号
- ・栃木県立文書館研究紀要 第 23 号
- ・栃木県史料所在目録 第 48 集

## ○県立図書館

栃木県立図書館は、県民の生涯学習活動を支援する場として、また情報提供の拠点として資料の整備・充実に努めています。

さらに、市町立図書館・公民館図書室との相互協力の推進と積極的な支援を行うとともに県内外図書館等と連携し、図書館活動の促進を図っています。

### (1) 図書館資料

#### ア 図書資料

平成30(2018)年度には10,523冊を収書し整理を経た結果、平成31(2019)年3月末現在の蔵書数は752,776冊になっています。(表X-7参照)

また、雑誌類1,513種、新聞72種を収蔵しています。

表X-7 分類別蔵書数

(単位：冊、%)

区分	一般用	児童用	計	前年度計	対前年比
総記	54,631	1,274	55,905	54,862	101.9
哲学	29,216	456	29,672	29,327	101.2
歴史	67,817	2,891	70,708	70,002	101.0
社会科学	110,748	2,366	113,114	111,729	101.2
自然科学	34,556	5,562	40,118	39,496	101.6
技術	32,734	1,612	34,346	33,899	101.3
産業	24,541	811	25,352	25,043	101.2
芸術	50,412	16,490	66,902	65,874	101.6
言語	12,150	624	12,774	12,637	101.1
文学	188,012	26,187	214,199	212,491	100.8
地域資料	89,521	165	89,686	87,170	102.9
計	694,338	58,438	752,776	742,530	101.4

※児童図書用の絵本は芸術に区分している。

#### イ 視聴覚資料

レコード・CD・ビデオテープ・DVD・マイクروفilm・電子出版物等を所蔵しています。

(表X-8参照)

表X-8 視聴覚資料 (単位:点、巻、セット)

種 別	年間増加数	現在所蔵数
レ コ ー ド	-	39,528
C D	102	9,328
ビ デ オ テ ー プ	-	988
D V D	11	534
音 楽 テ ー プ	-	505
楽 譜	6	1,875
マイクロフィルム	29	6,909
電 子 出 版 物	54	1,176

(2) 閲覧・貸出

平成 30(2018)年度の来館者総数は、71,896 人で1日平均にすると 251 人が図書館を利用しています。

図書館資料(視聴覚資料を含む)の館外貸出し数は60,596点、このうち、個人(21,206人)への貸出しは57,926冊(95.6%)、関係機関(697団体)への貸出しは2,670冊(4.4%)で、一日平均212冊になっています。

年齢別では0~9歳が3.9%、10~15歳が1.5%、16~22歳が5.2%、23~39歳が17.3%、40~59歳が29.6%、60歳以上が38.2%でした。

このほか、県内図書館への協力貸出し数は8,813点となっています。

なお、身体に障害があり、来館に支障のある方のため、郵送による貸出サービスも実施しています。(表X-9 参照)

表X-9-ア 利用人数 (単位:人、冊)

区 分	利用人数		利用冊数		
		1日平均		1日平均	
館内閲覧	71,896	251.4			
館外貸出	一般	21,206	74.1	57,926	202.5
	団体	697	2.4	2,670	9.3
	計	21,903	76.6	60,596	211.9
協力貸出			8,813	30.8	

※ 1日平均は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。

表X-9-イ 館外貸出内訳

区分	0~9歳	10~15歳	16~22歳	23~39歳	40~59歳	60歳以上	関係機関	計
冊数	2,351	884	3,140	10,493	17,938	23,120	2,670	60,596
構成比	3.9	1.5	5.2	17.3	29.6	38.2	4.4	100

うち心身障がい者郵送貸出	244冊	425冊
--------------	------	------

表X-9-ウ 分類別貸出図書数 (単位:冊、%)

区 分	一般図書	児童図書	逐次刊行物	計	構成比
総 記	7,992	31	1,345	9,368	17.0
哲 学	2,187	57	14	2,258	4.1
歴 史	3,878	125	74	4,077	7.4
社会科学	6,164	240	1,242	7,646	13.9
自然科学	3,172	286	114	3,572	6.5
技 術	1,844	97	178	2,119	3.9
産 業	1,281	115	83	1,479	2.7
芸 術	2,734	4,844	455	8,033	14.6
言 語	402	33	15	450	0.8
文 学	10,719	2,624	231	13,574	24.7
地域資料	2,382			2,382	4.3
合 計	42,755	8,452	3,751	54,958	100.0
構 成 比	77.8	15.4	6.8	100.0	-

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

表X-9-エ 新規登録者数

区 分	人数(人)	構成比(%)
60歳以上	141	11.7
40歳~59歳	283	23.4
23歳~39歳	386	32.0
16歳~22歳	278	23.0
10歳~15歳	70	5.8
0歳~9歳	50	4.1
個人のうち郵送貸出者	0	0.0
関係機関	0	0.0
合計	1,208	100.0
1日平均	4.2	

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

(3) 調査相談

図書館では、県民から寄せられた質問に対し、図書館資料や電算処理システム等の情報検索機能を活用して調査相談に応じています。

相談件数は、年間8,168件(1日平均29件)となっています。情報化社会に対応して国立国会図書館などインターネット上で公開されている各種の情報源を活用した情報サービスを実施しています。また、インターネットを活用した蔵書検索システムや貸出し予約システム、県内公共図書館を一括して検索できる「栃木県総合目録システム」の運用を行っています。(表X-10 参照)

表X-10 調査相談・コピー・マイクロフィルム・データベース (単位:件)

方法別 種類	口頭	電話・ FAX	メール	文書	計	一日 平均
所蔵・所在調査	3,907	241	13	1	4,162	14.6
書誌・事項調査	3,048	704	235	19	4,006	14.0
計	6,955	945	248	20	8,168	28.6
コピーサービス	マイクロフィルム利用		データベース利用			
2,740件	38,178枚	271	1,015巻	61件		3,625分

※ 1日平均は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。

#### (4) 視聴覚資料

視聴覚資料の利用状況は、CD貸出が4,807枚、楽譜等が322点、館内での観賞利用が322人となっています。

年数回、館内ホールで県内在住等の演奏家・音楽家による県民ライブコンサートを開催しています。

(表X-11・13 参照)

表X-11 視聴覚資料

貸出内容	レコード	306 枚
	C D	4,807 枚
	ビデオテープ	50 本
	D V D	95 枚
	C D - R O M	1 枚
	音楽テープ	0 本
	楽譜等	322 点
	付属	57 点
貸出点数		5,638 点
館内鑑賞件数		322 人

#### (5) 図書館間相互協力と協力車

県立図書館は、市町立図書館・公民館図書室等と資料の相互貸借などを行い、協力車を運行し、県民の多種・多様な要望に対応しています。

協力車は、県内の5コースに分け、週1～2回巡回し、相互貸借、業務の相談を行っています。また、県立図書館にない資料は、国立国会図書館と連携協力し、利用者に提供しています。(表X-12 参照)

表X-12 図書館相互協力 (単位：日、冊、件)

協力車巡回日数	図書資料貸出冊数	視聴覚資料貸出数	調査相談件数	国立国会図書館借用図書冊数
248	37,577	4,197	111	20

表X-13 県立図書館主催事業一覧

事業名	内容	開催日	参加者数
図書館活用講座	子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもを含む一般県民が自ら進んで読書に親しむことのできる環境整備の一つとして、図書館活用講座を開催した。	7月26日	36人
図書館情報発信事業	ロビーで本の紹介や情報を提供	4月～5月	
	・デスティネーションキャンペーン	4月～5月	
	・子どもの読書週間関連展示 「図書館が薦める子どもの本～県内公立図書館ブックリスト紹介～」	6月～8月	
	・蒲生君平を知る～生誕250年を記念して～展示	8月～10月	
	・「今、振り返るベストセラー 50～10年前に読まれていた本」	10月～11月	
	・文芸講演会関連展示「本は不思議の扉」	11月～1月	
	・装丁の世界～明治期から現代まで～展示	1月～3月	
	・本で振り返る平成展示		
	文書館、美術館、博物館等との連携企画展示（地域資料室）	4月28日～6月17日	
	・美術館連携企画「国吉康雄と清水登之 ふたつの道」	4月28日～6月17日	
・博物館連携企画「とちぎの技・匠」	6月30日～8月26日		
・美術館連携企画「ウエザーリポート 風景からアースワークそしてネオ・コスモグラフィア」	7月14日～10月8日		
・博物館連携企画「レッドデータブックとちぎ2018」	9月4日～		
・文書館連携企画「平成30年度栃木県立文書館常設展」	10月27日～12月9日		
・博物館連携企画「藤原秀郷 源平と並ぶ名門武士団の成立」	11月2日～12月24日		
・美術館連携企画「工芸の教科書」 「古川龍生」	11月2日～		
・文書館連携企画「明治150年記念特別企画展」	1月12日～3月24日		
・美術館連携企画「水彩画の魅力 ターナーから清水登之まで」			
文芸講演会	「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバルの一環として、県民の読書活動の推進のため、著名な作家を招いて講演会を実施した。	11月15日	76人
子どもの読書ボランティア指導者スキルアップ研修	子どもの読書活動推進ボランティア指導者のさらなるスキルアップを中心とした研修事業を実施した。	12月19日	
		1月10日	
		2月6日	
		3月6日	
県民ライブコンサート	ソプラノ独唱と合唱	5月26日	57人
	フォルクローレコンサート	7月8日	82人
	小オーケストラによるコンサート	9月9日	96人
	ふたりのソプラノコンサート	10月14日	73人
	弦楽四重奏によるコンサート	11月11日	78人
ピアノリサイタル	2月3日	94人	

# 4 青年の家

青年の家は、健全な青年の育成を図るために団体宿泊訓練を通じて、次のことを目的とする社会教育施設です。

- ① 規律、協同、友愛及び奉仕の精神を涵養する。
- ② 自立性、責任感及び実行力を身につける。
- ③ 相互の連帯意識を高め、郷土愛の精神を培う。
- ④ 教養の向上、情操の純化及び体力の増進を図る。

(表X-14~17 参照)

## ○芳賀青年の家

陶器の里益子の南東、高館山の中腹にあり、益子県立自然公園の鮮やかな松の緑、西明寺周辺の重要文化財など文化の芸術の香り高い心安まる環境にあります。

施設は、身障者利用への工夫と配慮、益子焼を楽しむ陶芸室・視聴覚室等が設置されています。

表X-14 主催事業一覧

平成 30(2018)年度

事業名	実施日	参加者数
キッズ体験隊①	5月12日	30人
キッズ体験隊②	7月26日	28人
キッズ体験隊③	9月29日～30日	52人
やさしい草木染	7月7日～8日	60人
SLに乗って秋満喫	9月22日～23日	38人
雨巻山登山①	10月6日	37人
楽しい手びねり陶芸①	11月18日	12人
楽しい手びねり陶芸②	12月2日	11人
楽しい手びねり陶芸③	12月9日	12人
ろくろで作る益子焼①	1月13日～14日	52人
ろくろで作る益子焼②	1月20日	24人
ろくろで作る益子焼③	2月3日	26人
ろくろで作る益子焼④	2月8日	中止
益子で焼き焼き体験	3月2日	32人
雨巻山登山②	3月9日	48人
計		462人

表X-15 利用状況

(単位：日、人、%)

区分	年度	23(2011)	24(2012)	25(2013)	26(2014)	27(2015)	28(2016)	29(2017)	30(2018)
		年度 ※ 1	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
開所日数		249	291	289	309	317	311	309	309
宿泊可能日数		200	240	237	259	268	269	251	256
芳賀 定員 (150)	利用日数	147	195	181	193	218	204	193	186
	実利用者数	4,389	8,081	7,553	6,522	7,653	6,448	6,559	5,987
	延利用者数	6,993	11,981	10,805	9,976	11,826	10,011	10,013	9,166
	延宿泊者数	2,604	3,892	3,250	3,451	4,232	3,565	3,454	3,179
	利用率	18.7	27.4	24.9	21.5	24.9	21.5	21.6	19.8
	宿泊利用率	8.7	10.8	9.1	8.9	10.5	8.8	9.2	8.3

※ 1 規則に定められた青年の家の休所日は、「国民の祝日に関する法律」に規定する休日、年末年始、第三日曜日の翌日を除く月曜日、及び第三日曜日である。

2 実人員、延人員、延宿泊人員：10人の団体が2泊3日で利用した場合、実人員10、延人員30、宿泊人員20となる。

$$3 \text{ 利用率 (\%)} = \frac{\text{延利用人員}}{\text{開所日数} \times \text{定員}} \times 100$$

$$\text{宿泊利用率 (\%)} = \frac{\text{延宿泊者数}}{\text{宿泊可能日数} \times \text{定員}} \times 100$$

表X-16 利用団体の種類別利用者数、団体数

平成30(2018)年度

青年の家の名称 団体別	芳賀	
	(団体数) 実人員(人)	構成比(%)
勤労青少年	8	
	171	2.9
学生生徒	31	
	1,181	19.7
指導者	6	
	169	2.8
その他	109	
	4,466	74.6
計	154	
	5,987	100.0

- ※ 1 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。  
2 その他の団体とは、趣味の会、研究会等である。

## 5 少年自然の家

明日の社会を担う青少年、とくに感受性に富んだ子どもにとって大自然に触れ合うことは自然に親しむ機会が日ごとに少なくなっている現在きわめて重要であります。

少年自然の家は、子どもを大自然に親ませ、恵まれた自然環境の中で、自然探究やのびのびとした野外活動を通じて身体を鍛えるとともに豊かな情操を養い、集団宿泊生活を通じて学校や家庭では得難い体験（自律、協同友愛、奉仕等の尊さ）を学習させることを目的とする社会教育施設です。

### ○太平少年自然の家

「陸の松島」といわれる美しい自然と、太平山神社をはじめ大中寺、大山寺、六角堂などの文化財に恵まれた太平県立自然公園内に、栃木県として初めて建設された少年自然の家です。

施設には200mm屈折式天体望遠鏡が設置されており、天体観測には絶好の環境です。

### 表X-17 主催事業一覧

平成30(2018)年度

事業名	実施日	参加者数
わくわくハッピービザ作り①	5月3日	37人
わくわくハッピービザ作り②	5月4日	36人
わくわくハッピービザ作り③	12月1日	34人
わくわくハッピービザ作り④	12月2日	23人
どきどきキャンプ	7月22日～25日	119人
天体観望会①	8月17日	55人
天体観望会②	1月12日	中止
天体観望会③	1月19日	47人
天体観望会④	2月16日	中止
どきどき土器探検隊	8月29日～30日	47人
太平山ハイクとぶどう狩り	9月8日	94人
踏破だ！太平山	11月3日～4日	67人
とびっきり門松づくり①	12月15日	40人
とびっきり門松づくり②	12月16日	50人
たき火のつどい①	1月12日	50人
たき火のつどい②	1月19日	52人
たき火のつどい③	2月2日	61人
たき火のつどい④	2月16日	59人
ゲッタークンふれあいまつり①	1月26日	35人
ゲッタークンふれあいまつり②	2月23日	23人
とちぎを知ろう！	3月2日～3日	59人
計		988人

表X-18 利用状況

(単位：日、人、%)

区分	年度	平成 23(2011) 年度	24(2012) 年度	25(2013) 年度	26(2014) 年度	27(2015) 年度	28(2016) 年度	29(2017) 年度	30(2018) 年度
	開所日数		239	287	299	305	296	291	294
宿泊可能日		176	244	258	270	147	208	225	225
太平 定員 (200)	利用日数	192	232	251	261	198	240	235	224
	実利用者数	11,587	12,452	12,787	12,047	10,725	12,431	12,473	13,466
	延利用者数	19,935	20,703	21,512	20,354	18,045	20,758	20,830	22,245
	延宿泊者数	7,552	7,874	8,336	8,062	7,024	7,992	8,311	8,737
	利用率	41.7	36.1	36.0	33.4	30.5	35.7	35.4	38.1
	宿泊利用率	21.5	16.1	16.2	14.9	23.9	19.2	18.5	19.4

※ 1 実・延人員、利用率等の語句の解説は、4 青年の家 ※ 1～3を参照。

2 規則に定められた少年自然の家の休所日は、日曜日と「国民の祝日に関する法律」に規定する休日、及び年末年始である。

表X-19 利用者団体の種類別利用者数、団体数

平成30(2018)年度

少年自然の家の名称	太平	
	(団体数)	
団体別	実人員(人)	構成比(%)
小学校	124	
	4,609	34.2
中学校	17	
	883	6.6
少年団	29	
	1,214	9.0
その他	195	
	6,760	50.2
計	365	
	13,466	100.0

※ 1 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と合わない場合がある。

2 その他の団体とは、趣味の会、子ども会、育成会、学童野球、幼稚園等である。

## 6 とちぎ海浜自然の家

とちぎ海浜自然の家は、海浜の広大な自然環境の中で、宿泊を伴う多様な団体活動を行う場を県民に提供することにより、青少年の健全な育成を図るとともに、生涯学習の充実に資するため、茨城県銚田市に設置した生涯学習関連施設です。

特に、海のない栃木の子どもたちに、海の自然や海にかかわる産業、文化について学習できる「海の分教場」として、また広く各種団体等の「生涯学習の場」として利用されることをねらいとしています。

施設には、18haの敷地に宿泊施設、学習館、スポーツレクリエーション施設等を配置し、周辺の海岸の自然環境や漁業施設等も学習資源として取り入れた幅広い体験的な宿泊学習が展開できるように配慮しています。

平成18(2006)年度から指定管理者制度を導入しました。

### 施設の概要

施設名	内容
学習館	学習室、展示室、オープンスペース、実習室等
生活館	宿泊施設（収容人員400人）
スポーツ館	屋内活動施設 （体育館アリーナ、プレイホール、温水プール等）
屋外施設	スポーツ、レクリエーションブロック （スポーツ広場、大アスレチック広場等）
	自然生活体験ブロック （ロッジ、キャンプ場、野外調理場等）
	自然観察体験ブロック （自然体験林、水の広場等）

表X-20 主催事業一覧

平成30(2018)年度

事業名	実施日	参加者数
利用団体指導者研修	4月20日	35名
磯釣り入門	5月12日～13日	74名
海浜の旬・メロン①	6月2日～3日	414名
海浜の旬・メロン②	6月16日～17日	213名
海浜夏まつり	7月7日～8日	460名
山の子・海の子 ファミリーキャンプ	9月8日～8日	107名
カニ釣りわくわくキャンプ	10月6日～7日	76名
海浜秋まつり	10月27日～28日	462名
海浜の初日の出	12月31日～1月1日	570名
海浜冬まつり	1月26日～27日	328名
WE LOVE サイエンス	2月9日～10日	158名
水族館バックヤードツアー	3月2日～3日	288名
計		3,185名



表X-21 利用状況

(単位：日、人、%)

年度		平成 24(2012) 年度	25(2013) 年度	26(2014) 年度	27(2015) 年度	28(2016) 年度	29(2017) 年度	30(2018) 年度
開 所 日 数		358	359	353	351	335	341	334
宿 泊 可 能 日		345	345	338	335	305	314	304
定 員 (400)	利 用 日 数	304	291	300	311	301	305	296
	実利用者数	25,980	26,786	25,875	27,157	25,826	26,335	25,329
	延利用者数	66,651	67,446	67,250	69,165	66,094	67,575	65,231
	延宿泊者数	40,638	40,830	41,248	41,981	40,368	41,337	39,555
	利 用 率	46.5	47.0	47.6	49.3	49.3	49.5	48.3
宿 泊 利 用 率	29.4	29.6	30.5	31.3	33.1	32.9	32.5	

表X-22 団体別利用者数・団体数

平成 30(2018)年度 (単位：団体、人)

区分	団体別	幼稚園 小学校	中学校	高等学校	大学等	特別支援 学校	社会教育 団体等	公共 団体等	企業	主催事業	計
団体数		268	11	12	11	2	260	10	6	12	592
(%)		(45.3)	(1.9)	(2.0)	(1.9)	(0.3)	(43.9)	(1.7)	(1.0)	(2.0)	(100.0)
		13,658	572	686	651	57	6,245	961	225	1,770	24,825
(%)		(55.0)	(2.3)	(2.8)	(2.6)	(0.2)	(25.2)	(3.9)	(0.9)	(7.1)	(100.0)

## 7 なす高原自然の家

なす高原自然の家は、那須高原の豊かな自然と触れ合う機会の拡大を図るとともに、青少年の団体宿泊訓練をはじめとする県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興に資するため、平成16(2004)年4月に設置した生涯学習関連施設です。

青少年の豊かな感性と温かい心を養い育む青少年教育施設の機能を継承しながら、広く県民の体験・交流・学習の場として利用できます。

また、県民の皆様に、より親しんでいただけるよう施設の愛称を公募し、那須高原のさわやかな風のイメージとして「ウインディなす」としています。

平成18(2006)年度から指定管理者制度を導入しました。

表X-23 主催事業一覧 平成30(2018)年度

事業名	実施日	参加者数
利用団体指導者研修①	4月16日	41名
利用団体指導者研修②	7月9日	16名
春のフェスティバル	5月27日	395名
ふれあい登山教室in 那須連峰①	8月11日～12日	66名
ふれあい登山教室in 那須連峰②	9月1日～2日	22名
ふれあい登山教室in 那須連峰③	10月6日～7日	46名
子どもチャレンジキャンプ	11月23日～25日	81名
自然の家わくわく体験デー①	11月18日	29名
自然の家わくわく体験デー②	12月2日	29名
クリスマスファミリーデー	12月15日～16日	98名
冬のファミリーデー①	1月26日～27日	114名
冬のファミリーデー②	2月16日～17日	126名
ふれあい広場	3月2日～3日	42名
計		1,105名

### 施設の概要

定員	200人	小研修室	3室
宿泊室	40室	体験プラザ	1棟
大研修室	1室	体育館	1棟
中研修室	2室		

表X-24 利用状況

(単位：日、人、%)

区分	年度	平成	25(2013)	26(2014)	27(2015)	28(2016)	29(2017)	30(2018)
		24(2012)	年度	年度	年度	年度	年度	年度
開所日数		335	335	336	336	335	333	335
宿泊可能日		289	281	285	281	285	294	308
定員 (200)	利用日数	259	266	264	265	254	259	264
	実利用者数	15,962	16,323	16,231	15,571	15,484	15,811	16,719
	延利用者数	35,304	35,747	35,818	33,378	33,380	34,598	35,658
	延宿泊者数	19,342	19,424	19,587	18,310	17,916	18,534	18,791
	利用率	52.7	53.4	53.3	49.7	49.8	51.9	53.2
	宿泊利用率	33.5	34.6	34.4	32.6	31.4	31.5	32.5

表X-25 団体別利用者数・団体数

平成30(2018)年度 (単位：団体、人)

区分	団体別									
	幼稚園 小学校	中学校	高等学校	大学等	特別支援 学校	社会教育 団体等	公共 団体等	企業	主催事業	計
団体数	105	44	9	1	32	50	3	2	13	259
(%)	(40.4)	(16.9)	(3.5)	(0.4)	(12.3)	(19.2)	(1.2)	(1.2)	(5.0)	(100.0)
実人員	6,500	4,343	622	10	1,755	2,466	89	106	828	16,719
(%)	(38.9)	(26.0)	(3.7)	(0.1)	(10.5)	(14.7)	(0.5)	(0.6)	(5.0)	(100.0)

# 8 体 育 館

栃木県体育館は、県民総スポーツ普及推進の拠点として、一般貸館業務とスポーツ教室等の自主事業を実施し、広く県民に利用されております。

平成30(2018)年度の利用者数は199,990人です。

## (1) 施設規模

ア 場 所 宇都宮市中戸祭1丁目6番3号

イ 延床面積 本館 6,069 m<sup>2</sup>、別館 1,154 m<sup>2</sup>、プール館 1,992 m<sup>2</sup>、武道館 2,092 m<sup>2</sup>、弓道場 463 m<sup>2</sup>

ウ 本館競技場面積 1,796 m<sup>2</sup> (観客席 1,920 席)、別館競技場面積 457 m<sup>2</sup>、プール館 25m公認プール(7コース)、小プール、武道館競技場面積 829 m<sup>2</sup>、弓道場、近的(8人立ち) 131 m<sup>2</sup>、遠的(6人立ち) 182 m<sup>2</sup>、会議室ほか

## (2) 利用状況

表X-26

(単位：人)

	本館	別館	プール館	武道館	弓道場	合 計
4月	4,808	1,961	3,323	2,346	880	13,318
5月	7,451	2,923	3,755	7,513	1,018	22,660
6月	7,578	1,984	4,624	4,883	1,709	20,778
7月	5,512	1,899	5,130	6,203	685	19,429
8月	8,746	2,052	5,068	3,188	1,859	20,913
9月	5,524	1,922	4,227	4,834	1,115	17,622
10月	6,689	2,078	3,646	4,826	1,714	18,953
11月	6,566	1,860	3,234	4,906	791	17,357
12月	4,386	1,436	2,689	3,307	582	12,400
1月	4,143	1,699	2,569	3,256	1,039	12,706
2月	3,785	1,752	2,778	1,912	636	10,863
3月	5,272	1,974	3,358	1,785	602	12,991
今年度計	70,460	23,540	44,401	48,959	12,630	199,990
前年度	74,051	22,986	46,598	45,875	11,850	201,360
前年比	95.15%	102.41%	95.29%	106.72%	106.58%	99.32%

## 9 日光霧降 アイスアリーナ

日光霧降アイスアリーナは、県民総スポーツの推進の一環としてスケートの普及や競技力の向上を図るため、大規模大会の開催も可能な最新の設備と機能を備えた通年型の屋内スケートリンクとして、広く県民に利用されているほか、2007IIHF 世界女子アイスホッケー選手権大会や、アイスホッケーアジアリーグの試合などに利用されています。

### (1) 施設規模

ア 場 所 日光市所野 2854 番地先  
イ 屋内リンク 30m × 60m (国際規格)  
ウ 観 客 席 2,000 席

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
普通利用	6,011
専用利用	82,514
計	88,525

※観覧者を含む。

## 10 グリーンスタジアム

栃木県グリーンスタジアムは、県民総スポーツの推進の一環としてサッカー・ラグビーの振興や競技力の向上を図るため、大規模大会の開催も可能な本格的なサッカー・ラグビー場として、平成5(1993)年6月にオープンし、県内外の各種大会や、サッカー天皇杯、Jリーグの試合などに利用されています。

### (1) 施設規模

ア 場 所 宇都宮市清原工業団地 32 番  
イ メイングラウンド 11,304 m<sup>2</sup> (天然芝)  
収容人員 14,699 人  
大型映像装置 1 基  
ウ サブグラウンド 9,750 m<sup>2</sup> (人工芝)  
電光式得点掲示板 1 基

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
グラウンド利用	19,043
会議室利用	11,659
観客数	124,040
計	154,742

# 11 県南体育館

栃木県立県南体育館は、県南地域の中核的な体育施設として、健康・体力づくりや教養文化活動などが行える多様な機能と設備を備え、国際大会や全国大会の開催も可能な施設として平成5(1993)年7月にオープンし、全国高等学校総体のバスケットボール会場として利用されたほか、県内の各種スポーツ大会に大いに利用されています。

## (1) 施設規模

- ア 場 所 小山市外城 371 番地 1
- イ 延床面積 9,997 m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート造一部鉄骨 2 階、全館冷暖房
- ウ メインアリーナ 1,900 m<sup>2</sup>、サブアリーナ 735 m<sup>2</sup>、剣道場 540 m<sup>2</sup>、柔道場 450 m<sup>2</sup>、トレーニング室、幼児体育室、研修室ほか

## (2) 利用状況

表X-27

(単位：人)

	メインアリーナ	サブアリーナ	剣道場	柔道場	トレーニング室	研修室	クライミングウォール	幼児体育室	合 計
4月	21,361	1,789	1,960	1,427	1,586	808	110	28	29,069
5月	21,391	9,879	5,129	1,471	1,790	1,822	71	42	41,595
6月	22,710	14,674	12,651	2,414	1,845	662	108	78	55,142
7月	35,885	5,467	4,546	4,119	1,838	1,888	119	53	53,915
8月	38,019	5,770	5,438	4,979	1,536	1,975	80	50	57,847
9月	10,552	2,167	1,923	1,465	1,551	1,080	128	63	18,929
10月	25,285	6,244	3,166	2,518	1,373	1,477	50	21	40,134
11月	24,842	4,560	3,838	2,878	1,243	1,638	34	13	39,046
12月	16,744	3,079	2,134	2,022	1,105	1,433	64	18	26,599
1月	24,893	2,758	3,185	1,971	1,254	1,000	47	45	35,153
2月	12,080	4,740	3,291	2,479	1,360	695	45	45	24,735
3月	16,906	3,527	2,690	1,468	1,428	1,135	70	70	27,294
今年度計	270,668	64,654	49,951	29,211	17,909	15,613	926	526	449,458
前年度	273,725	40,624	27,187	19,498	18,614	19,157	672	679	400,156
前年比	98.88%	159.15%	183.73%	149.82%	96.21%	81.50%	137.80%	77.47%	112.32%

# 12 県 北 体 育 館

栃木県立県北体育館は、県北地域の中核的スポーツ施設として、平成8(1996)年7月にオープンしました。メインアリーナ、武道場、トレーニング室など体育館としての機能のほかに、文化活動にも活用できる最新の設備も兼ね備えており、国際大会や全国大会の開催など、幅広い利用が可能な施設です。

## (1) 施設規模

ア 場 所 大田原市美原3丁目2番62号

イ 延床面積 9,997.53 m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート2階  
建一部鉄骨造、全館冷暖房完備、電光掲示板

ウ メインアリーナ2,000 m<sup>2</sup> (観客席2,054席)、サブアリーナ770 m<sup>2</sup>、武道場992 m<sup>2</sup>、トレーニング室294 m<sup>2</sup>、研修室、幼児体育室ほか

## (2) 利用状況

表X-28

(単位：人)

	メインアリーナ	サブアリーナ	武道場	トレーニング室	研修室	幼児体育室	合 計
4月	4,592	2,359	1,561	1,411	297	344	10,564
5月	8,481	2,646	3,130	1,514	948	319	17,038
6月	19,088	7,913	875	1,560	604	308	30,348
7月	34,129	7,735	2,480	1,551	880	508	47,283
8月	17,767	7,814	1,093	1,447	489	526	29,136
9月	11,910	6,048	2,618	1,567	565	527	23,235
10月	48,251	5,674	3,353	1,501	1,432	308	60,519
11月	38,267	4,724	1,853	1,312	1,721	251	48,128
12月	0	0	0	1,343	596	288	2,227
1月	0	0	0	1,501	242	384	2,127
2月	0	0	0	1,530	180	339	2,049
3月	0	0	0	1,694	546	510	2,750
今年度計	182,485	44,913	16,963	17,931	8,500	4,612	275,404
前年度	273,640	66,262	23,311	15,301	10,403	4,229	393,146
前年比	66.69%	67.78%	72.77%	117.19%	81.71%	109.06%	70.05%

## 13 温水プール館

温水プール館は、県民総スポーツの推進・県民ひとり1スポーツの一環として、県民の健康の増進や水泳競技の普及、競技力の向上を図るため整備され、平成12(2000)年10月にオープンしました。

県内初の50メートル10コース・25メートル6コース公認プールを併設する通年利用可能な屋内温水プールとして、大規模大会の開催や県民のレクリエーション等、広く県民に利用されています。

### (1) 施設の概要

- ア 場 所 小山市外城371番地1  
イ 延床面積 7,494.75 m<sup>2</sup>鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階  
ウ 50m 公認プール (10コース)  
25m 公認プール (6コース、障害者配慮スロープ付き)  
ジャグジー、採暖室、更衣室、観覧席 (椅子席1,000席、障害者用席5席分)  
会議室 (4室)

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
普通利用	31,928
専用利用	46,521
会議室利用	12,137
計	90,586

## 14 ライフル射撃場

ライフル射撃場は、昭和55((1980)年の栃の葉国体を機に昭和54(1979)年7月にオープン、さらには昭和60(1985)年2月に大口径射撃場もオープンしました。

本県のライフル競技の拠点として、ライフル射撃の競技はもとより練習にも大いに利用され、県民体育のスポーツ振興・競技力の向上に寄与してきました。

平成16(2004)年10月から一時休止中ですが、2022年の「いちご一会とちぎ国体」開催に向け、現在、環境整備事業を実施中です。

### (1) 施設の概要

- ライフル射撃場
- |                        |      |
|------------------------|------|
| 小口径ライフル射場 (射程50m)      | 28射座 |
| エアライフル射場 (射程10m)       | 26射座 |
| 大口径ライフル射場 (射程50m・100m) | 5射座  |
- (注) ランニングボア射場兼用

## 15 県体育館分館

県体育館分館は、ボクシング競技の利用を中心として、地域スポーツから全国レベルの大会まで幅広い利用を促進し、スポーツの普及振興を図るために整備され、平成18(2006)年7月にオープンしました。

### (1) 施設の概要

ア 場 所 宇都宮市今宮4-7-38

イ 延床面積 1,288 m<sup>2</sup>

### (2) 利用状況

(単位：人)

区分	利用者数
普通利用	1,844
専用利用	10,699
計	12,543



# 16 美 術 館

栃木県立美術館は、日本における公立の近現代美術館の先駆けとして、昭和47(1972)年11月に開館しました。平成30(2018)年度の企画展及び常設展の入館者数は47,523人でした。平成30(2018)年度に実施した事業は以下のとおりです。

## 1 展覧会事業

### (1) 企画展

No	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品作品数 (点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
1	国吉康雄と清水登之 ふたつの道	4月28日(土) - 6月17日(日)	44	113	4,945	112	1910～20年代にニューヨークで活動した日本人画家の生涯と画業を紹介。国吉作品は福武コレクションを展示。 (共催：福武財団)
2	ウェザーレポート 風景からアースワーク、 そしてネオ・コスモグラ フィアへ	6月30日(土) - 8月26日(日)	50	69	6,364	127	地球環境と芸術との関係を独自の視点から展望する。 (単独企画)
3	第72回 栃木県芸術祭美術展	9月8日(土) - 9月18日(火)	11	325	5,999	182	第1期(書道・工芸) 共催：栃木県、県文化協会
		9月22日(土) - 10月2日(火)	11	246			第2期(日本画・写真) 共催：栃木県、県文化協会
		10月6日(土) - 10月16日(火)	11	143			第3期(洋画・彫刻) 共催：栃木県、県文化協会
4	工芸の教科書	11月2日(金) - 12月24日(月・振)	46	81	4,002	87	県関係の工芸作家を中心に、技法解説等をまじえてわかりやすく紹介する。とちぎ版文化プログラム参加企画。(共催：下野新聞)
	古川龍生展	11月2日(金) - 12月24日(月・振)		71			小山市出身の版画家を所蔵品から紹介。 (共催：下野新聞)
5	水彩画の魅力	平成31(2019)年 1月12日(土) - 3月24日(日)	62	147	5,628	91	ジャンルとしてまとめて紹介されることの少ない水彩画の魅力在所蔵品により紹介。 (単独企画)
計			235		26,938		

## (2) 常設展

No	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点数 (点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容	
1	平成29年度コレクション展Ⅳの継続展示	4月1日(日)	1	149	13	13	所蔵品により栃木県および国内外の近現代美術を展示。テーマを設定して年3回展示替えを実施。マイセン磁器コーナーも展示替え。	
2	コレクション展Ⅰ 暮らしを彩る	4月14日(土) - 6月17日(日)	56	166	4,254	76		
3	コレクション展Ⅱ 特集 没後30年 羽石光志	6月30日(土) - 10月21日(日)	96	140	9,316	97		同上
4	コレクション展Ⅲ カラフル!	11月2日(金) - 12月24日(月・振)	46	149	2,651	58		同上
5	コレクション展Ⅳ 引用の作法	平成31(2019)年 1月12日(土) - 3月31日(日)	68	127	4,351	64		同上
計			267		20,585			

## (3) アートリンクとちぎ2018

No	展覧会名	出品予定 数(点)	実施予定市町村	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
A	「自然を愛した小山の偉人 没後50年 古川龍生木版 画」展	35	小山市立車屋美術館 5月2日(水) ~ 6月3日(日) (28日間)	1,252	45	没後50周年を記念して、古川龍生の木版画を紹介。
B	「創られた女/創る女」展	23	芳賀町総合情報館〈知恵の環館〉 11月17日(土) ~ 12月24日(月・振) (32日間)	2,042	64	芳賀町総合情報館が開催する福田たねの回顧展にあわせ、当館が所蔵する女性芸術家の作品を紹介。
計				3,294		

## 2 普及教育事業

### (1) 普及教育プログラム(企画展関係)

No	事業名	講師・出演者等	期日	会場	参加者数	内容
1	ギャラリー・トーク	講師：才土真司(岡山大学准教授)、杉村浩哉(技幹兼学芸課長)	4月28日(土)	企画展示室	54	「国吉康雄と清水登之」展にあわせて実施
			6月17日(日)	企画展示室	56	
2	ギャラリー・コンサート「初夏の宵のジャズ」	出演者：井上陽介(ベース)、秋田慎治(ピアノ)	5月19日(土)	企画展示室	140	
3	トークライブ「岡山のおじいちゃんとおばあちゃんとクニヨシの話しよう」	講師：才土真司(岡山大学准教授)	5月20日(日)	企画展示室	17	
4	対話型ギャラリー・トーク	講師：才土真司(岡山大学准教授)	6月2日(土)	企画展示室	28	
5	上映会「国吉康雄検証ドキュメンタリー「国吉を誤解している日本・忘れたアメリカ」」	講師：才土真司(岡山大学准教授)	6月3日(日)	集会室	38	
6	鼎談「祖国・日本・敵国」	講師：榎木野衣(美術評論家、多摩美術大学教授)、才土真司(岡山大学准教授)、杉村浩哉(技幹兼学芸課長)	6月9日(土)	集会室	93	

No	事業名	講師・出演者等	期日	会場	参加者数	内容	
7	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師：山本和弘（技幹）	6月30日（土）	企画展示室	76	「ウェザーレポート」 展にあわせて実施	
			8月4日（土）	企画展示室	28		
8	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師：鈴木さとみ（主 任）、石田友里（研究員）	11月2日（金）	企画展示室	56	「工芸の教科書／古川 龍生展」にあわせて実 施	
			11月17日（土）	企画展示室	10		
			11月25日（日）	企画展示室	11		
			12月9日（日）	企画展示室	17		
			12月15日（土）	企画展示室	10		
			12月22日（土）	企画展示室	20		
			12月23日（日・祝）	企画展示室	47		
9	とちぎ版文化プログ ラム“リーディング プロジェクト事業” ワークショップ(工芸 の技法体験)	「金継ぎに挑戦！」講師： 宮原隆岳（漆作家）、宮原 楓翠（漆芸家） 人間国宝直伝！親子で体感 する「竹工芸」講師：藤沼 昇（竹工芸分野の重要文化 財保持者）	11月11日（日）	集会室	41	「工芸の教科書」展に あわせて実施	
			12月8日（土）	集会室	28		
10	クリスマス合唱コン サート	出演：栃木県立宇都宮中央 女子高等学校合唱部	12月21日（金）	集会室	96	ナイトミュージアム （開館時間延長：17： 00 - 19：00）にあわ せて実施	
11	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師：木村理恵子（特別研 究員）	平成31(2019)年 1月12日（土）	企画展示室	33	「水彩画の魅力」展に あわせて実施	
			平成31(2019)年 2月23日（土）	企画展示室	28		
			平成31(2019)年 3月9日（土）	企画展示室	23		
12	ワークショップ「水 彩絵の具と紙で遊 ぶ」	講師：内田あぐり（日本画 家/武蔵野美術大学教授）	平成31(2019)年 2月2日（土）	集会室	25		
13	桜通り散策一軍都から 文化の街へー第2弾	講師：佐藤信明（風待工房 主宰）	平成31(2019)年 3月21日（木・祝）	当館近隣	25		
14	美術館スタンプ・ラ リー	自由観覧	企画展・常設展 会期中随時	企画・常設 展示室	11,190	幼・保・小・中学生だ けではなく、大高生、 一般の美術館利用を促 進。年間5回以上の利 用者に記念品贈呈（達 成者125名）	
15	音声ガイド 音声吹込み協力： 県立宇都宮中央女子 高校	「国吉康雄と清水登之」展	4月28日（土）－ 6月17日（日）	企画展示室	851	iPod 貸出により無償で 音声ガイドによる解説 を提供	
			「工芸の教科書／古川龍生 展」	11月2日（金）－ 12月24日（月・振休）	企画展示室		377
			「水彩画の魅力」展	平成31(2019)年1月12日 （土）－3月24日（日）	企画展示室		1,186
			コレクション展	4月14日（土）－平成 31(2019)年3月31日（日）	常設展示室		433
音声ガイド利用者数合計					2,847		

No	事業名	講師・出演者等	期日	会場	参加者数	内容
16	作品ガイド 多言語化文字解説	主要作品	通年	常設展示室		タブレット貸出しおよびフリースペースへの設置による作品解説
17	県美アートクルーズ参加校名	講師：橋本慎司（特別研究員）、鈴木さとみ（主任）、石田友里（研究員）	実施期日	会場		県公用バスを利用して、申込をした小・中学校、高校まで送迎を行い、美術館鑑賞教育の支援を行う。
	那須塩原市立波立小学校	「ウェザーレポート」展	7月11日（水）	企画展示室	47	生徒45/引率教員2
	栃木県立茂木高等学校		7月27日（金）		21	生徒18/引率教員3
	佐野市立南中学校		8月12日（日）		33	生徒31/引率教員2
	足利市立北中学校		8月18日（土）		14	生徒13/引率教員1
	栃木市立東陽中学校	栃木県芸術祭美術展	9月18日（火）		27	生徒26/引率教員1
	栃木県立栃木特別支援学校	「工芸の教科書／古川龍生展」	11月30日（金） 12月5日（水）		50	生徒43/引率教員7
栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	「水彩画の魅力」展	平成31(2019)年 3月8日（金）		108	生徒104/引率教員4	
アートクルーズ参加者数合計（生徒   引率者）					300	生徒280/引率教員20

## (2) 普及教育プログラム

No	事業名	講師・出演者等	予定期日	会場	参加者数	内容
1	先生のための美術館活用術	講師：橋本慎司（特別研究員）、鈴木さとみ（主任）、石田友里（研究員）	7月31日（火）	企画展示室、常設展示室	31	教職員を対象に美術鑑賞教育のさまざまな方法を提案、指導する
			8月24日（金）		2	
2	創作工房アートラウンジさくら塾第3日曜日（家庭の日）、年8回実施	講師：川島史也（作新学院大学女子短期大学部非常勤講師）、齋藤千明（白鷗大学教育学部准教授）、鈴木武雄（作新学院高等学校美術デザイン科教諭）、名取初穂（國學院大學栃木短期大学准教授）、本田悟郎（宇都宮大学教育学部美術分野准教授） 協力：上記学校学生ボランティア	5月20日（日）	集会室	100	《カタチから動物をみつけてみよう！》協力：作新学院大学女子短期大学部
			6月17日（日）	集会室	88	《デジカメで特撮アニメを作ろう》協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			7月15日（日）	集会室	108	《紙皿・紙コップで、あんなこと、こんなこと》協力：宇都宮大学教育学部
			8月19日（日）	集会室	140	《紙を万華鏡みたいに染めてみよう》協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			9月16日（日）	普及分館ラウンジ	105	《ピカピカアクセサリーを作ろう》協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			11月18日（日）	集会室	61	《キッチングッズでくるくるプリント 身近な材料で版画を作ろう》協力：白鷗大学教育学部
			12月16日（日）	集会室	102	《オリジナル石膏マグネットを作ろう》協力：作新学院大学女子短期大学部
平成31(2019)年 3月17日（日）	集会室	93	《切って、描いて、焼いて、楽しいペットボトル工作》協力：國學院大學栃木短期大学			

No	事業名	講師・出演者等	予定期日	会場	参加者数	内容
3	親子のための美術鑑賞教室鑑賞教室こどもの日スペシャル美術館ふしぎ発見!	講師：鈴木さとみ（主任）、橋本慎司（特別研究員）、志田康宏（研究員）、石田友里（研究員）	5月5日（土）	常設展示室、屋外展示場	21	展示作品や美術館の空間・展示の工夫等を対象にクイズ形式で美術館を案内
4	親子のための美術鑑賞教室	講師：橋本慎司（特別研究員）、鈴木さとみ（主任）、石田友里（研究員）	10月14日（日） 平成31(2019)年 2月17日（日）	普及分館、常設展示室	52 23	親子を対象に、ミニワークショップ付鑑賞会 幼児・小学生同伴の保護者の観覧料無料
5	夏休みこども企画美術館クイズ探検	講師：鈴木さとみ（主任）、志田康宏（研究員）、石田友里（研究員）、学芸員実習生	8月5日（日）	常設展示室	47	クイズを解きながら常設展示を解説
6	夏休みワークショップ《今日はいちいち縄文アーティスト!!》	講師：谷口勇三（陶芸家）	7月29日（日）	集会室	70	縄文時代の人々になった気持ちで粘土作品を制作
7	大人の図工室《小石から絵具を作って日本画を描こう》	講師：橋本弘安（日本画家）、岸野香（日本画家）	11月10日（土）	集会室	12	小石から絵の具を作って日本画を描く
計					1,055	

### (3) 学校教育への対応－1 社会見学等

No	事業名	期日	実施会場	参加者数	備 考
1	宇都宮市立桜小学校 街探検	6月13日（水）	企画展示室	33	児童24名 保護者9名
2	宇都宮市立戸祭小学校 街探検	11月27日（火）	企画展示室	17	児童14名 保護者3名
計				50	

### 学校教育への対応－2 社会体験学習等

No	事業名	期日	参加者数
1	鹿沼市立北中学校 マイ・チャレンジ	6月5日（火）～7日（木）	2
2	宇都宮市立国本中学校 宮っこチャレンジ	7月3日（火）～6日（金）	2
3	栃木県立壬生高等学校 職場体験学習	11月7日（水）～9日（金）	1
4	宇都宮大学教育学部附属中学校 職場体験学習	11月15日（木）～16日（金）	2
5	宇都宮市立晃陽中学校 宮っこチャレンジ	11月27日（火）～29日（木）	1
6	宇都宮市立陽北中学校 宮っこチャレンジ	12月5日（水）～7日（金）	2
計			10

### (4) 学芸員実習

No	事業名	実施期間	日数（日間）	実習生（人）	所属大学数（校）
1	学芸員実習	7月31日（火）～8月5日（日）	6	8	8

## (5) 社会教育への対応

No	事業名	期日／聴講者数	実施会場	備考
1	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	5月24日（木）／109名	栃木県シルバー大学校南校	「栃木の竹工芸－飯塚琅玕齋を中心に」講師：鈴木さとみ（主任）
2	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	6月5日（火）／130名	栃木県シルバー大学校中央校	「栃木の竹工芸－飯塚琅玕齋を中心に」講師：鈴木さとみ（主任）
3	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	5月30日（水）／76名	栃木県シルバー大学校北校	「清水登之の生涯と画業」 講師：杉村浩哉（技幹兼学芸課長）
4	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	6月1日（金）／105名	栃木県シルバー大学校中央校	「清水登之の生涯と画業」 講師：杉村浩哉（技幹兼学芸課長）
計		4日間／420名		

## (6) 教育関係者との連携事業

No	事業名	期日／参加者数	実施会場	備考
1	アートネットとちぎ 月例会	4月15日（日）／8名	会議室	栃木県内の美術教育関係者との研修
2	アートネットとちぎ 月例会	5月20日（日）／9名	会議室	
3	アートネットとちぎ 月例会	6月10日（日）／7名	会議室	
4	アートネットとちぎ 月例会	7月8日（日）／7名	会議室	
5	アートネットとちぎ 月例会	8月10日（金）／7名	会議室	
6	アートネットとちぎ 月例会	9月16日（日）／11名	会議室	
7	アートネットとちぎ 月例会	10月14日（日）／8名	会議室	
8	アートネットとちぎ 総会	11月4日（日）／28名	会議室	
9	アートネットとちぎ 月例会	2月17日（日）／7名	会議室	
10	アートネットとちぎ 月例会	3月24日（日）／8名	会議室	
計		10日間／100名		

## 3 その他の事業

### (1) 開館時間延長

No	事業名	実施内容	期日	参加者	備考
1	ナイトミュージアム	通常の閉館時間（17：00）を2時間延長し19：00まで開館（入館は18：30まで）16：30以降の来館者にはナイト割（団体料金と同額）を適用	5月19日（土）	63 （16：30以降の入館者数）	企画展示室で井上陽介（ベース）、秋田慎治（ピアノ）による「ギャラリー・コンサート「初夏の宵のジャズ」」を実施 （17：00～18：00）
2	クリスマス ナイトミュージアム	通常の閉館時間（17：00）を2時間延長し19：00まで開館（入館は18：30まで）16：30以降の来館者にはナイト割（団体料金と同額）を適用	12月21日（金）	40 （16：30以降の入館者数）	集会室で宇都宮中央女子高合唱部による「クリスマス合唱コンサート」を実施 （18：00～19：00、無料）

# 17 博 物 館

栃木県立博物館は、栃木県の歴史・文化及び自然に関する資料を収集保存し、調査研究し、展示して、県民の皆様の利用に供し、県民文化の向上及び発展に寄与するとともに、広く郷土に対する知識と理解を深めていただくことを目的として、昭和57(1982)年10月に開館した総合博物館です。

平成30(2018)年度の総入館者数は229,715人で、累計は5,744,418人となりました。平成30年(2018)度を実施した主な事業は以下のとおりです。

## 1 企画展・テーマ展

### (1) 企画展

回	名称	期間	会場	入館者数
120	とちぎの技・匠	4月28日(土)～6月17日(日)	展示室2	14,779
121	レッドデータブックとちぎ2018	7月14日(土)～10月8日(月)	展示室2	26,646
122	藤原秀郷―源平と並ぶ名門武士団の成立―	10月27日(土)～12月9日(日)	展示室2	14,223
合計				55,648

### (2) テーマ展

	分野	期間	名 称
自然	無脊椎動物	平成30(2018)年3月17日(土)～6月17日(日)	ミミズ
	昆虫・植物	10月20日(土)～1月20日(日)	ジョージ・ルイスと武田久吉―明治日光の昆虫・植物研究の先人―
	自然全般	2月2日(土)～3月3日(日)	あつまれ!自然好き-ポスター発表-
	植物	3月16日(土)～平成31(2019)年6月16日(日)	もみじとカエデ
人文	考古	7月14日(土)～8月26日(日)	3館連携共通テーマ展「タイムトラベル古墳時代」
	美工	7月14日(土)～8月26日(日)	涼をたのしむ―絵で感じる夏の風情―
	美工	9月8日(土)～10月8日(月)	小泉斐の世界―鮎と風景と人物―
	民俗	9月8日(土)～10月8日(月)	栃木の平野の暮らし―稲作―
	民俗	12月22日(土)～平成31(2019)年4月7日(日)	おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし
	民俗	1月12日(土)～2月11日(月)	栃木の民間信仰 ―モノに表れた人々の祈りと願い―
	人文全般	1月12日(土)～2月11日(月)	初物づくし―新収蔵品初公開!―
歴史	2月23日(土)～平成31(2019)年4月7日(日)	下野国から栃木県へ―栃木県を形作った人々―	

### (3) ロビー展示

	分野	期間	名 称
教育広報課	人文	4月1日(日)～5月31日(木)	考古・歴史
	人文	4月13日(金)～5月11日(金)	端午の節句—鎧—
	自然	6月1日(金)～7月18日(水)	昆虫
	人文	6月8日(金)～7月18日(火)	古代衣装—七夕編—
	自然	9月5日(水)～9月30日(日)	動物
	自然	10月2日(火)～11月30日(金)	化石・恐竜
	人文	12月1日(土)～12月24日(月)	昔の道具(前期)
	人文	12月1日(土)～2月15日(金)	昔の道具とくらし
	人文	12月24日(月)～1月31日(木)	昔の道具(後期)
	自然	2月1日(金)～3月31日(日)	岩石・鉱物
	人文	2月15日(金)～3月20日(水)	雅な衣装—ひなまつり—

## 2 講演会

### (1) 企画展記念講演会

演 題	期日	会場	参加者数	講 師
日光の建造物漆塗について	5月27日(日)	講堂	82	日光社寺文化財保存会漆塗管理者 佐藤 則武氏
消えゆく生き物からのメッセージ～菌類(きのこ・カビ・酵母)を例に～	8月26日(日)	講堂	65	国立科学博物館植物研究部グループ長 細矢 剛氏
栃木県のトウキョウサンショウウオ～その現状と保全活動～	9月24日(月)	講堂	89	栃木両生爬虫類の会会員 菱沼 知仁氏 栃木両生爬虫類の会会員 青柳 育夫氏 栃木県立博物館自然課長 林 光武
藤原秀郷と秀郷流武士団の成立	11月11日(日)	講堂	184	京都女子大学名誉教授 野口 実氏
合計			420	

### (2) 企画展関連講座

演 題	期日	会場	参加者数	講師・活動内容
オープニング講座「とちぎの技・匠」	4月28日(土)	講堂	117	人文課長 篠崎 茂雄 人文課学芸嘱託員 石井 和帆
手仕事実演	4月29日(日)	2Fロビー	450	都賀の座敷箒 荒木 トク氏 他
手仕事実演	5月6日(日)	2Fロビー	291	栃木の樽 萩原 幹雄氏
手仕事実演	5月13日(日)	2Fロビー	264	竹工芸 八木澤 正氏
手仕事実演	5月20日(日)	2Fロビー	286	結 城 紬 栃木県本場結城紬織物協同組合



手仕事実演	5月27日(日)	2Fロビー	431	日光下駄 山本 政史氏
手仕事実演	6月3日(日)	2Fロビー	312	小砂焼 藤田 眞一氏
手仕事実演	6月10日(日)	2Fロビー	902	松本雛人形店 松本 浩之氏 佐野人形協会 佐野衣装着雛
手仕事体験	5月5日(土)	研修室・エントランス	195	黄ブナの絵付 小川 昌信氏、武者絵の絵付 大畑 耕雲氏、下野しぼりの栞づくり 諏訪ちひろ氏・諏訪志津子氏
手仕事体験	6月16日(土)	県庁前広場	447	藍染(絞り染め)づくり アトリエ草冠、竹の小花籠づくり 八木澤竹芸、機織り体験 真岡木綿会館、彩色体験 日光社寺文化財保存会、益子焼ろくろ・手びねり体験 益子伝統工芸士会、和太鼓ストラップづくり 小野崎太鼓店、大谷石表札づくり 渡邊 哲夫氏、杢彩アクセサリーづくり クロサキ工芸
レッドデータブックとちぎ2018	7月14日(土)	講堂	98	自然課長 林 光武
リレー講座「レッドデータブックとちぎの地形・地質・動植物」①地形・地質	7月22日(日)	研修室	14	自然課主任 河野 重範
リレー講座「レッドデータブックとちぎの地形・地質・動植物」②昆虫	7月29日(日)	研修室	40	自然課主任研究員 栗原 隆
リレー講座「レッドデータブックとちぎの地形・地質・動植物」③きのこ・地衣類・藻類など	8月5日(日)	研修室	27	自然課主任研究員 坂井 広人
リレー講座「レッドデータブックとちぎの地形・地質・動植物」④無セキツイ動物	8月12日(日)	研修室	18	自然課主任 南谷 幸雄
リレー講座「レッドデータブックとちぎの地形・地質・動植物」⑤植物	9月9日(日)	研修室	31	自然課主任研究員 星 直斗
リレー講座「レッドデータブックとちぎの地形・地質・動植物」⑥セキツイ動物	9月30日(日)	研修室	25	自然課長 林 光武
藤原秀郷一源平と並ぶ名門武士団の成立一	10月27日(土)	講堂	136	人文課主任 山本 享史
北関東3館連続シンポジウム「中世の北関東と京都一中世東国武士の成立をさぐる一」	11月24日(土)	講堂	150	群馬県立女子大学准教授 築瀬大輔氏茨城県立歴史館学芸員 飛田 英世氏栃木県立博物館人文課主任 山本 享史
合計			4,234	

### (3) 発表会

演題	期日	会場	参加者数	講師
あつまれ!自然好き	2月24日(日)	講堂	206	12団体
合計			206	

### 3 講座

講座名	期日	会 場	参加者数	講師
学芸員とっておき講座 「栃木県で見つけた珍しいきのこたち」	4月15日(日)	研修室	30	自然課学芸嘱託員 山本 航平
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月11日(金)	研修室	0	教育広報課係長 沼尾 孝之 教育広報課係長 中村 智治
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月12日(土)	研修室	3	教育広報課係長 沼尾 孝之 教育広報課係長 中村 智治
学芸員とっておき講座 「ユネスコ無形文化遺産 結城紬の魅力を語る」	5月20日(日)	研修室	37	人文課長 篠崎 茂雄
ミジンコやアオミドロを見てみよう	6月2日(土)	研修室	15	自然課主任研究員坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
栃木の民話語り	6月9日(土)	講堂	92	人文課学芸嘱託員石井 和帆
生物・地学収蔵庫ガイド	6月10日(日)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	9	自然課長 林 光武 自然課主任研究員坂井 広人 自然課主任 河野 重範 自然課主任 南谷 幸雄 自然課主任 吉田 貴洋
学芸員とっておき講座 「栃木のカタツムリ」	6月17日(日)	研修室	43	自然課主任 南谷 幸雄
学芸員とっておき講座 「古墳めぐり『はじめの一步』」	7月15日(日)	研修室	20	人文課主任研究員馬籠 和哉
日光の自然(植物)	7月25日(水)	スロープ	31	自然課主任研究員 星 直斗
カチカチ発電機をつくろう！ ～鉱物をヒントに生まれた発明～	7月28日(土)	研修室	31	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員薄井 香淑
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 地学編	8月2日(木)	研修室	8	教育広報課長 柏村 勇二
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 昔の道具編	8月9日(木)	会議室	0	教育広報課係長 沼尾 孝之
昆虫標本をつくろう	8月11日(土)	研修室	52	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員鈴木 信也
学芸員とっておき講座 「カエル・サンショウウオ最新情報！」	8月19日(日)	エントランス	82	自然課長 林 光武
きらきらまが玉プレスレットづくり	8月19日(日)	エントランス	164	人文課主任研究員馬籠 和哉 人文課学芸嘱託員中山 真理
学芸員とっておき講座 「いろいろな地衣類」	9月16日(日)	研修室	13	自然課主任研究員坂井 広人
学芸員とっておき講座 「明治日光のルイスの昆虫採集記」	10月21日(日)	研修室	13	自然課主任研究員 栗原 隆
ダンゴムシ・ワラジムシのなかまを見分けられるかな？	10月27日(土)	研修室	16	自然課主任 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏

生物・地学収蔵庫ガイド	11月3日(土)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	8	自然課長 林 光武 自然課主任 河野 重範
火山灰は宝石箱	11月10日(土)	研修室	14	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
学芸員とおき講座 「藤原秀郷—史実と伝説のあいだで—」	11月18日(日)	講堂	98	人文課主任 山本 享史
歯科材料でつくるアンモナイト化石のレプリカ	12月15日(土)	研修室	18	自然課主任 河野 重範 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
学芸員とおき講座 「古い押し葉標本から新発見！」	12月16日(日)	研修室	9	自然課主任 星 直斗
学芸員とおき講座 「初物づくし—新収蔵品初公開！—」	1月20日(日)	研修室	10	人文課主任 飯塚 真史
豚足で骨格標本をつくろう	2月3日(日)	研修室	11	自然課学芸嘱託員 浅羽 宏 自然課長 林 光武
学芸員とおき講座 「絵で見る栃木の生活文化」	2月17日(日)	研修室	7	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
学芸員とおき講座 「下野国から栃木県へ—栃木県を形作った人々—」	3月17日(日)	研修室	23	人文課主任 大越 惟弘
合計			857	

#### 4 見学会・観察会

名称	期日	会場	参加者数	講師
春の植物を見つけよう	4月14日(土)	宇都宮市	7	自然課主任 星 直斗 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課学芸嘱託員 山本 航平
ナスヒオウギアヤメ鑑賞会	5月12日(土)	中央公園	48	自然課主任 星 直斗 自然課学芸嘱託員 山本 航平
夜の観察会「カエルとサンショウウオの夕べ」	5月5日(土)	那須塩原市	27	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
モリアオガエルの観察会	6月2日(土)	塩谷町	25	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
木の葉化石をしらべよう	8月4日(土)	那須塩原市	20	自然課主任 河野 重範 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課主任 星 直斗
セミの羽化を見よう	8月4日(土)	中央公園	76	自然課主任 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
土と肥料の微妙な関係	9月8日(土)	真岡市	12	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか
きのこの観察会 in 中央公園	9月22日(土)	研修室	21	自然課主任 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平

土の中のワンダーランド！ 土の中の生きものを探そう	9月23日（日）	研修室	26	自然課主任 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
バッタはかせを目指せ！	9月29日（土）	さくら市	17	自然課主任 栗原 隆 自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
めざせ！ゴールドハンター ☆砂金を探せ！	10月20日（土）	那珂川町	21	自然課主任 吉田 貴洋 自然課主任 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
合計			300	

## 5 展示解説等

講座名	期日	会場	参加者数	講師
ミミズ	4月7日（土）	テーマ展示室	32	自然課主任 南谷 幸雄
	5月12日（土）	テーマ展示室	10	
	6月3日（日）	テーマ展示室	28	
とちぎの技・匠	5月6日（日）	展示室2	16	人文課長 篠崎 茂雄
	6月2日（土）	展示室2	9	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
レッドデータブックとちぎ2 018	7月16日（月）	企画展示室	31	自然課主任 星 直斗
	8月18日（土）	企画展示室	26	自然課主任 栗原 隆 自然課主任 河野 重範
	9月17日（月）	企画展示室	45	自然課長 林 光武 自然課主任 吉田 貴洋
タイムトラベル古墳時代	8月4日（土）	展示室2	27	人文課主任 馬籠 和哉
涼をたのしむ —絵で感じる夏の風情—	8月5日（日）	展示室2	15	人文課研究員 深沢 麻亜沙 人文課学芸嘱託員 久野 華歩
小泉斐の世界 —鮎と風景と人物—	9月15日（土）	展示室2	13	人文課研究員 深沢 麻亜沙
栃木の平野の暮らし—稲作—	9月16日（日）	展示室2	15	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
ジョージ・ルイスと武田久吉 —明治日光の昆虫・植物研究の 先人—	10月28日（日）	テーマ展示室	11	自然課主任 星 直斗
	12月9日（日）	テーマ展示室	13	自然課主任 栗原 隆
藤原秀郷—源平と並ぶ名門武 士団の成立—	11月4日（日）	企画展示室	52	人文課主任 山本 享史
	11月25日（日）	企画展示室	36	
栃木の民間信仰—モノに表れた 人々の祈りと願い—	1月27日（日）	展示室2	6	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
下野国から栃木県へ —栃木県を形作った人々—	3月3日（日）	展示室2	5	人文課主任 大越 惟弘
もみじとカエデ	3月24日（日）	テーマ展示室	9	自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか
おじいさんやおばあさんの 民話語り	1月12日（土）	展示室2	23	(栃木県民話の会連絡協議会) 下野民話の会 日光語りべの会 すみれ語りの会 栃木語り部の会 烏山語りの会 (担当) 人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄
	1月19日（土）	展示室2	26	
	1月26日（土）	展示室2	27	
	2月2日（土）	展示室2	35	
	2月9日（土）	展示室2	13	
	2月16日（土）	展示室2	23	
	2月23日（土）	展示室2	34	
	3月2日（土）	展示室2	24	
	3月9日（土）	展示室2	13	

	3月16日(土)	展示室2	20	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
	3月23日(土)	展示室2	22	
	3月30日(土)	展示室2	39	
合計			698	

## 6 博物館でやってみよう

内容	期 日	会 場	参加者数	講師
十二単を着てみよう	4月29日(日)	2F ロビー	110	教育広報課 解説嘱託員
鎧を着てみよう	5月5日(土)	2F ロビー	83	
七夕飾りをつくろう	6月16日(土)	2F ロビー	38	
アワ・あわ・バブル・しゃぼんだま	7月27日(金)	研修室	43	
すき！好き！紙すき	8月3日(金)	研修室	26	
博物館レポートをかこう	8月17日(金)	研修室	20	
まゆ玉でお月見うさぎをつくろう	9月9日(日)	エントランス	128	
古墳時代の衣装を着てみよう	9月29日(土)	2F ロビー	26	
十二単を着てみよう	10月14日(日)	2F ロビー	51	
わかびったんー百人一首と箏(こと)を体験ー	10月20日(土)	エントランス	62	
鎧を着てみよう	11月3日(土)	エントランス	67	
落ち葉ステンドグラスをつくろう	11月23日(金)	研修室	16	
十二単を着てみよう	12月2日(日)	エントランス	62	
木の実クラフトをつくろう	12月23日(日)	研修室	20	
体験！ちょっと昔の暮らし	1月13日(日)	研修室	17	
古墳時代の衣装を着てみよう	1月14日(月)	エントランス	49	
化石ざんまいー化石さがしとレプリカづくりー	2月10日(日)	研修室	34	
鎧を着てみよう	2月11日(月)	エントランス	64	
つくって遊ぼう！しあわせ貝あわせ	3月3日(日)	研修室	22	
十二単を着てみよう	3月10日(日)	2F ロビー	36	
合計			974	

## 7 市町連携事業

### (1) 地域移動博物館

名称	期間	会場	入館者数
キノコの世界へようこそ	7月21日(土)～ 8月30日(木)	佐野市立郷土博物館	3,151
博物館がやってくる	7月21日(土)～ 9月2日(日)	益子町中央公民館	875
那須町の縄文時代ー那須町の縄文遺跡と縄文土器ー	9月8日(土)～ 10月28日(日)	那須歴史探訪館	1,064
埴輪と鏡ー矢板市の古墳時代ー	9月23日(日)～ 11月4日(日)	矢板市郷土資料館	175
貝を知ってるかい！？ ～カタツムリだって、イカだって、ウミウシだって貝！～	10月6日(土)～ 11月25日(日)	茂木町ふみの森もてぎ	825
合計			6,090

**(2) 共催展**

名称	期間	会場	入館者数
うつのみやの自然パネル展	6月7日(木)～6月17日(日) 6月9日(土)～6月18日(月) 6月21日(木)～7月5日(木)	宇都宮市立東図書館 宇都宮市立中央図書館 宇都宮市立南図書館	48,743
化石を探る	7月14日(土)～9月2日(日)	市貝町立歴史民俗資料館	6,618
ミミズ	9月1日(土)～10月6日(土)	宇都宮市立南図書館	67,746
タイムトラベル・恐竜世界 ～わくわく！ 恐竜展～	9月14日(金)～1月20日(日)	大田原市ふれあいの丘自然観察館	9,243
合計			132,350

**(3) 移動講座**

名称	期日	会場	参加者数	講師
夏休み企画！虫博士になろう！ ～虫観察と標本づくり体験～	8月1日(水)	栃木市大宮公民館	40	自然課主任研究員栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
菌類のもつふしぎな力	8月4日(土)	佐野市郷土博物館	21	自然課主任研究員 坂井 広人
ジオパーク構想教室① 昆虫の多様な世界	8月18日(土)	南那須公民館及び フィールドワーク	12	自然課主任研究員栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
ジオパーク構想教室② 化石が見つかる地層を 見る・ 観る・視る	10月20日(土)	南那須公民館及び フィールドワーク	21	自然課主任 河野 重範
ジオパーク構想教室③ ジオパークの先例に学ぶ：銚子 ジオパーク	1月19日(土)	南那須公民館	10	自然課主任 河野 重範
ジオパークを知る講座	8月19日(日)	南那須図書館	21	自然課主任 河野 重範
夏の草むら昆虫たんけん (しおやサマースクール講座)	8月25日(土)	星ふる学校「くま の木」	8	自然課主任研究員栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
拓本しおりと 土偶オーナメントづくり	9月16日(日)	那須歴史探訪館	22	人文課主任研究員 馬籠 和哉 人文課学芸嘱託員 中山 真理
	10月7日(日)		15	
美しく魅惑的な貝の世界 ～茂木にも30種以上の貝が暮ら している！～	10月20日(土)	茂木町ふみの森も てぎ	8	自然課主任 南谷 幸雄
サンショウウオ保全活動体験教 室①アメリカザリガニ捕り	10月20日(土)	宇都宮市戸祭山緑 地	26	自然課長 林 光武
サンショウウオ保全活動体験教 室②サンショウウオ保全活動説 明会	12月8日(土)	宇都宮市役所	45	自然課長 林 光武
サンショウウオ保全活動体験教 室③ トウキョウサンショウウオ救出 作戦	3月16日(土)	宇都宮市戸祭山緑 地	35	自然課長 林 光武
合計			284	

#### (4) 博物館へ行こう

名称	期日	会場	参加者数	講師
ジオパークを知ろう	8月25日(土)	那須烏山市	18	自然課主任 河野 重範
合計			18	

#### (5) 共催展関連講座

名称	期日	会場	参加者数	講師
Wonderful life 生命38億年の旅	7月28日(土)	市貝町立歴史民俗資料館	16	教育広報課長 柏村 勇二
化石探検隊—市貝町編	8月4日(土)	市貝町立歴史民俗資料館	34	教育広報課長 柏村 勇二
化石三昧	8月18日(土)	市貝町立歴史民俗資料館	48	教育広報課長 柏村 勇二
展示解説・恐竜ガイド	9月14日(金)	大田原市ふれあいの丘自然観察館	114	自然課主任 河野 重範
	10月27日(土)		21	
	12月8日(土)		23	
特殊素材を使った化石レプリカづくり	10月27日(土)	大田原市ふれあいの丘自然観察館	27	自然課主任 河野 重範
天文館・自然観察館共催特別講演会「お話玉手箱—宇宙・恐竜・大進化」	11月17日(土)	大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール	69	教育広報課長 柏村 勇二
特殊素材を使った化石レプリカづくり	12月8日(土)	大田原市ふれあいの丘自然観察館	29	自然課主任 河野 重範 自然課学芸嘱託員薄井香淑
合計			381	

#### (6) 出前講座

名称	期日	会場	参加者数	講師
化石発掘隊-中級編-	5月12日(土)	那須野が原博物館	32	教育広報課 柏村 勇二
渡良瀬グリーンプラザ「松田川ダムふれあいフェスティバル」	5月27日(日)	足利市松田ダム公園	316	教育広報課 柏村 勇二
那須ハイランドパーク恐竜教室(7セット)	7月29日(日)	那須ハイランドパーク	164	教育広報課 柏村 勇二
夏休み科学遊び教室「化石から見た生物の進化」	8月2日(木)	宇都宮市立南図書館	42	教育広報課 柏村 勇二
那須ハイ恐竜教室(6セット)	8月5日(日)	那須ハイランドパーク	178	教育広報課 柏村 勇二
那須ハイ恐竜教室(6セット)	8月11日(土)	那須ハイランドパーク	189	教育広報課 柏村 勇二
ブランヴェール恐竜教室	8月11日(土)	ブランヴェール那須	37	教育広報課 柏村 勇二
	8月12日(日)		67	
那須ハイ恐竜教室(6セット)	9月2日(日)	那須ハイランドパーク	168	教育広報課 柏村 勇二
	9月16日(日)		174	
那須ハイ恐竜教室(7セット)	9月22日(土)	那須ハイランドパーク	117	教育広報課 柏村 勇二
火山灰は宝石箱	9月29日(土)	上三川町中央公民館	18	自然課 吉田 貴洋・薄井 香淑
那須地域の両生類	10月27日(土)	那須野が原博物館	19	自然課 林 光武
宇都宮市修道館アカデミー連続講座「Fossil化石をつ知る」① 栃木の地層と化石	11月7日(水)	宇都宮市中央生涯学習センター	35	教育広報課 柏村 勇二
宇都宮市修道館アカデミー連続講座「Fossil化石をつ知る」② 生命38億年の旅	11月14日(水)	宇都宮市中央生涯学習センター	35	教育広報課 柏村 勇二

宇都宮市修道館アカデミー連続講座「Fossil 化石をつ知る」③ 恐竜大繁栄の謎に迫る	11月28日(水)	宇都宮市中央生涯学習センター	35	教育広報課 柏村 勇二
宇都宮市修道館アカデミー連続講座「Fossil 化石をつ知る」④ 化石を探る	12月5日(水)	宇都宮市中央生涯学習センター	35	教育広報課 柏村 勇二
合計			1661	

### (7) 高原山自然探検隊

名称	期日	会場	参加者数	講師
田んぼの生き物しらべ	4月21日(土)	星降る学校「くまの木」	32	自然課 林光武
くまの木化石発掘隊	10月13日(土)	那須塩原市	24	教育広報課 柏村 勇二
合計			56	

### 8 県立博物館の日イベント

当館では、より多くの県民に来館していただき県民に親しまれる博物館を実現するとともに、博物館事業をPRしていくため、平成26(2014)年度から毎月第3日曜日に「県立博物館の日イベント」を開催している。平成30(2018)年度の事業実績は以下のとおり。

期日	博物館利用者数	行事	参加者数	備考
4月15日	1,701	コンサート、ファッションショー、ダンス等	1,328	宇都宮短期大学・附属高校
		物販	864	宇短大附属高校
		クイズにチャレンジ	24	
		とっておき講座	30	栃木県で見つけた珍しいきのこたち
		百人一首読み札ぬり絵	57	
		キッズツアー	19	むかしむかしの暮らしばなし
5月20日	675	コンサート	156	栃木県オペラ協会
		クイズにチャレンジ	29	
		とっておき講座	37	ユネスコ無形文化遺産 結城紬の魅力を語る
		電子顕微鏡－ミクロの世界探検－	50	真珠
		百人一首読み札ぬり絵	24	
		キッズツアー	21	とちぎの着物
6月17日	848	コンサート	299	マロニエウィンドオーケストラ(県職現役・OB)
		クイズにチャレンジ	38	
		とっておき講座	43	栃木のカタツムリ
		百人一首読み札ぬり絵	73	
		キッズツアー	18	いと お菓子
7月15日	1,457	コンサート	744	宇都宮女子高校オーケストラ部合唱部
		クイズにチャレンジ	36	
		とっておき講座	20	古墳めぐり「はじめの一步」
		電子顕微鏡－ミクロの世界探検－	61	地下生菌
		百人一首読み札ぬり絵	52	
		キッズツアー	20	はにわ、しってる?
8月19日	1,334	コンサート	321	壬生町青少年少女合唱団・コール響
		クイズにチャレンジ	51	
		とっておき講座	82	カエル・サンショウウオ最新情報!



		きらきら勾玉ブレスレットづくり	164	
		百人一首読み札ぬり絵	21	
		キッズツアー	26	博物館 ひんやりさんぽ
9月16日	561	コンサート	92	トリアエ'ず
		クイズにチャレンジ	45	
		とっておき講座	13	いろいろな地衣類
		百人一首読み札ぬり絵	43	
		キッズツアー	14	今昔コケ物語
10月21日	576	コンサート	293	ブルートレイン (ジャズ・サクソ)
		クイズにチャレンジ	18	
		とっておき講座 (自然)	13	明治期日光のルイスの昆虫採集記
		百人一首読み札ぬり絵	31	
		キッズツアー	11	ぐるり。模様めぐり～季節の植物～
11月18日	1,116	コンサート	347	大田原市 与一太鼓
		物販「大田原市うまいもの広場」	2,300	大田原市
		大田原市体験教室	103	大田原市まちおこし協力隊
		クイズにチャレンジ	28	
		とっておき講座	98	藤原秀郷―史実と伝説のあいだで―
		電子顕微鏡―ミクロの世界探検―	31	魚の耳石
		百人一首読み札ぬり絵	65	
		キッズツアー	13	神さまと仏さま
12月16日	239	コンサート	60	ヒヨコマめ
		クイズにチャレンジ	10	
		とっておき講座	9	古い押し葉標本から新発見！
		百人一首読み札ぬり絵	14	
		キッズツアー	12	はっけん！むかしぐらし
1月20日	619	コンサート	105	能満寺ハンドベルエコーベルフラワーズ
		クイズにチャレンジ	26	
		とっておき講座	10	初物づくし―新収蔵品初公開！―
		電子顕微鏡―ミクロの世界探検―	84	カタツムリのひみつ
		野鳥観察会	37	中央公園連携事業
		百人一首読み札ぬり絵	38	
		キッズツアー	8	下野かるたで遊ぼう
2月17日	589	コンサート	163	宇都宮大学マンドリンクラブ
		クイズにチャレンジ	31	
		とっておき講座	7	絵で見る栃木の生活文化
		電子顕微鏡―ミクロの世界探検―	72	昆虫の触角のひみつ
		百人一首読み札ぬり絵	29	
		キッズツアー	42	さあキミも！とりキッズ！
3月17日	829	コンサート	343	宇都宮南高校吹奏楽部
		クイズにチャレンジ	34	
		とっておき講座	23	下野国から栃木県へ―栃木県を形作った人々―
		電子顕微鏡―ミクロの世界探検―	74	ダンゴムシと星の砂
		百人一首読み札ぬり絵	35	
		キッズツアー	21	丸いなべと細長いなべ
合計	10,544		9,553	

## 9 ミュージアムツアー（定時解説）

担 当…解説嘱託員

開催日…毎週土曜日、日曜日（「県立博物館のイベント」実施日を除く）、祝日

時 間…13：30 ～

対 象…希望者

内 容…企画展・テーマ展・展示室1・展示室2・スロープ展示に関する解説と案内

## 10 広報・広聴事業

種類	内容	規 格 等
①ポスターの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展 とちぎの技・匠</li> <li>・企画展 レッドデータブックとちぎ 2018</li> <li>・企画展 藤原秀郷—源平と並ぶ名門武士団の成立—</li> </ul>	B2（4色） B2（4色） B2（4色）
②リーフレットの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30(2018)年度年間行事案内</li> <li>・観覧のしおり</li> <li>・テーマ展リーフレット</li> </ul> 3館連携共通テーマ展・タイムトラベル古墳時代、涼をたのしむ—絵で感じる夏の風情—、小泉斐の世界—鮎と風景と人物—、栃木の平野の暮らし—稲作—、ジョージ・ルイスと武田久吉—明治日光の昆虫・植物研究の先人—、おじいさんやおばあさんの子どもたちの暮らし、栃木の民間信仰—モノに表れた人々の祈りと願い—、初物づくし—新収蔵品初公開！—、下野国から栃木県へ—栃木県を形作った人々—、もみじとカエデ	420×210（巻きジャバラ折り4色）  A3（4色、両面印刷、中折り）
③県広報媒体を利用したの広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民だより・とちぎ放送「県政ひとくちメモ」</li> <li>・県政スクランブル—栃木放送</li> </ul>	広報誌・新聞・ラジオ・テレビ等
④報道機関への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県政記者クラブ・支局への資料提供・取材依頼・取材協力</li> </ul>	タウン誌等
⑤出版社等への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料提供</li> <li>・取材依頼</li> <li>・取材協力</li> </ul>	
⑥有料広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展 とちぎの技・匠</li> <li>・企画展 レッドデータブックとちぎ 2018</li> <li>・企画展 藤原秀郷—源平と並ぶ名門武士団の成立—</li> </ul>	フリーペーパー 新聞 タウン誌
⑦読者プレゼント提供による記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展招待券、通常招待券</li> </ul>	フリーペーパー 新聞 タウン誌
⑧入館者からの意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例アンケート調査（毎月第3日曜日に実施）</li> <li>・企画展アンケート</li> <li>・学校団体アンケート調査（随時）</li> <li>・一般団体アンケート調査（随時）</li> <li>・常設アンケート調査</li> <li>・行事参加者へのアンケート調査</li> </ul>	
⑨インターネットを利用したの広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ運営 <a href="http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/">http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/</a></li> <li>・各種検索サイトへの登録</li> <li>・他機関サイトとの相互リンク</li> <li>・栃木県公式ホームページ</li> <li>・栃木県立博物館 Twitter</li> <li>・栃木県立博物館 Facebook</li> </ul>	
⑩近隣自治体への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各企画展のポスター掲示</li> <li>・各企画展のチラシの回覧</li> </ul>	

## 11 出版事業

博物館の調査研究成果を発表し、利用者の便宜を図るため、次の図書等を発行した。

- (1) 図録  
企画展「とちぎの技・匠」  
企画展「レッドデータブックとちぎ 2018」  
企画展「藤原秀郷―源平と並ぶ名門武士団の成立―」
- (2) 研究紀要―自然―第 35 号  
研究紀要―人文―第 36 号
- (3) 年報第 36 号
- (4) 収蔵資料目録

## 12 博物館実習生の指導

当館では開館翌年の昭和 58(1983)年から博物館実習生を受け入れ、昭和 62(1987)年には「栃木県立博物館実習生受け入れ要綱」を制定し、以後はそれに従って実習生の指導にあたっている。近年、実習を希望している学生が多様化していることから、平成 12(2000)年度より実習中心のコースと講義中心のコースの 2 つに分けて実習生を受け入れることとし、受け入れ要綱を一部改正した。

本年度は計 31 名の大学生を受け入れ、実習中心のコースは 19 名、講義中心のコースは 12 名にて実習を行なった。

実習日程（実習中心コース）

第 1 日 7 月 24 日（火）

開講式  
博物館の概要  
企画展見学  
バックヤード・常設展見学  
人文系学芸活動について  
自然系学芸活動について  
教育広報活動について  
各担当者との打ち合わせ

第 2 日～第 6 日

各担当者との打ち合わせによる実習（10 月末日まで）

実習日程（講義中心コース）

9 月 5 日（水）

開講式  
学芸部長講話  
館内展示等自由見学  
人文系の博物館活動  
自然系の博物館活動  
友の会の活動について

9 月 6 日（木）

自然系の普及教育活動  
館内バックヤード見学  
人文系の普及教育活動  
博物館の教育広報活動  
情報管理、ホームページについて

9 月 11 日（火）

人文系資料の収集と整理  
自然系資料の収集と整理  
人文系の展示  
自然系の展示

9 月 12 日（水）

班別実習  
考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9 月 13 日（木）

班別実習  
考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9 月 14 日（金）

班別実習  
考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学  
閉講式

## 13 県版レッドリスト・レッドデータブック改訂

県版レッドリスト・レッドデータブック改訂事業（主管課：県環境森林部自然環境課）において、改訂版レッドデータブック作成のための調査検討・原稿執筆・編集作業を行い、「レッドデータブックとちぎ 2018」を刊行し、企画展を行った。

## 14 県他館との連携事業

北関東 3 館連続シンポジウム

北関東道の開通にあわせ、平成 23(2011)年度にはじめて開催して好評を博した群馬県立歴史博物館・栃木県立博物館・茨城県立歴史館による北関東 3 館連続シンポジウム「北関東の戦国時代」につづき、中世の北関東地方と京都・畿内との関係性の解明をめざした第 2 回連続シンポジウムを開催した。

第 1 回群馬シンポジウム

「織田政権と北関東」

期日：5 月 6 日（日）13:00～16:00

会場：群馬県立歴史博物館

参加者：111 名

第 2 回茨城シンポジウム

「内乱期北関東の守護職と京・鎌倉」

期日：9 月 8 日（土）13:00～16:30

会場：茨城県立歴史館

参加者：145 名

第 3 回栃木シンポジウム

「中世東国武士の成立をさぐる」

期日：11 月 24 日（土）13:00～16:30

会場：栃木県立博物館

参加者：150 名

# 18 埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の保存・活用、調査研究等のため、埋蔵文化財事業の中核施設として平成3(1991)年4月1日に下野市(旧国分寺町)に開設しました。

平成27(2015)年度から新たに常設展示室を開設し、平成30(2018)年度は普及事業、開発に伴う埋蔵文化財発掘調査事業、資料の管理、研修事業等を実施しました。

## 1 埋蔵文化財発掘調査事業

遺跡の発掘調査

県教育委員会重要遺跡等調査事業	2件
県・市町の開発事業に伴う調査事業	8件
町の遺跡分布調査事業	1件
町の国史跡調査事業	1件
合計	12件

## 2 資料管理業務

(1) 遺跡台帳整備 426件

### (2) 遺物・写真・図面等管理

ア 遺物の再整理及び収納	
2遺跡、遺物11箱分	
イ 写真・図面等の再整理及び収納	
2遺跡、写真アルバム10冊、図面ケース15冊	
ウ 写真デジタル化	1,000カット

(3) 図書管理 新着 2,212冊、貸出 1,030冊

## 3 保存処理業務

(1) 保存処理及び修復等 44点  
(2) 市町等指導 2件2回

## 4 情報収集提供業務

### (1) 資料貸出

遺物	29件	2,079点
写真	19件	72点
その他	59件	1,561点

### (2) 情報誌等の発行

埋蔵文化財センターだより	2回発行	計 9,000部
壁新聞	1回発行	計 1,000部
発掘調査成果情報誌	2遺跡分	計 8,000部
その他、リーフレット・パンフレット発行		

### (3) 情報収集

## 5 普及業務

### (1) 埋蔵文化財センター一般公開

4月1日～3月31日	展示観覧	2,802人
	勾玉づくり	260人
	バックヤードツアー	219人
	合計	3,281人

### (2) 埋蔵文化財センター特別公開

7月27日～7月30日 参加者 1,249人

### (3) 特集展示

9月30日～11月30日	観覧者	525人
講演会 10月28日	参加者	91人

### (4) 施設見学

60校 3,036人  
11団体 408人

### (5) 職場体験

5校 13人

### (6) 講師派遣

39回 1,963人

(7) 発掘調査報告会 10月28日 参加者 166人

(8) 発掘調査現地説明会 2遺跡 参加者 288人

### (9) 県民の日とちぎフェア出展

古代文字体験、本物の土器に触る体験

6月16日～6月17日 参加者 264人

### (10) 県庁企画展示コーナー出展

展示	1月28日～2月21日
解説会	2月12日 参加者 7人

### (11) 史跡見学会

10月14日 参加者 38人

### (12) 市町連携事業

講師派遣	10件	256人
展示		2件

## 6 研修業務

### (1) 埋蔵文化財活用のための基礎講座(教員等対象)

8月6日～8月7日 出席者 13人

### (2) 保存処理研修会(市町職員対象)

6月26日～6月29日 出席者 13人

### (3) 埋蔵文化財担当者研修会(市町職員等対象)

1月18日 出席者 42人

## 19 その他の機関・団体

### (1) 教育研究所

前記の栃木県総合教育センターのほか、各市町又は地区に、下記のように教育研究所が設置され、それぞれ教育に関する調査研究や教材開発、教員研修などを行い、本県教育の推進に貢献しています。

- ・ 栃木県連合教育会
- ・ 宇都宮市教育センター
- ・ 上三川町教育研究所
- ・ 鹿沼市総合教育研究所
- ・ 栃木市教育研究所
- ・ 小山市立教育研究所
- ・ 下野市教育研究所
- ・ 矢板市教育研究所
- ・ さくら市教育研究所
- ・ 佐野市教育センター
- ・ 足利市立教育研究所

### (2) 教育研究会

小・中・高等学校教職員の自主的な教育研究集団として、下記のように教育研究会が結成され、日常の教育活動に密着した活発な研究活動を行っています。

- ・ 栃木県小学校教育研究会 19部会 9支部
- ・ 栃木県中学校教育研究会 18部会 9地区
- ・ 栃木県高等学校教育研究会 26部会

---

---

## 平成 30 (2018) 年度 栃木県の教育

令和元 (2019) 年 9 月発行

編集・発行 栃木県総合教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町 1070

TEL 028(665)7200 (総務部)

FAX 028(665)7217

ホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

---

---



栃木の子どもをみんなで育てよう」運動  
うちの子・よその子・栃木の子、みんなで育てて明るい未来

まずは、やってみよう！

☆人に迷惑をかけることは「ダメ」と言おう。

☆「あいさつ」の輪を広げよう。

☆「本の時間」をつくろう。